SHARP

AQUOS

# 取扱説明書

液晶カラーテレビ

形　名

エル シー　ジー エス
# LC-37GS10

エル シー　ジー エス
# LC-37GS20

はじめにお読みください
AQUOS接続クイックガイド



※テレビ台は別売りです。

このマークは、放送信号に含まれるGCR信号を利用して、ゴーストを軽減する機能を内蔵した機器であることを示すものです。

AUDYSSEY EQ

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

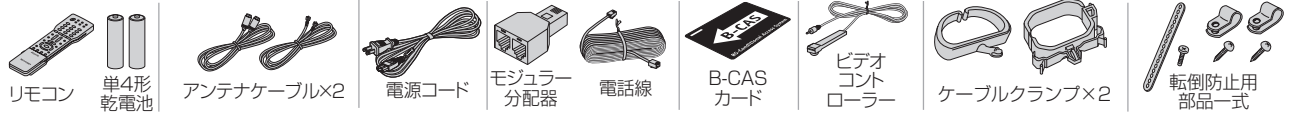
**この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**

- ご使用前に「安全上のご注意」(12ページ)を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができるところに必ず保存してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と、保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

# 接続とチャンネル設定の手順

● 本取扱説明書では、特に機種名を明示している場合を除いてLC-37GS10を例にとって説明しています。LC-37GS20は外形寸法などは異なりますが使いかたは同じです。

## 詳しくはそれぞれの参照ページをご覧ください

## 1 付属品を確認する（10ページ）

※LC-37GS20は、このほかにスピーカー（左右）、スピーカー取り付けネジ（計6本）、ドライバーも付属しています。

## 2 リモコンに乾電池を入れる（23ページ）

リモコン裏側のカバーを開け、付属の単4乾電池を⊕⊖の表示どおり入れます。

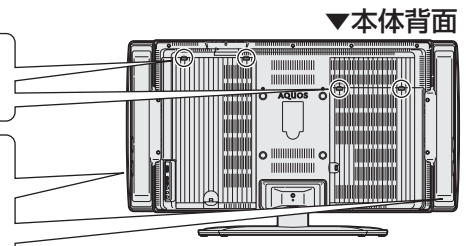
▼付属の単4形乾電池

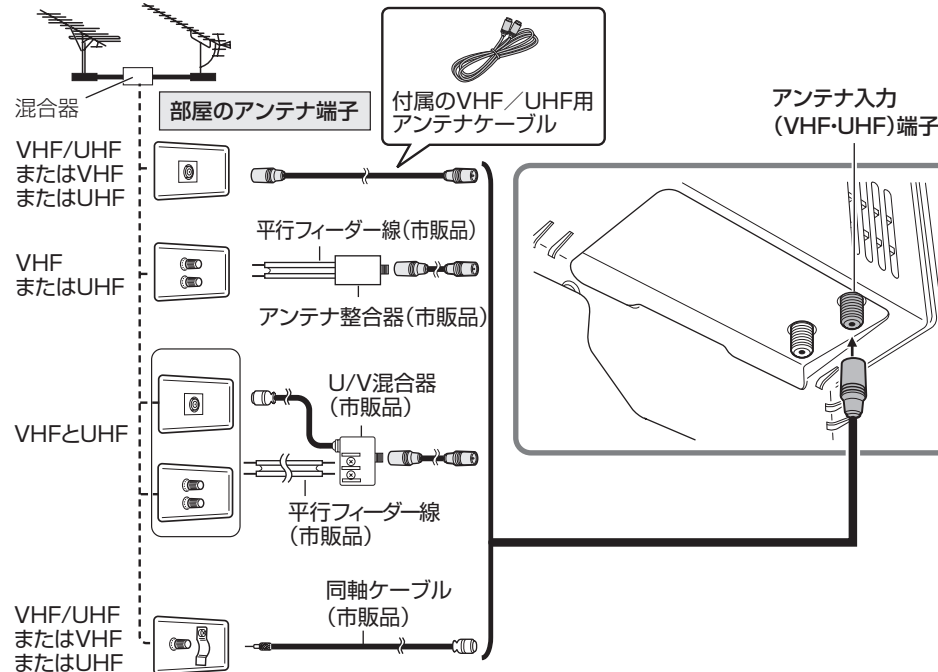
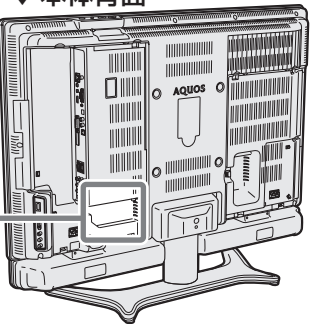
▼リモコン

## 3 本体背面の端子カバーを外す（26ページ）

① 各端子カバー上端のフック2箇所を下方に押しながら手前に引いて外します。

LC-37GS20 のみ

② スピーカーを取り付けます。（**27**ページ）

## 4 アンテナケーブルをつなぐ（32～34ページ）

**地上放送を視聴する場合の接続**

• CATVによる地上デジタル放送の視聴については、お客様が契約されているケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

※デジタルチューナー内蔵録画機器を通してアンテナをつなぐ場合の接続については、別冊「かんたん!!ガイド」をご覧ください。

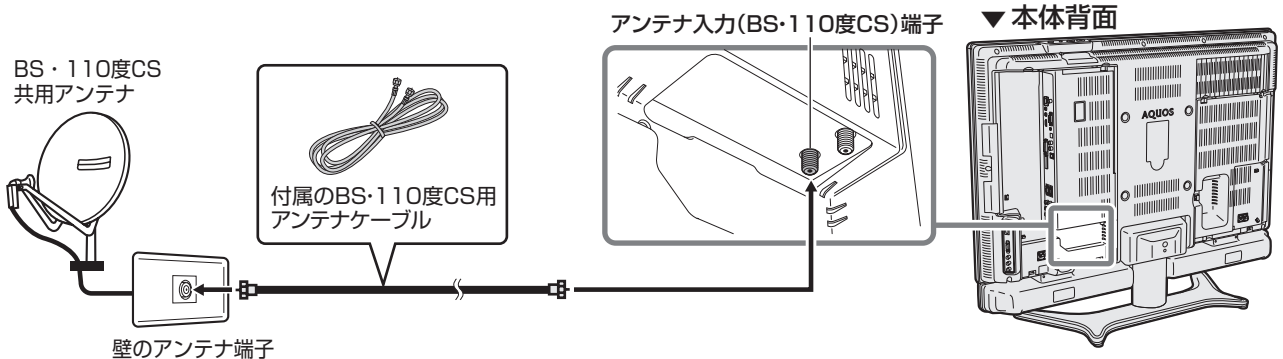
次ページへ

付属品を本機に取り付けて接続し、放送が受信できるまでの手順を1つ1つ本文の説明に沿っておすすみください。

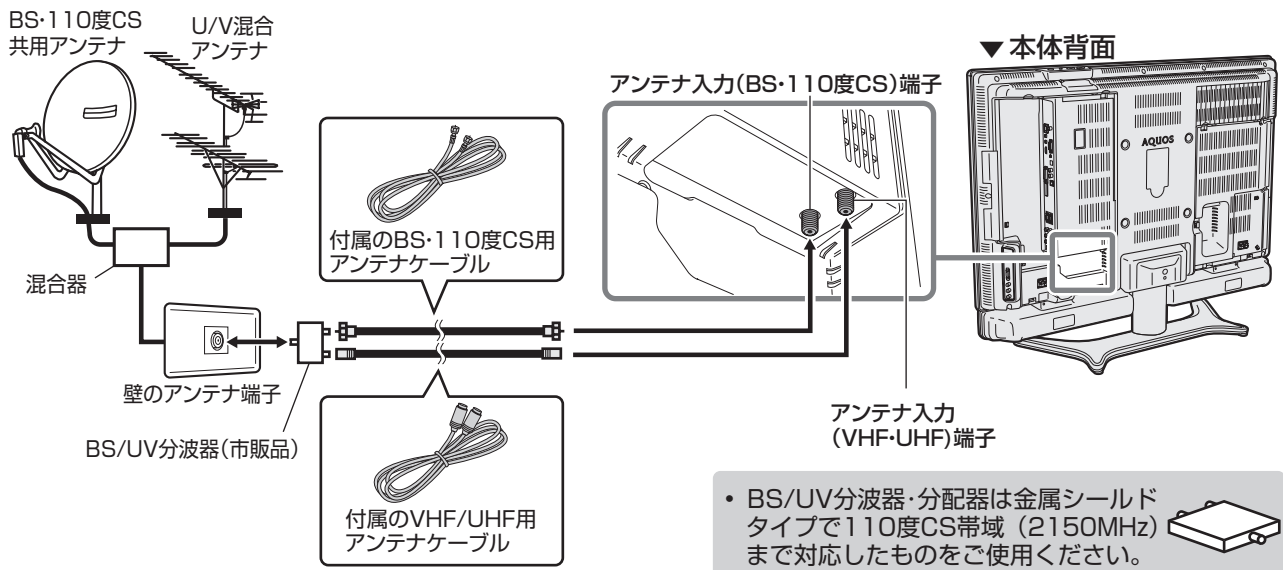


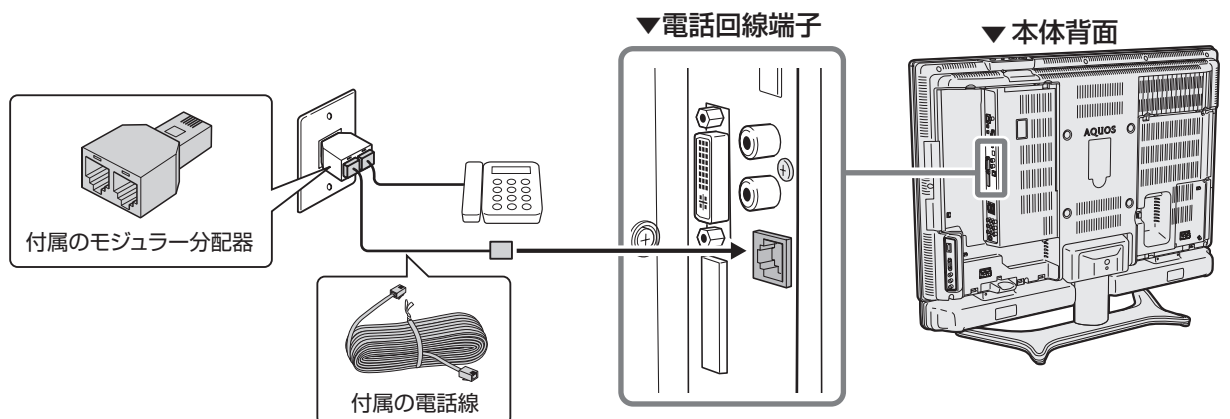
## 4（つづき）

**BS･110度CSデジタル放送を視聴する場合の接続**

### BS･110度CS共用アンテナを単独で接続するとき

### マンションなど、共聴システムで接続するとき（BS･110度CSとVHF／UHFが混合されているとき）

BS/UV分波器（市販品）を使用して接続します。

- BS/UV分波器･分配器は金属シールドタイプで110度CS帯域（2150MHz）まで対応したものをご使用ください。

## 5 電話線をつなぐ（66ページ）※データ放送の双方向通信をしたいとき

デジタル放送の双方向番組への参加や有料番組を受信したい場合に必要な接続です。

次ページへ

# 接続とチャンネル設定の手順（つづき）

## 6 ビデオやDVDプレーヤーなどの外部機器をつなぐときは（100ページ）

※出荷時は「モニター出力（固定）」に設定されています。設定を変更するときは入力4端子設定（**114**ページ）をご覧ください。

## 7 電源コードをつなぐ（35ページ）

付属の電源コードで、本体の「AC入力100V」端子と家庭用電源コンセントを接続します。

▼電源コード接続部（AC入力 100V）

▼本体背面

家庭用電源コンセント（AC100V）

コンセント側プラグ

付属の電源コード

本体側プラグ

## 8 電源を入れる（36ページ）

① 本体天面の電源スイッチを押します。

② 本体前面下部の電源ランプが緑色に点灯することを確認します。

次ページへ

## 9 地上アナログ放送のチャンネルを設定する（47～55ページ）

リモコンでメニュー画面を表示し、地上アナログ放送のチャンネル設定をします。

▼メニュー画面

- 地上アナログ放送は、東京地区のVHF放送が受信できるように設定されていますが、これ以外の地区では設定が必要です。

## 10 地上デジタル放送のチャンネルを設定する（56～63ページ）

地上デジタル放送の受信設定をするときは、次の手順①～③で行います。

※地上デジタル放送はお住まいの地域で放送が開始されていないと受信できません。

① 付属のB-CASカードを登録・挿入する（**56**ページ）

- デジタル放送を視聴する場合は、必ずB-CASカードを挿入してください。図の向きのとおりに挿入しないと映りません。

- B-CASカードは必ず登録してください。（登録は無料です。）
- e2 by スカパー！、WOWOW、スターチャンネルなどの有料放送を見るときは各放送局との個別契約が必要です。（**40**･**56**ページ）

② 地域設定をする（**58**･**59**ページ）
- 地域選択　・郵便番号設定

③ 地上デジタルチャンネル設定をする（**60**～**63**ページ）

▼メニュー画面

- 通常は「UHF」を選びます。
- CATVパススルー（**60**･**61**ページ）の場合は「全チャンネル」を選びます。

## 11 デジタル放送を視聴するための設定をする（64～70ページ）

「デジタル放送を視聴するための設定をする」「デジタル放送の双方向通信をするための設定をする」の説明にそって以下の設定をします。

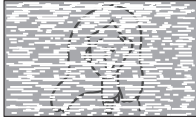
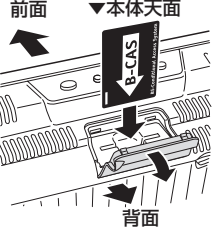
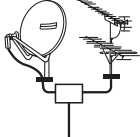
※B-CASカードを挿入しておいてください。入っていないとデジタル放送が受信できません。（**57**ページ）

① アンテナ電源供給の設定（**64**ページ）

▼メニュー画面

- 個人アンテナでは「入」または「電源連動」にします。
- 共聴アンテナでは「切」にします。

② 電話回線の設定（**68**ページ）

▼メニュー画面

**これで接続とチャンネル設定は終了です。**
**次に、放送の受信状態をご確認ください。➡ 6ページ**

# 接続とチャンネル設定の手順（つづき）

## 放送の受信状態を確認する

| | こんな症状がでるときは | ここをお確かめください | ページ |
|---|---|---|---|
| 地上アナログ放送 | 色じま模様が出る | • 付属のアンテナケーブルを使用していますか。<br>• 古いケーブルは使わないでください。 | 10･32 |
| | 雪が降っているような画面になる | • アンテナ線が切れていませんか。<br>• アンテナの向きは正しいですか。<br>• 平行フィーダー線の場合、本機から線をできるだけ離してください。 | －<br>－<br>32 |
| デジタル放送 | 映像も音声も出ない | • BS･CSアンテナ電源は正しく設定されていますか。<br>• B-CASカードは正しく挿入されていますか。<br>前面 ▼本体天面 背面 | 64<br>57 |
| | 画面に四角のノイズ（モザイク）が出る | • アンテナの向きは正しいですか。<br>• アンテナの信号強度を確認してください。（信号強度が60以上あることを確認してください。）<br>電源･受信強度表示 周波数設定 信号テスト－地上D 信号テスト－BS 信号テスト－CS<br>BS衛星信号テスト BS－1 BS－3 BS－5 BS－7 BS－9 BS－11 BS－13 BS－15 終了<br>信号強度 BS－15 現在値 95 最大値 95 | －<br>65 |
| | WOWOWやスターチャンネルなどの有料放送が視聴できない | • WOWOWやスターチャンネルは有料です。視聴するためには契約をしてください。<br>• 電話回線の接続や設定は正しくされていますか。 | 40<br>66～70 |
| | 110度CSデジタル放送が視聴できない | • アンテナやアンテナケーブル、分波器は指定のものを使用していますか。 | 34 |
| | 画面にノイズが出る | • VHF/UHFのアンテナケーブルとBS･110度CS用アンテナケーブルが接近していませんか。 | － |
| | 特定のチャンネルだけ映らない | • 有料放送は視聴契約が必要です。<br>• アンテナの信号強度を確認してください。 | 40<br>65 |

# もくじ

## はじめに



## 設置



## アンテナや電源の接続



## 操作の前に



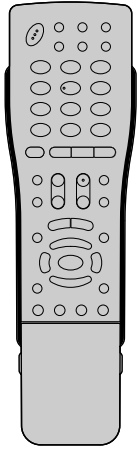
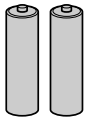
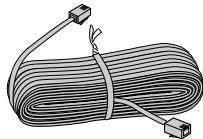
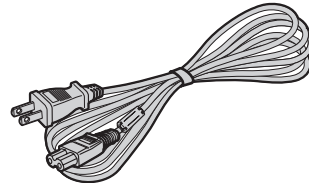
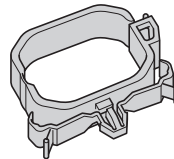
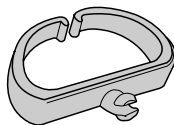
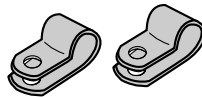
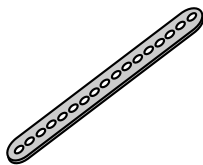
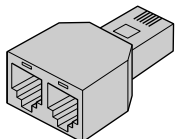
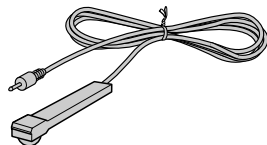
## 受信設定



## 放送を視聴する

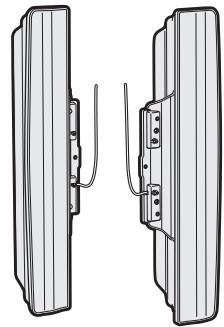
●本機を廃棄または譲渡する場合には、個人情報の消去（初期化）をお願いします。（**189**ページ）
※本取扱説明書に掲載している画面表示は説明用のものであり、実際の表示とは多少異なります。

## 付属品をご確認ください

**ご注意** B-CASカードは開封すると、添付されている契約約款に同意したとみなされます。開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

● かんたん!!ガイド×1※　● 取扱説明書×1※　● 保証書×1

**LC-37GS20のみ**

**スピーカー部**

スピーカー
(左)　(右)

スピーカー取り付けネジ
(長×4)

(短×2)

スピーカー取り付け用ドライバー×1

使いかた→27ページ

※ LC-37GS20は、スピーカーを取り付けてからご使用ください。

※ LC-37GS10のスピーカーは工場出荷時、取付済です。

● 安全と性能維持のため、同梱のケーブルを必ずご使用ください。

※ 当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

# この取扱説明書の見かた

- 本取扱説明書では、特に機種名を明示している場合を除いてLC-37GS10を例にとって説明しています。LC-37GS20は外形寸法などは異なりますが使いかたは同じです。

**おしらせ** 本取扱説明書では、各種機能の操作説明を、おもにリモコンを使った場合の記述にしています。（本体の操作ボタンを使う場合の説明は、「本体天面の○○ボタンを押す」などの表現にしてあります。）

## デジタル放送を視聴するための設定をする AQUOS接続クイックガイドの手順11

### アンテナ設定

■ BS・110度CS共用アンテナをはじめて設置したときや引っ越しなどでデジタル放送用のアンテナを移動したときなどは、アンテナ設定が必要となります。その場合、アンテナ設定画面を見ながら設定を行うことができます。

### アンテナ設定画面を表示する

［例］ BSデジタル放送のアンテナ設定をする

1. BSを押し、BSデジタル放送を選ぶ
2. メニュー画面から「本体設定」－「アンテナ設定」を選び、決定を押す

リモコンのボタン

・アンテナ設定画面が表示されます。

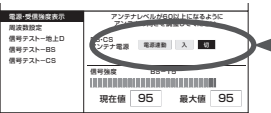
### アンテナに電源を供給する

地上デジタル放送にはアンテナ電源入／切の設定はありません。

3. ① で「電源・受信強度表示」を選び、決定を押す
② で「電源連動」「入」「切」のいずれかを選ぶ

「電源連動」‥‥本機の電源入・切に連動してアンテナに電源を供給します。
「入」‥‥‥‥‥個人でアンテナを設置・接続している場合
「切」‥‥‥‥‥電源を供給しないときの設定（共聴アンテナに接続している場合など）（工場出荷時の設定）

**メニュー画面について**
…後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。
・アンテナ設定画面は無操作のまま1分間経過しても消えません。消すときは、メニューまたは終了ボタンを押してください。

64

- 番号順に操作してください。
- 機能の概要説明などです。
- テレビ画面に現れる表示です。※
- 操作の結果や補足的な説明です。
- 操作ボタンです。左のイラストのボタンに対応しています。
- 操作するときに使うリモコンのボタンです。
- 選択・入力する項目や欄です。
- 下の「本書で使われているマークについて」をご覧ください。

※ **本書に掲載している画面表示やイラストは、説明のためのものであり、実際とは多少異なります。**

## 本書で使われているマークについて

正しくお使いいただくためのご注意です。

もう少し詳しい説明や、機能の制限事項です。

知っていると便利な情報です。

## こんなときは ▶▶▶

**お手入れをするときは**
 17ページ

**故障かな？と思ったら**
 182ページ

**分からない用語があるときは**
 198ページ

# 安全上のご注意

ご使用前に**「安全上のご注意」**を必ず読み、正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、つぎのように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

**警告** 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

**注意** 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

**図記号の意味**
（図記号の一例です）

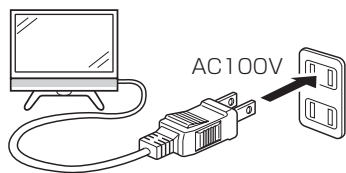
記号は、気をつける必要があることを表しています。

記号は、してはいけないことを表しています。

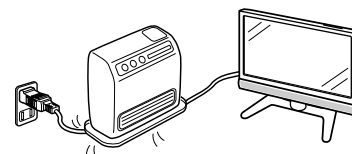
記号は、しなければならないことを表しています。

## 警告

### 交流100ボルト以外の電圧で使用しない

100ボルト
以外禁止

火災・感電の原因となります。

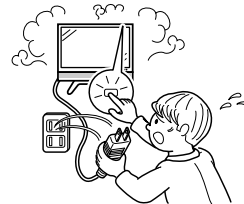
### 電源コードに重いものを載せたり、本機の下敷きにしたりしない

禁止

火災・感電の原因となります。

### 落としたり、キャビネットを破損したときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

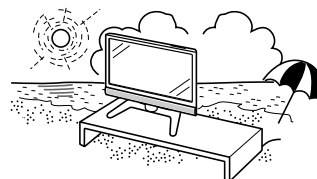
電源プラグ
を抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

### 煙やにおい、音などの異常が発生したら、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

電源プラグ
を抜く

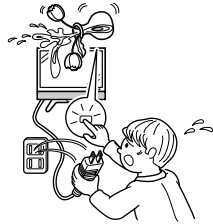
異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。修理を販売店に依頼してください。お客様自身による修理は絶対におやめください。

### テレビに水が入るような使いかたをしたり、ぬらしたりしない

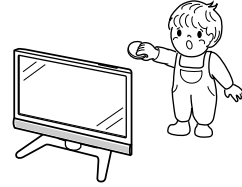
水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

# ⚠ 警告

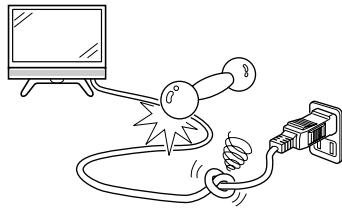
### 内部に水や異物が入ったときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

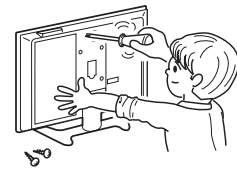
### 異物を入れない

禁止

通風孔（裏ぶたのすき間）などからものを入れると、火災・感電の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

### 電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱したりしない

禁止

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）交換をご依頼ください。そのまま使用すると、コードが破損して、火災・感電の原因となります。

### 本機の裏ぶたを外したり、改造したりしない

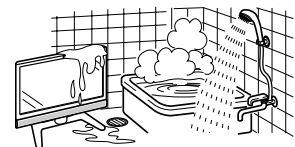
分解禁止

内部には電圧の高い部分があるため、さわると感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店にご依頼ください。

### 本機の上に花びん等、水の入った容器を置かない

水ぬれ禁止

水がこぼれるなどして中に入ると、火災・感電の原因となります。

### 風呂やシャワー室では使用しない

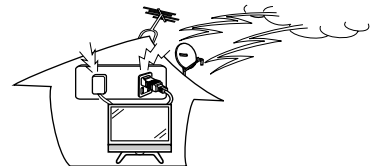
風呂、シャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

### 不安定な場所に置かない

禁止

落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

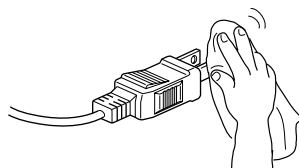
### 雷が鳴り出したら、アンテナ線やプラグに触れない

接触禁止

感電の原因となります。

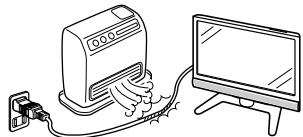
### 電源プラグの刃や刃の付近に、ホコリや金属物が付着しているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除く

ほこりを取る

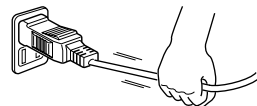
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

次ページへつづく

## ⚠ 注意

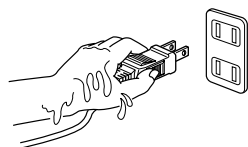
### 電源コードを熱器具に近づけない

禁止

電源コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

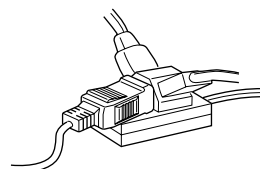
### 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

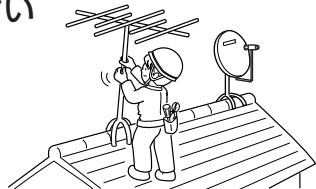
### ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

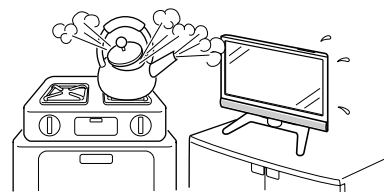
### タコ足配線をしない

禁止

火災・感電の原因となることがあります。

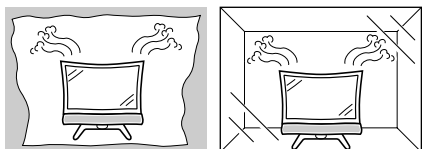
### アンテナ工事は、技術経験が必要ですので販売店にご相談ください

離して配置

- 送配電線の近くに設置してしまうと、アンテナが倒れた際に感電の原因となることがあります。
- BS・110度CSデジタル放送受信アンテナは強風の影響を受けやすいので堅固に取り付けてください。

### 湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない

禁止

調理器具や加湿器などのそばに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

### 風通しの悪いところに入れない・密閉した箱に入れない・じゅうたんや布団の上に置かない・布などをかけない

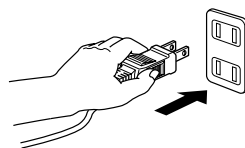
禁止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

### 重いものを置いたり、上に乗ったりしない

禁止

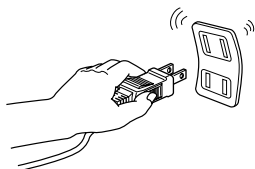
倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様やペットにはご注意ください。

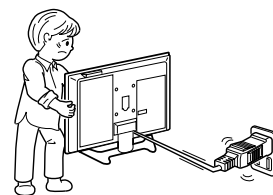
### 電源プラグは確実に差し込む

確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

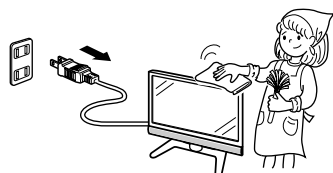
# ⚠ 注意

### 電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない

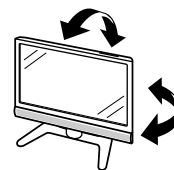
禁止

発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店に交換の依頼をしてください。

### 移動させるときは、接続されている線などをすべて外す

接続線を外さないで移動させると、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

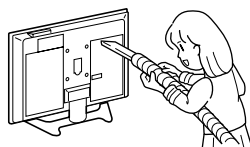
### お手入れのときや長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

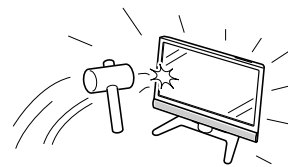
電源プラグを抜く

感電や火災の原因となることがあります。

### スタンドの角度を調整するときは注意する

指のケガに注意

手や指がはさまれてけがの原因となることがあります。また無理に傾けると転倒して落下やけがの原因となることがあります。

### 通風孔に付着したホコリやゴミをこまめに取り除く
### 内部の掃除は販売店に依頼する

注意

内部や通風孔にホコリをためたまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。内部の掃除費用については、販売店にご相談ください。

### 液晶画面に衝撃を与えない（物を当てたり、先の尖ったもので突いたりしない）

液晶画面のパネルが割れることがあります。

**ご注意** お客さままたは第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

次ページへつづく

# 安全上のご注意（つづき）

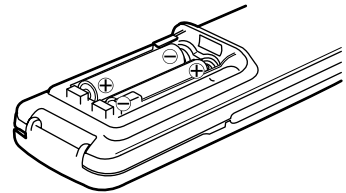
## 電池についての安全上のご注意

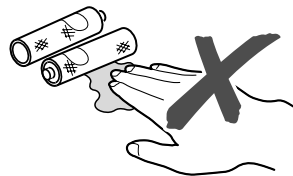
液もれ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

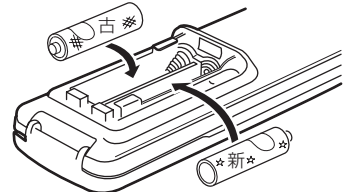
## ⚠ 注意

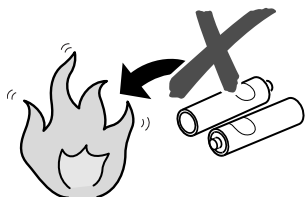
### 電池は幼児の手の届く所に置かない

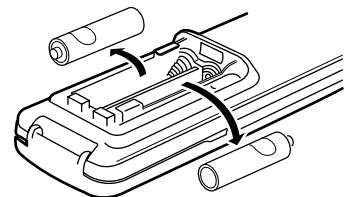
電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだおそれがあるときは、ただちに医師と相談してください。

### 電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

間違えると電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

### 電池の液がもれたときは素手でさわらない

- 電池の液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。

### 指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

### 電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない

電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

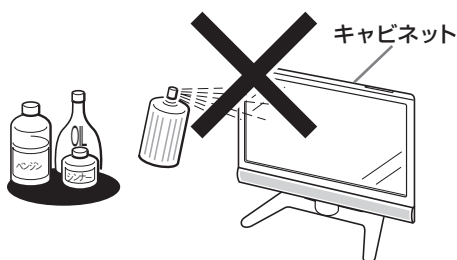
### 電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

# 使用上のご注意



## 守っていただきたいこと

### キャビネットのお手入れのしかた

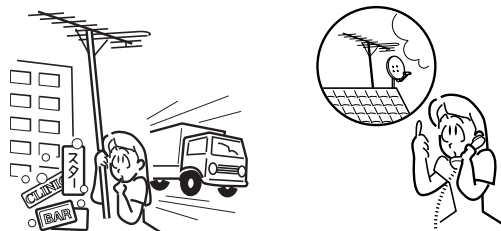
- キャビネットにはプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどで拭いたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

- 汚れはネルなど柔らかい布で軽く拭きとってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭きとり、乾いた布で仕上げてください。

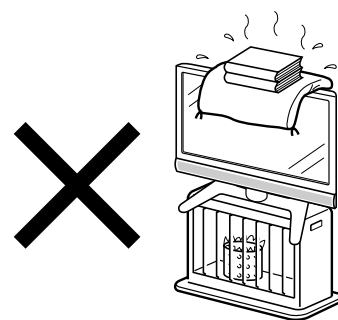
### 液晶ディスプレイパネルのお手入れのしかた

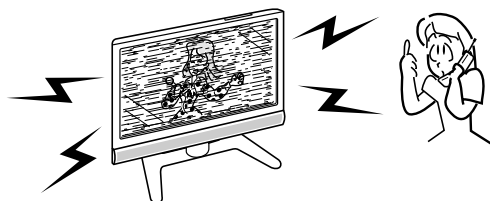
- **お手入れの際は、必ず本体天面の電源スイッチを「切」にし、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。**
- **本機のディスプレイパネルの表面は、柔らかい布（綿、ネル等）で軽く乾拭きしてください。硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、パネルの表面に傷がつきますのでご注意ください。**
- **汚れがひどい場合は、柔らかい布を軽く水で湿らせて、そっと拭いてください。（強くこすったりすると、ディスプレイパネルの表面に傷が付いたりしますので、ご注意ください。）**
- **ディスプレイパネルの表面にホコリがついた場合は、市販の除塵用ブラシ（静電気除去ブラシ）をお使いください。**
- **ディスプレイパネルの保護のため、ホコリのついた布や洗剤、化学雑巾などを使わないでください。パネルの表面がはく離することがあります。**

AQUOS
クリーニングクロス
推奨品
CA300WH1※
CA300WH2※

### アンテナについて

- 妨害電波の影響を避けるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。
  万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。BS・110度CSデジタル放送用のアンテナ線には、必ず専用のケーブルを使用してください。（**34**ページ参照）
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

### 設置について

- 発熱する機器の上には本機を置かないでください。
- 本機の上には物を置かないでください。

### 電磁波妨害に注意してください

- 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

※販売店またはシャープホームページ内のSharp Life Plaza（ネット販売）でお求めください。

次ページへつづく

# 守っていただきたいこと

## 直射日光・熱気は避けてください

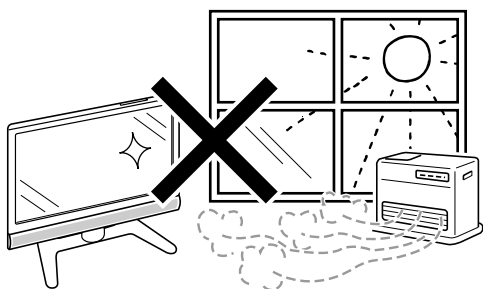
- 窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

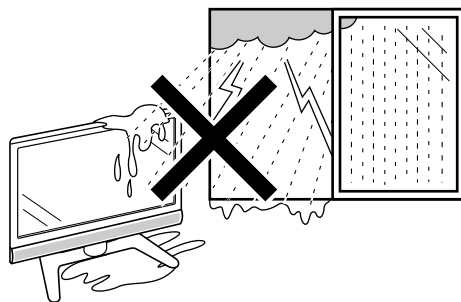
## 急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は避けてください

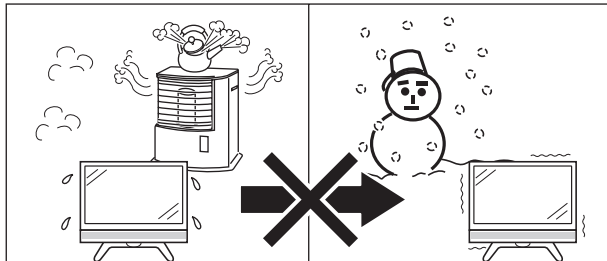
- 急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は、画面の表示品位が低下する場合があります。

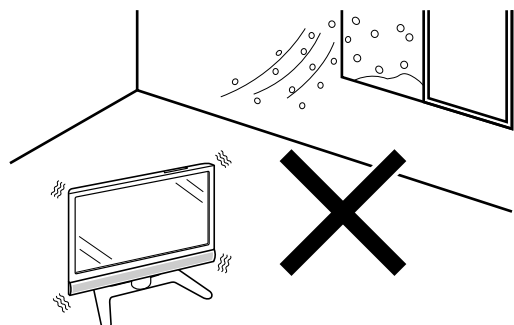
暖かい室内使用　寒冷地での室外使用

## 低温になる部屋(場所)でのご使用の場合

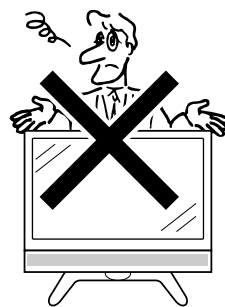
- ご使用になる部屋(場所)の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や液晶画面の故障の原因となります。(使用温度:0℃～40℃)

## 雨天・降雪中でのご使用の場合

- 雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機をぬらさないようにご注意ください。

## ステッカーやテープなどを貼らないでください

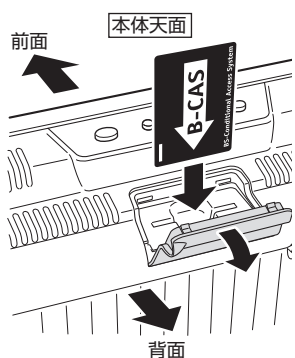
- キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

## 長期間ご使用にならないとき

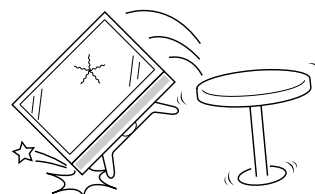
- 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

## 国外では使用できません

- この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

# 守っていただきたいこと

## B-CASカードは必要なときだけ抜き差しする

- 必要以外に抜き差しすると故障の原因となることがあります。
- B-CASカードの中にはICチップが内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れたりしないようご注意ください。
- 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」にならないよう、右上図の通りに挿入してください。

## 取扱い上のご注意

- 液晶画面を強く押したり、ボールペンのような先の尖ったもので押さないでください。また、落としたり強い衝撃を与えないようにしてください。特に液晶画面のパネルが割れたり、傷がつく原因となりますのでご注意願います。
- 振動の激しいところや不安定なところに置かないでください。また、絶対に落としたりしないでください。故障の原因となります。

## 結露(つゆつき)について

- 本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずにお待ちください。そのままご使用になると故障の原因となります。

## 使用が制限されている場所

- 航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となるおそれがあります。

## 使用環境について

- 本機を冷え切った状態のまま室内に持ち運んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ(結露)、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

注意

- 周囲温度は0〜40℃の範囲内でご使用ください。正しい使用温度を守らないと、故障の原因となります。

注意

- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く

■ 静止画を長時間表示しないでください。残像の原因となることがあります。

## 蛍光管について

■ 本機に使用している蛍光管には、寿命があります。

- 画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい専用蛍光管ユニットに取り替えてください。
  寿命の目安…約60,000時間(室温25℃で、明るさを「標準」に設定して連続使用した場合、明るさが半減する時期の目安)
- 詳しくは、販売店またはもよりのお客様相談センターにお問い合わせください。

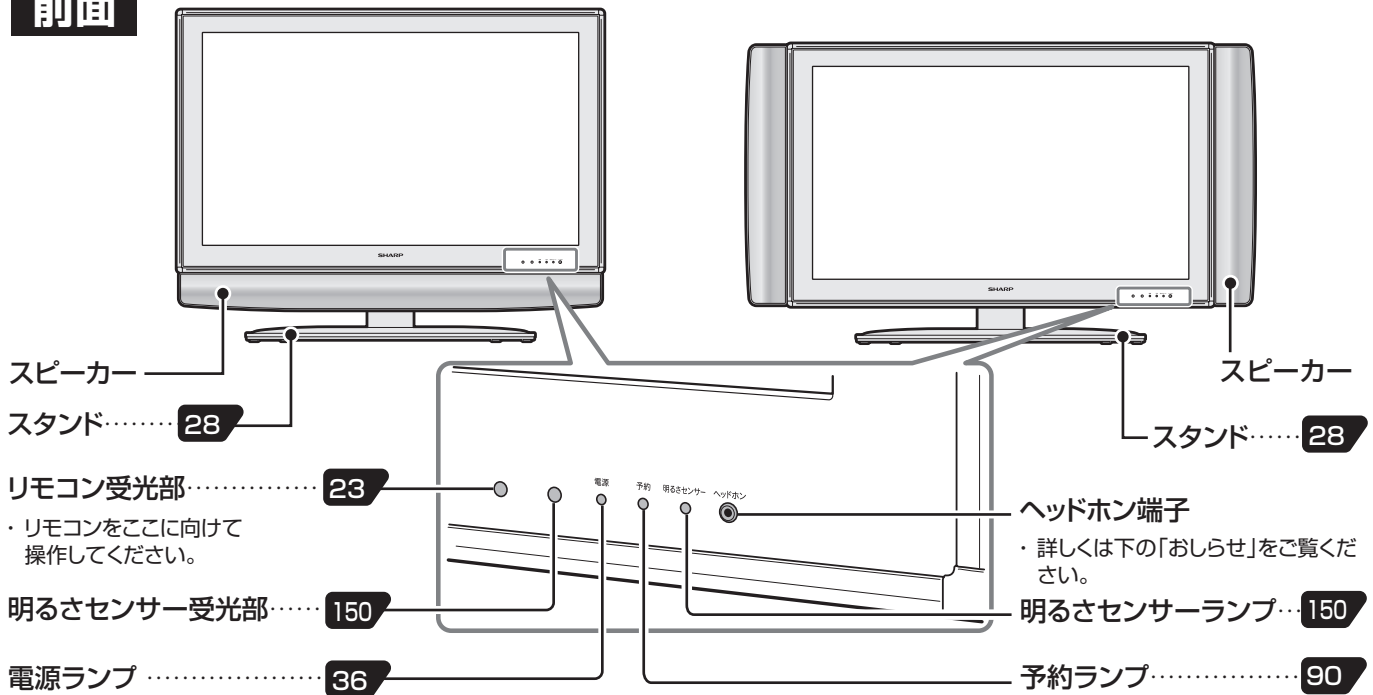
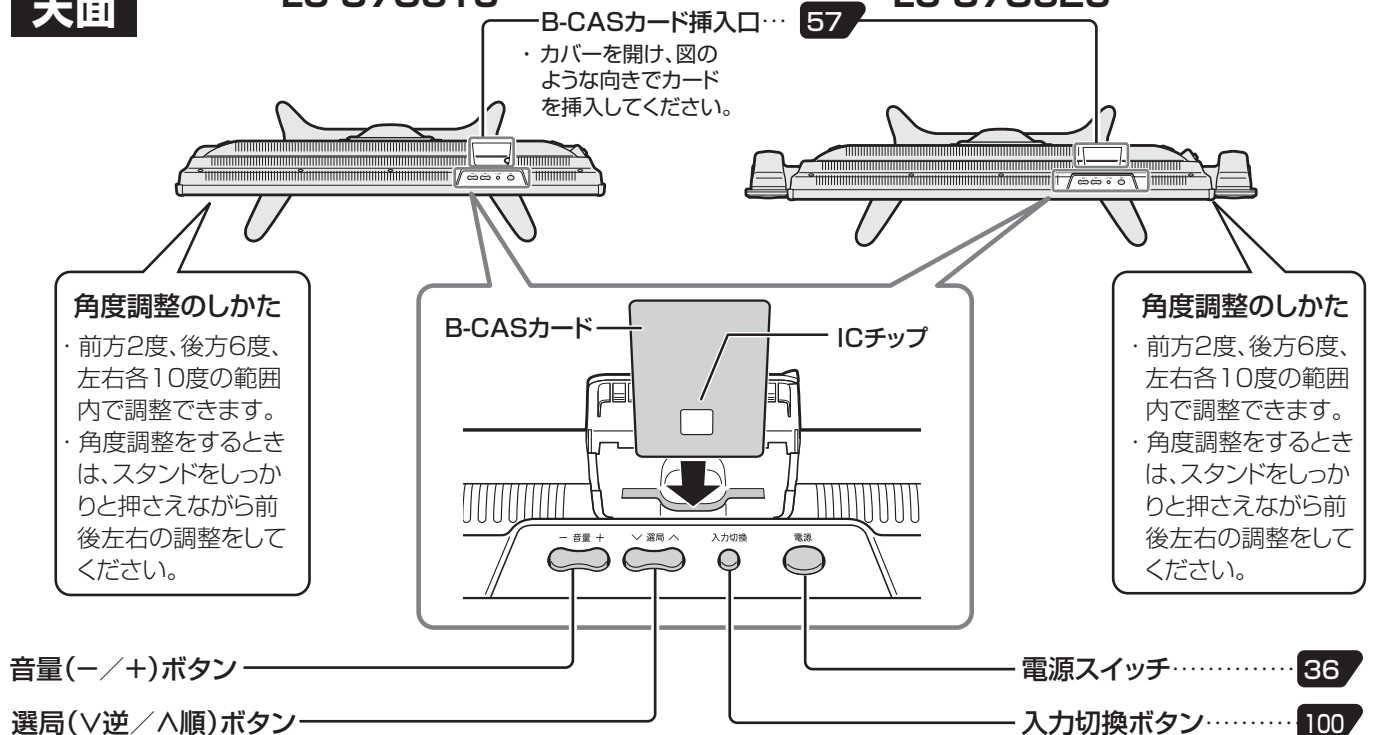
■ ご使用初期において、蛍光管の特性上、画面にチラツキが出ることがあります。
この場合、本体天面の電源スイッチをいったん「切」にし、再度電源を入れなおして動作を確認してください。

# 各部のなまえ〈本体〉

の中の数字は、説明や操作方法を掲載しているおもなページです。

## 前面

## 天面

おしらせ

**ヘッドホン端子について**

- ステレオミニプラグ(φ3.5mm)の付いたヘッドホンをご用意ください。
- ヘッドホンを使わないときは、必ず、ヘッドホン端子からプラグを抜いてください。
- ヘッドホン接続時は、スピーカーから音声が出ません。
- ヘッドホンを接続して音声を聴いているときは、音声調整(**153**ページ)の設定はできません。
- 入力ごとに別々の音量に設定できます。

ヘッドホン接続時の音量表示

30

## 背面

※LC-37GS10を例に説明していますが、LC-37GS20も端子の位置は同じです。
※端子カバーの外しかたについては、**26**ページ「端子カバーの外しかた」をご覧ください。

LAN端子
（10BASE-T/100BASE-TX）*……… 175
＊ デジタル放送の双方向通信用端子（LAN：ローカルエリアネットワークの略称です。）

i.LINK（TS）端子……………… 118

入力5(HDMI)…………… 104・164
高画質対応のDVDプレーヤーやAVアンプなどをつなぐ

工場調整用端子カバー

モニター出力／入力4／(録画出力) ………………… 108・114
録画用機器をつなぐ

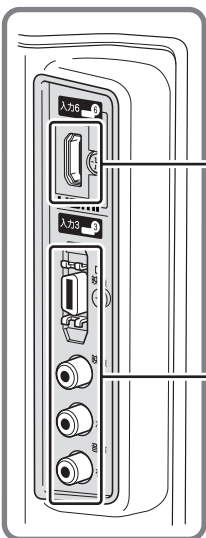
**ハイビジョン画質で録画したいとき**

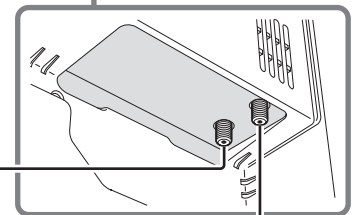
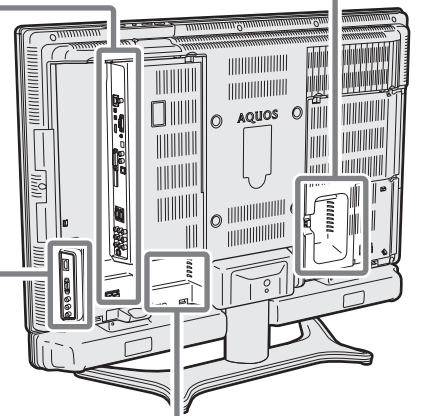
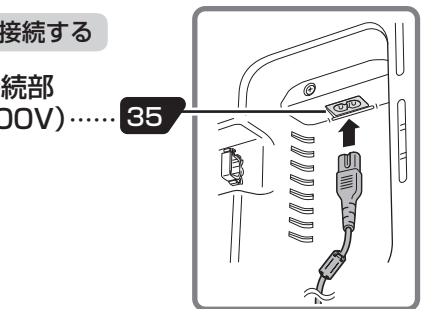
- モニター出力／(録画出力)の映像は標準画質です。ハイビジョン画質をそのまま録画したいときは、i.LINK端子にD-VHSビデオデッキ、AV-HDDレコーダー、Blu-ray Discレコーダーのいずれかを接続します。

入力1・2……………………… 102

デジタルリセットボタン……………… 187
センタースピーカー入力端子………… 133
コントロール（RS-232C）端子……… 140
ビデオコントロール端子……………… 110
デジタル音声出力（光）端子………… 130
DVI端子付パソコンをつなぐ
入力7（DVI-I）……………………… 106・134
電話線をつなぐ
電話回線端子……………………… 66

電源コードを接続する
電源コード接続部
（AC入力 100V）…… 35

▼端子カバーを外したところ

104・164 入力6(HDMI)
ゲーム機器などを一時的につなぐ
102 入力3

アンテナ入力（BS・110度CS）端子… 34
BSアンテナをつなぐ
アンテナ入力（VHF・UHF）端子……… 33
地上アンテナ（U/V）をつなぐ

# 各部のなまえ〈リモコン〉

**画面表示**……82

画面表示（チャンネルサインなど）を入／切します。

**電源**……36

電源を入／切（電源待機）します。

**CATV**……75

CATV放送を選局するときチャンネル番号を入力して使います。

※ CATVチャンネルは工場出荷時、スキップ「する」に設定されています。（解除のしかたは**55**ページ）

**地上D 放送切換**……61・74

地上デジタル放送の画面に切り換えます。

**地上A 放送切換**……47・74

地上アナログ放送の画面に切り換えます。

**データ連動（d）**……80

デジタル放送のテレビ番組に連動したデータ放送を呼び出します。

**音量（＋／－）**

音量を調整します。

**消音**

音を一時的に消します。

※ 消音となってから30分経過すると自動的に音量0になります。この状態から音声を聞くには、音量＋ボタンで音量を調整してください。

**番組表**……74・82

デジタル放送の電子番組表（EPG）の表示を入／切します。

**番組情報**……80

視聴中のデジタル番組の詳細な情報を表示します。

**カーソル（上・下・左・右）**……42

メニューや項目を選びます。

**決定**……42

カーソルで選んだメニュー項目や設定内容を決定します。

**終了**……42

静止画面、電子番組表やメニュー操作などを終了します。

おしらせ メニューや電子番組表の操作が途中で分からなくなったときなどに使うと便利です。

**カラーボタン（青・赤・緑・黄）**……80・82

デジタル放送の電子番組表（EPG）やデータ番組の操作に使います。

**オフタイマー**……162

電源を指定時間後に切ります。

**3桁入力**……75

3桁チャンネル番号を入力してデジタル放送を選局するときに使います。

**ファミリンク**……163

本機とHDMI接続したファミリンク対応のAQUOSレコーダーで録画／再生します。

**チャンネル**……74

●各ネットワーク（地上A・地上D・BS・CS）のメディア（テレビ／ラジオ／データ）ごとのチャンネル選局をします。
●各種設定の数字入力にも使用します。

**CS 放送切換**……74

110度CSデジタル放送の画面に切り換えます。（初めてCSチャンネルを選ぶときは**75**ページ）

**BS 放送切換**……74

BSデジタル放送の画面に切り換えます。

**テレビ／ラジオ／データ**……74

メディア（放送の種類）を切り換えます。

**選局（∧順／∨逆）**……74

視聴している放送チャンネルを順／逆で選局します。

※工場出荷時の状態では、CATVチャンネルはスキップ設定されています。

**入力切換**……103・116

入力を切り換えます。
押すたびに入力が切り換わります。
（入力1～4は、端子にケーブルが接続されているときに選べます。）

**裏番組**……86

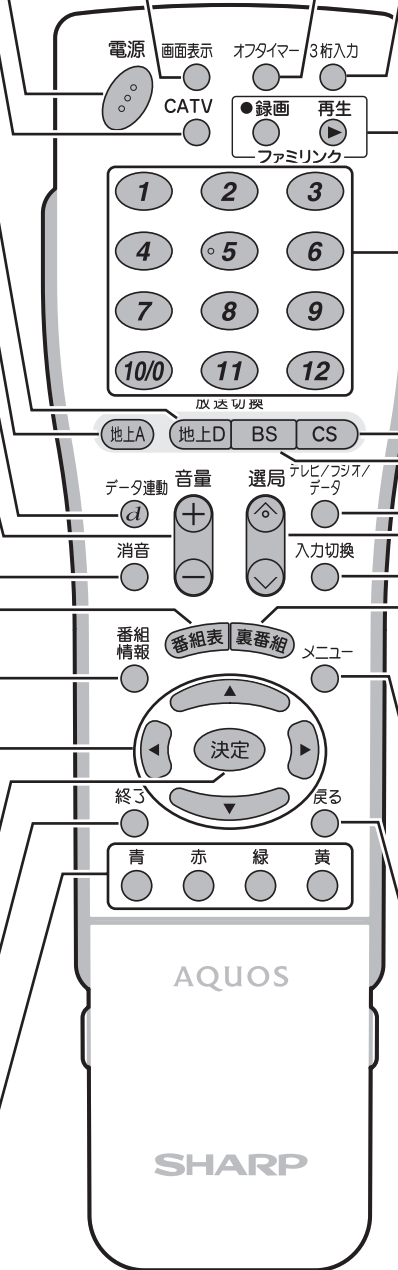
デジタル放送の裏番組表の表示を入／切します。

**メニュー**……42

メニュー画面の表示を入／切します。

**戻る**……42

1つ前の画面に戻ります。
操作を誤ったときや、やりなおしたいときは、決定ボタンを押さず、戻るボタンを押します。

※番組の選択手順と操作のしかたについて、詳しくは**74**・**75**ページをご覧ください。

ここでは、リモコンのそれぞれのボタンのおおまかな働きを説明しています。

## フタを開けたところ

**映像切換**………… 79
デジタル放送の複数の映像を切り換えます。

**画面サイズ**………… 136・145
お好みの画面サイズを選びます。

**静止**………… 159
視聴中の番組を静止画で表示します。

**AVポジション**………… 149
お好みのAVポジションを選びます。

**i.LINK**………… 119・122
i.LINK操作パネルを表示します。

**お好み選局／登録**………… 75・160
お好み登録したチャンネルの選局と登録されているチャンネルの確認／登録画面の表示を入／切します。

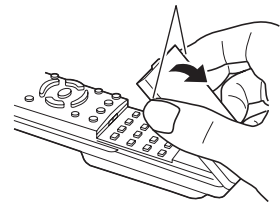
**ファミリンク**………… 163
本機とHDMI接続したファミリンク対応のAQUOSレコーダーやAQUOSサラウンドなどを操作します。

**字幕**………… 171
デジタル放送の字幕表示を入／切します。

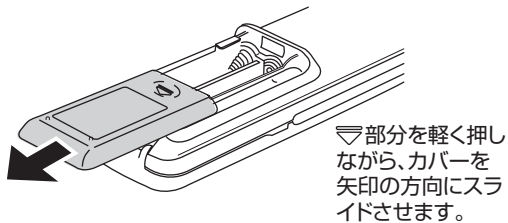
**音声切換**………… 79・154
複数の音声を切り換えます。

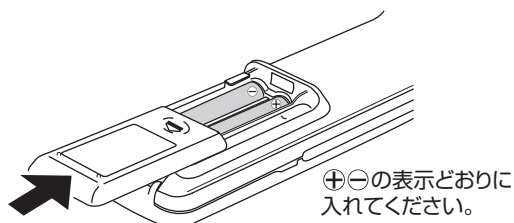
**操作切換**………… 158
2画面表示のとき、操作できる画面を切り換えます。

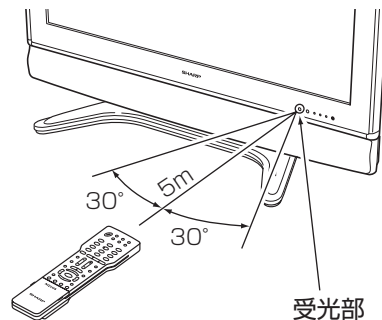
**2画面**………… 158
2画面表示を入／切します。

**フタの開けかた**
両側の突起部を持ち、引き上げます。

## 乾電池の入れかた
AQUOS接続クイックガイドの手順2

**1** カバーを開ける

▽部分を軽く押しながら、カバーを矢印の方向にスライドさせます。

**2** 付属の単4形乾電池を入れ、カバーを元どおりに閉める

⊕⊖の表示どおりに入れてください。

## リモコンで操作できる範囲

リモコンは、画面右下の受光部に向けて操作してください。操作できる範囲は受光部から約5m、上下左右に約30度以内です。

### リモコンで動作しにくいとき

- リモコンとディスプレイの受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。
- 乾電池が消耗した場合は、操作できる距離が徐々に短くなりますので、早めに新しい乾電池に交換してください。
- 蛍光灯などが近くにある場合には、動作しにくいことがあります。

### リモコン使用上のご注意

- リモコン送信機には衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり湿度の高いところに置いたりしないでください。
- リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。
照明の向きを変えるなどしてみてください。

# 本機の特長

- ハイビジョン放送をそのまま表示可能なフルスペックハイビジョン液晶パネル <水平1,920×垂直1,080画素>採用
- 青・緑・赤の波長に「深紅」を加え、ピュアな赤を忠実に再現する「4波長バックライト」を新開発
- 高開口率スピーカーシステムと当社独自の1ビットデジタルアンプ搭載による音抜けの良いクリアなサウンド
- 低消費電力・長寿命設計、ノンハロゲン材の採用など環境面に配慮した設計

### 動きの速いシーンも見やすく、くっきり

詳しくは☞152ページ

QS(クイックシュート)駆動機能

### 電力資源を有効に使う省エネ機能

詳しくは☞162ページ

オフタイマー　　無信号オフ
無操作オフ

### 迫力と臨場感あふれるサウンドを実現

詳しくは☞153ページ

・映画館のような迫力あふれる音声を手軽に楽しむことができます。

### お好みの映像レベルが選べるAVポジション

詳しくは☞149ページ

| AVポジション |
|---|
| ダイナミック |
| 標準 |
| 映画 |
| ゲーム |
| PC |
| AVメモリー |
| ダイナミック(固定) |

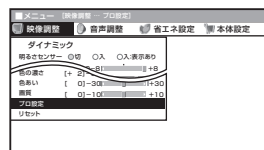
### プロ設定できめ細かな映像調整

詳しくは☞151ページ

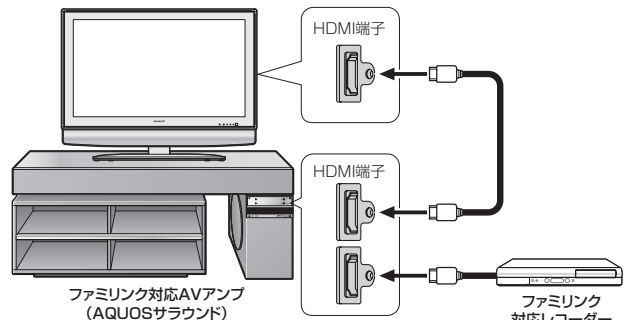
・お好みの色合いに調整したり、より奥行き感を出したり、コントラストを調整したりすることができます。(ハイビジョン放送に対しては設定が制限されます。)

### 忠実に原音を再現する1ビットデジタルアンプ

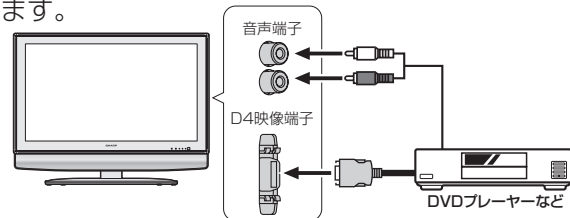
詳しくは☞198ページ

・音の質感や空気感を高いレベルで表現します。

### ファミリンク機能

詳しくは☞163ページ

・HDMI端子に接続したファミリンク対応のAQUOSレコーダーやAQUOSサラウンドを本機から操作できます。

### D4映像端子を装備

詳しくは☞102ページ

・DVDプレーヤーなどを接続し、美しい高精細映像が楽しめます。

### DVI-I端子を装備

詳しくは☞106ページ

・パソコンに記録しているデジタル写真などを、テレビ画面で見られます。

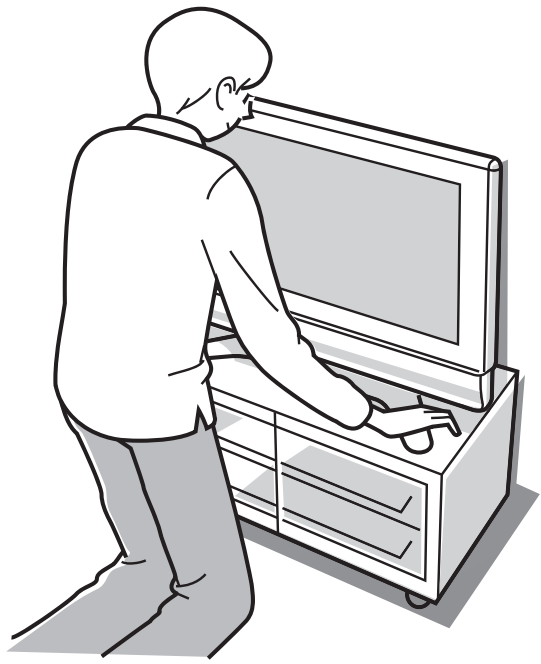
### 視聴環境に応じて音質を最適化

詳しくは☞155ページ

視聴環境設定機能

# 設　置

ページ

# 設置のしかた

末永くお使いいただくため、安全で、安定した環境に設置していただきますようお願いします。

## 設置のながれ

1.端子カバーを外す

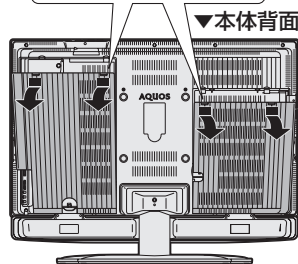
2.必要な接続をする(**32**〜**35**ページ)

3.端子カバーを取り付ける

4.設置する

5.転倒防止策を行う(**30**ページ)

### 端子カバーの外しかた

AQUOS接続クイックガイドの手順3

**壁に掛けてお使いになる場合は**

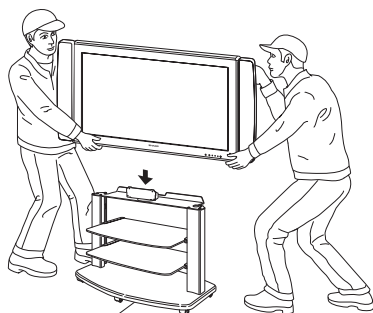
スタンドを外し(**28**ページ)、壁掛け金具を使って設置してください。(**196**〜**197**ページ)

## 設置について

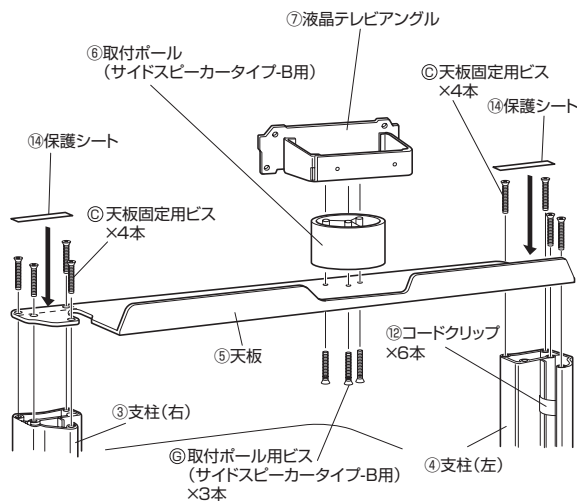
- 傾斜のない、平らな場所に設置してください。すべりやすい面、カーペットなどのやわらかい面、不安定な場所には設置しないでください。
- 極端に温度が高い場所や温度が低い場所には、設置しないでください。(使用温度0℃〜40℃)
- 別売の壁掛け金具(AN-37AG2)やフロアーラック(AN-45FR1)に取り付けてご使用になれます。

- 台などに設置する場合は、本機の重量に耐え得る堅固なもので、十分な幅と奥行きのある、転倒しにくいものを使用してください。
- キャスター付きのテレビ台をご使用の場合、移動するとき以外は必ずキャスター用受皿を使用してください。
- 本機を持ち上げたり、運んだりする場合は、スピーカーネットを強く押さないでください。

### フロアーラックに設置する場合

(詳しくはフロアーラックの取扱説明書をご覧ください。)

フロアーラック
(別売品: AN-45FR1)

※アンダースピーカータイプ(LC-37GS10)の場合は、フロアーラックに付属の「アンダースピーカー用ポール」をご使用ください。

※サイドスピーカータイプ(LC-37GS20)をAN-45FR1に設置する場合、サイドスピーカー取付ポールBをご使用ください。

# スピーカーの取り付けかた

LC-37GS20

AQUOS接続クイックガイドの手順3

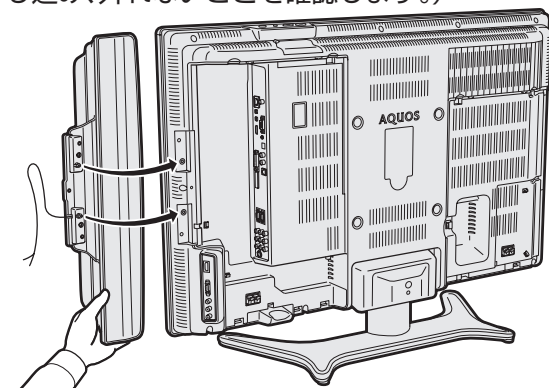
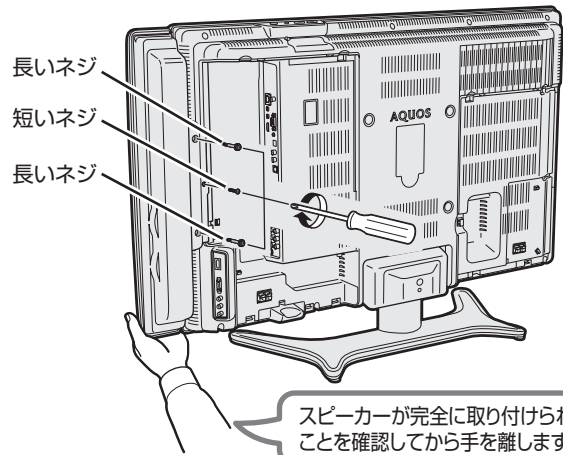
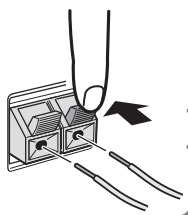
■ ここではLC-37GS20のスピーカーの取り付けかたを説明します。LC-37GS20は、スピーカーを取り付けてからご使用ください。

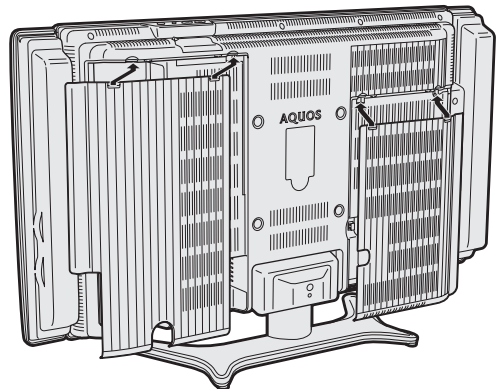
- 本機のスピーカーは取り付け・取り外しができるセパレートタイプです。
- スピーカーの取り付け・取り外しの際は、本機の電源を切ってください。
- スピーカーの取り付け・取り外しの際は、必ず2人以上で作業を行ってください。

- スピーカーケーブルは、左右および⊕⊖の区別を確認して取り付けてください。
- 本機を持ち上げたり、運んだりする場合は、スピーカーネットを強く押さないでください。

- 左右のスピーカーとも、同じ手順で行ってください。
- スピーカーを取り外すときは、逆の手順で行ってください。
- ヘッドホン接続時は、スピーカーから音声が出ません。
- お手持ちのスピーカーを本機に接続することもできます。(**132**ページ参照)

## 1 左右の端子カバーを外し、スピーカー部のネジ穴と本体のネジ穴を合わせる

(スピーカーの突起部を本体の溝(穴)に確実に差し込み、外れないことを確認します。)

## 2 付属の取り付けネジで、スピーカー部の3箇所を固定する

## 3 ① スピーカー接続端子にスピーカーケーブルを接続する(黒を⊖、赤を⊕に接続する)
## ② スピーカーケーブルをクランプに固定する

スピーカーリードは接続端子の穴に対してまっすぐに挿入されるようご注意ください。リード線先端の金属部が端子の金属部に確実に接触するよう差し込んでください。

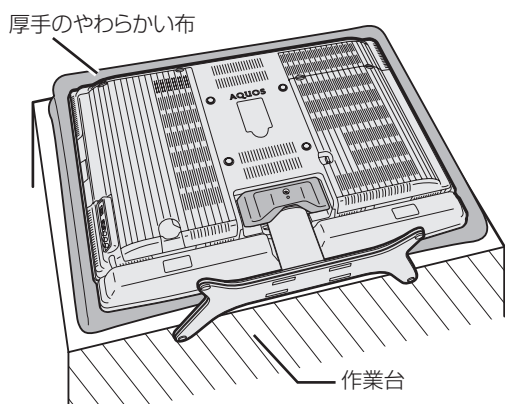
## 4 左のスピーカーを同じ要領で取り付けた後、端子カバーを取り付ける

- スピーカーを接続して電源を入れたとき、「音声の出力を停止しました。電源コードを抜いてから、接続や設置状態を確認してください。」と表示された場合は、表示にしたがって一度電源を切ってから接続を確認し、再度電源を入れてください。

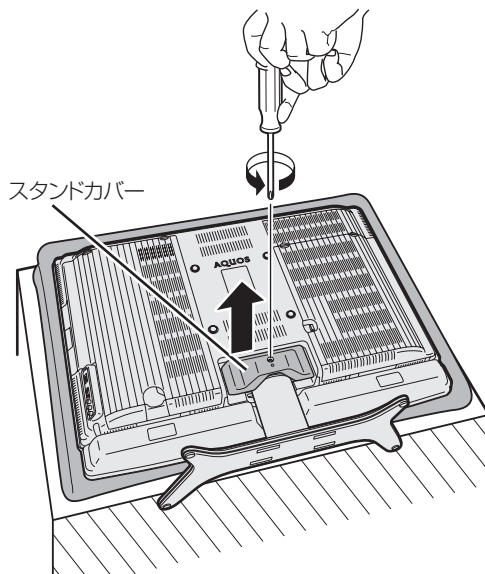
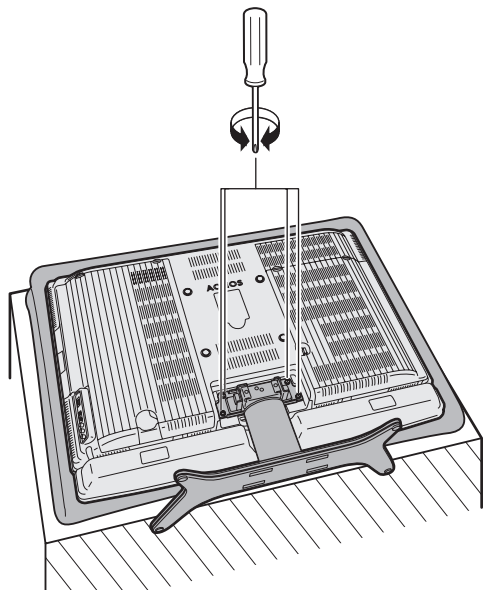
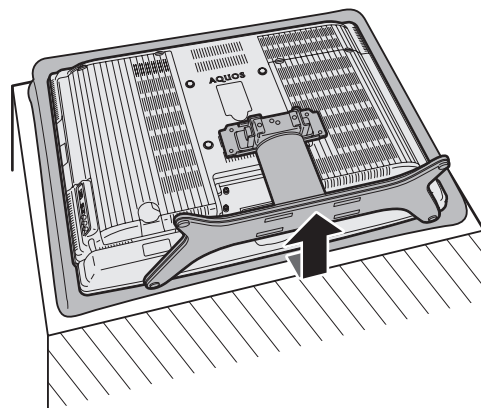
## スタンドの外しかた

■ 別売の壁掛け金具（AN-37AG2）で壁掛け設置する場合などは、付属のスタンドを外して使用します。
壁掛け設置のしかたは**197**ページをご覧ください。


- 端子カバーを外してください。（**26**ページ参照）

- 接続されているケーブル類をすべて取り外してください。
- 必ず2人以上で作業を行ってください。
- 外したスタンドは本機以外に使用しないでください。
- 外したネジは、再度スタンドを取り付ける場合に必要です。スタンドと共に保管してください。

**1** テーブルなどの台を用意し、毛布など厚手の柔らかい布を敷き、その上に本体を画面を下にして置く

**2** スタンドカバーのネジ（1箇所）を取り外したあと、スタンドカバーを取り外す

- ⊕（プラス）ドライバーを使います。

**3** スタンドのジョイントアングル部のネジ（4箇所）を取り外す

**4** スタンドを下に引いてから、上に持ち上げて取り外す

# スピーカーの外しかた　LC-37GS10

■ LC-37GS10を前方に傾けて壁掛け設置する際、下部のスピーカーが壁に当たって邪魔になる場合は、スピーカーを外すことができます。スピーカーを外す前に、スタンドを外してください。（**28**ページ）

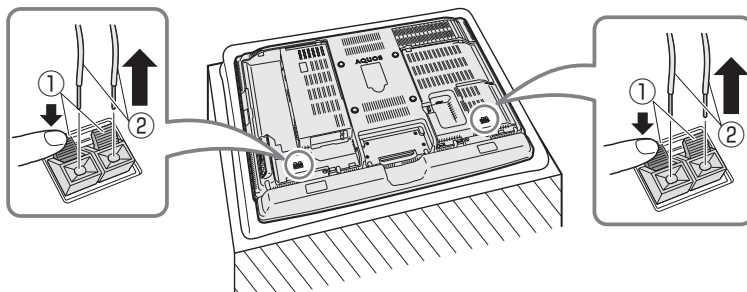
- 本機のスピーカーは取り付け･取り外しができるセパレートタイプです。
- スピーカーの取り付け･取り外しの際は、本機の電源を切ってください。
- 端子カバーおよび接続されているケーブル類をすべて取り外してください。
- テーブルなどの台を用意し、毛布など厚手の柔らかい布を敷き、その上に本機を画面を下にして置きます。
- スピーカーの取り付け･取り外しの際は、必ず2人以上で作業を行ってください。

- 本機を持ち上げたり、運んだりする場合は、スピーカーネットを強く押さないでください。

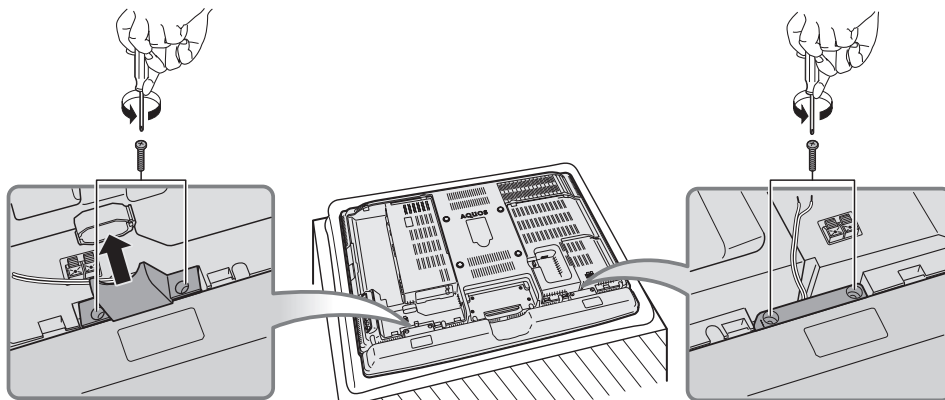
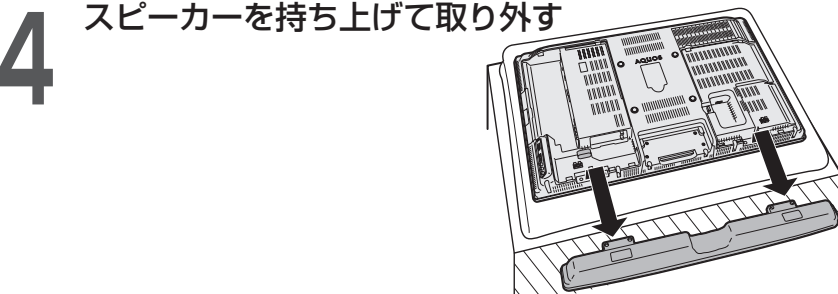
- スピーカーを取り付けるときは、逆の手順で行ってください。
- ヘッドホン接続時は、スピーカーから音声が出ません。
- お手持ちのスピーカーを本機に接続することもできます。（**132**ページ参照）
- スピーカーを外した場合は、お手持ちのスピーカーを本機に接続しないと音声が出ません。

## 1 **28**ページの「スタンドの外しかた」にしたがってスタンドを取り外す

## 2 本体のスピーカー接続端子からスピーカー線を外す

• スピーカー接続端子部のツマミを押しながら（①）、スピーカーケーブルを抜き取ります（②）。

外したスピーカーを再度取り付けるときは、スピーカーリードは接続端子の穴に対してまっすぐに挿入されるようご注意ください。リード線先端の金属部が端子の金属部に確実に接触するよう差し込んでください。

## 3 スピーカー取り付け部のネジ（左右各2箇所）を取り外す

• ⊕（プラス）ドライバーを使います。

## 4 スピーカーを持ち上げて取り外す

# 転倒防止について

**⚠注意**

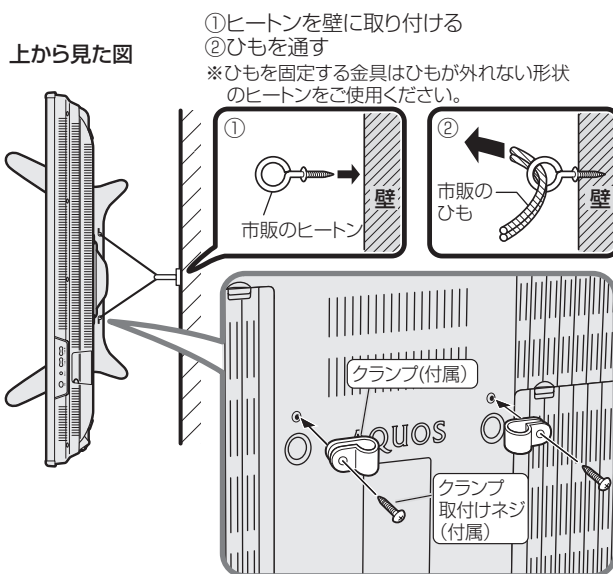
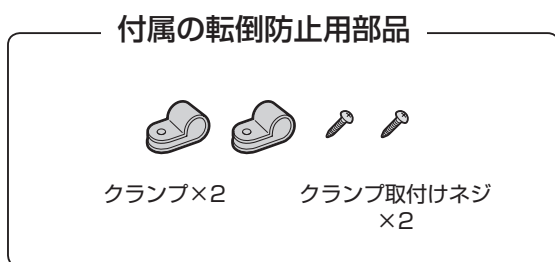
- 地震のときや衝撃などで、テレビが倒れてけがをするおそれがあります。安心してご使用いただくために、転倒防止策の実施をお願いします。
- 転倒防止を行う前にすべての接続を済ませておいてください。

## 壁や柱に固定する

**1** **付属の転倒防止用のクランプ(2個)を、付属のクランプ取付けネジで取り付ける**

**2** **市販の丈夫なひもと金具(ヒートン)を使い、壁または柱に固定する**

**付属の転倒防止用部品**

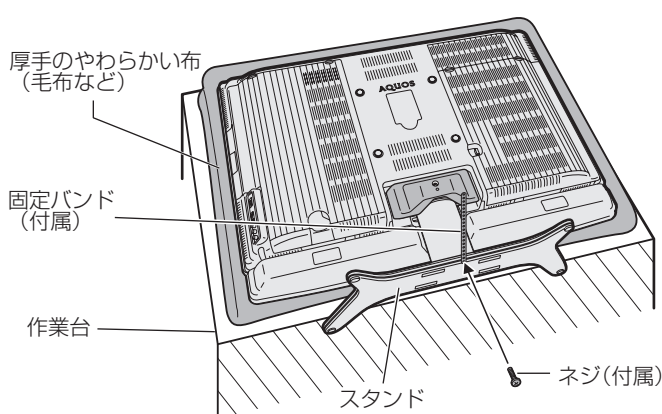
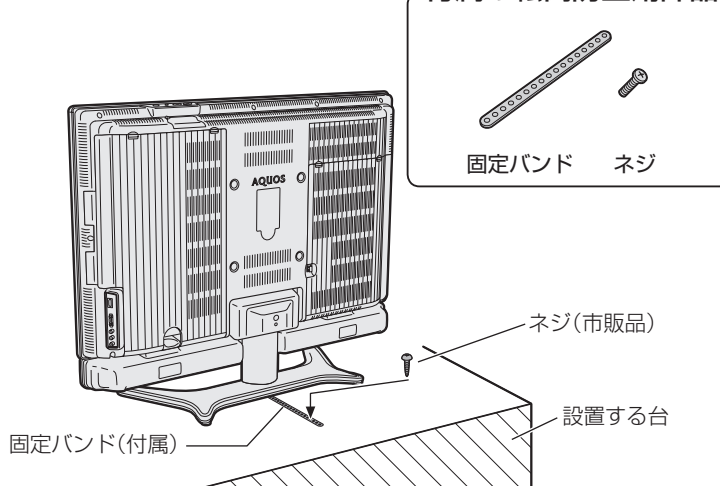
クランプ×2　　クランプ取付けネジ×2

## テレビ台に固定する

**1** **作業をする平らな台の上に厚手の柔らかい布などを敷き、その上に本機を、画面を下にしたうつ伏せの状態で置く**

**2** **スタンド底面に、付属の転倒防止用の固定バンドを、付属のネジで取り付ける**

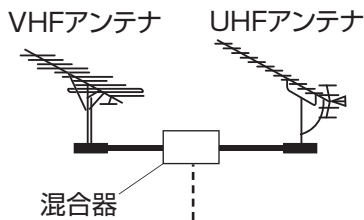
**3** **本機を起こし、設置する台などの上に位置決めする**

**4** **市販のネジを使い、固定バンドの穴に上からネジを取り付けて固定する**

※市販のネジは、確実に固定できる形状のものを使用してください。

- 本機はかなりの重量がありますので、台に設置するときは、この重さに耐える堅固なもので、かつ十分な幅と奥行のある、転倒しない台を使用してください。
- 必ず2人以上で作業を行ってください。

# アンテナや電源の接続

## 地上アナログ放送や地上デジタル放送を視聴するためのアンテナ接続

■ 地上アナログ放送と地上デジタル放送を視聴するときは、混合器をご使用ください。

★のタイプの端子をご使用の場合、画面にノイズが出るときがあります。

- アンテナ端子にビデオデッキやDVDレコーダーなどの外部機器の映像・音声出力を接続しないでください。故障の原因となります。

**地上デジタル放送を受信する場合は**

- UHF対応のアンテナを使用します。VHFアンテナでは受信できません。
  現在お使いのアンテナがUHF対応であれば、そのままご使用になれます。（※一部取り替えや調整が必要な場合もあります。また、地域によってはブースターの追加などが必要になることがあります。）

**地上デジタル放送をCATVパススルー*で受信する場合**

■ VHF／UHFアンテナと同じ接続をします。CATVによる地上デジタル放送の視聴方法については、お客さまが契約されているケーブルテレビ会社にお問い合わせください。（＊CATVパススルー…**60**ページをご覧ください。）

▼ケーブルテレビ会社

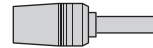
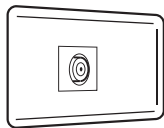
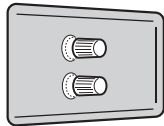
CATV

アンテナケーブル
（市販品）

▼ケーブルテレビ
ボックス

映像・音声
出力端子

ケーブル入力端子

ケーブル出力端子

付属のVHF／UHF用アンテナケーブル

アンテナ入力
（VHF・UHF）端子

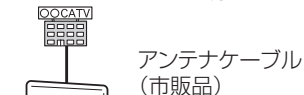
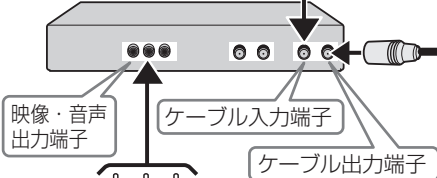
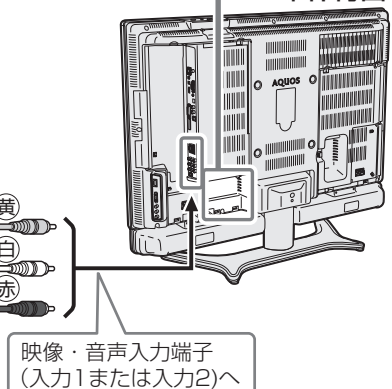
▼本体背面

映像･音声ケーブル（市販品）

黄

白

赤

映像・音声入力端子
（入力1または入力2）へ

- 接続の一例です。ケーブルテレビボックスにより接続のしかたは異なります。

# BS・110度CSデジタル 共用アンテナをつなぐ

AQUOS接続クイックガイドの手順4

## BSデジタル放送や110度CSデジタル放送を視聴するためのアンテナ接続

- アンテナ入力(BS･110度CS)端子にアンテナ線を接続するときは、必ずアンテナ電源の設定を「切」にしておいてください。(**64**ページ参照) ※工場出荷時、アンテナ電源の設定は「切」になっています。
- ブースターや分配器をご使用になる場合は、110度CS帯域(2150MHz)まで対応しているものをご使用ください。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

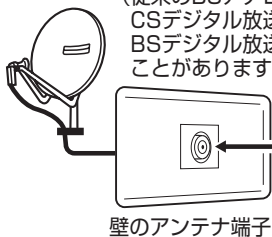
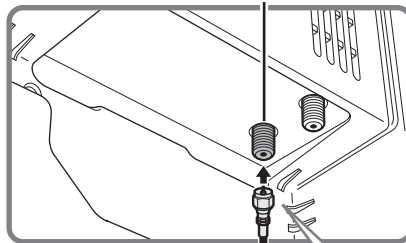
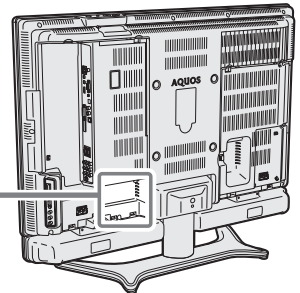
### BS・110度CS共用アンテナを個人で設置しているとき

▼本体背面

- BS・110度CS共用アンテナからの衛星放送用ケーブル（同軸ケーブル）をつなぎます。この端子は、BS・110度CSアンテナに取り付けられたBS・110度CSコンバーターに＋15V/+11Vの電源を供給する働きももっています。

市販のBS・110度CS共用アンテナ
（従来のBSアナログ用アンテナでは、110度CSデジタル放送は受信できません。また、BSデジタル放送も場合によっては映らないことがあります。）

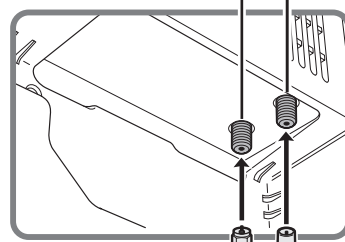
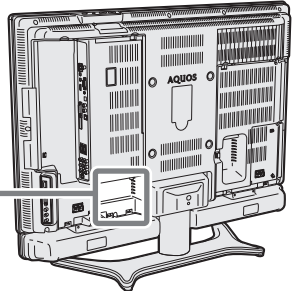
アンテナ入力（BS・110度CS）端子

壁のアンテナ端子

付属のBS・110度CS用アンテナケーブル
先端の形状：
先端に六角形の金属プラグが付いているもの
（先端金属ネジ止めタイプ）

※市販のアンテナ線を使うときは110度CS帯域（2150MHz）まで対応しているものをご使用ください。
（例：S-5C-FB）

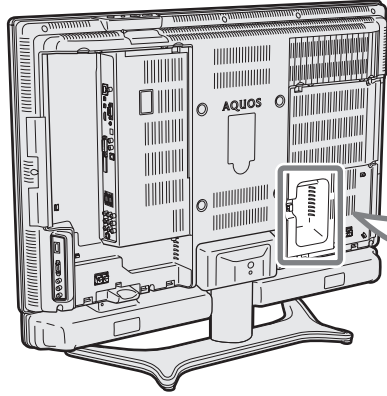
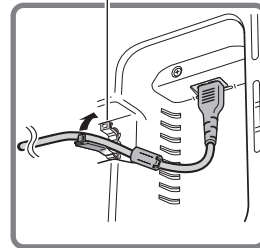
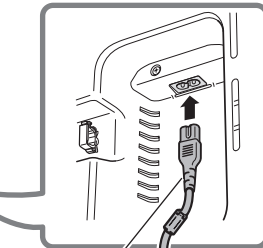
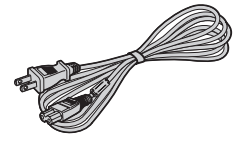
※スパナなどの工具で強く締め付けないでください。故障する場合があります。

接続後、アンテナ電源の設定を「入」または「電源連動」にします。(**64**ページ)

### マンションなどの共聴システムで接続するとき (BS・110度CSとUHF/VHFが混合されているとき)

接続後、アンテナ電源の設定が「切」になっていることを確認します。(**64**ページ)

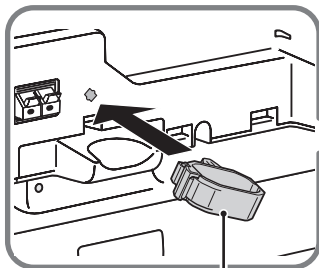
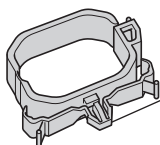
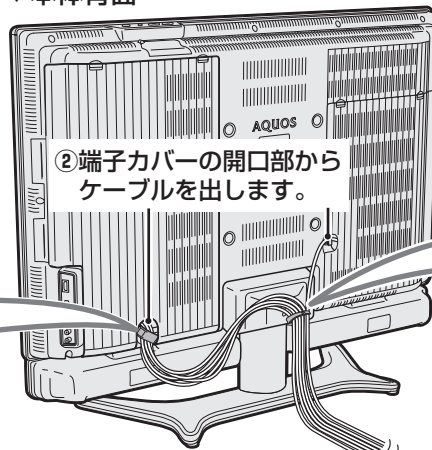
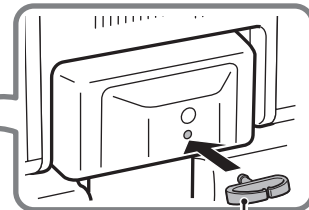
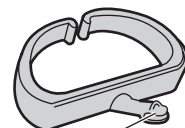
# 電源コードをつなぐ AQUOS接続クイックガイドの手順7

**ご注意** 接続が終わるまでは、電源スイッチを「入」にしないでください。

■ 付属の電源コードの本体側プラグを、本体背面右側の「AC入力 100V」端子に接続し、コンセント側プラグをご家庭のコンセントに接続します。

・本機は主電源コンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。

- 電源コードのプラグは抜けないように、確実に接続してください。
- 電源プラグは、コンセントに差し込んだ直後に抜かないでください。まれに、初期設定の状態に戻り、「番組予約」や「PPV番組の購入履歴」などが消去されます。このような場合、必要に応じて再度、設定を行ってください。（「PPV番組の購入履歴」など、再設定できないものもあります。）
- 使用中にいきなり電源プラグを抜いたり、電源をしゃ断したりしないでください。内蔵メモリーに格納されたデータがこわれることがあります。

# ケーブル処理のしかた

■ 本体背面の端子部につないだケーブル類は、下図のように、付属のケーブルクランプを使って配線すると、すっきりまとめることができます。

# 電源を入れる AQUOS接続クイックガイドの手順8

■ 各種ケーブルの接続が済んだら、本機の電源を入れます。

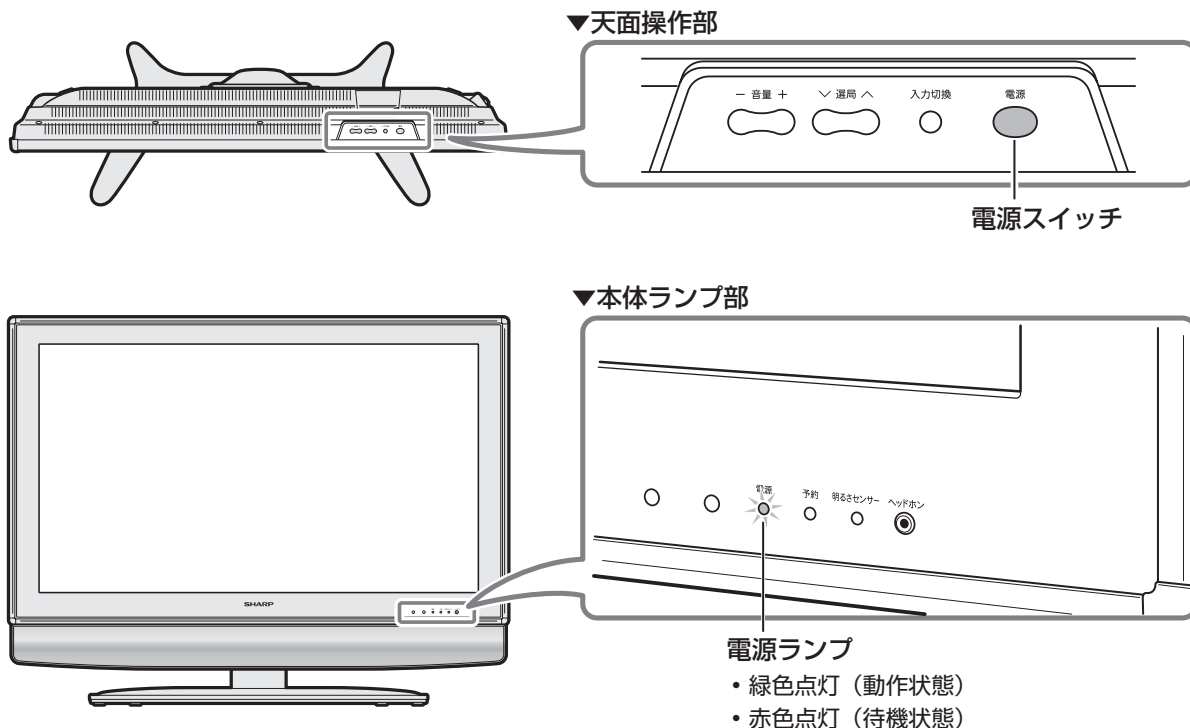
## 1 本機、天面操作部の電源スイッチを押し、電源を「入」にする

・電源ランプが緑色に点灯します。（動作状態）

▼天面操作部

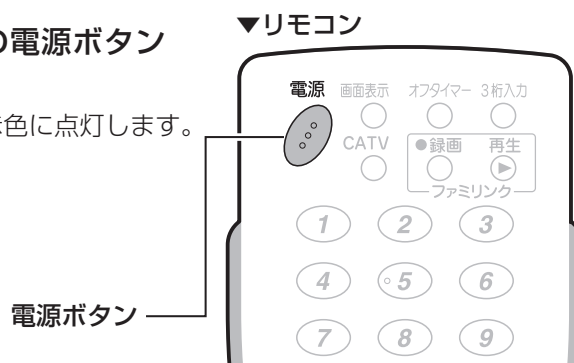
電源スイッチ

▼本体ランプ部

電源ランプ
- 緑色点灯（動作状態）
- 赤色点灯（待機状態）

## 2 電源スイッチを「入」にした後は、リモコンの電源ボタンで電源を入／切することができます

・電源「切」の状態（待機状態）のとき、電源ランプは赤色に点灯します。

▼リモコン

電源ボタン

**クイック起動機能について**

- リモコンで電源を「入」にしたとき、起動時間を短縮してすぐに操作できる状態にする機能です。（この機能を使用すると待機時の消費電力がアップしますので、あらかじめ同意の上でこの機能をご使用ください。）設定の方法は**161**ページをご覧ください。

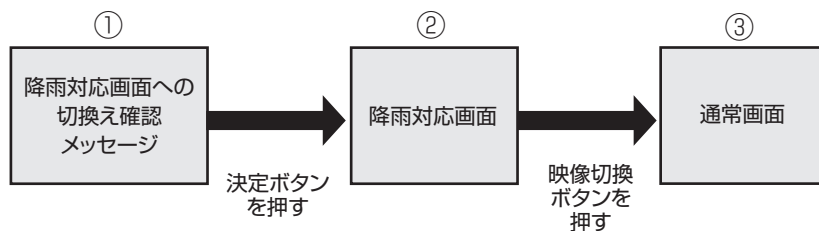
- 本機は電源待機状態のときでも、デジタル放送局と通信を行います。
- 本機の電源を「切」にしても、電源が切れるまでにしばらく時間がかかることがあります。（本機内部の情報をメモリーに記憶するための時間です。）

# 操作の前に

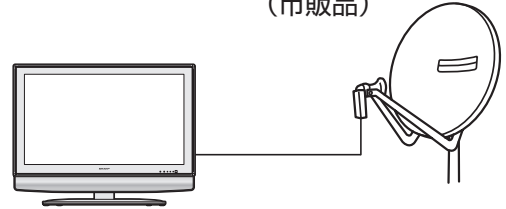
# デジタル放送について

## デジタル放送の特長

■デジタル放送には、次のような特長があります。

| | |
|---|---|
| ●高画質 | 高画質なハイビジョン放送が多く放送されています。 |
| ●高音質 | 高音質な5.1チャンネル･サラウンド音声の放送サービスがあります。 |
| ●データ放送サービス | 映像･音声以外に、文字や図形などのデータ放送サービスがあります。<br>テレビ番組に連動したサービスと、独立したデータ放送サービスがあります。 |
| ●多チャンネル放送 | 様々なジャンルの多数のチャンネルが楽しめます。 |
| ●マルチチャンネル放送 | 一つの放送局が複数の番組を放送するサービスです。 |
| ●複数音声放送 | ステレオやモノラルの2ヶ国語放送以外に、迫力ある5.1チャンネル･サラウンド音声などの放送サービスもあります。 |
| ●臨時放送(臨時編成サービス) | スポーツ中継の延長などで、臨時に行うマルチチャンネル放送です。<br>案内画面が表示されるので、決定ボタンで切り替えできます。 |
| ●イベントリレーサービス | スポーツ中継の延長時などに、別チャンネルで続きを放送するサービスです。案内画面が表示されるので、決定ボタンで切り替えできます。<br>延長された番組を録画予約していた場合、自動的に追従します。 |
| ●緊急警報放送 | 地震などの際の緊急警報放送(臨時に行うマルチチャンネル放送)です。<br>案内画面が表示されるので、決定ボタンで切り替えできます。 |
| ●マルチビューサービス | 一つの番組の中で、カメラアングルを変えて最大三つの映像が放送されるサービスです。映像切換ボタンで切り替えできます。 |
| ●降雨対応放送(BSのみ) | 衛星放送では、雨や雪により電波が減衰して放送が受信困難になる場合があります。このため、画質や音質を落として電波減衰時にも受信しやすい映像･音声を放送するサービスです。<br>電波減衰時には案内画面が表示されるので、決定ボタンで切り替えできます。元の映像へは、映像切換ボタンで戻れます。 |

# 110度ＣＳデジタル放送のアンテナについて

## アンテナについて

- 110度CSデジタル放送を受信するには、BS･110度CSデジタル放送共用のアンテナ（市販品）が必要です。**従来のCSアンテナやBSアナログ用アンテナでは受信できません。また、ブースターや分配器等をご使用になっている場合は、110度CS帯域（2150MHz）まで対応した機器に交換する必要があります。**

### お買い上げ後、はじめてＣＳチャンネルを選局するときは

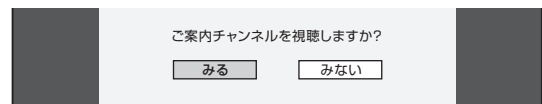
- CSネットワーク情報を取得するため、次の手順で操作してください。
  ① 放送切換ボタンの CS を押します。そのままで5秒程お待ちください。
  ② リモコンのチャンネルボタン 1 を押します。そのままで5秒程お待ちください。
  ③ 番組表を押して、選局したい放送局のチャンネル番号が表示されることを確認します。
  ④ 選局したい放送局のチャンネル番号が表示されない場合は、チャンネルボタン 1 または 2 を押し、目的のチャンネル番号が表示されるまで、再度5秒程度お待ちください。

# 110度ＣＳデジタル放送の専用サービス

110度CSデジタル放送では、つぎのような専用サービスがあります。

## ■ ご案内チャンネルの表示

お客さまが、未契約の有料放送事業者の放送番組を選局したとき、「視聴するには契約登録が必要」である旨の案内表示に加え、代替番組の視聴案内が表示されます。

（画面例）

## ■ ブックマーク

コンテンツ画面にブックマークアイコン※が表示されているときは、その情報（ブックマーク記録コンテンツ）を登録しておき、後でブックマークを一覧表示･選択して、関連チャンネルを呼び出したりすることができます。

※「ブックマーク」とは、しおりのことです。画面によっては、特定のページを表示するためのアイコン（絵文字）が表示されます。それが「ブックマークアイコン」です。

## ■ ボード（掲示板）

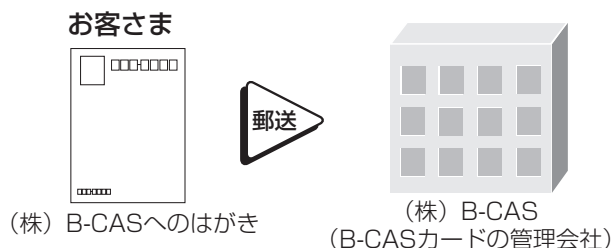
プラットフォーム（e2 by スカパー！、WOWOWデジタルプラス）単位で、いろいろなサービス情報の案内がボード（掲示板）に表示されます。メニューの「お知らせ」からボード画面を呼び出し、サービス情報を見ることができます。
詳しくは**174**ページをご覧ください。

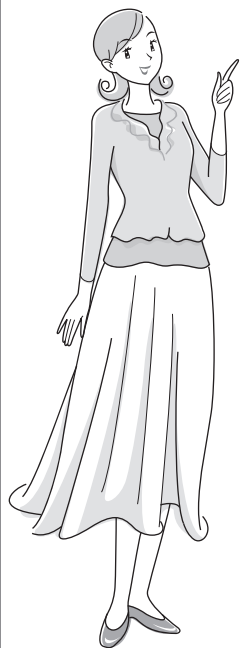
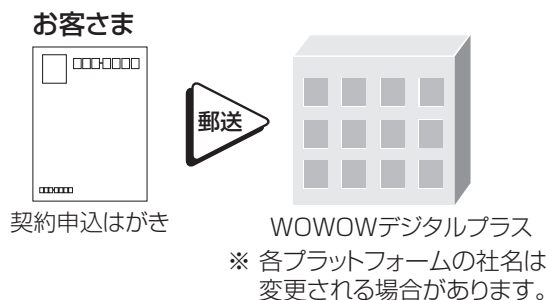
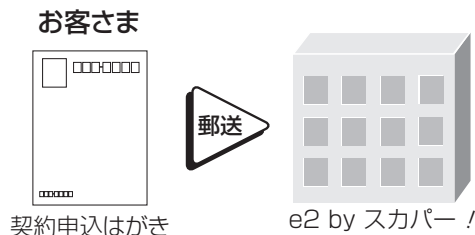
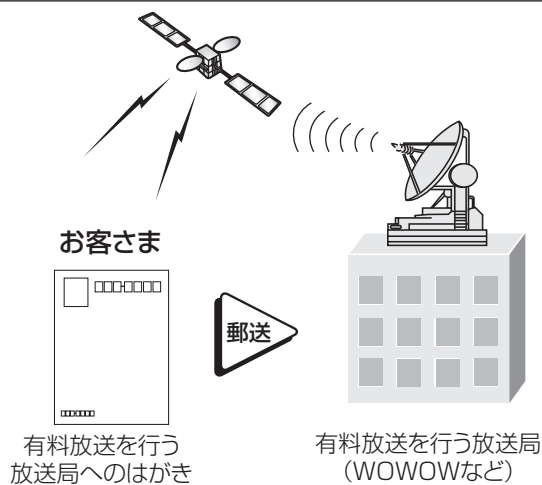
（画面例）

## ＢＳ・110度ＣＳデジタル放送の有料放送を視聴するための手続き

■ BSデジタル放送の有料放送（WOWOW、スターチャンネル）や110度CSデジタル放送を視聴するには、つぎの2つの手続きが必要です。

### ①（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにB-CASカードの登録をする

（（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズを略して（株）B-CASと呼びます。）
B-CASカードの台紙の一部が登録用はがきになっています。必要事項をご記入の上、投函してください。
詳しくは、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターにお問い合わせください。

### ②視聴したい放送局やプラットフォーム（運営会社）に申し込む

110度CSデジタル放送は有料放送です（一部、無料放送もあります）。視聴するためには、各プラットフォーム（e2 by スカパー！、WOWOWデジタルプラス）※と個別に契約することが必要です。
契約したいプラットフォームの契約申込書に必要事項をご記入のうえ、投函してください。
詳しくは、e2 by スカパー！、WOWOWデジタルプラスのカスタマーセンターにお問い合わせください。

BSデジタル放送や110度CSデジタル放送には無料放送と有料放送（WOWOWなど）があります。有料放送を視聴したいときは、必ず視聴手続きをしてください。未契約の場合は、視聴および録画はできません。

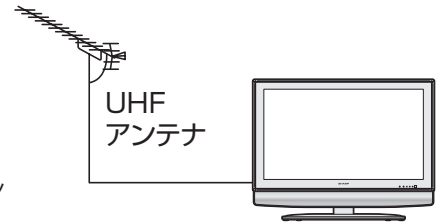
※ 各プラットフォームの社名は変更される場合があります。

・本機は、契約データの受信のために、電源「入」以外のときでも一時的に動作することがあります。（この場合、画像が表示されたり音声が出たりはしません。）

## 地上デジタル放送について

■ 高品質な映像と音声、テレビ番組に連動したデータ放送など、いままでの地上アナログ放送にはなかった新しい放送サービスです。

### アンテナについて

・地上デジタル放送の受信には、UHF対応のアンテナを使用します。現在お使いのアンテナがUHF対応であれば、そのままご使用になれます。（※一部取り替えや調整が必要な場合もあります。）VHFアンテナでは受信できません。ご使用のアンテナがVHFアンテナのみの場合は、UHFアンテナの追加が必要になります。
（ ご注意 : アンテナ工事は、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。）

### アナログ放送からデジタル放送への移行について

・地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大都市圏の一部で2003年12月から開始され、2007年2月現在、全国の都道府県庁所在地で開始された新しい放送です。受信可能エリアは、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

### 地上デジタル放送のCATV放送対応について

・本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は「パススルー方式」（UHF帯、ミッドバンド［MID］帯、スーパーハイバンド［SHB］帯、VHF帯）です。※トランスモジュレーション方式には対応していません。

・データ放送（BSデジタル／110度CSデジタル／地上デジタル）の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化･消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

・ARIB放送規格の変更により、メニュー等の仕様が変わる場合があります。

# メニューについて

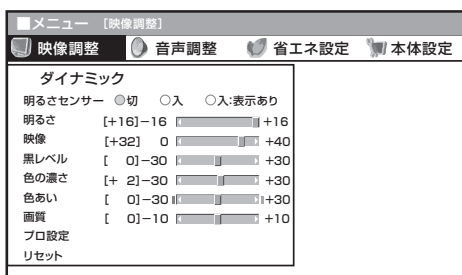
■ テレビ画面にメニューを表示させて、リモコン操作で映像や音声などの調整や各種機能の設定ができます。ここではメニューの基本的な使いかたについて説明します。

## メニューの基本操作

▼リモコン

（例：番組表取得設定を行う場合）

**1** (メニュー) を押し、メニュー画面を表示する

▼メニュー画面

**2** ① (カーソルボタン)を押し、項目を選ぶ

② (決定)を押し、先に進んだり、選んだ項目を確定する

• 数値を変更するときは、(◀▶)で変更します。

**ガイド表示**
表示されている画面の操作方法を案内しています。
操作が分からなくなったときにご活用ください。

**メニュー画面を消したいときは**

• (メニュー) または (終了) を押します。
• メニュー画面表示中に、約1分間何も操作しない場合も消えます。

**一つ前の画面に戻りたいときは**

• (戻る) を押します。

• 条件によりメニュー項目に⃠マークがつき、灰色で表示される場合がありますが、その項目は選択することができません。
• メニュー画面の表示内容は変更される場合があります。

**メニュー言語の切換えについて**

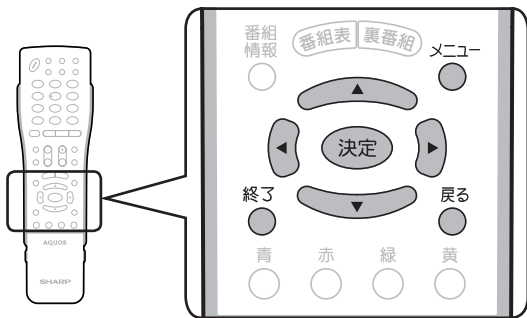
• メニューを英語で表示することもできます。日本語／英語の切換えの操作方法については、**44**ページをご覧ください。
• See page **44** if you wish to display menu screens in English.

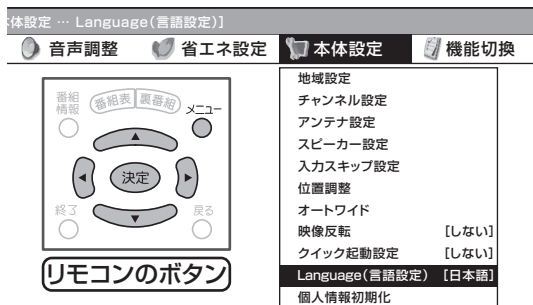
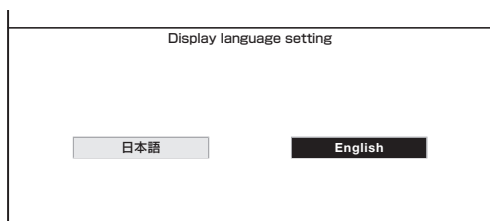
# メニュー項目の一覧 （入力5～入力7選択時は、メニュー項目が多少異なります。→192ページ）

| ■メニュー | | |
|---|---|---|
| **映像調整**※1<br>映像をお好みの状態に調整する項目です。 | 明るさセンサー／明るさ／映像／黒レベル／色の濃さ／色あい／画質 …… **150・151**ページ<br>プロ設定 …… **151**ページ | |
| **音声調整**※1<br>音声をお好みの状態に調整する項目です。 | 高音／低音／バランス …… **153**ページ<br>サラウンド …… **153**ページ | |
| **省エネ設定**<br>電力資源を有効に使用するための省エネ機能を設定する項目です。 | 無信号オフ …… **162**ページ<br>無操作オフ …… **162**ページ<br>オフタイマー …… **162**ページ | |
| **本体設定**<br>使用環境に合わせた設置調整に関する機能の項目です。 | 地域設定※2 …… **58**ページ<br>チャンネル設定※2 …… **47・60**ページ<br>アンテナ設定※2 …… **64**ページ<br>スピーカー設定 …… **132・156**ページ<br>入力スキップ設定 . **105・107**ページ<br>入力表示選択※3 …… **117**ページ | 位置調整 …… **148**ページ<br>オートワイド …… **146**ページ<br>映像反転 …… **148**ページ<br>クイック起動設定…… **161**ページ<br>Language（言語設定）……**44**ページ<br>個人情報初期化 …… **189**ページ |
| **機能切換**<br>本機のいろいろな機能の設定項目です。 | ファミリンク設定 …… **168**ページ<br>3次元ノイズリダクション※4 …… **152**ページ<br>MPEGノイズリダクション※4 …… **152**ページ<br>入力選択※5 …… **116**ページ | 入力4端子設定 …… **114**ページ<br>QS駆動 …… **152**ページ<br>センタースピーカー入力 . **133**ページ<br>デジタル固定※2 …… **115**ページ<br>字幕表示設定※2 …… **171**ページ<br>番組名表示設定※2 …… **171**ページ<br>映像オフ …… **152**ページ |
| **デジタル設定**<br>デジタル放送を視聴するための設定項目です。 | 録画画面サイズ設定※2 …… **170**ページ<br>デジタル音声設定※2 …… **131**ページ<br>ダウンロード設定※2 …… **188**ページ<br>番組表設定※2 ……**84**ページ<br>通信設定※2 ……**68～70・177**ページ<br>ビデオ連動録画設定※2…… **111**ページ | i.LINK設定 …… **120**ページ<br>暗証番号設定※2 …… **172**ページ<br>視聴年齢制限設定※2…… **172**ページ<br>PPV設定※2…… **172**ページ<br>双方向サービス設定※2…… **176**ページ<br>システム動作テスト※2……**71**ページ |
| **お知らせ**<br>本機が受信したメッセージなどを確認するための項目です。 | 受信メッセージ一覧 …… **174**ページ<br>ボード …… **174**ページ<br>受信機レポート …… **174**ページ<br>B-CASカード番号表示 …… **174**ページ<br>PPV購入履歴 …… **174**ページ | |

※1 AVポジションごとに設定できます。また、AVポジションごとに工場出荷時の設定が異なります。
※2 テレビ視聴時のみ表示されます。
※3 入力1～7選択時のみ表示され、それぞれで設定できます。
　現在選択されている入力により、表示項目が異なります。
※4 各入力系統で設定できます。
※5 入力1～4 ,7選択時のみ表示され、それぞれで設定できます。
- 条件によりメニュー項目に⃠マークがつき、灰色で表示される場合がありますが、その項目は選択することができません。

## メニューなどの表示言語を選ぶ

■ メニューなどの画面表示を日本語にするか英語にするか選ぶことができます。

［例］表示言語を英語にする

**1** メニュー画面から「本体設定」ー「Language（言語設定）」を選び、決定を押す

**2** ◀▶で「English」を選び、決定を押す

・画面表示が英語になります。

**操作終了する場合は**

**メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す**

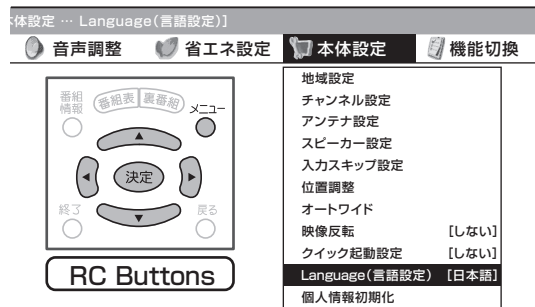
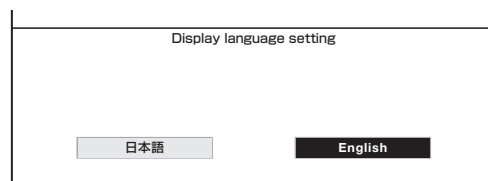
・1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

## Switching the Display Language to English

■ Using the menu screen, you can switch the on-screen display language to English.

**1** ① **Press メニュー (menu) to display the menu screen.**

② **Press ◀▶ to select "本体設定" (Setup).**

**2** **Press ▲▼ to select "Language (言語設定)", then press 決定 (enter).**

**3** **Press ◀▶ to select "English", then press 決定 (enter).**

・The menu screen is now displayed in English.

**To finish this operation**

**Press メニュー (menu) or 終了 (finish) to return to normal screen.**

・Press 戻る to return to the previous screen.

# 受信設定

# 受信設定について

■「地上アナログ放送」が見たい場合は、下の「地上アナログ放送の受信設定」の設定を行ってください。
■「地上デジタル放送」が見たい場合は、下の「デジタル放送の受信設定」の1〜3の設定を行ってください。
■「BS・110度CSデジタル放送」が見たい場合は、下の「デジタル放送の受信設定」の1・4の設定を行ってください。
■「デジタル放送の有料番組や双方向通信を楽しみたい」場合は、下の「デジタル放送の受信設定」の5と、「双方向通信を利用する」(**175**ページ)の設定を行ってください。

## 地上アナログ放送の受信設定

■ 従来のVHF・UHF放送の受信設定です。工場出荷時は、東京地区で受信できるVHFチャンネルが設定されています。受信設定の方法には**「自動」「地域番号」「追加」「個別」**の4つの方法があります。

● 初めて設定するときや引越しなどで再設定するとき
**「地上アナログー自動」**(**47**ページ)

● 自動設定で見たいチャンネルがすべて受信できず、お住まいの地域の地域番号を一覧表から選んで設定するとき
**「地上アナログー地域番号」**(**47**ページ)

● 地域番号設定の後、空きチャンネルに自動で追加登録するとき
**「地上アナログー追加」**(**47**ページ)

● 1局ずつ設定するときやスキップ設定するとき
**「地上アナログー個別」**(**54**ページ)

## デジタル放送の受信設定

■ B-CASカード(**56**ページ)を登録・挿入してから、地域設定とチャンネル設定をしてください。
■ デジタル放送の受信設定の流れは、次のとおりです。

### 1. B-CASカードを登録・挿入する(56ページ)

・デジタル放送を視聴するときには、B-CASカードを必ず登録・挿入してください。

### 2. 地域設定をする(58ページ)

・地上デジタル放送の受信や、お住まいの地域に向けた情報を視聴するために必要な設定です。

### 3. 地上デジタル放送のチャンネル設定をする(60ページ)

・地上デジタル放送の受信や、地域情報を視聴するために必要な設定です。

● 初めて設定するときや引越しなどで再設定するとき
**「地上デジタルー自動」**(**61**ページ)

● 自動設定の後、空きチャンネルに自動で追加登録するとき
**「地上デジタルー追加」**(**61**ページ)

● 1局ずつ設定するときや、スキップ設定するとき
**「地上デジタルー個別」**(**62**ページ)

### 4. BS・110度CSデジタル放送のための設定(アンテナ設定)(64ページ)

・BS・110度CSデジタル共用アンテナを初めて設置したときや、引越しなどでデジタル放送用アンテナを移動したときに必要な設定です。

### 5. デジタル放送の双方向通信のための設定(66ページ)

・デジタル放送の双方向番組に参加したい場合や有料放送を受信したい場合に必要な設定です。

### 6. システム動作テスト(71ページ)

・B-CASカードが正しく挿入されているか、電話回線が正しく接続されているかをテストできます。

### 7. BS・110度CSデジタル放送のチャンネルスキップ設定(72ページ)

・選局(∧順/∨逆)ボタンで選局するときに、視聴しないBS・110度CSデジタルチャンネルを飛ばして見たい場合に設定します。

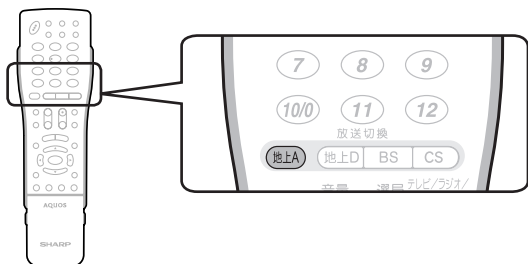
# 地上アナログ放送のチャンネルを設定する AQUOS接続クイックガイドの手順9

## 初めて地上アナログ放送のチャンネルを設定する

■ 使用する地域の、現在の電波状態で受信できるVHFとUHFの放送電波（チャンネル）を自動的にキャッチして、記憶させることができます。
初めてチャンネル設定するときには、この操作を行ってください。

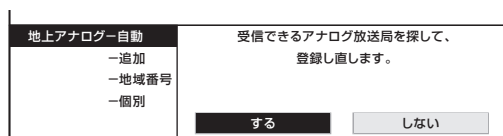
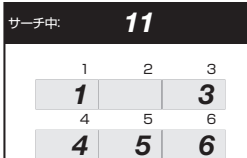
■ 記憶できるチャンネルは、最大12局です。記憶された局の1～12チャンネルは、リモコンのチャンネルボタン（1～12）で選局できます。

- 2回目以降にこの操作を行ったときは、現在登録されているチャンネルを消して新たに登録しなおします。

**1** 地上Aを押し、地上アナログ放送を選ぶ

**2** メニュー画面から「本体設定」－「チャンネル設定」を選び、決定を押す

**3** 「地上アナログ」で決定を押す

**4** ① ▲▼で「地上アナログー自動」を選び、決定を押す

② ◀▶で「する」を選び、決定を押す

**5**
- 自動チャンネル設定が始まり、画面左上に「サーチ中」が表示されます。
- 見つかった放送チャンネルが表示されていきます。
- 放送チャンネルが1つも見つからなかった場合は、サーチ開始前に設定されていたチャンネルが表示されます。

- チャンネル設定が終わると「登録しました」と表示され、しばらくすると手順**2**の状態に戻ります。これで、探し出されたチャンネルが記憶されました。

- 登録完了まで電源を切らないでください。

**「地上アナログー地域番号」について**

- 「地上アナログー自動」を行っても見たいチャンネルがすべて受信できなかった場合、「地域番号早見表」（**48**･**49**ページ）、「地域番号一覧表」（**50**～**53**ページ）で都市名･放送局名･受信チャンネルを確認し、手順**4**の①で「地上アナログー地域番号」を選びます。お住まいの地域にもっとも近い都市名の地域番号を数字ボタンで入力し、「開始」で決定ボタンを押します。

**「地上アナログー追加」について**

- 空きチャンネルに追加できる放送局がないかどうかを自動で探したい場合、手順**4**の①で「地上アナログー追加」を選びます。見つかったチャンネルが画面右側に表示されていきます。

# 地上アナログ放送のチャンネルを設定する（つづき）

- 地域番号一覧表（**50**～**53**ページ）に掲載されている都市の近郊にお住まいの場合、掲載されているチャンネルと放送局名が、現在受信しているチャンネルと一致している場合は、その都市の地域番号で設定してください。
- 地域番号による設定は、お住まいの都市の中でも地域によって受信チャンネルが異なり、設定しても受信できない場合があります。このときは、「地上アナログ一追加」（**47**ページ）もしくは個別設定（**54**ページ）をしてください。
- 地域番号を設定したときに、地域番号一覧表（**50**～**53**ページ）に放送局名が記載されていないチャンネルは、自動的にチャンネルスキップされます。（地域番号「000」は除く）

**メニュー画面について**

- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

- 地域番号設定をした後、「地上アナログ一追加」を実行すると、受信できる放送局が増える場合があります。（UHF放送が受信できる地域など）

## 地域番号早見表

| 五十音 | 都市名 | 地域番号 |
|---|---|---|
| あ | 会津若松市 | 021 |
| | 青森市 | 010 |
| | 明石市 | 063 |
| | 昭島市 | 030 |
| | 秋田市 | 015 |
| | 阿久根市 | 095 |
| | 上尾市 | 027 |
| | 朝霞市 | 027 |
| | 旭川市 | 002 |
| | 足利市 | 027 |
| | 厚木市 | 033 |
| | 網走市 | 001 |
| | 我孫子市 | 029 |
| | 尼崎市 | 061 |
| | 安城市 | 054 |
| い | 飯田市 | 045 |
| | 池田市 | 061 |
| | 生駒市 | 061 |
| | 石巻市 | 014 |
| | 和泉市 | 061 |
| | 伊勢崎市 | 025 |
| | 伊丹市 | 061 |
| | 市川市 | 029 |
| | 一宮市 | 054 |
| | 市原市 | 029 |
| | 茨木市 | 061 |
| | 今治市 | 081 |
| | 入間市 | 027 |
| | いわき市 | 020 |
| | 岩国市 | 077 |
| う | 宇治市 | 060 |
| | 宇都宮市 | 101 |
| | 宇部市 | 076 |
| | 浦安市 | 029 |
| え | 海老名市 | 033 |
| | 江別市 | 001 |
| お | 青梅市 | 030 |
| | 大分市 | 091 |
| | 大垣市 | 047 |
| | 大阪市 | 061 |
| | 大館市 | 016 |
| | 大津市 | 058 |
| | 大牟田市 | 086 |
| | 岡崎市 | 054 |
| | 岡山市 | 070 |
| | 沖縄市 | 096 |
| お | 小樽市 | 007 |
| | 小田原市 | 035 |
| | 帯広市 | 005 |
| | 小山市 | 027 |
| か | 各務原市 | 106 |
| | 加古川市 | 063 |
| | 鹿児島市 | 094 |
| | 橿原市 | 065 |
| | 柏市 | 029 |
| | 春日井市 | 054 |
| | 春日部市 | 027 |
| | 門真市 | 061 |
| | 金沢市 | 041 |
| | 鎌倉市 | 033 |
| | 刈谷市 | 054 |
| | 川口市 | 027 |
| | 川越市 | 027 |
| | 川崎市 | 033 |
| | 河内長野市 | 061 |
| | 川西市 | 064 |
| き | 木更津市 | 029 |
| | 岸和田市 | 061 |
| | 北九州市 | 084 |
| | 北見市 | 009 |
| | 岐阜市 | 047 |
| | 京都市1 | 060 |
| | 京都市2 | 098 |
| | 桐生市 | 102 |
| く | 釧路市 | 004 |
| | 熊谷市 | 103 |
| | 熊本市 | 090 |
| | 倉敷市 | 070 |
| | 久留米市 | 085 |
| | 呉市 | 073 |
| こ | 高知市 | 082 |
| | 甲府市 | 043 |
| | 神戸市 | 061 |
| | 郡山市 | 019 |
| | 小金井市 | 030 |
| | 越谷市 | 027 |
| | 小平市 | 030 |
| | 小牧市 | 054 |
| | 小松市 | 041 |
| さ | さいたま市 | 027 |
| | 堺市 | 061 |
| | 佐賀市 | 087 |

| 五十音 | 都市名 | 地域番号 |
|---|---|---|
| さ | 酒田市 | 018 |
| | 相模原市 | 033 |
| | 佐倉市 | 029 |
| | 佐世保市 | 089 |
| | 札幌市 | 001 |
| | 座間市 | 033 |
| | 狭山市 | 027 |
| し | 静岡市 | 049 |
| | 下関市 | 075 |
| | 周南市 | 074 |
| | 上越市 | 038 |
| す | 吹田市 | 061 |
| | 鈴鹿市 | 057 |
| せ | 瀬戸市 | 054 |
| | 仙台市 | 013 |
| そ | 草加市 | 027 |
| た | 大東市 | 061 |
| | 高岡市 | 040 |
| | 高崎市 | 025 |
| | 高槻市 | 061 |
| | 高松市 | 078 |
| | 宝塚市 | 061 |
| | 立川市 | 030 |
| | 多摩市 | 105 |
| ち | 茅ケ崎市 | 034 |
| | 千葉市 | 029 |
| | 調布市 | 030 |
| つ | 津市 | 057 |
| | つくば市 | 029 |
| | 土浦市 | 029 |
| | 鶴岡市 | 018 |
| と | 東京２３区 | 030 |
| | 徳島市 | 097 |
| | 所沢市 | 027 |
| | 鳥取市 | 067 |
| | 苫小牧市 | 006 |
| | 富山市 | 039 |
| | 豊川市 | 055 |
| | 豊田市 | 056 |
| | 豊中市 | 061 |
| | 豊橋市 | 055 |
| | 富田林市 | 061 |
| な | 長岡市 | 037 |
| | 長崎市 | 088 |
| | 長野市 | 044 |
| | 流山市 | 029 |
| | 名古屋市 | 054 |
| | 那覇市 | 096 |
| | 奈良市 | 065 |
| | 習志野市 | 029 |
| に | 新潟市 | 037 |
| | 新座市 | 027 |
| | 新居浜市 | 080 |
| | 西宮市 | 061 |
| ぬ | 沼津市 | 052 |
| ね | 寝屋川市 | 061 |
| の | 野田市 | 029 |
| | 延岡市 | 093 |
| は | 函館市 | 003 |
| | 秦野市 | 036 |
| | 八王子市 | 104 |
| は | 八戸市 | 011 |
| | 羽曳野市 | 061 |
| | 浜田市 | 069 |
| | 浜松市 | 050 |
| | 半田市 | 054 |
| ひ | 東大阪市 | 061 |
| | 東久留米市 | 030 |
| | 東村山市 | 030 |
| | 彦根市 | 059 |
| | 日立市 | 023 |
| | ひたちなか市 | 022 |
| | 日野市 | 030 |
| | 姫路市 | 062 |
| | 枚方市 | 061 |
| | 平塚市 | 034 |
| | 弘前市 | 010 |
| | 広島市 | 071 |
| ふ | 福井市 | 042 |
| | 福岡市 | 083 |
| | 福島市 | 019 |
| | 福山市 | 072 |
| | 藤枝市 | 053 |
| | 藤沢市 | 033 |
| | 富士市 | 051 |
| | 富士宮市 | 051 |
| | 府中市（東京） | 030 |
| | 船橋市 | 029 |
| へ | 別府市 | 091 |
| ほ | 防府市 | 074 |
| ま | 前橋市 | 025 |
| | 町田市 | 033 |
| | 松江市 | 068 |
| | 松阪市 | 057 |
| | 松戸市 | 029 |
| | 松原市 | 061 |
| | 松本市 | 046 |
| | 松山市 | 079 |
| み | 三郷市 | 027 |
| | 三島市 | 052 |
| | 三鷹市 | 030 |
| | 水戸市 | 022 |
| | 都城市 | 092 |
| | 宮崎市 | 092 |
| む | 武蔵野市 | 030 |
| | 室蘭市 | 008 |
| も | 盛岡市 | 012 |
| | 守口市 | 061 |
| や | 矢板市 | 100 |
| | 焼津市 | 049 |
| | 八尾市 | 061 |
| | 八千代市 | 029 |
| | 八代市 | 090 |
| | 山形市 | 017 |
| | 山口市 | 074 |
| | 大和市 | 033 |
| よ | 横須賀市 | 033 |
| | 横浜市 | 033 |
| | 四日市市 | 057 |
| | 米子市 | 068 |
| わ | 和歌山市 1 | 107 |
| | 和歌山市 2 | 099 |

- 工場出荷時は、地域番号「000」に設定されています。

# 地上アナログ放送のチャンネルを設定する（つづき）

## 地域番号一覧表

| 都道府県 | 都市名 | 地域番号 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | リモコン番号 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 都道府県 | 都市名 | 地域番号 | 受信チャンネル／放送局名 | | | | | | | | | | | |
| 工場出荷時設定 | | 000 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 北海道 | 札幌 | 001 | 1 | 2 | 3 | 17 | 5 | 6 | 27 | 8 | 35 | 10 | 11 | 12 |
| | | | 北海道放送 | | NHK 総合 | テレビ北海道 | 札幌テレビ | | 北海道文化放送 | | 北海道テレビ | | | NHK 教育 |
| | 旭川 | 002 | 1 | 2 | 33 | 37 | 39 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | | NHK 教育 | テレビ北海道 | 北海道文化放送 | 北海道テレビ | | 札幌テレビ | | NHK 総合 | | 北海道放送 | |
| | 函館 | 003 | 21 | 27 | 35 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | テレビ北海道 | 北海道文化放送 | 北海道テレビ | NHK 総合 | | 北海道放送 | | | | NHK 教育 | | 札幌テレビ |
| | 釧路 | 004 | 1 | 2 | 39 | 41 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | | NHK 教育 | 北海道テレビ | 北海道文化放送 | | | 札幌テレビ | | NHK 総合 | | 北海道放送 | |
| | 帯広 | 005 | 32 | 2 | 34 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | 北海道文化放送 | | 北海道テレビ | NHK 総合 | | 北海道放送 | | | | 札幌テレビ | | NHK 教育 |
| | 苫小牧 | 006 | 47 | 49 | 51 | 53 | 55 | 57 | 61 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | テレビ北海道 | NHK 教育 | NHK 総合 | 北海道文化放送 | 北海道放送 | 札幌テレビ | 北海道テレビ | | | | | |
| | 小樽 | 007 | 24 | 2 | 26 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | テレビ北海道 | NHK 教育 | 北海道文化放送 | 北海道テレビ | | | 札幌テレビ | | 北海道放送 | | NHK 総合 | |
| | 室蘭 | 008 | 1 | 2 | 29 | 37 | 39 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | | NHK 教育 | テレビ北海道 | 北海道文化放送 | 北海道テレビ | | 札幌テレビ | | NHK 総合 | | 北海道放送 | |
| | 北見 | 009 | 1 | 2 | 3 | 4 | 59 | 61 | 7 | 8 | 9 | 10 | 53 | 12 |
| | | | | NHK 教育 | | | 北海道文化放送 | 北海道テレビ | 札幌テレビ | | NHK 総合 | | 北海道放送 | |
| 青森 | 青森 | 010 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 38 | 8 | 34 | 10 | 11 | 12 |
| | | | 青森放送テレビ | | NHK 総合 | | NHK 教育 | | 青森テレビ | | 青森朝日放送 | | | |
| | 八戸 | 011 | 1 | 2 | 33 | 4 | 31 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | | | 青森テレビ | | 青森朝日放送 | | NHK 教育 | | NHK 総合 | | 青森放送テレビ | |
| 岩手 | 盛岡 | 012 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 31 | 35 | 11 | 33 |
| | | | | | | NHK 総合 | | IBC テレビ | | NHK 教育 | 岩手朝日テレビ | テレビ岩手 | | めんこいテレビ |
| 宮城 | 仙台 | 013 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 32 | 8 | 34 | 10 | 11 | 12 |
| | | | 東北放送 | | NHK 総合 | | NHK 教育 | | 東日本放送 | | 宮城テレビ | | | 仙台放送 |
| | 石巻 | 014 | 59 | 2 | 51 | 4 | 49 | 6 | 61 | 8 | 55 | 10 | 11 | 57 |
| | | | 東北放送 | | NHK 総合 | | NHK 教育 | | 東日本放送 | | 宮城テレビ | | | 仙台放送 |
| 秋田 | 秋田 | 015 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 31 | 11 | 37 |
| | | | | NHK 教育 | | | | | | | NHK 総合 | 秋田朝日放送 | 秋田放送テレビ | 秋田テレビ |
| | 大館 | 016 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 59 | 11 | 57 |
| | | | | (NHK 教育) | | (NHK 総合) | | (秋田放送テレビ) | | NHK 教育 | NHK 総合 | 秋田朝日放送 | 秋田放送テレビ | 秋田テレビ |
| 山形 | 山形 | 017 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 36 | 30 | 8 | 9 | 10 | 11 | 38 |
| | | | | | | NHK 教育 | | テレビユー山形 | さくらんぼテレビ | NHK 総合 | | 山形放送 | | 山形テレビ |
| | 鶴岡 | 018 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 39 | 9 | 22 | 11 | 24 |
| | | | 山形放送 | | NHK 総合 | | | NHK 教育 | | 山形テレビ | | テレビユー山形 | | さくらんぼテレビ |
| 福島 | 福島 | 019 | 1 | 2 | 31 | 4 | 33 | 6 | 35 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | | NHK 教育 | テレビユー福島 | | 福島中央テレビ | | 福島放送 | | NHK 総合 | | 福島テレビ | |
| | いわき | 020 | 1 | 62 | 3 | 4 | 5 | 58 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 60 |
| | | | | テレビユー福島 | | NHK 総合 | | 福島中央テレビ | | 福島テレビ | | NHK 教育 | | 福島放送 |
| | 会津若松 | 021 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 47 | 9 | 37 | 11 | 41 |
| | | | NHK 総合 | | NHK 教育 | | | 福島テレビ | | テレビユー福島 | | 福島中央テレビ | | 福島放送 |
| 茨城 | 水戸 | 022 | 44 | 2 | 46 | 42 | 5 | 40 | 7 | 38 | 9 | 36 | 11 | 32 |
| | | | NHK 総合 | | NHK 教育 | 日本テレビ | | TBS テレビ | | フジテレビ | | テレビ朝日 | | テレビ東京 |
| | 日立 | 023 | 52 | 2 | 50 | 54 | 5 | 56 | 7 | 58 | 9 | 60 | 11 | 62 |
| | | | NHK 総合 | | NHK 教育 | 日本テレビ | | TBS テレビ | | フジテレビ | | テレビ朝日 | | テレビ東京 |
| 栃木 | 矢板 | 100 | 40 | 2 | 30 | 36 | 33 | 42 | 7 | 45 | 9 | 59 | 11 | 61 |
| | | | NHK 総合 | | NHK 教育 | 日本テレビ | とちぎテレビ | TBS テレビ | | フジテレビ | | テレビ朝日 | | テレビ東京 |
| | 宇都宮 | 101 | 51 | 2 | 49 | 53 | 5 | 55 | 7 | 57 | 31 | 41 | 11 | 44 |
| | | | NHK 総合 | | NHK 教育 | 日本テレビ | | TBS テレビ | | フジテレビ | とちぎテレビ | テレビ朝日 | | テレビ東京 |
| 群馬 | 前橋 | 025 | 52 | 2 | 50 | 54 | 40 | 56 | 7 | 58 | 9 | 60 | 48 | 62 |
| | | | NHK 総合 | | NHK 教育 | 日本テレビ | 放送大学 | TBS テレビ | | フジテレビ | | テレビ朝日 | 群馬テレビ | テレビ東京 |
| | 桐生 | 102 | 51 | 2 | 57 | 53 | 40 | 55 | 7 | 35 | 9 | 59 | 41 | 61 |
| | | | NHK 総合 | | NHK 教育 | 日本テレビ | 放送大学 | TBS テレビ | | フジテレビ | | テレビ朝日 | 群馬テレビ | テレビ東京 |
| 埼玉 | さいたま | 027 | 1 | 2 | 3 | 4 | 16 | 6 | 7 | 8 | 38 | 10 | 11 | 12 |
| | | | NHK 総合 | | NHK 教育 | 日本テレビ | 放送大学 | TBS テレビ | | フジテレビ | テレビ埼玉 | テレビ朝日 | | テレビ東京 |
| | 熊谷 | 103 | 51 | 2 | 35 | 53 | 5 | 55 | 16 | 57 | 30 | 59 | 11 | 61 |
| | | | NHK 総合 | | NHK 教育 | 日本テレビ | | TBS テレビ | 放送大学 | フジテレビ | テレビ埼玉 | テレビ朝日 | | テレビ東京 |

| 都道府県 | 都市名 | 地域番号 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | リモコン番号 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 受信チャンネル / 放送局名 | | | | | | | | | | | |
| 千葉 | 千葉 | 029 | 1 | 2 | 3 | 4 | 16 | 6 | 7 | 8 | 42 | 10 | 46 | 12 |
| | | | NHK 総合 | | NHK 教育 | 日本テレビ | 放送大学 | TBS テレビ | | フジテレビ | テレビ神奈川 | テレビ朝日 | 千葉テレビ | テレビ東京 |
| 東京 | 23 区 | 030 | 1 | 2 | 3 | 4 | 14 | 6 | 38 | 8 | 42 | 10 | 46 | 12 |
| | | | NHK 総合 | | NHK 教育 | 日本テレビ | 東京メトロポリタン | TBS テレビ | テレビ埼玉 | フジテレビ | テレビ神奈川 | テレビ朝日 | 千葉テレビ | テレビ東京 |
| | 八王子 | 104 | 33 | 2 | 29 | 35 | 40 | 37 | 7 | 31 | 9 | 45 | 11 | 62 |
| | | | NHK 総合 | | NHK 教育 | 日本テレビ | 東京メトロポリタン | TBS テレビ | | フジテレビ | | テレビ朝日 | | テレビ東京 |
| | 多摩 | 105 | 49 | 2 | 47 | 51 | 61 | 53 | 7 | 55 | 9 | 57 | 11 | 59 |
| | | | NHK 総合 | | NHK 教育 | 日本テレビ | 東京メトロポリタン | TBS テレビ | | フジテレビ | | テレビ朝日 | | テレビ東京 |
| 神奈川 | 横浜 | 033 | 1 | 2 | 3 | 4 | 16 | 6 | 7 | 8 | 42 | 10 | 11 | 12 |
| | | | NHK 総合 | | NHK 教育 | 日本テレビ | 放送大学 | TBS テレビ | | フジテレビ | テレビ神奈川 | テレビ朝日 | | テレビ東京 |
| | 茅ヶ崎 | 034 | 33 | 2 | 29 | 35 | 5 | 37 | 7 | 39 | 31 | 41 | 11 | 43 |
| | | | NHK 総合 | | NHK 教育 | 日本テレビ | | TBS テレビ | | フジテレビ | テレビ神奈川 | テレビ朝日 | | テレビ東京 |
| | 小田原 | 035 | 52 | 2 | 50 | 54 | 5 | 56 | 7 | 58 | 46 | 60 | 11 | 62 |
| | | | NHK 総合 | | NHK 教育 | 日本テレビ | | TBS テレビ | | フジテレビ | テレビ神奈川 | テレビ朝日 | | テレビ東京 |
| | 秦野 | 036 | 47 | 2 | 49 | 51 | 5 | 53 | 7 | 55 | 61 | 57 | 11 | 59 |
| | | | NHK 総合 | | NHK 教育 | 日本テレビ | | TBS テレビ | | フジテレビ | テレビ神奈川 | テレビ朝日 | | テレビ東京 |
| 新潟 | 新潟 | 037 | 21 | 2 | 29 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 35 | 11 | 12 |
| | | | 新潟テレビ 21 | | テレビ新潟 | | 新潟放送 | | | NHK 総合 | | 新潟総合テレビ | | NHK 教育 |
| | 上越 | 038 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 37 | 7 | 27 | 9 | 10 | 11 | 33 |
| | | | NHK 教育 | | NHK 総合 | | | 新潟テレビ 21 | | テレビ新潟 | | 新潟放送 | | 新潟総合テレビ |
| 富山 | 富山 | 039 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 32 | 34 |
| | | | 北日本テレビ | | NHK 総合 | | | | | | | NHK 教育 | チューリップ | 富山テレビ |
| | 高岡 | 040 | 50 | 2 | 48 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 46 | 42 | 44 |
| | | | 北日本テレビ | | NHK 総合 | | | | | | | NHK 教育 | チューリップ | 富山テレビ |
| 石川 | 金沢 | 041 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 25 | 8 | 9 | 33 | 11 | 37 |
| | | | | | | NHK 総合 | | MRO テレビ | 北陸朝日放送 | NHK 教育 | | テレビ金沢 | | 石川テレビ |
| 福井 | 福井 | 042 | 39 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | 福井テレビ | | NHK 教育 | | | MRO テレビ | | | NHK 総合 | | FBC テレビ | |
| 山梨 | 甲府 | 043 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 37 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | NHK 総合 | | NHK 教育 | | 山梨放送 | | テレビ山梨 | | | | | |
| 長野 | 長野 | 044 | 1 | 44 | 50 | 4 | 40 | 6 | 42 | 8 | 46 | 10 | 48 | 12 |
| | | | | NHK 総合 | 長野朝日放送 | | テレビ信州 | | 長野放送 | | NHK 教育 | | 信越放送 | |
| | 飯田 | 045 | 44 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 42 | 9 | 40 | 11 | 12 |
| | | | 長野朝日放送 | | NHK 教育 | NHK 総合 | | 信越放送 | | テレビ信州 | | 長野放送 | | |
| | 松本 | 046 | 1 | 44 | 50 | 4 | 48 | 6 | 42 | 8 | 46 | 10 | 40 | 12 |
| | | | | NHK 総合 | 長野朝日放送 | | テレビ信州 | | 長野放送 | | NHK 教育 | | 信越放送 | |
| 岐阜 | 岐阜 | 047 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 35 | 8 | 9 | 10 | 11 | 37 |
| | | | 東海テレビ | | NHK 総合 | | CBC テレビ | | 中京テレビ | | NHK 教育 | | メ~テレ | 岐阜放送 |
| | 各務原 | 106 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 35 | 8 | 9 | 10 | 11 | 41 |
| | | | 東海テレビ | | NHK 総合 | | CBC テレビ | | 中京テレビ | | NHK 教育 | | メ~テレ | 岐阜放送 |
| 静岡 | 静岡 | 049 | 1 | 2 | 31 | 4 | 33 | 6 | 35 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | | NHK 教育 | 静岡第一テレビ | | 静岡朝日テレビ | | テレビ静岡 | | NHK 総合 | | 静岡放送 | |
| | 浜松 | 050 | 1 | 30 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 28 | 11 | 34 |
| | | | | 静岡第一テレビ | | NHK 総合 | | 静岡放送 | | NHK 教育 | | 静岡朝日テレビ | | テレビ静岡 |
| | 富士 | 051 | 1 | 54 | 27 | 4 | 29 | 6 | 39 | 8 | 52 | 10 | 41 | 12 |
| | | | | NHK 教育 | 静岡第一テレビ | | 静岡朝日テレビ | | テレビ静岡 | | NHK 総合 | | 静岡放送 | |
| | 沼津 | 052 | 1 | 51 | 61 | 4 | 57 | 6 | 59 | 8 | 53 | 10 | 55 | 12 |
| | | | | NHK 教育 | 静岡第一テレビ | | 静岡朝日テレビ | | テレビ静岡 | | NHK 総合 | | 静岡放送 | |
| | 藤枝 | 053 | 1 | 44 | 24 | 4 | 26 | 6 | 38 | 8 | 42 | 10 | 40 | 12 |
| | | | | NHK 教育 | 静岡第一テレビ | | 静岡朝日テレビ | | テレビ静岡 | | NHK 総合 | | 静岡放送 | |
| 愛知 | 名古屋 | 054 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 35 | 8 | 9 | 10 | 11 | 25 |
| | | | 東海テレビ | | NHK 総合 | | CBC テレビ | | 中京テレビ | | NHK 教育 | | メ~テレ | テレビ愛知 |
| | 豊橋 | 055 | 56 | 2 | 54 | 4 | 62 | 6 | 58 | 8 | 50 | 10 | 60 | 52 |
| | | | 東海テレビ | | NHK 総合 | | CBC テレビ | | 中京テレビ | | NHK 教育 | | メ~テレ | テレビ愛知 |
| | 豊田 | 056 | 57 | 2 | 53 | 4 | 55 | 6 | 59 | 8 | 51 | 10 | 61 | 49 |
| | | | 東海テレビ | | NHK 総合 | | CBC テレビ | | 中京テレビ | | NHK 教育 | | メ~テレ | テレビ愛知 |
| 三重 | 津 | 057 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 35 | 8 | 9 | 33 | 11 | 25 |
| | | | 東海テレビ | | NHK 総合 | | CBC テレビ | | 中京テレビ | | NHK 教育 | 三重テレビ | メ~テレ | テレビ愛知 |
| 滋賀 | 大津 | 058 | 1 | 28 | 3 | 36 | 5 | 38 | 7 | 40 | 9 | 42 | 30 | 46 |
| | | | | NHK 総合 | | 毎日テレビ | | ABC テレビ | | 関西テレビ | | 読売テレビ | びわ湖放送 | NHK 教育 |
| | 彦根 | 059 | 1 | 52 | 3 | 54 | 56 | 58 | 7 | 60 | 9 | 62 | 11 | 50 |
| | | | | NHK 総合 | | 毎日テレビ | びわ湖放送 | ABC テレビ | | 関西テレビ | | 読売テレビ | | NHK 教育 |

次ページへつづく

# 地上アナログ放送のチャンネルを設定する（つづき）

## 地域番号一覧表（つづき）

| 都道府県 | 都市名 | 地域番号 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | リモコン番号 | 受信チャンネル／放送局名 | | | | | | | | | | | |
| 京都 | 京都 1 | 060 | 1 | 2 | 36 | 4 | 19 | 6 | 34 | 8 | 26 | 10 | 11 | 12 |
| | | | | NHK 総合 | サンテレビ | 毎日テレビ | テレビ大阪 | ABC テレビ | 京都テレビ | 関西テレビ | 奈良テレビ | 読売テレビ | | NHK 教育 |
| | 京都 2 | 098 | 32 | 2 | 34 | 4 | 21 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | NHK 京都 | NHK 総合 | 京都テレビ | 毎日テレビ | テレビ大阪 | ABC テレビ | | 関西テレビ | | 読売テレビ | | NHK 教育 |
| 大阪 | 大阪 | 061 | 1 | 2 | 36 | 4 | 19 | 6 | 34 | 8 | 9 | 10 | 30 | 12 |
| | | | | NHK 総合 | サンテレビ | 毎日テレビ | テレビ大阪 | ABC テレビ | 京都テレビ | 関西テレビ | | 読売テレビ | テレビ和歌山 | NHK 教育 |
| 兵庫 | 神戸 | 061 | 1 | 2 | 36 | 4 | 19 | 6 | 34 | 8 | 9 | 10 | 30 | 12 |
| | | | | NHK 総合 | サンテレビ | 毎日テレビ | テレビ大阪 | ABC テレビ | 京都テレビ | 関西テレビ | | 読売テレビ | テレビ和歌山 | NHK 教育 |
| | 姫路 | 062 | 1 | 50 | 56 | 54 | 5 | 58 | 7 | 60 | 9 | 62 | 11 | 52 |
| | | | | NHK 総合 | サンテレビ | 毎日テレビ | | ABC テレビ | | 関西テレビ | | 読売テレビ | | NHK 教育 |
| | 明石 | 063 | 1 | 51 | 55 | 53 | 19 | 57 | 7 | 59 | 9 | 61 | 30 | 49 |
| | | | | NHK 総合 | サンテレビ | 毎日テレビ | テレビ大阪 | ABC テレビ | | 関西テレビ | | 読売テレビ | テレビ和歌山 | NHK 教育 |
| | 川西 | 064 | 1 | 29 | 33 | 35 | 5 | 37 | 7 | 39 | 9 | 41 | 11 | 31 |
| | | | | NHK 総合 | サンテレビ | 毎日テレビ | | ABC テレビ | | 関西テレビ | | 読売テレビ | | NHK 教育 |
| 奈良 | 奈良 | 065 | 1 | 2 | 36 | 4 | 19 | 6 | 62 | 8 | 55 | 10 | 11 | 12 |
| | | | | NHK 総合 | サンテレビ | 毎日テレビ | テレビ大阪 | ABC テレビ | 奈良テレビ | 関西テレビ | (奈良テレビ) | 読売テレビ | | NHK 教育 |
| 和歌山 | 和歌山 1 | 107 | 1 | 32 | 3 | 42 | 5 | 44 | 7 | 46 | 9 | 48 | 30 | 25 |
| | | | | NHK 総合 | | 毎日テレビ | | ABC テレビ | | 関西テレビ | | 読売テレビ | テレビ和歌山 | NHK 教育 |
| | 和歌山 2 | 099 | 1 | 50 | 3 | 54 | 5 | 58 | 7 | 60 | 9 | 62 | 56 | 52 |
| | | | | NHK 総合 | | 毎日テレビ | | ABC テレビ | | 関西テレビ | | 読売テレビ | テレビ和歌山 | NHK 教育 |
| 鳥取 | 鳥取 | 067 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 24 | 9 | 22 | 11 | 12 |
| | | | 日本海テレビ | | NHK 総合 | NHK 教育 | | | | 山陰中央テレビ | | BSS テレビ | | |
| 島根 | 松江 | 068 | 30 | 2 | 34 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | 日本海テレビ | | 山陰中央テレビ | | | NHK 総合 | | | | BSS テレビ | | NHK 教育 |
| | 浜田 | 069 | 1 | 2 | 54 | 4 | 5 | 6 | 7 | 58 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | | NHK 総合 | 日本海テレビ | | BSS テレビ | | | 山陰中央テレビ | NHK 教育 | | | |
| 岡山 | 岡山 | 070 | 23 | 2 | 3 | 4 | 5 | 25 | 35 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | テレビせとうち | | NHK 教育 | | NHK 総合 | 瀬戸内海テレビ | OHK テレビ | | 西日本放送 | | 山陽放送 | |
| 広島 | 広島 | 071 | 31 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 35 | 11 | 12 |
| | | | テレビ新広島 | | NHK 総合 | RCC テレビ | | | NHK 教育 | | | 広島ホームテレビ | | 広島テレビ |
| | 福山 | 072 | 1 | 2 | 24 | 4 | 26 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | NHK 総合 | | 広島ホームテレビ | | テレビ新広島 | | NHK 教育 | | | RCC テレビ | | 広島テレビ |
| | 呉 | 073 | 1 | 2 | 24 | 4 | 5 | 6 | 26 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | NHK 教育 | | 広島ホームテレビ | | 広島テレビ | | テレビ新広島 | | RCC テレビ | | NHK 総合 | |
| 山口 | 山口 | 074 | 1 | 2 | 3 | 4 | 52 | 6 | 38 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | NHK 教育 | | | | 山口朝日放送 | | テレビ山口 | | NHK 総合 | | 山口放送 | |
| | 下関 | 075 | 41 | 2 | 23 | 4 | 21 | 6 | 33 | 8 | 39 | 10 | 35 | 12 |
| | | | NHK 教育 | 九州朝日放送 | TVQ 九州放送 | 山口放送 | 山口朝日放送 | (NHK 総合) | テレビ山口 | RKB毎日放送 | NHK 総合 | テレビ西日本 | 福岡放送 | (NHK 教育) |
| | 宇部 | 076 | 14 | 2 | 3 | 4 | 31 | 6 | 20 | 8 | 16 | 10 | 18 | 12 |
| | | | NHK 教育 | 九州朝日放送 | | | 山口朝日放送 | (NHK 総合) | テレビ山口 | RKB毎日放送 | NHK 総合 | テレビ西日本 | 山口放送 | |
| | 岩国 | 077 | 1 | 2 | 3 | 4 | 22 | 6 | 28 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | NHK 教育 | | | RCC テレビ | テレビ山口 | | 山口朝日放送 | | NHK 総合 | 南海テレビ | 山口放送 | 広島テレビ |
| 徳島 | 徳島 | 097 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | 四国テレビ | | NHK 総合 | 毎日テレビ | | ABC テレビ | | 関西テレビ | | 読売テレビ | | NHK 教育 |
| 香川 | 高松 | 078 | 33 | 2 | 39 | 4 | 37 | 6 | 31 | 8 | 41 | 10 | 29 | 19 |
| | | | 瀬戸内海テレビ | | NHK 教育 | | NHK 総合 | | OHK テレビ | | 西日本放送 | | 山陽放送 | テレビせとうち |
| 愛媛 | 松山 | 079 | 1 | 2 | 3 | 29 | 25 | 6 | 7 | 37 | 9 | 10 | 11 | 35 |
| | | | | NHK 教育 | | あいテレビ | 愛媛朝日テレビ | NHK 総合 | | テレビ愛媛 | | 南海テレビ | | 広島ホームテレビ |
| | 新居浜 | 080 | 1 | 2 | 3 | 4 | 14 | 6 | 7 | 36 | 9 | 10 | 27 | 12 |
| | | | | NHK 総合 | | NHK 教育 | 愛媛朝日テレビ | 南海テレビ | | テレビ愛媛 | | | あいテレビ | |
| | 今治 | 081 | 1 | 30 | 3 | 27 | 14 | 32 | 7 | 36 | 9 | 34 | 11 | 38 |
| | | | | NHK 教育 | | あいテレビ | 愛媛朝日テレビ | NHK 総合 | | テレビ愛媛 | | 南海テレビ | | 広島ホームテレビ |
| 高知 | 高知 | 082 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 38 | 11 | 40 |
| | | | | | | NHK 総合 | | NHK 教育 | | 高知放送 | | テレビ高知 | | 高知さんさんテレビ |

| 都道府県 | 都市名 | 地域番号 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | リモコン番号 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | 受信チャンネル / 放送局名 | | | | | | | | | | | |
| 福岡 | 福岡 | 083 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 19 | 37 |
| | | | 九州朝日放送 | | NHK 総合 | RKB 毎日放送 | | NHK 教育 | | | テレビ西日本 | | TVQ 九州放送 | 福岡放送 |
| | 北九州 | 084 | 1 | 2 | 23 | 35 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | | 九州朝日放送 | TVQ 九州放送 | 福岡放送 | | NHK 総合 | | RKB 毎日放送 | | テレビ西日本 | | NHK 教育 |
| | 久留米 | 085 | 57 | 2 | 46 | 48 | 5 | 54 | 7 | 8 | 60 | 10 | 14 | 52 |
| | | | 九州朝日放送 | | NHK 総合 | RKB 毎日放送 | | NHK 教育 | | | テレビ西日本 | | TVQ 九州放送 | 福岡放送 |
| | 大牟田 | 086 | 58 | 19 | 53 | 61 | 5 | 50 | 7 | 8 | 55 | 10 | 43 | 12 |
| | | | 九州朝日放送 | TVQ 九州放送 | NHK 総合 | RKB 毎日放送 | | NHK 教育 | | | テレビ西日本 | | 福岡放送 | |
| 佐賀 | 佐賀 | 087 | 19 | 36 | 40 | 38 | 48 | 52 | 57 | 60 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | TVQ 九州放送 | サガテレビ | NHK 教育 | NHK 総合 | RKB 毎日放送 | 福岡放送 | 九州朝日放送 | テレビ西日本 | (NHK 総合 ) | | 熊本放送 | |
| 長崎 | 長崎 | 088 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 37 | 8 | 27 | 10 | 25 | 12 |
| | | | NHK 教育 | | NHK 総合 | | 長崎放送 | | テレビ長崎 | | 長崎文化放送 | | 長崎国際テレビ | |
| | 佐世保 | 089 | 1 | 2 | 3 | 17 | 5 | 31 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 35 |
| | | | | NHK 教育 | | 長崎国際テレビ | | 長崎文化放送 | | NHK 総合 | | 長崎放送 | | テレビ長崎 |
| 熊本 | 熊本 | 090 | 1 | 2 | 16 | 4 | 22 | 6 | 34 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | | NHK 教育 | 熊本朝日放送 | | 熊本県民テレビ | | テレビ熊本 | | NHK 総合 | | 熊本放送 | |
| 大分 | 大分 | 091 | 1 | 2 | 3 | 34 | 5 | 6 | 36 | 32 | 24 | 10 | 11 | 12 |
| | | | (NHK 教育 ) | | NHK 総合 | あいテレビ | 大分テレビ | (NHK 総合 ) | テレビ大分 | テレビ愛媛 | 大分朝日放送 | 南海テレビ | | NHK 教育 |
| 宮崎 | 宮崎 | 092 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 35 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | | | | | | テレビ宮崎 | | NHK 総合 | | 宮崎放送 | | NHK 教育 |
| | 延岡 | 093 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 39 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | | NHK 教育 | | NHK 総合 | | 宮崎放送 | | テレビ宮崎 | | | | |
| 鹿児島 | 鹿児島 | 094 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 32 | 8 | 38 | 10 | 30 | 12 |
| | | | 南日本放送 | | NHK 総合 | | NHK 教育 | | 鹿児島放送 | | 鹿児島テレビ | | 鹿児島読売テレビ | |
| | 阿久根 | 095 | 1 | 30 | 3 | 23 | 5 | 35 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | | 鹿児島読売テレビ | | 鹿児島放送 | | 鹿児島テレビ | | NHK 総合 | | 南日本放送 | | NHK 教育 |
| 沖縄 | 那覇 | 096 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 28 | 10 | 11 | 12 |
| | | | | NHK 総合 | | | | | | 沖縄テレビ | 琉球朝日放送 | 琉球放送テレビ | | NHK 教育 |

- 地域番号別に設定されたリモコン番号と受信チャンネル・放送局名は、当社の調査によるものです。(2006年12月現在)

## その他の地域番号　(＊印のチャンネルはスキップされません。)

| リモコン番号 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 地域番号 | 受信チャンネル | | | | | | | | | | | |
| 024 | ＊29 | 2 | ＊27 | ＊25 | 5 | ＊23 | 7 | ＊21 | ＊31 | ＊19 | 11 | ＊17 |
| 026 | ＊43 | 2 | ＊45 | ＊39 | ＊40 | ＊37 | 7 | ＊35 | 9 | ＊33 | ＊41 | ＊31 |
| 028 | ＊33 | 2 | ＊35 | ＊25 | 5 | ＊23 | ＊16 | ＊21 | ＊28 | ＊19 | 11 | ＊17 |
| 031 | ＊51 | 2 | ＊49 | ＊53 | ＊47 | ＊55 | 7 | ＊57 | 9 | ＊59 | 11 | ＊61 |
| 032 | ＊30 | 2 | ＊32 | ＊26 | ＊28 | ＊24 | 7 | ＊22 | 9 | ＊20 | 11 | ＊18 |
| 048 | ＊1 | 2 | ＊3 | 4 | ＊5 | 6 | ＊35 | 8 | ＊9 | 10 | ＊11 | ＊28 |
| 066 | 1 | ＊32 | 3 | ＊42 | 5 | ＊44 | 7 | ＊46 | 9 | ＊48 | ＊30 | ＊26 |

# 地上アナログ放送のチャンネルを設定する（つづき）

## 個別設定

■ 地域番号一覧表に当てはまらない地域や、地域番号によるチャンネル設定後に他の放送チャンネルを追加したいときは、1局ずつチャンネルを設定してください。（受信できる放送局を自動で探し追加登録する場合は、「地上アナログ－追加」（**47**ページ）をお試しください。）

■ ふだん使用されている受信エリアで、新聞の番組表などにチャンネルの順番を合わせておくと便利です。

共通操作

**1**

① 地上A を押して地上アナログ放送を選ぶ

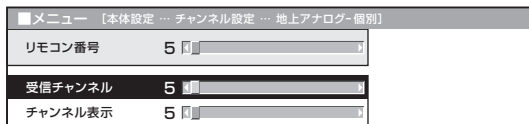
② メニュー画面から「本体設定」－「チャンネル設定」を選び、決定 を押す

メニュー項目

### 受信チャンネル

・放送局からの電波を受信するために合わせるチャンネルです。

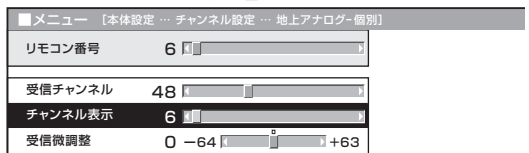
［例］ 地上アナログ放送受信時にチャンネルボタン 5 （リモコン番号「5」）を押すとUHF放送「42」チャンネルが選局できるように設定する

**4** 5 を押して、▲▼で「受信チャンネル」を選ぶ

### チャンネル表示

・テレビ画面に表示されるチャンネル（番号）のことです。ご使用の地域で使われている、使い慣れたチャンネル表示に変えることができます。

［例］ 地上アナログ放送受信時にチャンネルボタン 6 を押したときのチャンネル表示「6」を「48」に変える

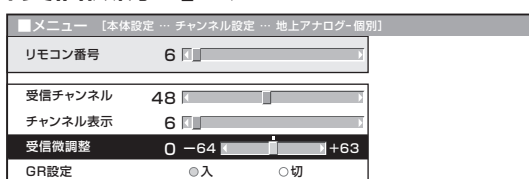
**4** 6 を押して、▲▼で「チャンネル表示」を選ぶ

■メニュー ［本体設定 … チャンネル設定 … 地上アナログ－個別］
リモコン番号 6
受信チャンネル 48
チャンネル表示 6
受信微調整 0 −64 +63

### 受信微調整

・ご使用になる地域によっては、調整を少しずらしたほうが見やすくなる場合があります。そのようなときに調整します。

［例］ チャンネルボタン 6 の地上アナログ放送の受信状態を微調整する

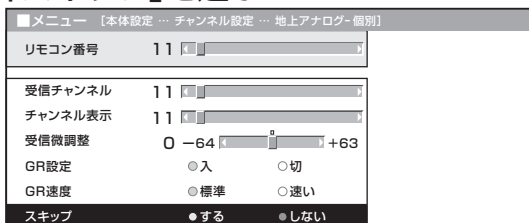
**4** 6 を押して、▲▼で「受信微調整」を選ぶ

■メニュー ［本体設定 … チャンネル設定 … 地上アナログ－個別］
リモコン番号 6
受信チャンネル 48
チャンネル表示 6
受信微調整 0 −64 +63
GR設定 ○入 ○切

### スキップ

・あらかじめチャンネルスキップを設定しておくと、選局（∧順／∨逆）ボタンで選局するときに、空きチャンネル（放送のないチャンネル）や受信状態の悪いチャンネルを飛び越して（スキップして）選局することができます。

［例］ チャンネルボタン 11 の地上アナログ放送をスキップ設定する

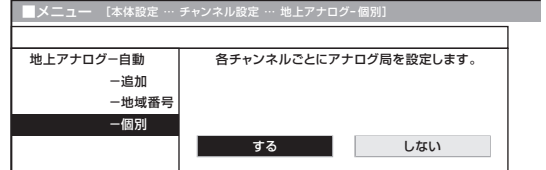
**4** 11 を押して、▲▼で「スキップ」を選ぶ

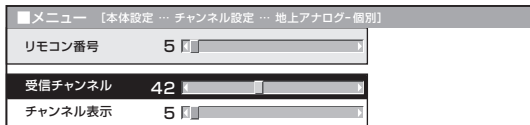
■メニュー ［本体設定 … チャンネル設定 … 地上アナログ－個別］
リモコン番号 11
受信チャンネル 11
チャンネル表示 11
受信微調整 0 −64 +63
GR設定 ○入 ○切
GR速度 ○標準 ○速い
スキップ ●する ●しない

## CATV(ケーブルテレビ)放送について

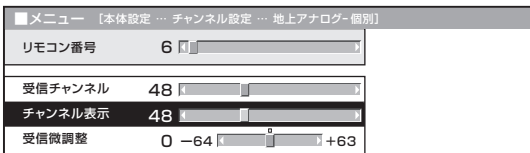
- CATVの受信は、サービスの行われている地域のみ可能です。
- CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴･録画にはホームターミナル(アダプター)が必要になります。詳しくはCATV会社にご相談ください。
- CATVチャンネルを選局(∧順／∨逆)ボタンで選局できるようにするには、個別設定のチャンネルスキップを「しない」にしてください。
- 本機のCATVチャンネルは、C13～C63チャンネルの範囲で選局できます。(選局のしかたは**75**ページ)
- 「受信チャンネル」の手順**5**で右カーソルボタンまたは左カーソルボタンを押し続けると、放送を探して受信します。

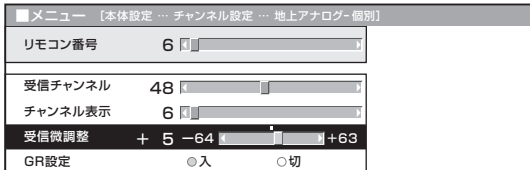
**2** ①「地上アナログ」で(決定)を押す

②(カーソル)で「地上アナログ－個別」を選び、(決定)を押す

**3** (カーソル)で「する」を選び、(決定)を押す

## 設定画面

**5** (カーソル)で「42」を選ぶ

- これでチャンネルボタン(5)に42チャンネルが設定されました。
- 操作終了する場合は(メニュー)または(終了)を押してください。

**5** (カーソル)で、表示したいチャンネル番号「48」を選ぶ

- これで、チャンネルボタン「6」を選局すると、チャンネルサイン(画面表示)に「48」と表示されます。
- 操作終了する場合は(メニュー)または(終了)を押してください。

**5** (カーソル)で、見やすい映像に調整する

- 背景となっている受信中の映像がもっともよく見える位置に調整してください。
- −64～0～+63の範囲で調整できます。
- 操作終了する場合は(メニュー)または(終了)を押してください。

**5** (カーソル)で「する」を選ぶ

- チャンネルスキップを解除するときは、「しない」を選びます。
- これで、選局(∧順／∨逆)ボタンで選局操作を行ったとき、11チャンネルをスキップします。

**CATVチャンネルのスキップを解除するには**

- CATVチャンネル(C13～C63)は、工場出荷時にスキップ「する」の状態になっています。選局ボタンで選局できるようにするには、手順**4**の画面で、上下カーソルボタンで「リモコン番号」を選び、左右カーソルボタンでスキップを解除したいCATVチャンネルを選んでおきます。それから左記の操作を行い、スキップ「しない」を選びます。
- 操作終了する場合は(メニュー)または(終了)を押してください。

# B-CASカードを登録・挿入する

AQUOS接続クイックガイドの手順10

## B-CASカードを登録する

- 地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送では、B-CAS（ビーキャス）カードを利用した限定受信システム（＝CAS）を採用しています。
  付属のB-CASカード番号登録用はがきを送り、B-CASカードの番号を登録することで受信者登録が行われます。
- B-CASカードは、必ず登録してください。（登録は無料です。）
- e2 by スカパー！、WOWOWデジタルプラス、WOWOW、スターチャンネルなどの有料サービスを受けるには、各プラットフォームや放送局との個別受信契約が必要となります。（**40**ページ）

付属のB-CASカード

## B-CASカードおよびコピー制御信号についてのお知らせ

### デジタル放送を視聴するときには、B-CASカードを必ず挿入してください。

- 2004年4月から、コピー制御のために、B-CASカードの機能を利用しています。
- B-CASカードを挿入しないと、すべてのデジタルテレビ放送が映りません。
- B-CASカードを挿入していただくことで、番組をお楽しみいただけます。

### デジタル放送のほとんどの番組には「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が加えられています。

- この信号とともにデジタル録画された番組は、他のデジタル録画機器へのダビングができません。

コピー制御お問合せセンター
電話：0570-000-288（午前10時～午後8時）（2007年2月現在）

# B-CASカードを挿入する

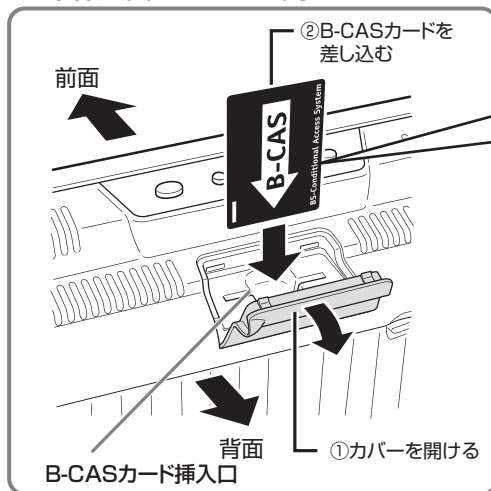
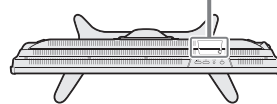
- デジタル放送を視聴する場合は、必ずB-CASカードを挿入してください。

## B-CASカードの入れかた

リモコンでいったん電源を「切」にして、以下の手順で挿入します。

① 本体天面のカバーを開ける。
② B-CASカードを矢印の方向に差し込む。(奥まで確実に挿入してください。)
③ カバーを閉め、再度、リモコンで電源を入れる。
④ メニュー画面から「お知らせ」ー「B-CASカード番号表示」を選び、決定を押す。
⑤ 「実行」で決定を押す。
⑥ カード番号が正しく表示されることを確認し、「戻る」で決定を押す。

▼本体天面のカバーを開けたところ

B-CASカードは「B-CAS」の文字が本体の背面側を向いている状態で、矢印の方向に差し込んでください。

▼本体天面

**B-CASカードについて**

- B-CASカードには視聴情報などが記憶されますので、本機に入れたままご使用ください。
- B-CASカードは大切に保管してください。仮に他人があなたのB-CASカードを使用して有料番組を視聴した場合でも、視聴料はあなたの口座に請求されます。
- 破損等によりB-CASカードの再発行を依頼される場合は費用が必要となります。(2006年12月現在)
  詳しくは、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターまでご連絡ください。
  (カスタマーセンターの連絡先は、B-CASカードに記載されています。)

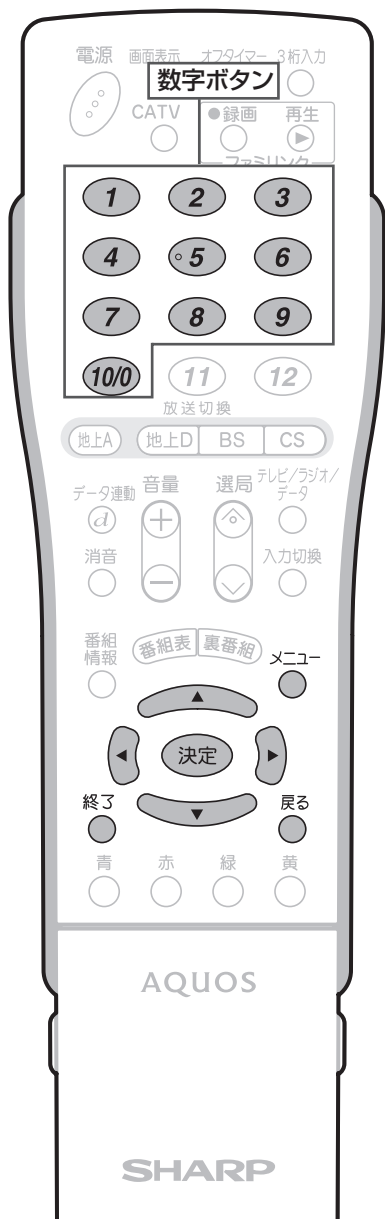
**取扱い上のご注意**

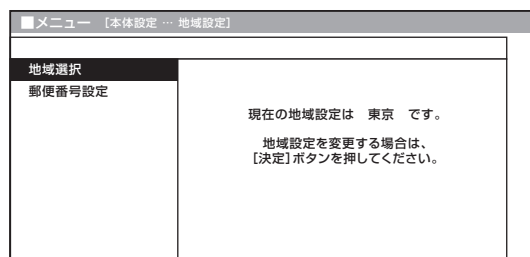
- B-CASカードを折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしないでください。
- B-CASカードの上に重いものを置いたり、踏みつけたりしないでください。
- B-CASカードの金属部(集積回路)には手を触れないでください。
- B-CASカードを分解、加工しないでください。
- B-CASカードは上記の手順どおり、本機のB-CASカード挿入口に正しく差し込んでください。
- B-CASカード挿入口には、本機に付属しているB-CASカード以外のものを挿入しないでください。
- 本機をご使用中は、B-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。万一、B-CASカードを抜く必要がある場合は、本機の電源を一度切り、本機を電源コンセントに接続しない状態で、ゆっくりと抜いてください。
- B-CASカードにはIC(集積回路)が組み込まれているため、画面にB-CASカードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差ししないでください。

## 地域と郵便番号を設定する

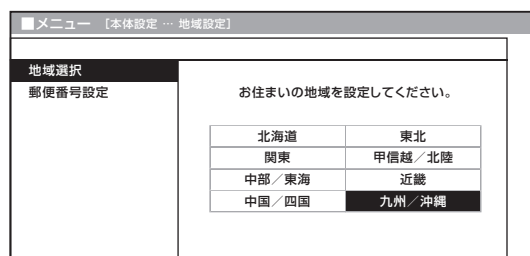
- 地上デジタル放送チャンネルを受信するために、地域設定をお住まいの地域に設定します。
  **チャンネル設定の前に、必ず地域設定をしてください。**（工場出荷時は関東の東京に設定されています。）
- デジタル放送の緊急ニュースなどの文字スーパーやデータ放送は、地域によって放送される内容が異なることがあります。お客さまがお住まいの地域に向けた情報を受信するために、必ず地域設定を行ってください。

**メニュー画面について**

- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

## 地域選択

**B-CASカードは正しい向きに挿入してありますか。正しい向きに入っていないとデジタル放送が受信できません。（57ページ）**

**1**
① メニューを押し、メニュー画面を表示する
② ◀▶で「本体設定」を選ぶ
③ ▲▼で「地域設定」を選び、決定を押す

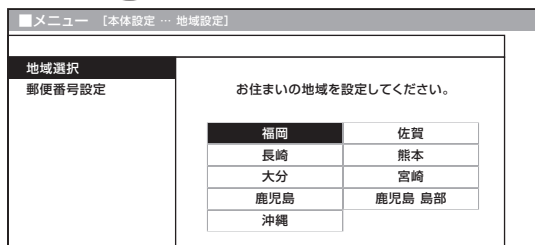
**2**
▲▼で「地域選択」を選び、決定を押す

**3**
お住まいの地域を▲▼◀▶で選び、決定を押す

## 4 お住まいの都道府県または地域をで選び、(決定)を押す

■メニュー ［本体設定 … 地域設定］

地域選択
郵便番号設定

お住まいの地域を設定してください。

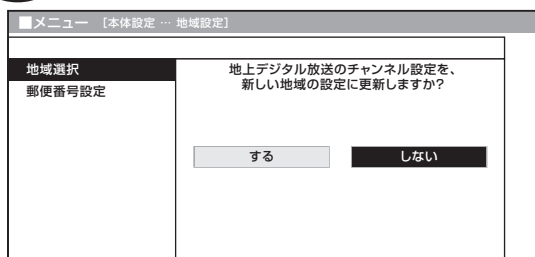
| 福岡 | 佐賀 |
|---|---|
| 長崎 | 熊本 |
| 大分 | 宮崎 |
| 鹿児島 | 鹿児島 島部 |
| 沖縄 | |

関東･中部／東海･近畿の一部の都府県を選択した場合は、手順**4**の後につぎの手順**5**の画面が表示されます。

## 5 (◀▶)で「する」または「しない」を選び、(決定)を押す

■メニュー ［本体設定 … 地域設定］

地域選択
郵便番号設定

地上デジタル放送のチャンネル設定を、
新しい地域の設定に更新しますか?

する　　しない

- 通常は「する」を選んでください。「しない」は他県の電波しか受信できないなど特別な受信環境の場合に選びます。

# 郵便番号設定

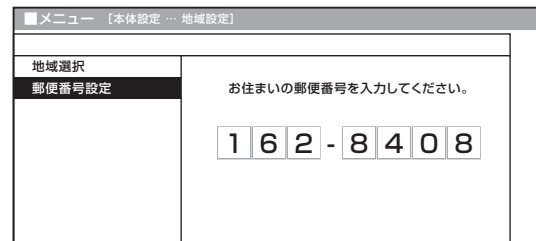
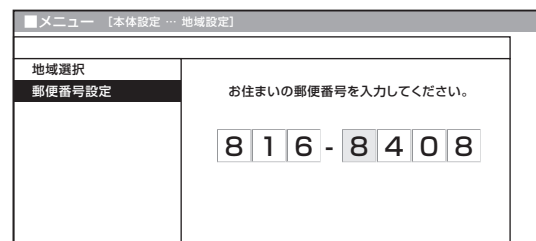
## 1

① (メニュー)を押し、メニュー画面を表示する

② (◀▶)で「本体設定」を選ぶ

③ (▲▼)で「地域設定」を選び、(決定)を押す

- 地域設定画面が表示されます。

## 2 (▲▼)で「郵便番号設定」を選び、(決定)を押す

## 3 数字ボタン((1)～(10/0))で郵便番号を入力し、(決定)を押す

- 入力した番号を修正するときは、修正したい欄を左右カーソルボタンで選び、数字ボタンで入力しなおします。

### 操作終了する場合は

**(メニュー)または(終了)を押し、通常画面に戻す**

- 1つ前に戻る場合は(戻る)を押してください。

# 地上デジタル放送のチャンネルを設定する AQUOS接続クイックガイドの手順10

## 地上デジタル放送のチャンネル設定について

■ 地上デジタル放送を視聴するためのチャンネル設定です。お住まいの地域で地上デジタル放送が開始されてから行ってください。

■ **チャンネル設定をする前に、必ず地域設定（58ページ）をお住まいの地域に設定しておいてください。**（工場出荷時は、東京地区で放送が受信できるように設定されています。）

| メニュー項目 | 内　容 |
| --- | --- |
| **地上デジタルー自動**<br>☞ **61**ページ | • お住まいの地域で受信可能な地上デジタル放送のチャンネルを自動登録するときに選びます。<br>• 最初のチャンネル設定は、必ず「自動」で行ってください。また、引っ越しなどでお住まいの地域が変わった場合も再度、自動登録をしてください。 |
| **地上デジタルー追加**<br>☞ **61**ページ | • 設定後、新しく開始された放送チャンネルを追加登録するときに選びます。<br>• すでに登録されているチャンネルはそのまま残ります。 |
| **地上デジタルー個別**<br>☞ **62**ページ | • 登録した放送チャンネルをリスト表示して、確認することができます。<br>• 登録したチャンネルの、番号重複時の変更や選局（∧順／∨逆）ボタンでのチャンネルスキップを設定することができます。 |

## 地上デジタル放送の受信チャンネル番号・枝番について

• 地上デジタル放送では、チャンネルボタン（1～12）のチャンネル番号のほかに、3桁のチャンネル番号が付けられています。1つの放送局が複数の番組を同時に放送する場合には、3桁のチャンネル番号で区別することになります。
• 3桁のチャンネル番号は、放送地域内（都府県、北海道は7地域）ではそれぞれ別番号になっています。したがって、通常は3桁で放送番組を特定できます。ただし、お住まいの地域により、隣接する他地域の放送も受信できることがあります。この場合は、3桁チャンネル番号が重複するケースがあります。このケースでは、さらにもう1桁（これを「枝番」といいます）を入力して選局することになります。

## 地上デジタル放送のCATV放送対応について

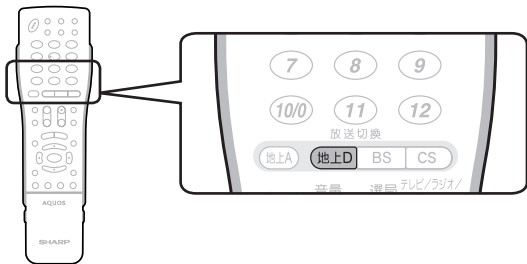
• 本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は、「パススルー方式」※（UHF帯、ミッドバンド[MID]帯、スーパーハイバンド[SHB]帯、VHF帯）です。

**※CATVパススルー方式とは：** CATV配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままでCATV網に流す放送方式です。
この方式では、地上デジタル放送が本来使っているUHF帯のチャンネルとは異なる他のチャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。
本機で受信できるのは、UHF帯、ミッドバンド（MID）帯、スーパーハイバンド（SHB）帯、およびVHF帯です。
※トランスモジュレーション方式には対応していません。

## 初めて地上デジタル放送のチャンネルを設定する

■ 初めて受信チャンネルを登録するときや、引っ越しなどでお住まいの地域が変わった場合は、この操作を行ってください。

■ **チャンネル設定の前に、必ず地域設定（58ページ）をしてください。**（工場出荷時は関東の東京に設定されています。）

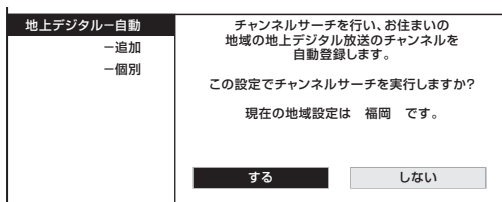
### 1 地上Dを押し、地上デジタル放送を選ぶ

### 2 メニューから「本体設定」-「チャンネル設定」を選び、決定を押す

### 3 ▲▼で「地上デジタル」を選び、決定を押す

### 4

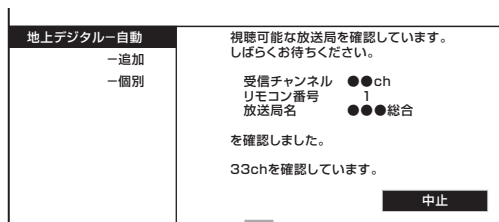
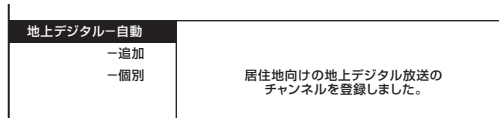
① ▲▼で「地上デジタル一自動」を選び、決定を押す

② ◀▶で「する」を選び、決定を押す

### 5 ◀▶でサーチ範囲を選び、決定を押す

「UHF」…………… **通常はこちらを選びます。**

「全チャンネル」… CATVパススルー（**60**ページ）の場合に選びます。

### 6

• 自動登録が始まり、確認中の画面が表示されます。

• 自動登録が終了すると、登録終了の画面が表示されます。

• 自動登録終了後、手順**2**の画面に戻ります。

**「地上デジタル一追加」について**

• 「地上デジタル一自動」を行った後で、新しく開始された放送チャンネルを追加する場合、手順**4**の①で「地上デジタル一追加」を選びます。すでに登録されているチャンネルはそのまま残り、新しく確認されたチャンネルが追加されます。追加が終わったら、「終了」で決定ボタンを押します。

# 地上デジタル放送のチャンネルを設定する（つづき）

## 個別設定

■ 登録した地上デジタル放送のチャンネルは、つぎの3つの設定内容を変更することができます。

**「数字ボタン」**.......... 登録先のリモコン数字ボタンを変更します。
**「枝番」**...................... チャンネル番号の4桁め（枝番）を変更します。
**「スキップ」**.............. 選局（∧順／∨逆）ボタンでの選局時に、スキップするかしないかを設定します。

共通操作

**1**

① 地上D を押し、地上デジタル放送を選ぶ
② メニュー画面から「本体設定」－「チャンネル設定」を選び、決定 を押す

### メニュー項目

#### 登録先の数字ボタンを変更する

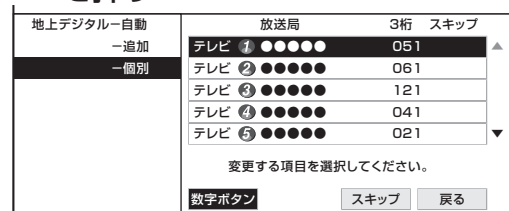
- 登録した放送チャンネルの、登録先リモコン数字ボタンを他の数字ボタンに変更することができます。

- 手順5の後、入力した数字が他チャンネルの数字ボタンと重複している場合は、「数字ボタンが重複しています。置き換えますか?」の確認画面が表示されます。画面またはリモコンの戻るボタンを押してから、置き換える数字を入力して決定ボタンを押してください。

**4**

① ▲▼ で、変更したい放送チャンネルを選び、決定 を押す
② ◀▶ で「数字ボタン」を選び、決定 を押す

| 地上デジタル－自動 | 放送局 | 3桁 | スキップ |
|---|---|---|---|
| －追加 | テレビ ① ●●●●● | 051 | |
| －個別 | テレビ ② ●●●●● | 061 | |
| | テレビ ③ ●●●●● | 121 | |
| | テレビ ④ ●●●●● | 041 | |
| | テレビ ⑤ ●●●●● | 021 | |

変更する項目を選択してください。
数字ボタン　スキップ　戻る

- 数字ボタン入力欄が表示されます。

#### 枝番を変更する

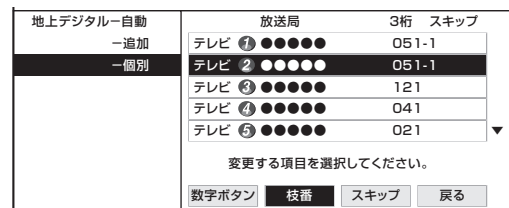
- 受信された放送局の中で、3桁チャンネル番号が重複している場合は、4桁め（枝番）を変更して区別することができます。

- 手順5の後、入力した枝番の数字が他チャンネルの枝番と重複している場合は、「枝番が重複しています。置き換えますか?」の確認画面が表示されます。戻るボタンを押してから、置き換える枝番の数字を入力して決定ボタンを押してください。

**4**

① ▲▼ で、変更したい放送チャンネルを選び、決定 を押す
② ◀▶ で「枝番」を選び、決定 を押す

| 地上デジタル－自動 | 放送局 | 3桁 | スキップ |
|---|---|---|---|
| －追加 | テレビ ① ●●●●● | 051-1 | |
| －個別 | テレビ ② ●●●●● | 051-1 | |
| | テレビ ③ ●●●●● | 121 | |
| | テレビ ④ ●●●●● | 041 | |
| | テレビ ⑤ ●●●●● | 021 | |

変更する項目を選択してください。
数字ボタン　枝番　スキップ　戻る

#### 視聴しないチャンネルをスキップする

- 選局（∧順／∨逆）ボタンでチャンネル選局をしたときに、視聴しない放送チャンネルを飛ばして選局するように設定することができます。

**4**

▲▼ で、スキップ設定したい放送チャンネルを選び、決定 を押す

| 地上デジタル－自動 | 放送局 | 3桁 | スキップ |
|---|---|---|---|
| －追加 | テレビ ① ●●●●● | 051 | |
| －個別 | テレビ ② ●●●●● | 061 | |
| | テレビ ③ ●●●●● | 121 | |
| | テレビ ④ ●●●●● | 041 | |

・手順**4**、**5**、**6**のそれぞれの画面で「戻る」を選んで、決定ボタンを押すと1つ前の画面に戻ります。

## 2 で「地上デジタル」を選び、(決定)を押す

| 地上アナログ | 地上デジタル放送の受信チャンネルの設定です。<br>（チャンネル設定をする前に、必ず地域設定を<br>お住まいの地域に設定しておいてください。） |
|---|---|
| **地上デジタル** | |
| BSデジタル | |
| CSデジタル | |
| デジタル登録 | |

## 3 で「地上デジタルー個別」を選び、(決定)を押す

| 地上デジタルー自動 | 放送局 | 3桁 | スキップ |
|---|---|---|---|
| ー追加 | テレビ ① ●●●●● | 051 | |
| **ー個別** | テレビ ② ●●●●● | 061 | |
| | テレビ ③ ●●●●● | 121 | |

## 設定画面

## 5 変更する数字ボタンの番号を、チャンネルボタン（①〜⑫）で入力し、(決定)を押す

［例］6に変更する場合、⑥を押す

| 地上デジタルー自動 | 放送局 | 3桁 | スキップ |
|---|---|---|---|
| ー追加 | **テレビ ① ●●●●●** | **051** | |
| **ー個別** | テレビ ② ●●●●● | 061 | |
| | テレビ ③ ●●●●● | 121 | |
| | テレビ ④ ●●●●● | 041 | |
| | テレビ ⑤ ●●●●● | 021 | |
| | 変更する数字ボタンを入力して決定を押してください。 | | |
| | 数字ボタン 6 | 戻る | |

## 6 で「確認」を選び、(決定)を押す

| 地上デジタルー自動 | 放送局 | 3桁 | スキップ |
|---|---|---|---|
| ー追加 | **テレビ ① ●●●●●** | **051** | |
| **ー個別** | テレビ ② ●●●●● | 061 | |
| | テレビ ③ ●●●●● | 121 | |
| | テレビ ④ ●●●●● | 041 | |
| | テレビ ⑤ ●●●●● | 021 | |
| | 数字ボタンを変更します。 | | |
| | 数字ボタン 6 | 確認 | 戻る |

・放送チャンネルリストの表示が変更されます。
・終了する場合は(メニュー)または(終了)を押します。

## 5 変更する枝番の数字を、数字ボタン（①〜⑨）で入力し、(決定)を押す

［例］枝番を2に設定する場合、②を押す

| 地上デジタルー自動 | 放送局 | 3桁 | スキップ |
|---|---|---|---|
| ー追加 | テレビ ① ●●●●● | 051-1 | |
| **ー個別** | **テレビ ② ●●●●●** | **051-1** | |
| | テレビ ③ ●●●●● | 121 | |
| | テレビ ④ ●●●●● | 041 | |
| | テレビ ⑤ ●●●●● | 021 | |
| | 変更する枝番の数字（1ー9）を入力して決定を押してください。 | | |
| | 枝番 2 | 戻る | |

## 6 で「確認」を選び、(決定)を押す

| 地上デジタルー自動 | 放送局 | 3桁 | スキップ |
|---|---|---|---|
| ー追加 | テレビ ① ●●●●● | 051-1 | |
| **ー個別** | **テレビ ② ●●●●●** | **051-2** | |
| | テレビ ③ ●●●●● | 121 | |
| | テレビ ④ ●●●●● | 041 | |
| | テレビ ⑤ ●●●●● | 021 | |
| | 枝番を変更します。 | | |
| | 枝番 2 | 確認 | 戻る |

・チャンネルの枝番が変更されます。
・終了する場合は(メニュー)または(終了)を押します。

## 5 で「スキップ」を選び、(決定)を押す

・スキップ選択画面が表示されます。

## 6 で「する」を選び、(決定)を押す

・スキップをしないときは、左右カーソルボタンで「しない」を選び、決定ボタンを押します。

・放送チャンネルリストのスキップ欄に「する」が表示されます。
・終了する場合は(メニュー)または(終了)を押します。

# デジタル放送を視聴するための設定をする AQUOS接続クイックガイドの手順11

## アンテナ設定

■ BS・110度CS共用アンテナをはじめて設置したときや引っ越しなどでデジタル放送用のアンテナを移動したときなどは、アンテナ設定が必要となります。その場合、アンテナ設定画面を見ながら設定を行うことができます。

**メニュー画面について**

- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。
- アンテナ設定画面は無操作のまま1分間経過しても消えません。消すときは、メニューまたは終了ボタンを押してください。

## アンテナ設定画面を表示する

［例］ BSデジタル放送のアンテナ設定をする

**1** BSを押し、BSデジタル放送を選ぶ

- 画面に「放送が受信できません」と表示されても、設定を行うことができます。

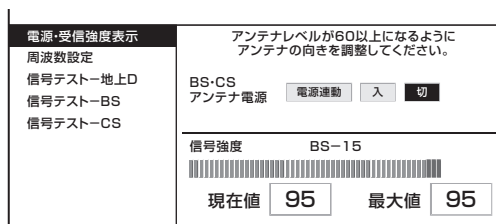
**2** メニュー画面から「本体設定」ー「アンテナ設定」を選び、決定を押す

- アンテナ設定画面が表示されます。

## アンテナに電源を供給する

地上デジタル放送にはアンテナ電源入／切の設定はありません。

**3** ① で「電源・受信強度表示」を選び、決定を押す

② で「電源連動」「入」「切」のいずれかを選ぶ

「電源連動」‥‥本機の電源入・切に連動してアンテナに電源を供給します。

「入」‥‥‥‥‥個人でアンテナを設置・接続している場合

「切」‥‥‥‥‥電源を供給しないときの設定（共聴アンテナに接続している場合など）（工場出荷時の設定）

## 受信強度を確認・調整する

（アンテナの調整が済んでいる場合は、この手順は必要ありません。）

**4** アンテナレベルが最大になるようにアンテナの向きを調整する

- アンテナレベル（信号強度）が60以上になるように、アンテナの向きを調整してください。

**5** 決定を押す

- 共聴アンテナなどに接続したときの「BS・CSアンテナ電源」の設定を誤って「入」にして、「アンテナ線がショートしています。」などのおしらせが表示されたときは、設定を「切」に変更してください。

## 信号テスト

**6** で「信号テストーBS」を選び、を押す

| 電源・受信強度表示 | BS衛星信号テスト | | |
|---|---|---|---|
| 周波数設定 | BS−1 | BS−3 | BS−5 |
| 信号テストー地上D | BS−7 | BS−9 | BS−11 |
| 信号テストーBS | BS−13 | BS−15 | 終了 |
| 信号テストーCS | 信号強度 BS−15 | | |
| | 現在値 95 | 最大値 95 | |

- 受信強度表示はアンテナの角度の最適値を確認するためのものです。表示される数値などは、具体的な信号強度などを示すものではありません。(表示される数値は、受信C/Nの換算値です。)

**7** 「BS－1」～「BS－15」のうち、確認したい項目を（決定）で選び、決定を押す

- 現在、信号が送られているのは「BS-1」「BS-3」「BS-13」「BS-15」です。（2006年12月現在）

- アンテナレベル（信号強度）が60以上あることを確認してください。

**8** （決定）で「終了」を選び、決定を押す

**操作終了する場合は**

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

### ■地上デジタル放送・110度CSデジタル放送の信号テスト

手順6で「信号テストー地上D」または「信号テストーCS」を選び、決定ボタンを押します。あとは同じ要領で行ってください。

### ■周波数設定

新しい衛星が追加されたり、現在の衛星が故障したりした場合など、新しい周波数を入力することで、受信に必要な情報を取得できます。

**通常は、設定する必要はありません。**

# デジタル放送の双方向通信をするための設定をする

■本機は、デジタル放送の双方向番組への参加や有料放送の受信情報の管理のために、放送局との通信を、電話回線を使って行います。
**双方向番組に参加する場合や有料放送を受信する場合は、電話回線に接続してください。**
**(一部の双方向番組はLAN接続でも利用できます。)**

## 電話回線に接続する　AQUOS接続クイックガイドの手順5

付属の電話線とモジュラー分配器

電話線

モジュラー分配器

### 接続上のご注意

- 電話線のプラグは奥まで完全に差し込んでください。
- 接続をするときは、本機や接続する機器の保護のため、電源を切ってください。
- 電話線のプラグを抜くときは、コードを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。

**1** 本機と電話機の電源を切る

**2** 電話機の接続線(モジュラー線)を電話線コンセントから外す

**3** 付属のモジュラー分配器を電話線コンセントに差し込む

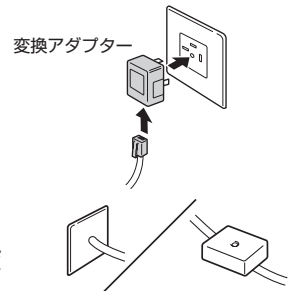
**4** 電話機の接続線(モジュラー線)をモジュラー分配器の一方に差し込む

**5** 付属の電話線でモジュラー分配器のもう一方と本機背面の電話回線端子を接続する

つぎの電話回線では注意が必要です。

**■光回線やADSLを使用する、インターネットを介したIP電話などの電話回線では**
ご加入の通信会社によっては、デジタル放送の双方向サービスが受けられない場合があります。詳しくは、ご加入の通信会社へご確認ください。

**■電話回線がモジュラージャックでない場合の接続**

- **3ピンプラグの場合**
  市販の3ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプターをお求めください。
- **直結配線方式の場合**
  簡単な工事が必要です。詳細はお近くのNTT営業窓口、もしくは116(局番なし)にお問い合わせください。

**■構内電話(ビジネスホン／ホームテレホン)では**
そのままでご利用になれないこともあります。その場合は単独の回線でのご利用をおすすめします。
詳細は電話設置会社にご相談ください。

**■キャッチホンでは**
通信の途中でキャッチホンが入ると通信が切断されます。これを防ぐため、キャッチホンⅡへのご加入をおすすめします。
詳細はお近くのNTT営業窓口、もしくは116(局番なし)にお問い合わせください。

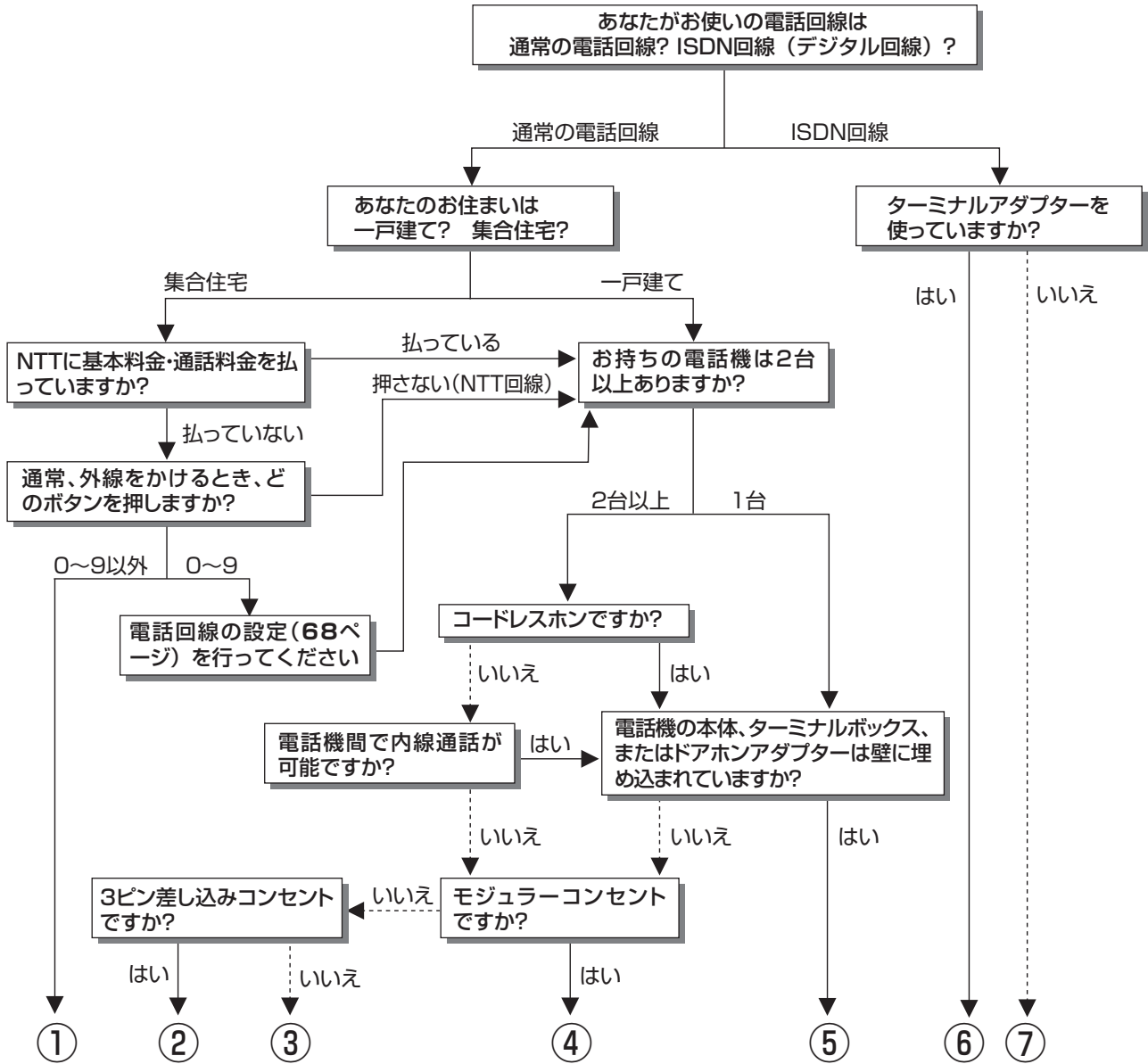
**■本機が電話回線を使って通信している間は、電話機を使用しないでください。**
通信中に電話をかけると、通信が切断されることがあります。通信中はデータ通信音(ピーヒョロヒョロ....)が聞こえます。その間は電話をしないでください。

**■直接デジタル回線に接続することはできません。**
会社やホテルなどでご使用になる場合は、電話回線が一般回線(アナログ)であることをご確認のうえご利用ください。ISDNなどのデジタル回線に接続する場合は、ターミナルアダプター(TA)等の端末器を介して接続してください。

- **本機が放送局と通信しているとき、接続している電話機やファクシミリが鳴る場合がありますが異常ではありません。**

下のチャートで電話回線の状態を確認した後、接続してください。
また、詳細はNTTへお問い合わせください。

■ ADSL回線を利用するときは、「双方向通信を利用する」の説明（**175**ページ）をご覧ください。

※ ご加入の通信会社によっては、デジタル放送の双方向サービスを受けられない場合があります。詳しくは、ご加入の通信会社へご確認ください。

① マンション交換機（PBX）を使用している可能性が大きいので、交換機を通さない電話回線につないでください。
② 市販の3ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプターをお求めください。
③ 専門業者によるモジュラーコンセントへの変換工事が必要です。
④ 付属の電話線とモジュラー分配器のみで接続可能です。（**66**ページ参照）
⑤ 専門業者による分岐工事が必要です。
⑥ 本機をターミナルアダプターに直接つないでください。
⑦ ターミナルアダプター（市販品）を使用し、本機をターミナルアダプターに直接つないでください。詳しくは、お使いのターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。

※ ③、⑤についての詳細は、お近くのNTT営業窓口、もしくは116（局番なし）でご相談ください。

## 電話回線の設定

■ お使いになっている電話回線の設定をします。電話回線が接続されていることを確認してください。(**66**ページ参照)

- 電話回線のテスト実行には、回線接続料がかかります。
- 電話回線のテスト実行には、回線の種類により最大7分程度かかる場合があります。

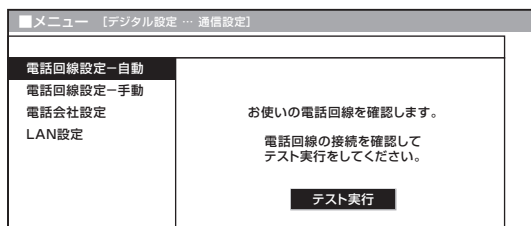
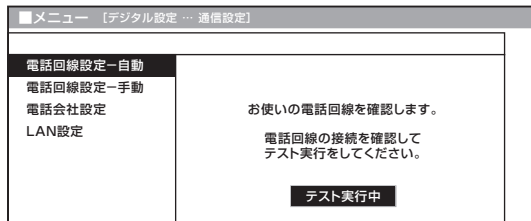
**メニュー画面について**

- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

**1** ① メニューを押し、で「デジタル設定」を選ぶ

② で「通信設定」を選び、を押す

**2** ① で「電話回線設定－自動」を選び、決定を押す

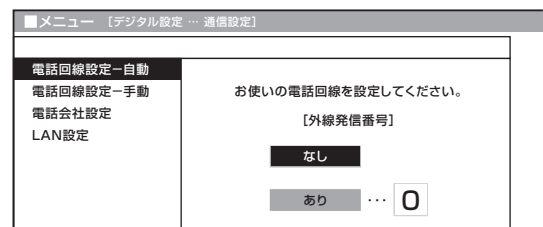
② 「テスト実行」で決定を押す

- 「テスト実行中」が表示されます。

- 「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。
- 電話回線の設定確認ができなかった場合は、「接続を確認して、もう一度テスト実行をしてください。」と表示されます。
- 2回以上連続して電話回線の設定確認ができなかった場合は、自動的に外線発信番号の設定画面に切り換わります。(次の「外線発信番号の設定」をしてください。)

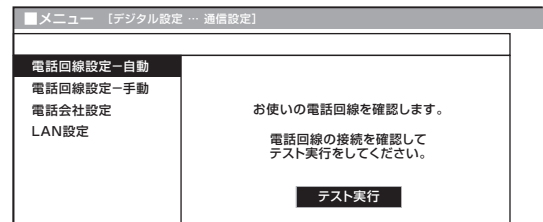
■ 電話回線の自動判定が2回以上連続してできなかった場合は、つぎの設定を行ってください。

## 外線発信番号の設定

**1** で外線発信番号「なし」または「あり」を選び、決定を押す

**「なし」**……… 外線交換機を使用しない場合
(通常の一般家庭)

**「あり」**……… 電話交換機などをご使用の場合

- 「あり」を選んだ場合は、数字ボタン(1～10/0)で、外線発信番号(0～9)を右のボックスに入力してから、決定ボタンを押します。

**2** 「テスト実行」で決定を押す

- 「テスト実行」→「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。

どうしても自動で電話回線の設定ができない場合は、「手動による電話回線設定」の手順にしたがってください。(**69**ページ)

- 外線発信番号はお間違いのないように設定してください。
- ご加入の通信会社によっては、デジタル放送の双方向サービスを受けられない場合があります。詳しくは、ご加入の通信会社にご確認ください。

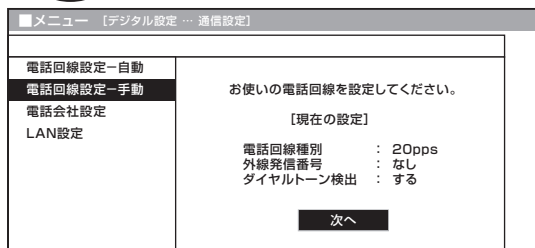
■ どうしても自動で電話回線設定ができない場合は、つぎの手順により、手動で設定してください。

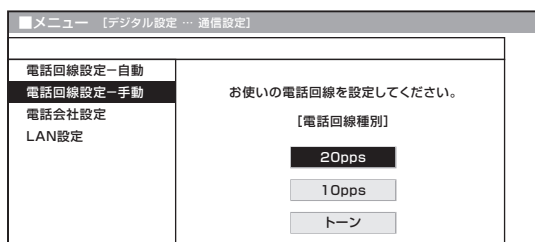
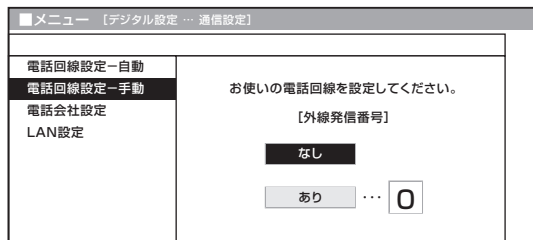
## 手動による電話回線設定

**1** ① メニューを押し、◀▶で「デジタル設定」を選ぶ

② ▲▼で「通信設定」を選び、決定を押す

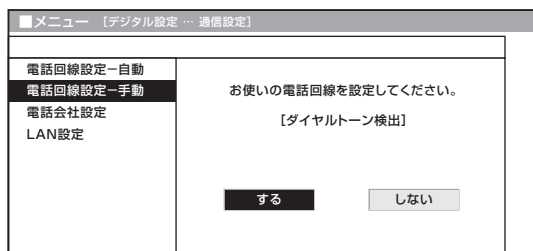
**2** ① ▲▼で「電話回線設定－手動」を選び、決定を押す

② 「現在の設定」を確認し、「次へ」で決定を押す

**3** ご契約の電話回線種別を▲▼で選び、決定を押す

- 契約している電話回線種別（ダイヤル方式）が分からない場合は、お近くのNTT営業窓口にお問い合わせください。

**4** ① ▲▼で外線発信番号「なし」または「あり」を選ぶ

- 「あり」を選んだ場合は、数字ボタン（1～10/0）で、外線発信番号（0～9）を右のボックスに入力してください。

② 決定を押す

**5** ◀▶でダイヤルトーン検出「する」または「しない」を選び、決定を押す

- NTT回線に直結している場合は「する」を選び、交換機を中継する場合は、交換機の機種により、「する」または「しない」を選んでください。

- 「電話回線設定－手動」で設定した内容を確認したい場合は、「電話回線設定－自動」で「テスト実行」を行ってください。（**68**ページ）

**操作終了する場合は**

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

- 外線発信番号はお間違いのないように設定してください。

次ページへつづく

# デジタル放送の双方向通信をするための設定をする（つづき）

## 電話会社設定

■ 各放送局など、電話回線を使って通信する際に利用する電話会社に関する設定です。
■ **通常は設定する必要はありません。**

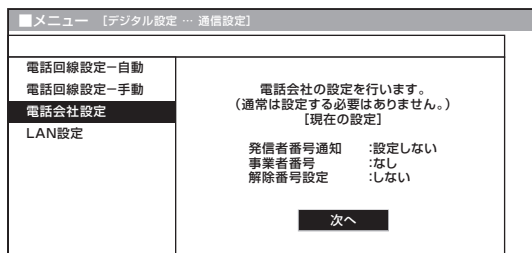
### 発信者番号通知設定

・通信後、放送局などの相手先に電話番号を通知するかしないかの設定です。

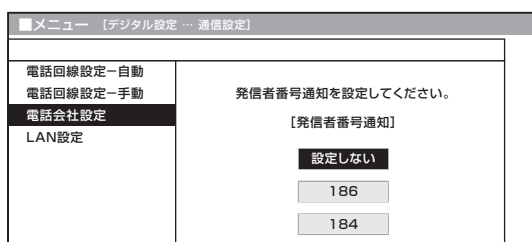
**1**
① メニューを押し、で「デジタル設定」を選ぶ
② で「通信設定」を選び、決定を押す

**2**
① で「電話会社設定」を選び、決定を押す
② 「現在の設定」を確認し、「次へ」で

を押す

■メニュー ［デジタル設定 … 通信設定］
電話回線設定−自動
電話回線設定−手動
電話会社設定
LAN設定
電話会社の設定を行います。
（通常は設定する必要はありません。）
［現在の設定］
発信者番号通知 :設定しない
事業者番号 :なし
解除番号設定 :しない
次へ

**3**
で「設定しない」「186」「184」のいずれかを選び、決定を押す

「設定しない」……… 「186」「184」の、どちらにも設定しません。
「186」………………… 番号を通知します。
「184」………………… 番号を通知しません。

■メニュー ［デジタル設定 … 通信設定］
電話回線設定−自動
電話回線設定−手動
電話会社設定
LAN設定
発信者番号通知を設定してください。
［発信者番号通知］
設定しない
186
184

### 事業者番号設定

・電話回線での通信に利用する電話会社の事業者番号を登録します。

**4**
で、利用している電話会社の事業者番号を選び、決定を押す

■メニュー ［デジタル設定 … 通信設定］
電話回線設定−自動
電話回線設定−手動
電話会社設定
LAN設定
電話会社の事業者番号を設定してください。
［事業者番号］

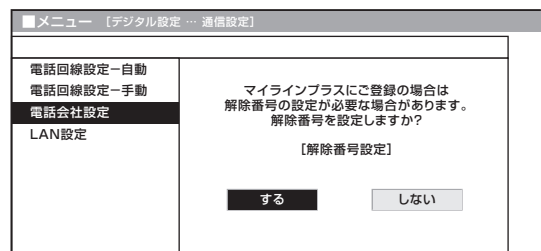
| なし | 0033 | 0071 | 0086 |
|---|---|---|---|
| 0077 | 0061 | 0080 | 0081 |
| 0088 | 0038 | 0083 | 0060 |
| 0036 | 0039 | | |

### 解除番号設定

・マイラインプラスの登録をしている場合、登録している電話会社を使わずに発信するよう設定することができます。

**5**
で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」…………… マイラインプラスを解除するための番号「122」を付けて発信します。
「しない」………… マイラインプラスを解除しないで、発信します。

■メニュー ［デジタル設定 … 通信設定］
電話回線設定−自動
電話回線設定−手動
電話会社設定
LAN設定
マイラインプラスにご登録の場合は
解除番号の設定が必要な場合があります。
解除番号を設定しますか?
［解除番号設定］
する　しない

**操作終了する場合は**

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

・1つ前に戻る場合は戻るを押してください。

# システム動作テストを行う

■ 本機は、電話回線が正しく接続されているか、また、B-CASカードが正しく装着されているか、などをテストすることができます。

### システム動作テストに失敗したときは

**電話線接続**
電話回線の接続と設定を確認してください。
⇨ **66**·**68**ページ

**B-CASカード**
B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。
⇨ **56**·**57**ページ

## 1 メニュー画面から「デジタル設定」ー「システム動作テスト」を選び、(決定)を押す

## 2 「テスト実行」で(決定)を押し、テストを開始する

• 表示が「テスト実行中」に変わります。
　テストが終了すると「テスト終了」になります。

## 3 ① 結果を確認する
## ② 「テスト終了」で(決定)を押す

**操作終了する場合は**

**(メニュー) または (終了) を押し、通常画面に戻す**

• 1つ前に戻る場合は(戻る)を押してください。

# BS・110度CSデジタル放送のチャンネルスキップ設定

■ BS/CSデジタル放送局には、テレビ／ラジオ／データと多チャンネルがありますが、選局（∧順／∨逆）ボタンで選局するときに、視聴しないチャンネルをスキップするように設定することができます。

［例］ BSデジタル放送のチャンネルスキップを設定する

## 1 BSを押し、BSデジタル放送を選ぶ

▼画面表示

④ BS テレビ
141
音声 ステレオ

## 2 メニュー画面から「本体設定」ー「チャンネル設定」を選び、決定を押す

リモコンのボタン

## 3

① ▲▼◀▶で「BSデジタル」を選び、決定を押す

② ▲▼◀▶で、スキップ設定したい放送チャンネルを選び、決定を押す

| | 放送局 | 3桁 | スキップ |
|---|---|---|---|
| 地上アナログ | テレビ ① ●●●●● | 101 | |
| 地上デジタル | テレビ ② ●●●●● | 102 | |
| BSデジタル | テレビ ③ ●●●●● | 103 | |
| CSデジタル | テレビ ④ ●●●●● | 141 | |
| デジタル登録 | テレビ ⑤ ●●●●● | 142 | |

以上のチャンネルが受信できます。
設定を変更したいチャンネルを
選択して決定ボタンを押してください。

## 4 ◀▶で「スキップ」を選び、決定を押す

| | 放送局 | 3桁 | スキップ |
|---|---|---|---|
| 地上アナログ | テレビ ① ●●●●● | 101 | |
| 地上デジタル | テレビ ② ●●●●● | 102 | |
| BSデジタル | テレビ ③ ●●●●● | 103 | |
| CSデジタル | テレビ ④ ●●●●● | 141 | |
| デジタル登録 | テレビ ⑤ ●●●●● | 142 | |

変更する項目を選択してください。

数字ボタン　スキップ　戻る

## 5 ◀▶で「する」を選び、決定を押す

- スキップをしないときは、左右カーソルボタンで「しない」を選び、決定ボタンを押します。

## 6

- 放送チャンネルリストのスキップ欄に「する」が表示されます。

| | 放送局 | 3桁 | スキップ |
|---|---|---|---|
| 地上アナログ | テレビ ① ●●●●● | 101 | する |
| 地上デジタル | テレビ ② ●●●●● | 102 | |
| BSデジタル | テレビ ③ ●●●●● | 103 | |
| CSデジタル | テレビ ④ ●●●●● | 141 | |
| デジタル登録 | テレビ ⑤ ●●●●● | 142 | |

以上のチャンネルが受信できます。
設定を変更したいチャンネルを
選択して決定ボタンを押してください。

### 操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

# 放送を視聴する

# 番組を選ぶ

## 番組の選択手順と操作のしかた

**デジタル放送の場合は、電子番組表(EPG)を使って番組を選ぶこともできます**

- **右記手順 1 ～ 2 の後に電子番組表を表示して、放送中の番組を選びます。**

電子番組表(EPG)の表示のしかた、機能、操作方法については、**82**～**86**ページをご覧ください。

AQUOS

SHARP

### 1. 放送の種類(ネットワーク)を選ぶ

放送切換ボタンで、放送の種類(ネットワーク)を選びます。

| ボタン | 放送の種類 |
|---|---|
| 地上A | 地上アナログ放送 |
| 地上D | 地上デジタル放送 |
| BS | BSデジタル放送 |
| CS | 110度CSデジタル放送 |

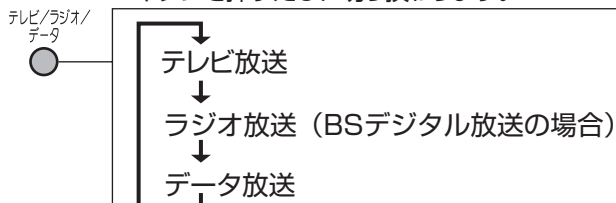
### 2. 「テレビ」「ラジオ」「データ」を選ぶ (デジタル放送の場合)

テレビ／ラジオ／データボタンで、メディアを選びます。

・メディアとは、テレビ、ラジオなどの放送媒体を意味します。

※ボタンを押すたびに切り換わります。

テレビ/ラジオ/データ

テレビ放送
↓
ラジオ放送（BSデジタル放送の場合）
↓
データ放送

### 3. 視聴したいチャンネルを選ぶ

次のいずれかの方法でチャンネルを選びます。

#### ■チャンネルボタン(数字ボタン)で選ぶ

- チャンネルボタンを押してください。
- チャンネルボタンには、各放送局のチャンネルが登録（設定）されており、ワンタッチ選局できます。
- 登録されているチャンネルの確認のしかたは**77**ページをご覧ください。

#### ■選局(∧順／∨逆)ボタンで選ぶ

- 視聴したい番組が表示されるまで選局（∧順／∨逆）ボタンを押してください。
- 選局（∧順／∨逆）ボタンを押すたびに、視聴中のネットワーク・メディアのチャンネルが、順方向・逆方向に選局できます。

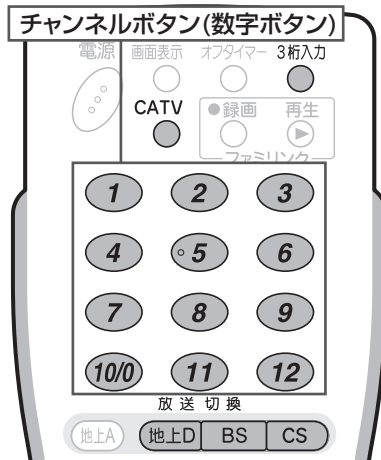
- デジタル放送はB-CASカード(**56**·**57**ページ)を挿入してご覧ください。挿入しないと視聴できません。
  地上デジタル放送は、地域設定とチャンネル設定(**58**～**63**ページ)を行うとご覧になれます。
  なお、お住まいの地域で地上デジタル放送開始前は設定しても受信できません。
- データ放送の使いかたは、各放送局の番組の作りかたによって異なります。基本的にはカーソルボタン、決定ボタン、カラーボタンなどで操作します。
- 地上デジタル放送と110度CSデジタル放送には、ラジオ放送がありません。

選局したチャンネルの画面表示例

- BSデジタル放送のテレビ放送「NHK BS1」を選んだとき

- BSデジタル放送のラジオ放送「WINJ」を選んだとき

- BSデジタル放送のデータ放送「ウェザーニュース」を選んだとき

# その他の選局方法

## 3桁入力で選ぶ（デジタル放送の場合）

・視聴したい番組の3桁チャンネル番号を入力して選局できます。 チャンネル番号表（**77**ページ）を参照してください。

**1** 地上D BS CS のいずれかを押し、放送の種類（ネットワーク）を選ぶ

**2** ［例］BSデジタル放送の161チャンネル（BS-i）を選ぶとき

① 3桁入力 を押す

・画面右上に3桁入力欄が表示されます。

BS
– – –

② 数字ボタン 1 6 1 を押す

BS
16–

・間違った番号を入力した場合は、再度3桁入力ボタンを押すと、初めに入力した番号がクリアされます。

## CATVチャンネルを選ぶ

・CATVチャンネルは工場出荷時、スキップ「する」に設定されています。（解除のしかたは**55**ページ）

・本機のCATVチャンネルは、C13～C63チャンネルの範囲で選局できます。
［例］C23を選ぶとき

**1** CATV を押す

**2** 数字ボタン 2 3 を押す

## お好み選局／登録画面を表示して選ぶ

・お好み選局／登録ボタンを押して、登録されているチャンネルを選局します。（**160**ページ「お好みのチャンネルを登録する」を参照してください。）

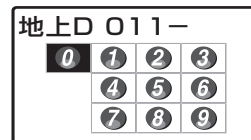
**1** お好み選局 登録 を押して、お好み選局／登録画面を表示する

**2** 視聴したいチャンネルが登録されているチャンネルボタン（1～12）を押す

・視聴したいチャンネルが直接、選局できます。

## 地上デジタルチャンネルの枝番を選んで選局する

・地上デジタル放送を3桁入力で選局したとき、チャンネル番号の重複する放送局がある場合は、4桁め（枝番）を選んで番組を選局します。

・3桁チャンネル番号が重複している場合は、4桁め（枝番）の選択画面が表示されます。

数字ボタン（1～10/0）で4桁めの数字（枝番）を入力し、選局する

## はじめてCSチャンネルを選局するときは

・CSネットワーク情報を取得するため、次の手順で操作してください。

① 放送切換ボタンの CS を押します。そのままで5秒程お待ちください。

② リモコンのチャンネルボタン 1 を押します。そのままで5秒程お待ちください。

③ 番組表 を押して、選局したい放送局のチャンネル番号が表示されることを確認します。

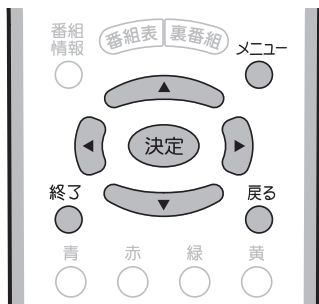
④ 選局したい放送局のチャンネル番号が表示されない場合は、チャンネルボタン 1 または 2 を押し、目的のチャンネル番号が表示されるまで、再度5秒程度お待ちください。

# ゴーストを軽減する(GR機能)

■ ゴースト(電波障害)の発生によって見にくくなった地上アナログ放送チャンネルのゴーストを軽減することができます。(GR機能)
※GRはゴーストリダクションの略称です。

■ GR機能は、地上アナログ放送の入力信号に対してのみ動作し、チャンネルごとに設定できます。

■ GR設定は工場出荷時、地上アナログ放送のすべてのチャンネルが「入」に設定されています。

「ゴースト」について
- ゴーストとは、放送局とテレビアンテナの間に高層ビル等の障害物がある場合など、電波が乱反射することによって発生する現象で、映像がダブって見えたり、ぼやけて見えたりするためにゴースト(幽霊)と呼ばれます。また、工事用のクレーンや天候等が原因で発生したゴーストは、時間の経過とともに大きく変化したり揺れたりします。
- ゴーストは、場所·天候等により発生原因が千差万別であるため、発生原因に対応して完全にゴーストを消すことはできません。

- つぎのような場合は、ゴースト軽減効果が得られません。
  - 放送局からゴースト除去基準信号が送られていないとき
  - 飛行機などの反射によりゴーストが変動するとき
  - ゴーストの電波が強いとき
  - ビデオデッキなどからの再生映像を見るとき
- GR設定を「入」にしておくと映像が見づらい場合は、「切」にしてください。
- チャンネルを切り換えた直後は、一時的にゴーストが増えることがあります。
- 電波が弱いときにGR機能を働かせた場合は、新たにゴーストがつく場合があります。
- アンテナを正しい向きに設置しないと、ゴーストが軽減できない場合があります。(アンテナは、最も強い電波が来る方向に向けてください。)

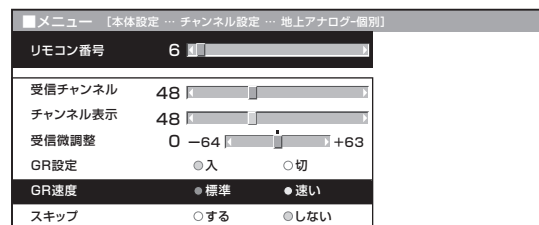
**1** 地上アナログ放送の「個別設定」(54ページ)の共通操作手順1～3を行う

**2** GR設定を変更したいチャンネルボタンを押す

**3** ① (▲▼)で「GR設定」を選ぶ

② (◀▶)で「入」を選ぶ

**4** ① (▲▼)で「GR速度」を選ぶ

② (◀▶)で「標準」または「速い」を選ぶ

「標準」…… GR効果はゆっくり現れますが、より確実な効果が得られます。

「速い」…… GR効果は早く現れますが、確実な効果が得られない場合があります。

**操作終了する場合は**

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

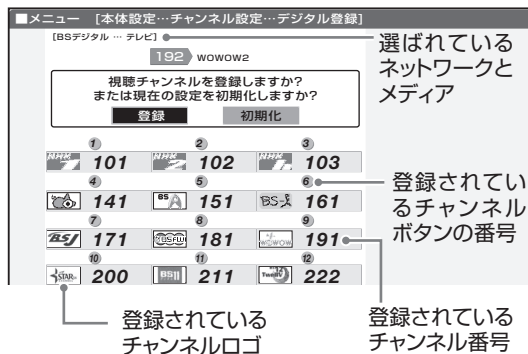
- GR機能を「入」にすると、チャンネル表示の中に「**GR**」が表示されます。

# デジタル放送の登録チャンネルを確認する

■ ワンタッチ選局に使うチャンネルボタンに現在登録されているデジタル放送のチャンネルを確認することができます。

**デジタル放送を視聴中に、メニュー画面から「本体設定」ー「チャンネル設定」ー「デジタル登録」ー「する」を選んで(決定)を押す**

- 登録されているチャンネル内容の一覧が表示されます。

〈例〉BSデジタル放送の、テレビ放送の一覧

**操作終了する場合は**

**(メニュー) または (終了) を押し、通常画面に戻す**

- 1つ前に戻る場合は(戻る)を押してください。

## 工場出荷時に設定されているデジタルチャンネル一覧

### BS（BSデジタル放送）チャンネル

| チャンネルボタン | テレビ | | ラジオ | | データ | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | チャンネル名 | チャンネル番号 | チャンネル名 | チャンネル番号 | チャンネル名 | チャンネル番号 |
| 1 | NHK BS1 | 101 | ― | ― | ― | ― |
| 2 | NHK BS2 | 102 | ― | ― | ウェザーニュース | 910 |
| 3 | NHK ハイビジョン | 103 | ― | ― | ― | ― |
| 4 | BS 日テレ | 141 | WINJ | 333 | ― | ― |
| 5 | BS 朝日 | 151 | ― | ― | ― | ― |
| 6 | BS-i | 161 | ― | ― | ― | ― |
| 7 | BS ジャパン | 171 | ― | ― | 知求チャンネル | 999 |
| 8 | BS フジ | 181 | ― | ― | ― | ― |
| 9 | WOWOW | 191 | ― | ― | ― | ― |
| 10/0 | スター・チャンネル | 200 | ― | ― | ― | ― |
| 11 ※ | ― | 211 | ― | ― | ― | ― |
| 12 ※ | ― | 222 | ― | ― | ― | ― |

※ BSデジタル放送のチャンネルボタン(11)、(12)には将来放送が予定されているBSチャンネルが設定されます。放送開始前にチャンネルボタン(11)、(12)に他のチャンネルを登録した後、もとの状態に戻す場合は、左記の「デジタル登録」画面で「初期化」を選び、(決定)を押してください。(1)～(12)のすべてのボタンが初期状態に戻されます。

### CS（110度CSデジタル放送）チャンネル

| チャンネルボタン | テレビ |
|---|---|
| | チャンネル番号 |
| 1 | 100 |
| 2 | 001 |
| 3 | ― |
| 4 | ― |
| 5 | ― |
| 6 | ― |
| 7 | ― |
| 8 | ― |
| 9 | ― |
| 10/0 | ― |
| 11 | ― |
| 12 | ― |

### 地上デジタルチャンネル

| チャンネルボタン | チャンネル名 | チャンネル番号 |
|---|---|---|
| 1 | NHK総合・東京 | 011 |
| 2 | NHK教育・東京 | 021 |
| 3 | ― | ― |
| 4 | 日本テレビ | 041 |
| 5 | テレビ朝日 | 051 |
| 6 | TBS | 061 |
| 7 | テレビ東京 | 071 |
| 8 | フジテレビジョン | 081 |
| 9 | 東京MXテレビ | 091 |
| 10/0 | ― | ― |
| 11 | ― | ― |
| 12 | 放送大学 | 121 |

関東の東京で受信できるチャンネルです。

- 上記チャンネルプランは2006年12月現在のもので、変更されることもあります。
- 地上デジタル放送と110度CSデジタル放送には、ラジオ放送がありません。
- デジタル登録画面を表示中に、各放送切換ボタンまたはテレビ／ラジオ／データボタンを押すと、ネットワーク・メディアが切り換わり、そのデジタル登録画面が表示されます。

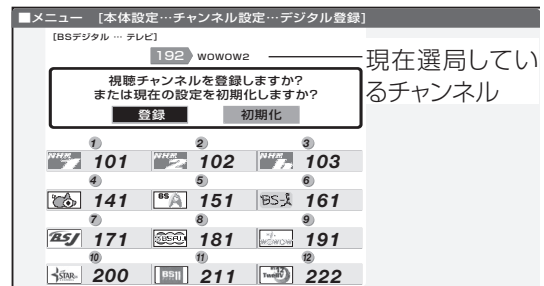
# デジタル放送のお好みのチャンネルを登録する

■ 各デジタル放送ネットワーク(地上D、BS、CS)の各メディア(テレビ/ラジオ/データ)につき、登録したいチャンネルを12局まで、チャンネルボタン(1〜12)に登録することができます。

**1**

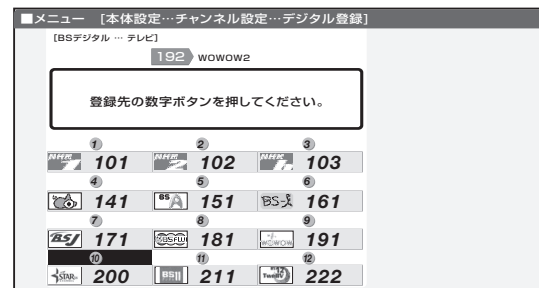
① 登録したいチャンネルを選局する

② メニュー画面から「本体設定」−「チャンネル設定」−「デジタル登録」−「する」を選んで(決定)を押す

③ ◀▶で「登録」を選び、(決定)を押す

・設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「初期化」を選んで決定ボタンを押します。

**2**

登録したいチャンネルボタン(1〜12)を押す

[例]「WOWOW2」(192チャンネル)を10/0に登録する場合は、チャンネルボタン10/0を押します。

・登録確認画面が表示されます。

**操作終了する場合は**

**メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す**

・1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

・メニュー または 終了 を押さなくても、しばらくすると画面表示は消えます。

# 複数の映像や音声を切り換える

■ 複数の映像(最大4つ)または音声(最大8つ)がある番組をご覧のとき、映像および音声を切り換えて楽しむことができます。

## 複数の映像を楽しむ

■ 複数の映像のある番組をご覧のとき、映像切換ボタンを押すと、映像を切り換えることができます。

### 映像切換 を押し、映像を切り換える

- ボタンを押すたびに映像が切り換わり、チャンネルサインの下に映像表示が出ます。

(画面例)

※番組によって映像の数は異なります。

## 複数の音声を楽しむ

■ 複数の音声のある番組をご覧のとき、音声切換ボタンを押すと、音声を切り換えることができます。

### 音声切換 を押し、音声を切り換える

- ボタンを押すたびに音声が切り換わり、チャンネルサインの下に音声表示が出ます。

(画面例)

音声表示

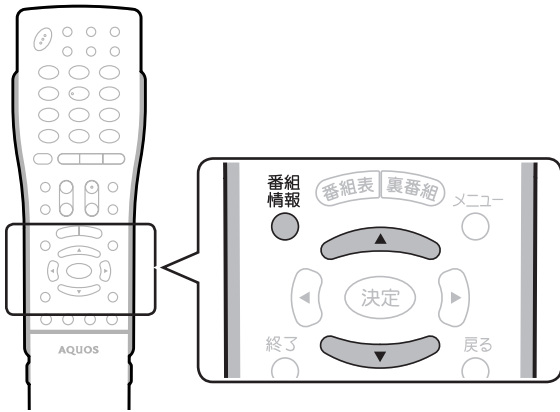
マルチ音声番組のとき　→音声1 → 音声2～8※ →

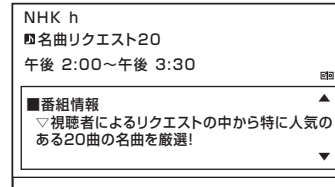
※番組によって音声の数は異なります。

二重音声番組のとき　→主 → 副 → 主/副 →

- マルチ音声番組を受信したときは、前回の選択にかかわらず、「音声1」が選択されます。
- 二重音声番組を受信したときは、前回選択されていた音声が選択されます。
- 録画予約時に「詳細を設定する」を選択していない場合、二重音声の場合は、直前に視聴した音声で録画します。その他の場合は、「映像1」「音声1」で録画します。

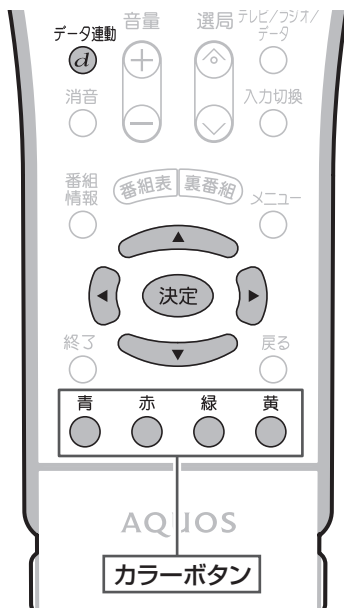
# 視聴中の番組の情報を見る

■ 番組視聴中に番組情報ボタンを押すと、画面に番組情報が表示されます。

番組情報（○）を押し、番組情報を表示する

（番組情報の画面例）

- 表示内右側に▲▼マークがある場合は、上下カーソルボタンで情報内容の送り･戻しができます。
- 番組情報表示を消すときは、もう一度番組情報ボタンを押します。

# テレビ放送に連動したデータ放送を視聴する

■ テレビ放送に連動したデータ放送がある場合は、データ連動ボタンを押すと、連動データ放送を見ることができます。

- 電源を入れた直後やチャンネル切換えをした直後は、データ連動（d）ボタンを押しても連動データ放送画面が表示されないことがあります。この場合は、テレビ放送受信後しばらく（約20秒）待ってから操作してください。（表示されるまでの時間は、放送内容によって異なります。）

データ連動（d）を押す

- 連動データ放送の画面になります。

（連動データ放送の画面例）

- テレビ放送に戻すときは、もう一度データ連動（d）ボタンを押します。

## データ放送の基本操作

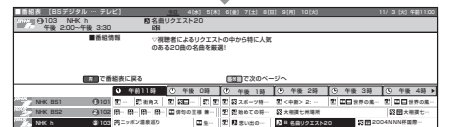
**1** （カーソルボタン）で項目を選び、（決定）を押す

**2** カラーボタンに対応した項目のボタンを押す

※ データ放送は放送局側で制作したメニュー画面により操作が異なりますので、画面の表示に従って操作してください。

# 電子番組表(EPG)の使いかた

# 電子番組表(EPG)について

■ デジタル放送では、電子番組表(EPG)の情報が送信されており、見たい番組を探したり、番組情報を見たり、番組を予約したりするのに、この電子番組表を使います。

**おしらせ**

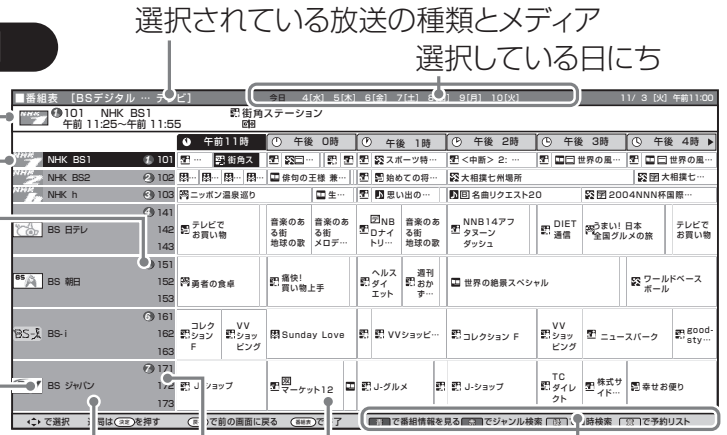
- 電子番組表を表示できるのはデジタル放送のみです。
- 本書ではおもにBSデジタル放送の電子番組表の画面を表示例にしています。

**地上デジタル番組表について**

- 地上デジタル放送の電子番組表(EPG)の情報は、送信している各放送チャンネルから取得する必要があります。(**84**ページ)

番組の放送内容を調べたり、
録画の予約もできるのね。

## 電子番組表(EPG)の例

- **放送中の番組を選んだとき**
  ⇨ 選んだ番組が選局されます。
- **放送予定の番組を選んだとき**
  ⇨ 予約選択画面になります。
  (**90**ページ)

電子番組表(EPG)の表示時間は、表示範囲を切り換えて3時間表示(拡大)と6時間表示(広角)が選択できます。(**84**ページ参照)

## ジャンル別番組表

(詳しくは**85**ページ)

**ジャンル別に一覧表示された番組から、◁▷で選び、(決定)を押す**

## 日時指定した番組表

(詳しくは**85**ページ)

**◁▷で日付と時間帯を指定して番組を選び、(決定)を押す**

時間帯表示

緑 ◯:日時指定した日の前日の番組表

黄 ◯:日時指定した日の次の日の番組表

### 電子番組表(EPG)に表示されるアイコン

**ジャンルを示すアイコン**

| アイコン | ジャンル | アイコン | ジャンル |
|---|---|---|---|
| | ニュース/報道 | | 映画 |
| | スポーツ | | アニメ/特撮 |
| | 情報/ワイドショー | | ドキュメンタリー/教養 |
| | ドラマ | | 劇場/公演 |
| | 音楽 | | 趣味/教育 |
| | バラエティ | | 福祉 |

- ジャンルアイコンの表示はメニューで変更できます。(**84**ページ)

**番組情報を示すアイコン**

| アイコン | 内 容 |
|---|---|
| | 視聴予約している番組 |
| | 録画予約(ビデオ予約)している番組 |
| | 録画予約(i.LINK予約)している番組 |
| | 録画予約(ファミリンク予約)している番組 |
| | 有料放送、または PPV(ペイパービュー)番組 |
| | i.LINKによるデジタルコピーが禁止の番組 |
| | i.LINKによるデジタルコピーが1回のみ可能な番組 |

### 番組を予約(視聴予約・録画予約)する

放送予定の番組を予約します。

放送予定の番組を選んで、(決定)を押します。

▼予約選択画面

(**詳しくは90ページ**)

### 予約を確認する

黄 ◯(予約リスト)を押します。

予約済み番組の確認、変更、取り消しができます。

▼予約リスト画面

(**詳しくは97ページ**)

# 電子番組表(EPG)を利用するための設定を行う

共通操作

**1** メニュー画面から「デジタル設定」ー「番組表設定」を選び、(決定)を押す

**2** (▲▼◀▶)で設定したいメニュー項目を選び、(決定)を押す

| メニュー項目 | 設定画面 |
|---|---|

## 番組表取得設定

■ 地上デジタル放送の電子番組表(EPG)を取得、表示するときの詳細な設定です。
設定を「する」にしておくと、電源待機中に自動取得し、電子番組表(EPG)の表示が早くなります。

- 番組表取得設定を「する」に設定した場合、リモコンで電源を「切」にしても、電源が切れるまでにしばらく時間がかかることがあります。(本機が放送局の番組情報を取得しているためです。)
また、本体の電源スイッチで「切」にした場合は、番組情報を取得できません。

**3** (◀▶)で「する」または「しない」を選び、(決定)を押す

- 操作終了する場合は(メニュー)または(終了)を押してください。

## 表示範囲設定

■ 電子番組表(EPG)に一度に表示できる範囲を切り換えて、3時間表示(拡大)と6時間表示(広角)のどちらかを選択できます。
「拡大」:個々の番組を詳細に表示して3時間分表示
「広角」:表示範囲を広角にして6時間分表示

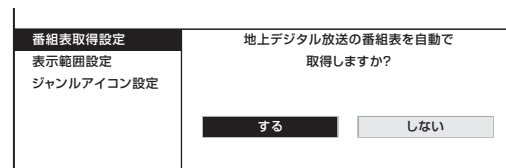
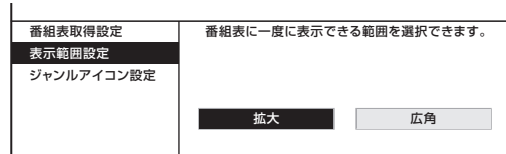
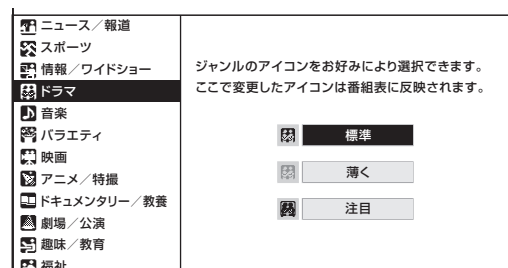
- 工場出荷時は「広角」に設定されています。

**3** (◀▶)で「拡大」または「広角」を選び、(決定)を押す

番組表取得設定
表示範囲設定
ジャンルアイコン設定
番組表に一度に表示できる範囲を選択できます。
拡大　広角

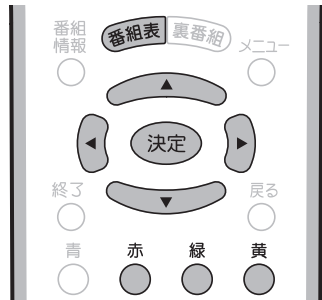
- 操作終了する場合は(メニュー)または(終了)を押してください。

## ジャンルアイコン設定

■ 電子番組表(EPG)に表示されるジャンル名に濃淡やマークをつけて識別しやすくできます。

**3** ① (▲▼)で識別したいジャンル名を選び、(決定)を押す
② (▲▼)で「標準」「薄く」「注目」のいずれかを選び、(決定)を押す

- 操作終了する場合は(メニュー)または(終了)を押してください。

# 電子番組表（EPG）で番組を探す

## 見たい番組を探す

■ 電子番組表の中から番組を選んで、視聴または予約することができます。

**1** 番組表を押し、電子番組表（EPG）を表示する

・電子番組表の例が**83**ページにあります。

**2** 見たい番組を（決定）で選び、決定を押す

・放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が表示されます。
・放送予定の番組を選んだときは、予約選択画面になります。

・現在の時間帯より前の番組表は表示できません。

**電子番組表の表示内容**

・テレビ放送……8日分
・ラジオ放送……3日分
・データ放送……最低1日分
・表示時間………3時間または6時間
※ 電源を入れてからすぐに番組を選んだときは、表示されるまでに時間がかかる場合があります。

・**電子番組表（EPG）の表示時間は、表示範囲を切り換えて3時間表示（拡大）と6時間表示（広角）が選択できます。（84ページ参照）**

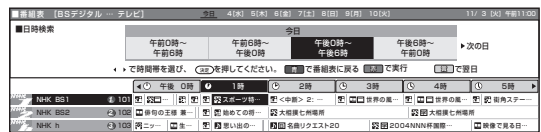
## 日時を指定して番組を探す

■ 日時を指定して、電子番組表を表示させることができます。

**1** ① 番組表を押し、電子番組表（EPG）を表示する
② 緑（日時検索）を押す

・電子番組表の例が**83**ページにあります。

**2** （決定）で時間帯（6時間単位）を選び、決定を押す

・緑ボタンを押すと、前日の電子番組表が表示されます。黄ボタンを押すと、次の日の電子番組表が表示されます。

・指定された日時の電子番組表が表示されます。

**3** （決定）で番組を選び、決定を押す

## 分類（ジャンル）で番組を探す

■ 番組を分類（ジャンル）別に表示させて、見たい番組を選ぶ方法です。

**1** ① 番組表を押し、電子番組表（EPG）を表示する
② 赤（ジャンル検索）を押す

・電子番組表の例が**83**ページにあります。

**2** ① （決定）でジャンルを選ぶ
② （決定）で時間帯（12時間単位）を選び、決定を押す

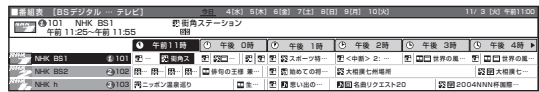
**3** 見たい番組を（決定）で選び、決定を押す

・黄ボタンを押すと、番組表示を次のページに送ることができます。前のページに戻るときは、緑ボタンを押します。

# 電子番組表(EPG)で番組の内容を確認する

## 番組の内容を確認する

■ 電子番組表で、番組の詳しい情報を見ることができます。

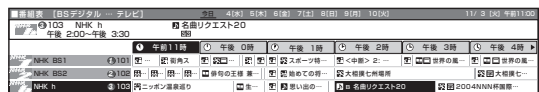
**1** 番組表を押し、電子番組表を表示する

### 放送中の他の番組(裏番組)を知りたいとき

・気になる裏番組を一覧で確認できます。

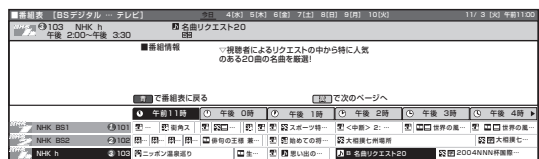
裏番組を押し、裏番組表を表示する

■裏番組表[BSデジタル … テレビ] 11/ 3 [火] 午前11:00
101 NHK BS1 午前11:25~午前11:55
街角ステーション

| チャンネル | 番組 |
|---|---|
| 101 NHK BS1 | 街角ステーション |
| 102 NHK BS2 | 純愛ドラマ総集編 |
| 103 NHK h | ニッポン温泉巡り |
| 141 BS 日テレ | テレビでお買い物 |
| 151 BS 朝日 | 勇者の食卓 |
| 161 BS-i | コレクション F |
| 171 BS ジャパン | J-ショップ |
| 181 BS フジ | らくらくショッピング |
| 191 WOWOW | シネマアイ |
| 200 スターチャンネル | ラスト・サプライズ |

**2** 内容を確認したい番組を ◀ ▶ で選ぶ

**3** 青(番組情報を見る)を押す

・番組情報が表示されます。

■番組情報
視聴者によるリクエストの中から特に人気のある20曲の名曲を厳選!
青 で番組表に戻る　で次のページへ

・番組情報案内にしたがって、カラーボタン、テレビ/ラジオ/データボタン、カーソルボタンを使い、希望する情報を選択します。
・選んだ番組を視聴したいときは、決定ボタンを押すと選局できます。(裏番組の情報表示中)

### 視聴中の番組の情報を見るには

・番組情報を押してください。(80ページ参照)
(電子番組表を表示する必要はありません。)

・地上D・BS・CSのいずれのネットワークについても、また、テレビ・ラジオ・データのいずれのメディアについても、同じように裏番組表を表示することができます。
・裏番組表を表示しているときに放送切換ボタン(地上D・BS・CS)、テレビ/ラジオ/データボタンを押すと、他のネットワークやメディアの裏番組表に切り換えることができます。

# デジタル放送の予約と録画

ページ

# デジタル放送の予約のながれ

## 本機でできるデジタル放送の予約について

■ デジタル放送の番組を電子番組表（EPG）から予約して視聴したり、外部録画機器に録画できます。
- 予約した時刻になると、予約した番組に自動的に切り換わります。

→**視聴予約**（**90**ページ）

- 予約した時刻になると、本機から録画信号が出力されます。

→**録画予約**（**91**ページ）

■ 録画予約には、接続した録画機器の種類によって3通りの方法があります。
- ビデオデッキやDVDレコーダーなどの録画機器に録画したいときは

→**ビデオ予約**（**91**ページ）

- i.LINKに対応したD-VHSビデオデッキ、AV-HDDレコーダー、Blu-ray Discレコーダーに録画したいときは →**i.LINK予約**（**94**ページ）
- ファミリンク対応の録画機器に録画したいときは

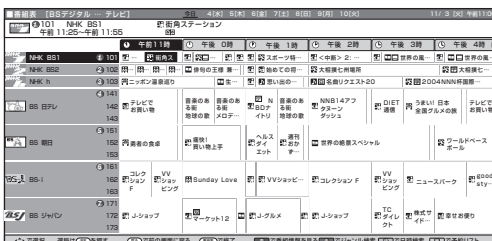
→**ファミリンク予約**（**167**ページ）

■ 番組の延長や放送時間の変更に追従して、視聴あるいは録画できます。

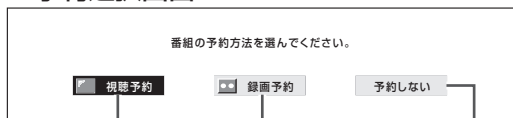
### 番組予約（「視聴予約」と「録画予約」）のながれ

**くわしくは 90～96ページ**

**1** デジタル放送を視聴中に電子番組表（EPG）を表示させる

▼電子番組表（EPG）

**2** 予約したい番組を選ぶ
- 日時指定やジャンル検索で選ぶこともできます。

**3** 予約の種類を選ぶ

▼予約選択画面

- 録画予約を選択した場合、録画開始2分前になるとデジタル放送に関する選局や番組表などの操作やアナログ放送の選局操作を受け付けなくなります。（ビデオ連動録画設定（**110**～**112**ページ）をシャープ7、8に設定している場合は録画開始5分前からになります。）また、録画予約の実行中も同様に操作を受け付けません。

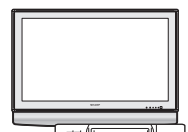
「予約しない」を選ぶと、予約しないで番組表に戻ります。

**視聴予約**

視聴するための予約です。予約した時刻になると、予約した番組に切り換わります。

**次ページの手順5へ**

**録画予約**

録画するための予約です。予約した時刻になると、予約した番組の録画信号がモニター出力／入力４／（録画出力）端子から出力されます。

**次ページの手順4へ**

## 4 録画機器を選ぶ（録画予約の場合）

▼予約選択画面

「予約しない」を選ぶと、
予約しないで番組表に戻ります。

**ビデオ予約（91ページ）**

予約した時間に合わせ、ビデオ機器を録画開始、終了させます。
本機と録画機器とで同時にタイマーを設定する場合もこれを選びます。

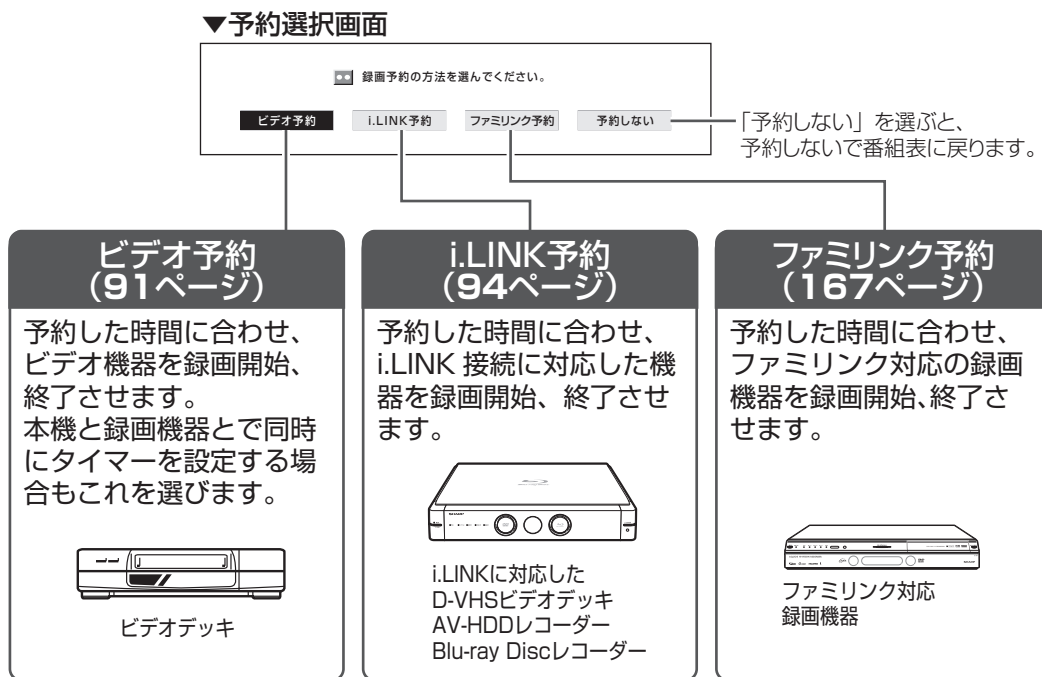
ビデオデッキ

**i.LINK予約（94ページ）**

予約した時間に合わせ、i.LINK 接続に対応した機器を録画開始、終了させます。

i.LINKに対応した
D-VHSビデオデッキ
AV-HDDレコーダー
Blu-ray Discレコーダー

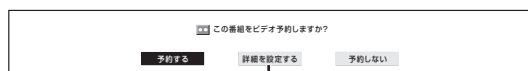
**ファミリンク予約（167ページ）**

予約した時間に合わせ、ファミリンク対応の録画機器を録画開始、終了させます。

ファミリンク対応
録画機器

## 「予約する」を選ぶ

- 無料放送や契約済みの番組を簡単予約します。

▼視聴予約・ファミリンク予約の場合

▼ビデオ予約・i.LINK予約の場合

### 「詳細を設定する」を選んだ場合は

- PPV番組（有料番組）を購入できます。（**96**ページ）
- 複数の映像や音声のある番組を予約したときは、録画する映像・音声を選択したり追加購入の設定ができます。（**93**・**95**ページ）
- i.LINK予約の場合は、録画するi.LINK機器を変更できます。（**95**ページ）
- 予約設定の確認ができます。（**93**・**95**ページ）

## 「戻る」を選び、予約を終了する

- 予約が設定され、本体前面右下の予約ランプが点灯します。

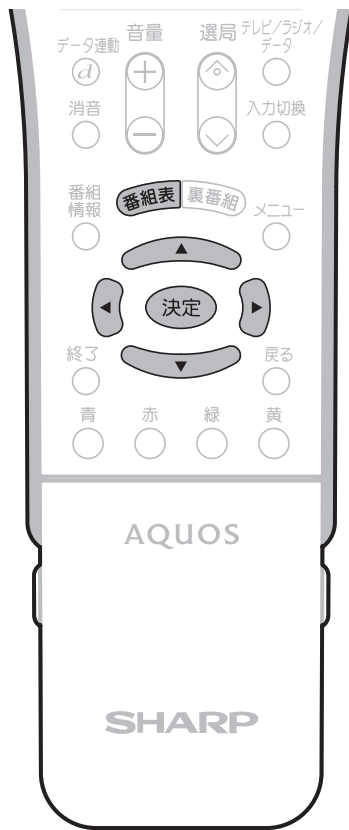
**デジタル放送の録画に関するご注意**

- デジタル放送のほとんどの番組には「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が加えられています。この信号とともに録画された番組は、他のデジタル機器へのダビングができません。

- 有料放送を視聴・予約する場合は、有料放送を行うプラットフォームや放送局とあらかじめ受信契約を済ませてください。契約していない有料放送は、番組表から予約しても予約どおりに視聴や録画ができません。
- 番組が開始する 2 分前までに予約を完了してください。開始 2 分前になると、予約ができません。
（ビデオ連動録画設定（**110**～**112** ページ参照）をシャープ 7､8 に設定している場合に限り､2 分前でなく､5 分前までに予約を完了してください。）

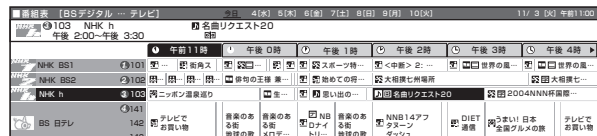
# デジタル放送の予約手順

**予約操作の前に**

- 録画機器の操作方法については、録画機器の取扱説明書をご覧ください。
- 予約録画する前に、必ず試し録りをしてください。
- 番組が開始する2分前までに予約を完了してください。開始2分前になると、予約ができません。（ビデオ連動録画設定（**110**～**112**ページ参照）をシャープ7、8に設定している場合に限り、2分前でなく、5分前までに予約を完了してください。）
- 有料放送を予約する場合は、有料放送のプラットフォームや放送局と、あらかじめ契約をしておく必要があります。契約をしていないと、予約どおりの視聴や録画はできません。
- 前に入れた予約と日時が重なっている場合は、前の予約を破棄して新たな予約をするか、しないかを選択します。
- 最大16番組まで予約できます。すでに16番組を予約していて、新たな予約をしたい場合は、予約の取り消し（**97**ページ）が必要です。

- 番組の始まる2分前（一部の機器では5分前）までに予約して、電源を切るときは、リモコンで電源を切るのね。
- 有料放送は契約してから予約してね。
- 予約できる番組数は16番組までです。

## 視聴予約する

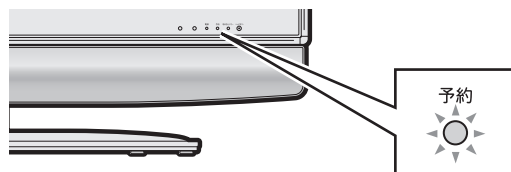
**1** ① 番組表を押し、電子番組表を表示する

② 予約したい番組を◀▶で選び、決定を押す

- 予約選択画面になります。
- 翌日以降の番組を予約したいときは、日時指定（**85**ページ）で番組表を表示させると便利です。

**2** ◀▶で「視聴予約」を選び、決定を押す

**3** ◀▶で「予約する」を選び、決定を押す

**4** 「戻る」で決定を押す

- 視聴予約が設定され、本体前面右下の予約ランプが点灯します。

**視聴予約を設定した後に電源を切るときのご注意**

- リモコンの電源ボタンで「切」にしてください。本体の電源スイッチでは切らないでください。本体の電源スイッチで「切」にした場合は、予約が実行されません。

## ビデオ予約する(録画予約)

■ ビデオデッキなどの録画機器を使った録画予約のうち、次の3つの場合は「ビデオ予約」を選んで設定します。

- 付属のビデオコントローラーを使い、予約時間に合わせてビデオデッキ(ビデオコントローラー対応)の録画を開始･終了させ、予約したデジタル放送の番組を録画する場合(予約録画の方法A)
- 外部自動録画(シンクロ予約)機能に対応している録画機器で、予約時間に合わせて録画機器の録画を開始･終了させ、予約したデジタル放送の番組を録画する場合(予約録画の方法B)
- ビデオコントローラーおよび外部自動録画(シンクロ予約)機能に対応していない録画機器の側で、本機側と同様に日時やチャンネルを予約設定してデジタル放送の番組を録画する場合(予約録画の方法C)

■ 「i.LINK予約」については、**94**ページをご覧ください。

■ 「ファミリンク予約」については**167**ページをご覧ください。

- ビデオ連動録画する場合は、入力4端子設定を「モニター出力(固定)」または「モニター出力(可変)」に設定してください。(**114**ページ)

### 1 ビデオデッキの接続と本機側の設定をする

- 予約録画の方法Aの場合、初めてビデオ予約を行う場合は、あらかじめ録画機器･ビデオコントローラーの接続(**110**ページ)、およびビデオ連動録画設定(**111**ページ)を済ませておいてください。
- 予約録画の方法Bおよび予約録画の方法Cの場合、あらかじめ録画機器との接続を済ませてから、**111**ページ手順**4**のビデオ連動録画の設定で、「ビデオコントローラーを使用しない」を選んで(決定)を押します。
(ビデオ機器との接続については**108**ページ)
- デジタル固定を「する」に設定しておくと、ビデオ連動録画の設定ができません。設定前にデジタル固定を「しない」に設定してください。(**115**ページ)

### 2 電子番組表から予約したい番組を選び、(決定)を押す(90ページ手順1)

### 3 (◀▶)で「録画予約」を選び、(決定)を押す

### 4 (◀▶)で「ビデオ予約」を選び、(決定)を押す

- 「i.LINK予約」については、**94**ページをご覧ください。
- 「ファミリンク予約」については**167**ページをご覧ください。

### 5 (◀▶)で「予約する」を選び、(決定)を押す

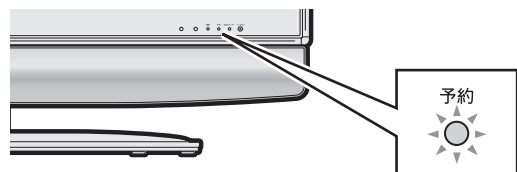


- 無料放送や契約している有料放送が予約できます。

**「詳細を設定する」を選び、(決定)を押したときは**

- 映像･音声の詳細の予約設定ができます。視聴制限や購入金額制限の設定によって視聴や購入が制限されている番組の場合は、暗証番号入力画面が表示されます。(**93**･**96**ページ)

### 6 「戻る」で(決定)を押す

- 番組表に戻ります。通常画面に戻すには(番組表)を押します。
- ビデオ予約が設定され、本体前面右下の予約ランプが点灯します。

次ページへつづく

**7** 予約録画の方法 **A** の場合

### 予約操作が完了したら、本機をリモコンで電源「切」(待機状態)にする

- 予約開始時刻になると、ビデオコントローラーからビデオデッキに、電源「入」と録画開始の信号が出ます。また、本機のモニター出力／入力4／(録画出力)端子から映像と音声が出力されます。これに連動してビデオデッキ側で録画が始まります。
- 予約終了時刻になると、ビデオコントローラーからビデオデッキに、電源「切」の信号が出ます。これに連動してビデオデッキの電源が切れます。

**7** 予約録画の方法 **B** の場合

### ① 予約操作が完了したら、本機をリモコンで電源「切」(待機状態)にする
### ② 録画機器の外部自動録画(シンクロ予約)を設定し、録画の準備をすませて、録画機器のリモコンで電源を「切」にする

- 予約開始時刻になると、本機のモニター出力／入力4／(録画出力)端子から録画機器の外部自動録画(シンクロ予約)機能に対応した入力端子に向けて映像と音声が出力されます。これに連動して録画機器側で録画が始まります。
- 予約終了時刻になると、本機の録画出力が停止します。これに連動して録画機器の電源が切れます。
- 予約開始前に本機の電源を入れると、録画機器側の電源も入り、予約前の放送が録画されてしまいます。

**7** 予約録画の方法 **C** の場合

### ① 予約操作が完了したら、本機をリモコンで電源「切」(待機状態)にする
### ② 録画機器側の設定をする

- 録画のための接続をし、録画機器のタイマー予約などの予約録画機能で、本機で設定した予約と同じ日付·時刻に設定し、予約するチャンネルは外部入力に設定します。
- 予約開始時刻になると、本機の電子番組表で予約した番組の映像·音声が本機のモニター出力／入力4／(録画出力)端子から出力されます。同時に、録画機器側で設定した予約によって、録画機器側の予約録画が始まります。

**録画予約を設定した後に電源を切るときのご注意**

- リモコンの電源ボタンで「切」にしてください。本体の電源スイッチでは切らないでください。本体の電源スイッチで「切」にした場合は、予約が実行されません。

- デジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「デジタル固定」または「ビデオ予約」で録画することをおすすめします。
- テレビの電源が切れている場合は、デジタル音声出力(光)端子からは、出力されません。MDへ予約録音する場合は、視聴予約を設定してください。
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 番組開始の2分前から予約準備が始まります。ビデオ連動録画設定(**110**〜**112**ページ)をシャープ7、8に設定している場合に限り、5分前から予約の準備が始まります。
- 録画予約が設定されている場合は、デジタル固定が解除されます。
- 予約した番組が始まるとモニター出力／入力4／(録画出力)端子から映像と音声が出力され、番組が終了すると出力も終了します。(本体の電源が切れていると、出力されません)。
- ラジオ放送をMDで録音するときは、デジタル音声出力(光)端子の設定を「PCM」にしてください。(**131**ページ)
- 有料の放送や番組は、契約しないと予約録画しても録画出力信号が出ません。
- 録画中にチャンネル設定はできません。
- 録画中に選局操作をするとコーション画面が表示されます。
- 録画中は、録画中の番組または外部入力しか視聴できません。

**実行中の録画予約を解除するには**

- 選局に関するリモコン操作をしてください。そのとき画面に表示される「予約を解除しますか？」の選択項目の「する」を左右カーソルボタンで選び、決定ボタンを押すと予約を解除できます。

# ビデオ予約の詳細設定

■ 映像･音声の詳細の予約設定ができます。
視聴年齢制限のある番組や非契約の有料番組を予約したとき、B-CASカード未挿入で有料番組を予約したときは、メッセージが表示されます。設定を済ませてから、PPV番組の購入予約ができます。（詳しくは**96**ページ）

■ 以下の操作は、**91**ページ手順**5**で「詳細を設定する」を選び、決定を押した後からの説明です。

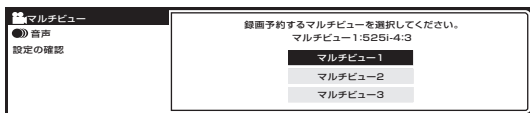
## 映像の種類を選択する

- 映像の種類はつぎのとおりです。それぞれ、表示のあるときのみ選択できます。

「マルチビュー」… いろいろな角度から見た映像
「映像」……… 映像（最大4つ）

**マルチビュー番組を選んでいるとき**

**① で「マルチビュー」を選び、決定を押す**

**② でマルチビューの種類を選び、決定を押す**

**副映像のある番組を選んでいるとき**

**① で「映像」を選び、決定を押す**

**② で映像の種類を選び、決定を押す**

- 映像の数は、番組によって異なります。

- 予約を完了するときは、右の**「予約設定を確認する」**に進みます。

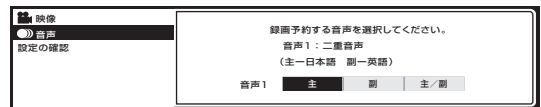
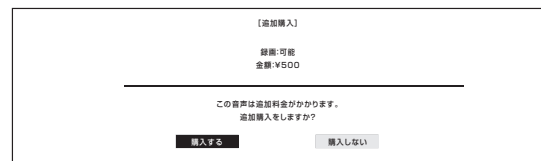
## 音声の種類を選択する

- 音声の種類はつぎのとおりです。それぞれ、表示のあるときのみ選択できます。

「音声」……… 音声（最大8つ）
「二重音声」… 主音声と副音声

**① で「音声」を選び、決定を押す**

**② で音声の種類を選び、決定を押す**

- 音声の数は、番組によって異なります。

- 映像･音声の購入に追加料金が必要なときは、追加購入のための画面が表示されます。

- 「購入する」または「購入しない」を選び、決定を押します。
- 予約を完了するときは、次の**「予約設定を確認する」**に進みます。

## 予約設定を確認する

**1** **で「設定の確認」を選び、決定を押す**

**2** **① 画面に表示された設定内容を確認する**
**② 「確認」で決定を押す**

映像
音声
設定の確認
[予約の設定内容]
映像：映像1　1125i
音声：音声1　主
金額：¥0
この番組を録画予約しますか?
確認
予約しない

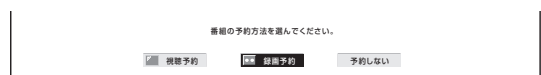
- 番組表に戻ります。通常画面に戻すには番組表を押します。
- 録画予約が設定されました。（**92**ページ手順**7**を行ってください。）
- 「予約しない」を選んで決定を押すと、予約を中止して番組表に戻ります。

# デジタル放送の予約手順(つづき)

## i.LINK予約する(録画予約)

■ i.LINK予約とは、本体背面のi.LINK端子に接続したD-VHSビデオデッキなどのi.LINK機器を予約時間に合わせて録画開始・終了させ、予約したデジタル放送の番組を録画する方法です。

### 1 i.LINK機器の接続(**118**ページ)とi.LINK設定(**120・121**ページ)を行う

### 2 電子番組表から予約したい番組を選び、(決定)を押す(**90**ページ手順1)

### 3 (◀▶)で「録画予約」を選び、(決定)を押す

### 4 (◀▶)で「iLINK予約」を選び、(決定)を押す

- 「ビデオ予約」については**91**ページをご覧ください。
- 「ファミリンク予約」については**167**ページをご覧ください。

### 5 (◀▶)で「予約する」を選び、(決定)を押す

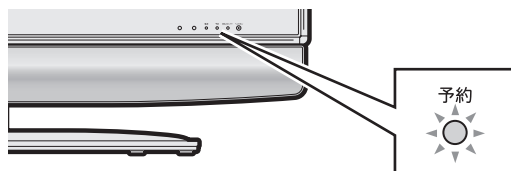
この番組をi.LINK録画予約しますか?
予約する　詳細を設定する　予約しない

- 無料放送や契約している有料放送が予約できます。

**「詳細を設定する」を選び、(決定)を押したときは**

- 追加購入する映像・音声の組合せを選んだり、使用するi.LINK機器を変更できます。視聴制限や購入金額制限の設定によって視聴や購入が制限されている番組の場合は、暗証番号入力画面が表示されます。(**95・96**ページ)

### 6 「戻る」で(決定)を押す

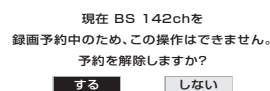
- i.LINK予約が設定され、本体前面右下の予約ランプが点灯します。

**録画予約を設定した後に電源を切るときのご注意**

- リモコンの電源ボタンで「切」にしてください。本体の電源スイッチでは切らないでください。本体の電源スイッチで「切」にした場合は、予約が実行されません。

- i.LINK予約をするときは、i.LINK機器を本機と1対1で接続してください。複数のi.LINK機器を接続すると、i.LINK予約の実行に失敗することがあります。
- i.LINK機器によっては、i.LINK録画機器側で接続するテレビの設定が必要な場合があります。
- テレビの電源が切れている場合は、デジタル音声出力(光)端子からは、出力されません。MDへ予約録音する場合は、視聴予約を設定してください。
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 番組開始の2分前から予約準備が始まります。ビデオ連動録画設定(**110**〜**112**ページ)をシャープ7、8に設定している場合に限り、5分前から予約の準備が始まります。
- 録画予約が設定されている場合は、デジタル固定が解除されます。
- 予約した番組が始まるとモニター出力/入力4/(録画出力)端子から映像と音声が出力され、番組が終了すると出力も終了します。(本体の電源が切れていると、出力されません)。
- ラジオ放送をMDで録音するときは、デジタル音声出力(光)端子の設定を「PCM」にしてください。(**131**ページ)
- 有料の放送や番組は、契約しないと予約録画しても録画出力信号が出ません。
- 録画中に選局操作をするとコーション画面が表示されます。

**実行中の録画予約を解除するには**

- 選局に関するリモコン操作をしてください。そのとき画面に表示される「予約を解除しますか?」の選択項目の「する」を左右カーソルボタンで選び、決定ボタンを押すと予約を解除できます。

現在 BS 142chを
録画予約中のため、この操作はできません。
予約を解除しますか?
する　しない

# i.LINK予約の詳細設定

■ 追加購入する映像･音声の組合せを選んだり、使用するi.LINK機器を変更することができます。視聴年齢制限のある番組や非契約の有料番組を予約したとき、B-CASカード未挿入で有料番組を予約したときは、メッセージが表示されます。設定を済ませてから、PPV番組の購入予約ができます。（詳しくは**96**ページ）

■ 以下の操作は、**94**ページ手順**5**で「詳細を設定する」を選び、決定を押した後からの説明です。

## 追加購入グループを選択する

・追加購入する映像･音声の組合せ（グループ）が複数あるときのみ必要な手順です。

**1** ① で「追加購入グループ」を選び、決定を押す

② で購入グループを選び、決定を押す

**2** で「購入する」または「購入しない」を選び、決定を押す

・予約を完了するときは、右の**「予約設定を確認する」**に進みます。

## 使用するi.LINK機器を変更する

・使用するi.LINK機器を変えたいときのみ必要な手順です。

**1** で「録画連動機器の変更」を選び、決定を押す

**2** で、使用するi.LINK機器を選び、決定を押す

・予約を完了するときは、次の**「予約設定を確認する」**に進みます。

・i.LINK予約をするときは、i.LINK機器を本機と1対1で接続してください。複数のi.LINK機器を接続すると、i.LINK予約の実行に失敗することがあります。

## 予約設定を確認する

**1** で「設定の確認」を選び、決定を押す

**2** ① 画面に表示された設定内容を確認する

② 「確認」で決定を押す

・番組表に戻ります。通常画面に戻すには番組表を押します。
・録画予約が設定されました。
・「予約しない」を選んで決定を押すと、予約を中止して番組表に戻ります。

# デジタル放送の予約手順（つづき）

## 詳細設定時のメッセージについて

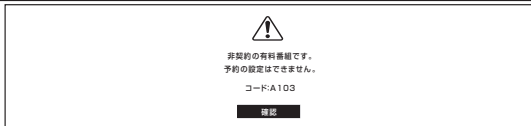
■ ここでは詳細設定を選んだときに表示されるメッセージについて説明します。

### 視聴年齢制限のある番組を予約したとき

- 暗証番号入力画面が表示されます。
- 数字ボタン（1～10/0）で暗証番号を入力してください。（**172**ページ参照）

### B-CASカード未挿入で有料番組を予約したとき

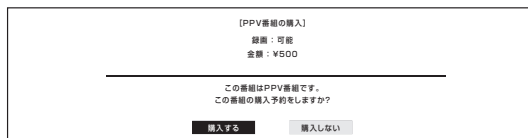
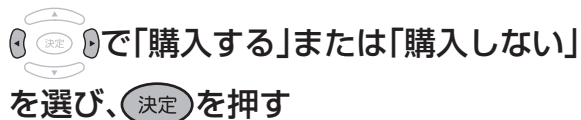
- 「カードの挿入を確認してください。予約の設定はできません。」のメッセージが表示されます。B-CASカードを挿入（**57**ページ参照）してから、予約をしなおしてください。

### 非契約の有料番組を予約したとき

- 「非契約の有料番組です。予約の設定はできません。」のメッセージが表示されます。「確認」で決定ボタンを押してください。

### PPV番組（有料番組）を予約したとき

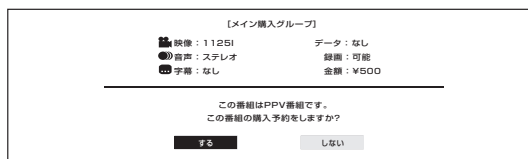
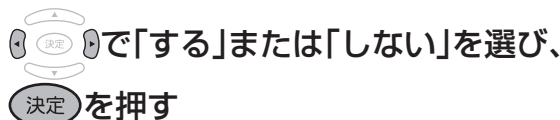
- PPV番組（「番組単位」で購入予約が必要な有料番組のことで、「ペイ･パー･ビュー」とも言います）を選んでいるときのみ必要な手順です。

#### ビデオ予約の場合

◀ ▶で「購入する」または「購入しない」を選び、決定を押す

- 「購入しない」を選んだときは、番組表に戻ります。

#### i.LINK予約の場合

◀ ▶で「する」または「しない」を選び、

決定を押す

- 「しない」を選んだときは、番組表に戻ります。

## デジタル放送の電子番組表からの録画予約、視聴予約について

● **電子番組表から予約した番組の放送時間が変更された場合、本機は変更された放送時間に合わせて、録画あるいは視聴できます。**

[例] ･録画予約したスポーツ中継が延長された場合→スポーツ中継が終了するまで録画します。
･録画予約したドラマがスポーツ中継の延長で放送時間が遅れた場合→遅延した放送時間で録画します。
※ただし、放送局からの情報により、番組の時間変更に対応できない場合もあります。

●**録画予約した番組が録画されていなかった場合は、受信機レポート（174ページ）を確認してください。**

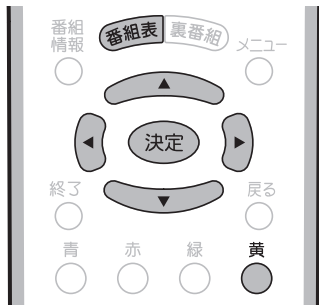
- 「予約の実行に失敗しました。」というレポートがある場合は、予約の実行に失敗しています。
- レポートに「前の予約番組が延長されたため、予約の開始ができませんでした。」または「番組放送時間が変更されました。」と書かれている場合は、番組の放送時間の変更により録画ができなかった事例です。
- レポートに「予約の開始時間に電源が切れていました。」と書かれている場合は、本体天面の電源を切ったり、電源コードを抜いたりして、予約開始時間に電源が入らなかった事例です。録画予約した場合は、必ず、リモコンで電源を切ってください。
- 受信機レポートがない場合は、予約の実行は成功しています。

●**ビデオ予約の場合は、下記の点を確認してください。**

- **ビデオデッキの電源状態の確認**
  録画予約を設定したら、ビデオデッキの電源が「切」であることを確認してください。電源が「入」の状態であったり、ビデオデッキがタイマー録画の状態であるときは、本機で録画予約を設定しても、予約した番組を録画することができません。
- **ビデオデッキの設定の確認**
  接続したビデオデッキの入力端子が本機の録画出力（モニター出力／入力4／（録画出力）端子）から録画する状態になっていることを確認してください。ビデオデッキの内蔵チューナーから録画する設定になっていると、予約した番組を録画することができません。
  また、ビデオテープが入っていない場合やテープ残量が録画時間分ない場合も、予約した番組を正しく録画することができません。
- **ビデオコントローラーの取り付け位置の再確認**
  **110**～**112**ページの手順でビデオデッキの電源が「入」になることを確認してください。

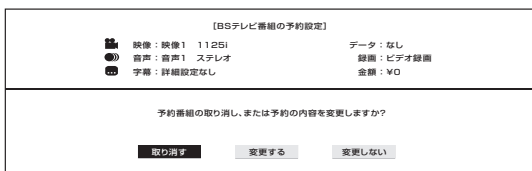
# 予約の確認・取り消し・変更をする

## 予約を確認したいとき

■ 電子番組表から予約リストを表示させ、予約の確認、取り消しや変更をすることができます。

**1**
① 番組表 を押し、電子番組表を表示する
② 黄(予約リスト)を押し、予約リストを表示する

### ▼予約リストの例

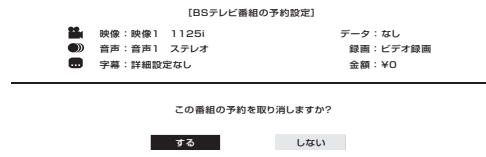
- 予約リストで現在の予約内容を確認します。
- 表示内右側に▲▼マークがある場合は、上下カーソルボタンで予約リストの送り・戻しができます。

**2**
(カーソルボタン)で確認したい予約を選び、決定 を押す

- 予約した番組の設定内容が表示されます。

## 予約を取り消したいとき

**1**
① 番組表 を押し、電子番組表を表示する
② 黄(予約リスト)を押し、予約リストを表示する

**2**
(カーソルボタン)で取り消したい予約を選び、決定 を押す

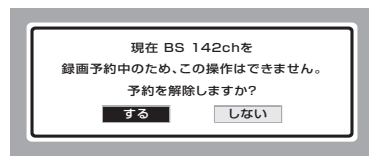
**3**
(カーソルボタン)で「取り消す」を選び、決定 を押す

**4**
(カーソルボタン)で「する」を選び、決定 を押す

[BSテレビ番組の予約設定]
映像：映像1 1125i　データ：なし
音声：音声1 ステレオ　録画：ビデオ録画
字幕：詳細設定なし　金額：¥0
この番組の予約を取り消しますか?
する　しない

**実行中の録画予約を解除するには**

- 選局に関するリモコン操作をしてください。そのとき画面に表示される「予約を解除しますか?」の選択項目の「する」を左右カーソルボタンで選び、決定ボタンを押すと予約を解除できます。

## 予約を変更したいとき

**1**
① 番組表 を押し、電子番組表を表示する
② 黄(予約リスト)を押し、予約リストを表示する

**2**
(カーソルボタン)で変更したい予約を選び、決定 を押す

**3**
(カーソルボタン)で「変更する」を選び、決定 を押す

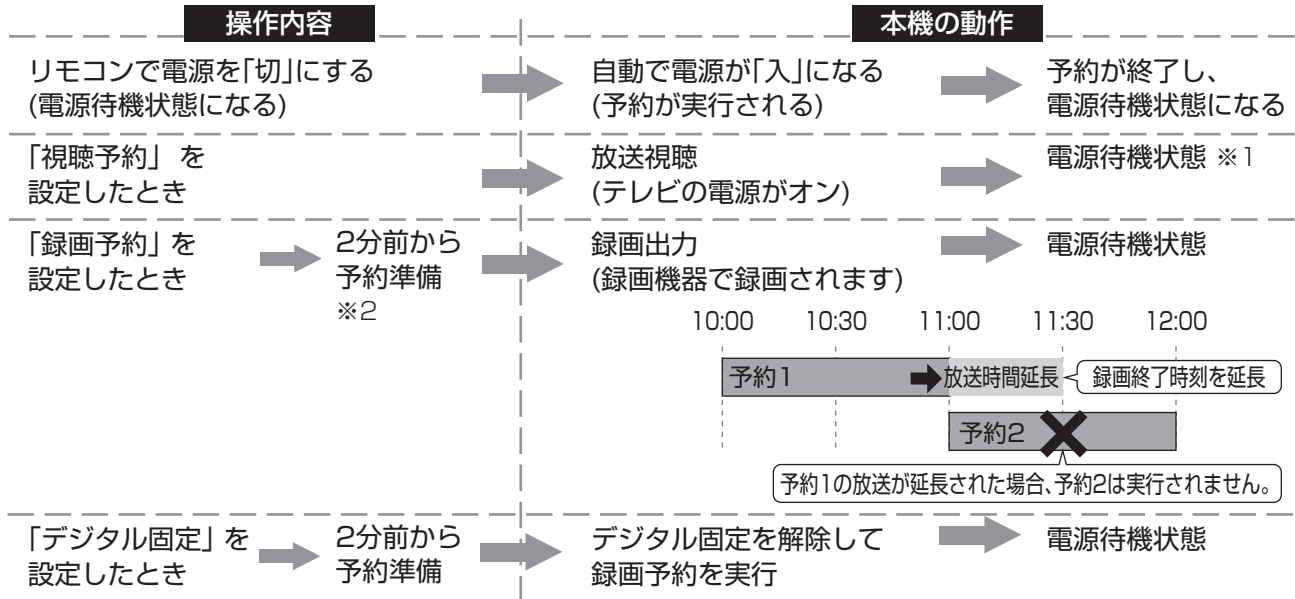
- 予約選択画面になります。

**4**
**予約操作をやりなおす**

- ビデオ予約のときは**91**ページ手順**3**、i.LINK予約のときは**94**ページ手順**3**からやりなおします。

# 予約動作や出力信号について

## 電源待機状態からの予約動作について

・デジタル放送を予約したときは、設定や条件によって動作が異なります。

※1 視聴予約実行中に何らかのボタン操作をすると、視聴予約は終了します。この場合、予約した番組が終了しても電源待機状態にはなりません。

※2 ビデオ連動録画設定（**110**〜**112**ページ）をシャープ7、8に設定している場合に限り、5分前から予約の準備が始まります。

## 録画出力／モニター出力から出力される信号について

・モニター出力の設定には以下の制約があります。

1. 録画予約中は、予約番組（デジタル放送）を出力します。
2. デジタル固定中は、固定したデジタル放送を出力します。
3. (RCA)ビデオ端子は、D端子、HDMI、DVIからの入力信号は出力されません。
4. S2端子は、デジタル放送のみ出力されます。

| 出力 ＼ TV視聴状況 | モニター出力／入力4(録画出力) | |
|---|---|---|
| | S2端子 | 映像端子 |
| 地上アナログ | × | ○ |
| 地上D/BS/CS | ○ | ○ |
| ビデオ映像 | ×※1 | ○※1 |
| D端子映像 | ×※1 | ×※1 |
| HDMI信号 | ×※1 | ×※1 |
| DVI信号 | ×※1 | ×※1 |

※1 デジタル固定中は、固定したデジタル放送を出力します。録画予約実行中は、予約した番組を出力します。

・有料放送を視聴・予約する場合は、有料放送を行うプラットフォームや放送局とあらかじめ受信契約を済ませてください。契約していない有料放送は、番組表から予約しても予約どおりに視聴や録画ができません。

# 録画や再生などの機器の接続

ページ



ページ

# 他の機器の接続について

AQUOS接続クイックガイドの手順6

## 接続できる機器

■ 本機には入力1～7端子(うち入力4は出力端子にも設定できます)やi.LINK(TS)端子、デジタル音声出力(光)端子などがあり、以下のように様々な機器と接続できます。

➡映像·音声·信号の流れ

▼本体背面

**i.LINK(TS)端子**

- ●D-VHSビデオデッキ
- ●AV-HDDレコーダー
- ●Blu-ray Disc レコーダー
- ●ハイビジョンビデオカメラ

118ページ

ハイビジョン映像の録画·再生用端子

**入力5(HDMI 端子)**

HDMI 対応機器

104·164ページ

●AQUOSレコーダーとHDMIケーブルで接続した場合、本機のリモコンでファミリンク対応AQUOSレコーダーを操作できます。

高画質映像などの入力端子

**入力1·入力2**
**モニター出力／入力4／(録画出力)**

- ●HDD/DVDレコーダー
- ●ビデオデッキ

102ページ

**モニター出力／入力4／(録画出力)**
出力と入力を切り換えることができる端子です。

**入力1·入力2**
高画質映像などの入力端子

**入力6(HDMI 端子)**

- ●入力5(HDMI)端子と同じ働きをします。
- ●外部機器を一時的につなぐときに便利です。

104·164ページ

**入力3**

- ●外部機器を一時的につなぐときに便利です。

102ページ

一時的につないで見るときに便利な端子

**コントロール(RS-232C)端子**

パソコンで本機を制御するときの接続端子

PC(パソコン)

140ページ

**ビデオコントロール端子**

ビデオ連動録画用

ビデオコントローラー

110ページ

**デジタル音声出力(光)端子**

モニター音声出力端子

シアターシステム

130ページ

**入力7(DVI-I 端子)**

DVI対応パソコンなどの入力端子

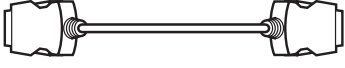
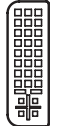
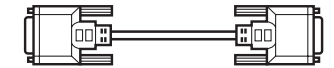
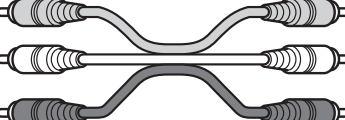
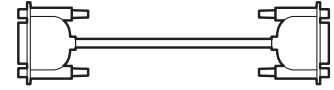
DVI対応機器(パソコンなど)

106·134ページ

### 接続した機器を使うときは

- 入力1端子に接続した機器の再生画像を見たいときは、リモコンの(入力切換)または本体天面の入力切換ボタンを押し、入力切換メニューで「入力1」を選びます。

- i.LINK機器を使うときは、リモコンの(i.LINK)を押します。

### 接続した機器の名前を表示させるには

- 入力切換メニューの入力1～7の表示は変更することができます。(**117**ページ)
  (例:入力1の表示をビデオに変更した場合)

- i.LINK機器の名前は変更できません。

# 本機の接続端子と接続の目やす

■ 本機の各接続端子と、各端子に接続するケーブル（市販品）です。

| | ① 端子の形と呼び方 | ② 端子の詳細と接続ケーブル | | 画質など |
|---|---|---|---|---|
| 入力1・2・3 | D(4)端子 | | ・ビデオ機器側のD端子は、D1〜4の種類がありますが、1〜4の番号のいずれでも接続できます。 | 高精細な映像入力に対応。<br>D4:高精細映像<br>D3:高精細映像<br>D2:高画質映像<br>D1:標準映像<br>（数字が大きい順に高精細に対応） |
| | 音声端子（白 左 音声 右 赤） | | ・D端子は映像専用端子のため、音声は別に接続します。 | |
| 入力4 | S(2)端子 | | ・ビデオ機器側のS端子は、S,S1,S2の種類がありますが、いずれの種類にも接続できます。 | 高画質な映像入力に対応。 |
| | 音声端子（白 左 音声 右 赤） | | ・S端子は映像専用端子のため、音声は別に接続します。 | |
| 入力5・6 | HDMI端子<br>（ハイディフィニション・マルチメディア・インターフェイス） | | ・映像と音声が1本のケーブルで接続できます。<br>・HDMIケーブルはHDMI規格認証ケーブルをご使用ください。 | 高精細な映像入力に対応。 |
| 入力7 | DVI-I端子 | | ・映像専用端子<br>※DVI対応のパソコンなどを接続します | 高精細な映像入力に対応。 |
| | 音声端子（白 左 音声 右 赤） | | ・音声は別に接続します。 | |
| i.LINK | i.LINK端子 | | ・映像と音声が1本のケーブルで接続できます。 | デジタル放送などハイビジョン映像に対応。 |
| 入力1〜4 | 映像・音声端子（黄 白 赤） | | ・映像と音声をそれぞれ別に接続します。 | 標準映像(525i) |
| コントロール | | | ・パソコンで本機を制御するときの接続端子 | — |

① **接続するビデオ機器側の端子の形を確認する**
※ビデオ機器側の端子の番号は必ずしも本機のものと同じではありません。

② **本機とビデオ機器を専用のケーブルで接続する**
※接続ケーブルは付属しておりません。市販品をお求めください。

# ビデオやDVDを見る

■ 本機はビデオ入力端子7系統を備えており、ビデオやDVDプレーヤーなどの外部再生機器を7台まで接続することができます。（HDMI接続のしかた…**104**ページ。i.LINK接続のしかた…**118**ページ）
■ 接続する機器に応じて、それぞれの端子に合う接続ケーブルをご用意ください。

### ■ 接続上のご注意

- 接続をするときは、本機や接続する機器の保護のため電源を切ってください。
- 接続ケーブルのプラグは奥まで完全に差し込んでください。不完全な接続は、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
- 接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っぱらずにプラグを持って抜いてください。
- 複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源を切っておいてください。
- 接続した機器と本機の画像や音にノイズや雑音が出るときは、お互いを十分に離してください。

## ビデオ機器やDVDプレーヤーなどの接続のしかた

■ DVDプレーヤーなどに、D端子、S端子などの高画質映像に対応した出力端子がついている場合は、その出力端子に合った接続をお選びください。より高画質な映像を楽しむことができます。

- 音声ケーブルはそれぞれの音声端子（左／右）に接続してください。
- D端子ケーブルは入力1･2･3のD4映像入力端子に、S端子ケーブルは入力4のS2映像入力端子に、映像･音声ケーブルは入力1〜4の映像･音声入力端子に接続できます。
- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。

- D4 端子、S2 端子を使うときは、同じ入力の映像端子に接続する必要はありません。
- D4 端子、S2 端子などは高精細・高画質な画質で入力された映像を同じ画質で再現するための端子です。標準画質で入力された映像は同じ標準画質になります。

映像は映像端子とS映像端子のどちらか1つをつなぐ

▼入力4端子部　▼本体背面

出力：映像／左－音声－右／S映像

- S2端子は映像用です。音声ケーブルも接続してください。

S端子付きの機器

映像･音声（左／右）出力端子へ　映像･音声（左／右）入力端子へ
黄　白　赤
映像･音声ケーブル（市販品）
S（S1、S2）映像出力端子へ　S2映像入力端子へ
S端子ケーブル（市販品）

- モニター出力／入力４／（録画出力）端子を入力として使用するときは、入力４端子設定を「入力」に設定します。（**114** ページ）

▼入力1･2･4端子部

出力：左－音声－右／D映像／Y／$P_B$／$P_R$／左－音声－右

- D4端子は映像用です。音声ケーブルも接続してください。
- 入力3のD端子も同様に接続してください。

白　赤
音声ケーブル（市販品）
D映像出力端子へ　D4映像入力端子へ
D端子ケーブル（市販品）
または
コンポーネント出力端子へ　D4映像入力端子へ
D-コンポーネント変換ケーブル（市販品）
音声（左／右）出力端子へ　音声（左／右）入力端子へ
白　赤
音声ケーブル（市販品）

D端子またはコンポーネント端子付きの機器

S2映像入力端子について
- S2映像入力端子は、映像端子(ビデオ映像端子)に対し、より高画質な映像で再生するためにS端子ケーブルを使って外部機器を接続するときの端子です。
- 本機は、画面サイズ制御信号(フルモード制御信号、レターボックス制御信号)の入った映像が入力4のS2映像端子から入力されると、自動的に最適な画面サイズで映し出すように設定することができます。(S2対応…**146**·**147**ページ)
- 本機のS2映像端子に外部機器のS映像出力端子を接続しても、映像を楽しむことができます。(S端子接続の場合、画面サイズ制御信号には対応していません。)

D4映像入力端子について
- 本機のD4映像入力端子は、D1(525i)、D2(525p)、D3(1125i)、D4(750p)の映像の入力に対応しています。
- D4端子を使用するときは、接続端子の種類に応じた画面サイズの判定の設定を行ってください。(D端子識別…**146**·**147**ページ)

# ビデオ機器やDVDプレーヤーなどの再生映像を見る

■ 各入力端子に接続した外部再生機器の映像を楽しむことができます。
■ また本体背面の入力1·入力2·入力3のD4映像端子にDVDプレーヤーなどの機器を接続して、より高画質の映像を楽しむことができます。
入力5または入力6のHDMI端子に接続するときは、**104**ページをご覧ください。

- 詳しくは、ビデオ機器やDVDプレーヤーの取扱説明書を併せてお読みください。
- 入力4端子設定(**114**ページ)を「モニター出力(固定または可変)」に設定した場合、D4映像端子から入力された映像信号は、モニター出力から出力されません。(音声は出力されます。)
- DVDプレーヤーなどの機器を接続するときは、本機に直接接続してください。ビデオデッキを通して本機で映像を見ると、コピーガード機能の働きにより、映像が正常に映らないことがあります。

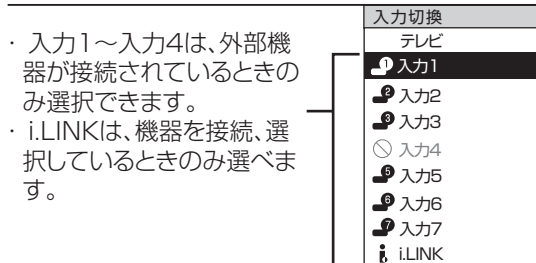
**入力選択の設定について**
- 接続されている映像用端子と、入力選択の設定で選択されている端子が異なり、映像が表示されない場合は、その旨のメッセージが画面に表示されます。このときは、外部機器を接続している入力の入力選択設定を行ってください。(**116**ページ)

[例] 入力1に接続したビデオ機器の再生映像を見る

**1** ビデオ機器の準備をする
① 本機背面の入力1にビデオ機器を接続し、電源を入れる
② 再生したいビデオテープを入れる

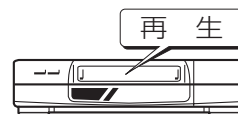
**2** 入力切換 を押し、入力切換メニューを表示する
- 入力切換メニュー表示中につぎの操作を行います。

**3** ① 入力切換 または ▲▼(決定) を押し、「入力1」を選ぶ

· 入力1～入力4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。
· i.LINKは、機器を接続、選択しているときのみ選べます。

※入力4は、入力4端子設定を「入力」にしているときのみ選択できます。(**114**ページ)

② 決定 を押す
- 決定ボタンを押さなくても、しばらくすると入力切換メニューは消えます。

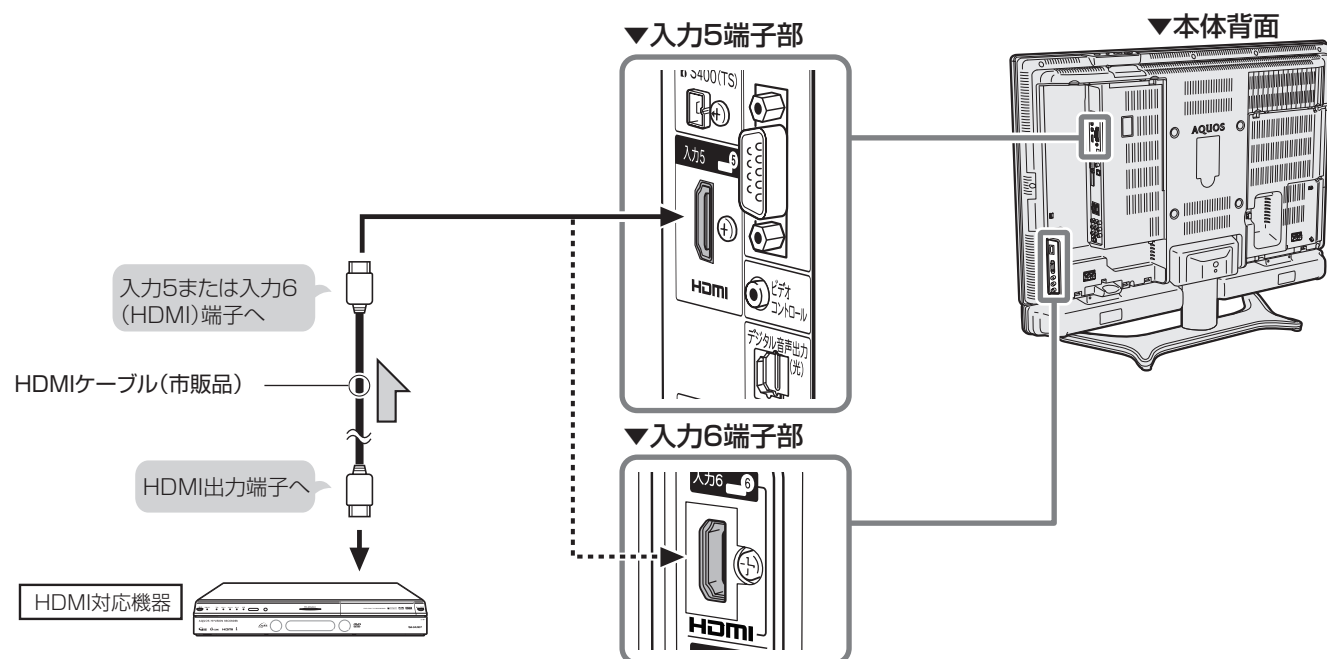
**4** ビデオ機器を再生状態にする

再 生

# HDMI対応機器の映像を見る

## HDMI端子付き機器の接続のしかた

■ HDMI端子は、映像と音声の信号を1本のケーブルでつなぐことができる新しい規格の専用端子です。
■ HDMI対応機器の映像や音声を楽しむときは、入力切換で「入力5」または「入力6」を選びます。
■ HDMI対応機器を接続せず、「入力5」または「入力6」を飛ばして入力切換をしたいときは、「入力スキップ設定」を「する」に設定します。(工場出荷時はHDMI対応機器を接続していなくても「入力5」または「入力6」が選べるようになっています。)

■ HDMI出力端子付きビデオ機器との接続

**市販のHDMIケーブルを使って接続する**

- **対応している映像信号**
  VGA、525i(480i)、525p(480p)
  1125i(1080i)、750p(720p)、1125p(1080p)
  PCの信号については**135**ページをご覧ください。
- **対応している音声信号**
  種類:リニアPCM
  サンプリング周波数:48kHz/44.1kHz/32kHz

- HDMI、HDMIロゴおよび高品位マルチメディアインターフェイスは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。

・ HDMI入力では、HDMIケーブルによっては、映像にノイズが発生する場合があります。HDMI認証ケーブルを使用してください。

**HDMI機器がファミリンク対応AQUOSレコーダーやAQUOSサラウンドなどの場合は、本機のリモコンで操作できます。**

詳しくは「HDMI接続した外部機器を本機のリモコンで制御する(ファミリンク)」(**163**ページ)をご覧ください。

## HDMI対応機器の映像を見る

■「入力5」および「入力6」に接続したHDMI対応機器の映像を見るための手順です。

**1** HDMI対応機器の準備をする

① 本機背面の入力5端子または入力6端子にHDMI対応機器を接続し、電源を入れる

② 再生したいディスクを入れる

**2** 入力切換 を押し、入力切換メニューを表示する

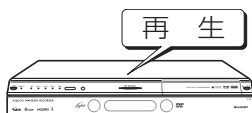
**3** 入力切換メニュー表示中に、入力切換 または ▲▼ を押し、「入力5」または「入力6」を選ぶ

・入力1～入力4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。

・i.LINKは、機器を接続、選択しているときのみ選べます。

入力切換
テレビ
入力1
入力2
入力3
入力4
入力5
入力6
入力7
i.LINK

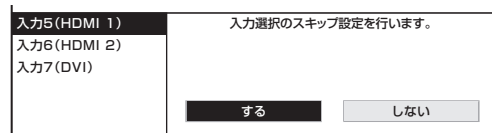
※入力4は、入力4端子設定を「入力」にしているときのみ選択できます。（**114**ページ）

**4** HDMI対応機器を再生状態にする

## HDMI対応機器を接続しないとき（入力スキップ設定）

■「入力5」および「入力6」を飛ばして入力切換ができます。（工場出荷時は、HDMI対応機器を接続していなくても「入力5」および「入力6」を選べるようになっています。）

**1** メニュー画面から「本体設定」－「入力スキップ設定」を選び、決定 を押す

**2** ▲▼ で「入力5（HDMI1）」または「入力6（HDMI2）」を選び、決定 を押す

**3** ◀▶ で「する」を選び、決定 を押す

・「する」に設定すると入力切換ボタンを押したとき、次のような表示になります。

・入力5または入力6に⃠が表示され、入力5または入力6を飛ばして入力切換ができます。

・「入力5」および「入力6」のスキップを解除するには、メニュー画面から「本体設定」－「入力スキップ設定」－「入力5（HDMI1）」または「入力6（HDMI2）」－「しない」を選んでください。

**操作終了する場合は**

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

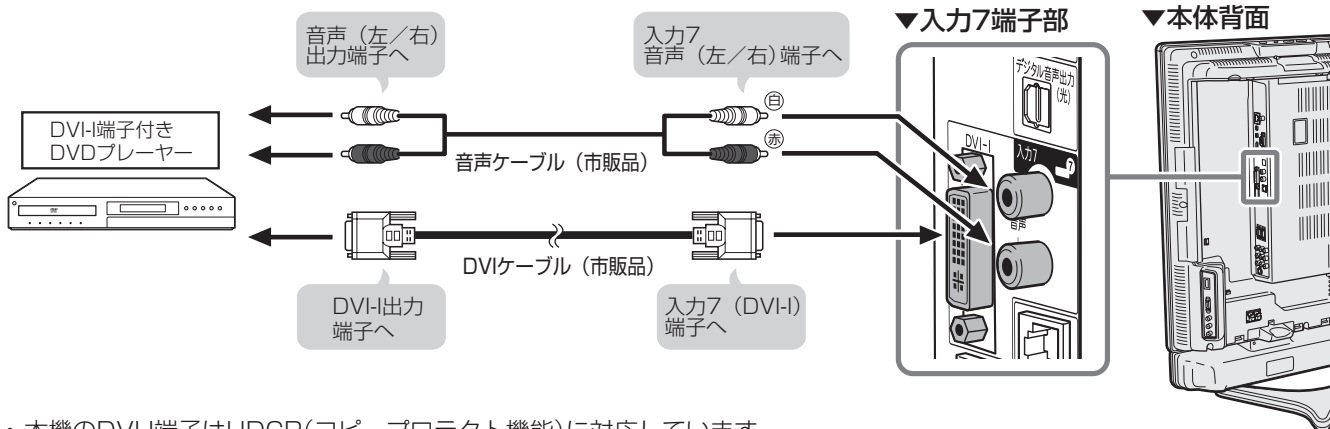
・1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

# DVI対応機器の映像を見る

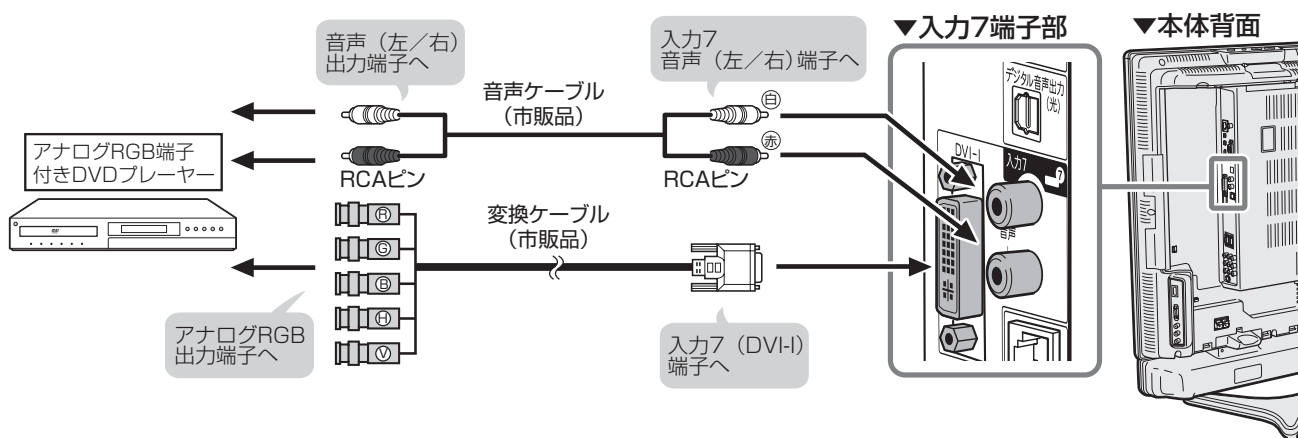
## DVI対応機器の接続のしかた

■ DVI対応機器を接続するときは、DVIケーブル(市販品)をご使用ください。DVIケーブルは映像用のケーブルです。DVIケーブルを接続するときは、音声ケーブルも接続してください。
■ DVI対応機器の映像や音声を楽しむときは、入力切換で「入力7」を選びます。
■ DVI対応機器を接続せず、「入力7」を飛ばして入力切換をしたいときは、「入力スキップ設定」を「する」に設定します。(工場出荷時はDVI対応機器を接続していなくても「入力7」が選べるようになっています。)

■ DVI-I出力端子付きビデオ機器との接続

**市販のDVIケーブルを使って接続する**

• 本機のDVI-I端子はHDCP(コピープロテクト機能)に対応しています。

■ アナログRGB出力端子付きビデオ機器との接続

**市販の変換ケーブルを使って接続する**

**入力7に接続した機器に合わせて端子を設定する**

• DVI対応AV機器の入力対応信号は、525p、1125i、750pです。(デジタルAV信号のみ1125pに対応します。)
• 対応した信号で正しく表示されない場合は、右の手順に従い、接続した信号に合わせて、入力7を「アナログ」または「デジタル」に設定してください。通常は「自動」のままでかまいません。

① 入力切換 を押し、「入力7」を選ぶ

②メニュー画面から「機能切換」ー「入力選択」を選び、決定を押す

③ ▲▼で接続した信号を選び、決定を押す

入力端子の設定です。

| | |
|---|---|
| 自動 | 入力信号を自動で選択して表示します。 |
| デジタル | 常にデジタル入力信号を表示します。 |
| アナログ | 常にアナログ入力信号を表示します。 |

## DVI対応機器の映像を見る

■「入力7」に接続したDVI対応機器の映像を見るための手順です。

**1** DVI対応機器の準備をする
① 本機背面の入力7端子にDVI対応機器を接続し、電源を入れる
② 再生したいディスクを入れる

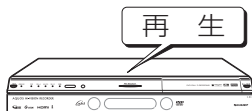
**2** 入力切換 を押し、入力切換メニューを表示する

**3** 入力切換メニュー表示中に、入力切換 または ▲▼ を押し、「入力7」を選ぶ

• 入力1～入力4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。
• i.LINKは、機器を接続、選択しているときのみ選べます。

| 入力切換 |
|---|
| テレビ |
| 入力1 |
| 入力2 |
| 入力3 |
| 入力4 |
| 入力5 |
| 入力6 |
| 入力7 |
| i.LINK |

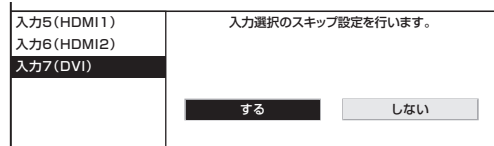
※入力4は、入力4端子設定を「入力」にしているときのみ選択できます。（**114**ページ）

**4** DVI対応機器を再生状態にする

## DVI対応機器を接続しないとき（入力スキップ設定）

■「入力7」を飛ばして入力切換ができます。（工場出荷時は、DVI対応機器を接続していなくても「入力7」を選べるようになっています。）

**1** メニュー画面から「本体設定」ー「入力スキップ設定」を選び、決定を押す

**2** ▲▼で「入力7（DVI）」を選び、決定を押す

**3** ◀▶で「する」を選び、決定を押す

• 「入力7」のスキップを解除するには、メニュー画面から「本体設定」ー「入力スキップ設定」ー「入力7（DVI）」ー「しない」を選んでください。

**操作終了する場合は**

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

• 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

# デジタル放送の番組をビデオデッキで録画する

## 接続について

■ お持ちのビデオデッキなどにデジタルチューナーが付いていない場合、本機背面のモニター出力／入力4／（録画出力）端子にビデオデッキなどの録画機器を接続して、デジタル放送を録画することができます。録画予約を設定した場合、モニター出力／入力4／（録画出力）端子から自動的に録画出力信号が出力されます。

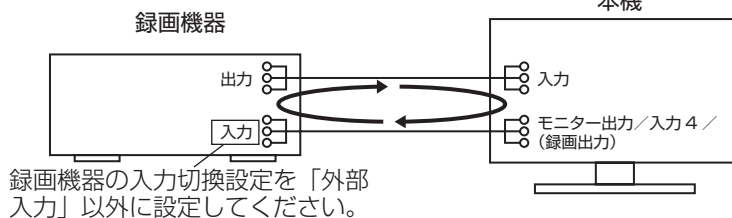
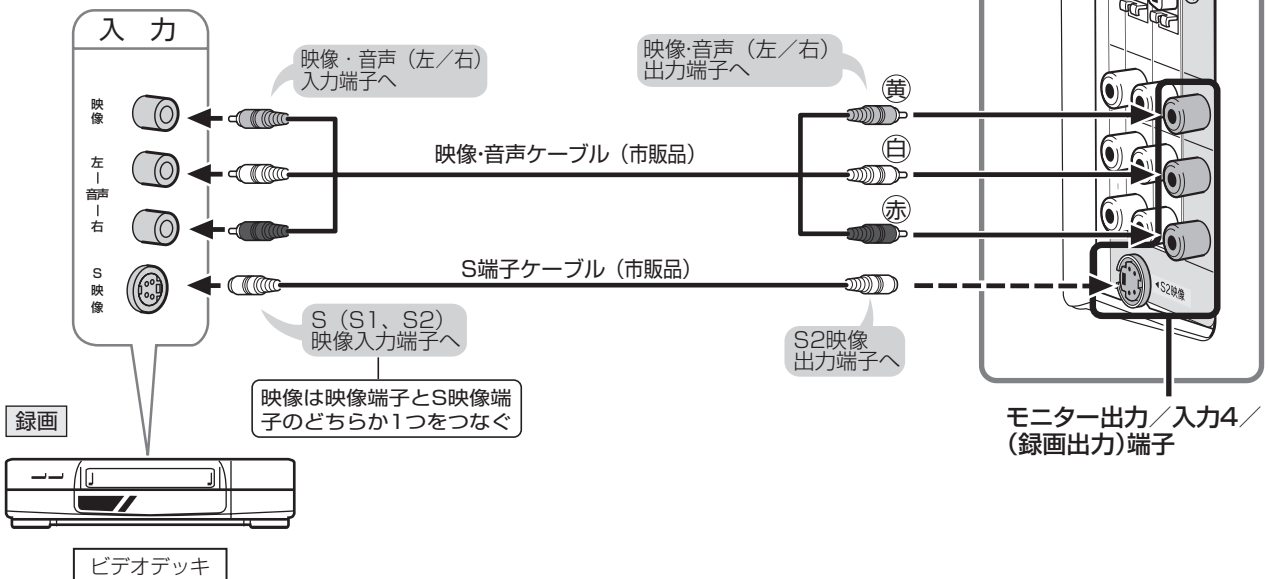
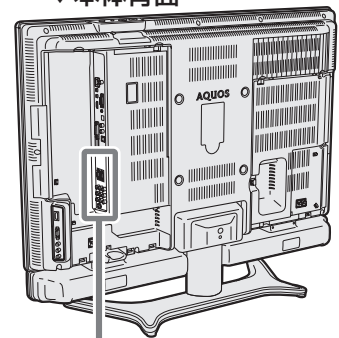
**録画出力について**

- 電子番組表(EPG)で録画予約した内容が、予約した時刻にモニター出力／入力4／(録画出力)端子から出力されるためには、あらかじめ入力4端子設定で「モニター出力(固定)」に設定しておく必要があります。(**114**ページ)

### 接続のしかた

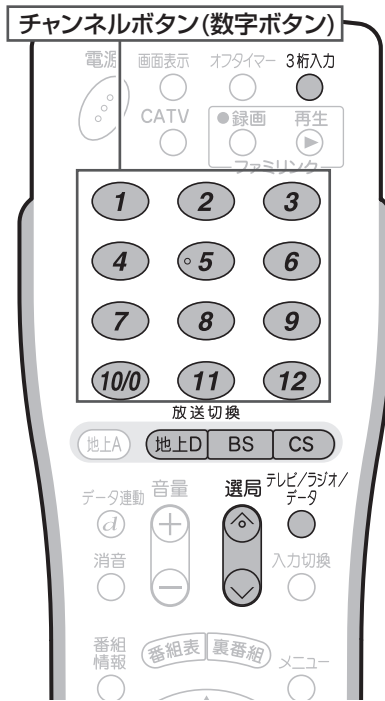
※ ビデオコントローラー（付属品）を使用して予約録画する場合の接続については、**110**ページをご覧ください。

**ループ接続による発振にご注意**

- 本機の映像をモニター出力を使って、録画機器の入力端子に入力して録画した後、録画した番組を録画機器の出力から本機の入力端子に入力して視聴する際、録画機器の入力を「外部入力」以外に設定してください。「外部入力」のままでは、本機と録画機器の間に信号のループができるため、発振がおこり、ハウリング（ブー音）や画面の乱れが生じます。

▼本体背面

- モニター出力／入力4／（録画出力）端子からは、デジタル放送のハイビジョン画質（1125i）の映像を標準画質（525i）に変換して出力します。したがって、**接続された録画機器では標準画質で録画されます。**
- デジタル固定、録画予約、およびモニター出力にはデジタル放送の字幕やデータ放送は出力されません。
- ハイビジョン画質で録画するときは、D-VHSビデオデッキ･AV-HDDレコーダー･Blu-ray Discレコーダーなどのi.LINK機器をi.LINK接続して行ってください。（**118**～**129**ページ）
- 番組により、録画･録音が制限されている場合などがあります。
- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本機とビデオデッキを直接接続してお楽しみください。

# 録画の操作について

■ デジタル放送は、チャンネルを固定して録画することができます。(デジタル固定…**115**ページ)

■「デジタル固定」を「する」にしておくと、リモコンで電源を切ってもモニター出力／入力4／(録画出力)端子から映像と音声が出力されますので、録画を続けることができます。

[例] NHKハイビジョンの番組を録画するとき

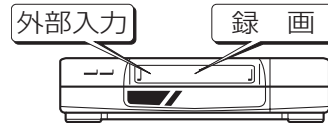
**1** **入力4を「モニター出力(固定)」または「モニター出力(可変)」に切り換える**

- 入力4を「モニター出力(固定)」または「モニター出力(可変)」に切り換えるための**「入力4端子の設定」**を行ってください。(**114**ページ)

**2** ① **BS を押し、BSデジタル放送(テレビ)を受信する**

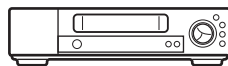
② **チャンネルボタン 3 を押し、NHKハイビジョンを選局する**

3 BS テレビ
103
音声 ステレオ

**3** **ビデオデッキを外部入力に切り換え、録画のボタンを押す**

- 録画が始まります。

- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

# ビデオ予約のタイプ別接続について

■ 録画予約から「ビデオ予約」(**91**ページ)を選ぶときは、下の図にしたがって接続方法を選びます。

予約録画の操作の前に、「ビデオコントローラーを使うための設定」が必要です。(**111** ページ)

付属のビデオコントローラーを使って予約する場合(ビデオ連動録画)(**110**ページ)

録画機器がビデオコントローラー、外部自動録画(シンクロ予約)機能に対応していない場合(**113**ページ)

録画機器の外部自動録画(シンクロ予約)機能を使う(**113** ページ)

録画機器がビデオコントローラー、外部自動録画(シンクロ予約)機能に対応していない場合(**113**ページ)

- 録画機器の操作方法については、録画機器の取扱説明書をご覧ください。
- 予約録画する前に、必ず、試し録りをして、正しく録画されることを確認してください。
  このとき、予約録画の方法 A、予約録画の方法 B でうまくいかないときには、予約録画の方法 C を行ってください。

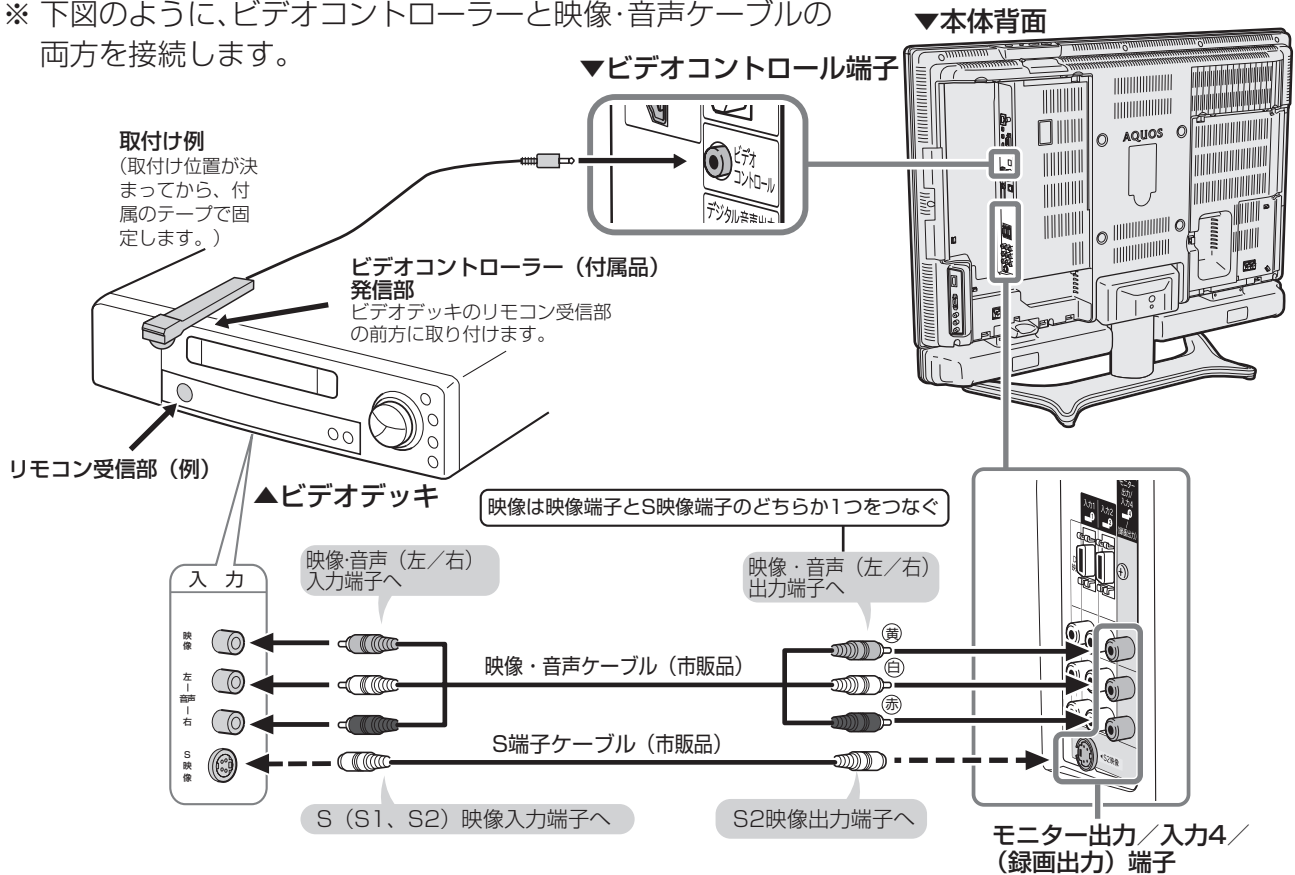
- i.LINK予約の接続については**118**ページ、ファミリンク予約の接続については**164**ページをご覧ください。

# ビデオ予約をするための接続と設定

## ビデオコントローラーを使って予約する場合（予約録画の方法 A の場合）の接続

付属のビデオコントローラーを使うと、予約した時刻にビデオコントローラーからビデオデッキにリモコン信号が送信され、ビデオデッキの電源の入／切や録画の開始／停止を行い、本機の予約機能と連動して**デジタル放送の番組**を録画（ビデオ連動録画）することができます。この場合、ビデオデッキの予約設定は必要ありません。（録画可能なテープなどの基本的な準備は必要です。）

※ ビデオデッキの機種によっては、リモコン信号が異なるため動作しない場合があります。そのときは、ビデオコントローラーは使用できません。また、ビデオデッキ内蔵型テレビにも録画できません。

※ 下図のように、ビデオコントローラーと映像·音声ケーブルの両方を接続します。

### 機種番号について

■ メーカーにより複数のリモコン信号を採用しており、つぎの機種番号で区分されます。

| メーカー | 機種番号 |
|---|---|
| シャープ | 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8 |
| アイワ | 1, 2, 3, 4 |
| NEC | 1, 2, 3, 4 |
| サンヨー | 1, 2, 3, 4 |
| ソニー | 1, 2, 3, 4, 5, 6 |
| 東芝 | 1, 2, 3, 4, 5, 6 |
| ビクター | 1, 2, 3, 4 |
| 日立 | 1, 2, 3 |
| フナイ | 1 |
| 松下 | 1, 2, 3, 4, 5, 6 |
| 三菱 | 1, 2, 3, 4 |
| パイオニア | 1, 2, 3 |

工場出荷時の設定：未設定

### ※入力4端子の設定について

- ビデオ連動録画をするときは、メニューで入力4端子設定を「モニター出力（固定）」または「モニター出力（可変）」に設定してください。（**114**ページ）

### ビデオコントローラー取付けの際のご注意

- リモコン受信部の位置は、ビデオデッキのメーカーや機種によって異なります。一般的には、液晶表示部に隣接して丸いものがうすく見えます。
- ビデオコントローラーの発信部がビデオデッキのリモコン受信部に確実に向いていることをご確認ください。
- ビデオコントローラーを取り付けるときは、はじめから任意の位置に固定しないで、**111**·**112**ページ**「ビデオコントローラーを使うための設定をする」**のテストでビデオデッキの電源が「入」になる位置を探し、その位置に固定してください。

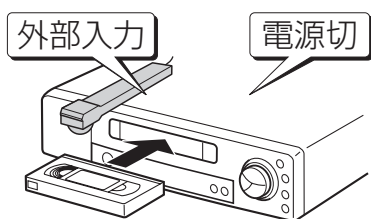
# ビデオコントローラーを使うための設定をする

- ビデオ連動録画設定が必要なのは初回のみです。(ただし接続している機器を変更したときは、再度設定が必要になります。)
- ビデオ連動録画できるのは、**デジタル放送のみ**です。地上アナログ放送、CATV放送などはビデオ連動録画ができません。

**操作の前に**

- **録画出力信号について**
  ビデオ連動録画設定で、リモコン信号が異なり動作しない場合でも、モニター出力／入力4／(録画出力)端子からは、映像と音声信号が出力されます。(この場合は録画する機器側にもタイマー予約を設定し、録画予約設定を行ってください。)
- **ビデオデッキの準備について**
  ビデオデッキ側は起動時に選局しているチャンネルの映像を録画しますので、外部入力チャンネルに切り換えた上でビデオのリモコンで電源を「切」にして待機してください。他のチャンネルでのタイマー録画が先に実行されると外部チャンネルが変更されてしまい、他のチャンネルが録画されます。
- **本機の設定について**
  「デジタル固定」を「する」に設定しておくと、ビデオ連動録画の設定ができません。設定前に「デジタル固定」を「しない」にしてください。(**115**ページ)

## 1 ビデオデッキの準備をする

① 本機につなぐ(**110**ページ)
② ビデオコントローラーを取り付ける(**110**ページ)
③ 本機とつないだ外部入力に切り換える
④ 録画用ビデオテープを入れる
⑤ ビデオのリモコンで電源を「切」にする

## 2 メニュー画面から「デジタル設定」ー「ビデオ連動録画設定」を選び、決定を押す

## 3 ビデオコントローラーの接続を確認し、「次へ」で決定を押す

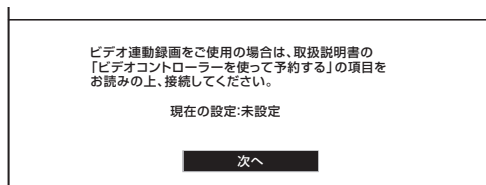
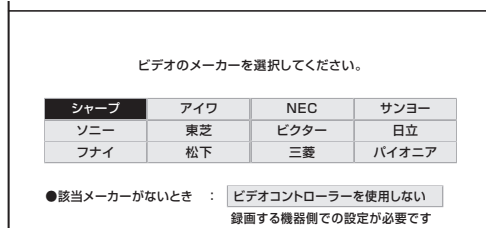
ビデオ連動録画をご使用の場合は、取扱説明書の
「ビデオコントローラーを使って予約する」の項目を
お読みの上、接続してください。

現在の設定:未設定

次へ

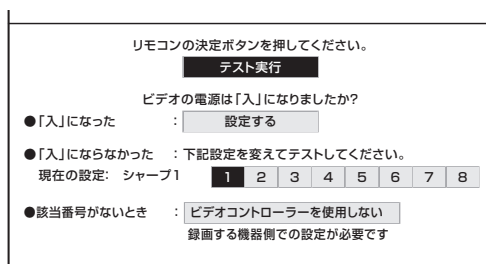
## 4 お使いのビデオデッキのメーカーを (上下左右ボタン) で選び、決定を押す

ビデオのメーカーを選択してください。

| シャープ | アイワ | NEC | サンヨー |
|---|---|---|---|
| ソニー | 東芝 | ビクター | 日立 |
| フナイ | 松下 | 三菱 | パイオニア |

●該当メーカーがないとき : ビデオコントローラーを使用しない
録画する機器側での設定が必要です

- 該当するビデオメーカーがない場合や外部自動録画機能(シンクロ予約機能)を使用して録画する場合は、「ビデオコントローラーを使用しない」を選択してください。

⇨ 予約録画の方法 B または 予約録画の方法 C に進みます。(**113**ページ)

## 5 「テスト実行」で決定を押し、テストを開始する

リモコンの決定ボタンを押してください。
テスト実行
ビデオの電源は「入」になりましたか?
●「入」になった : 設定する
●「入」にならなかった : 下記設定を変えてテストしてください。
現在の設定: シャープ1 1 2 3 4 5 6 7 8
●該当番号がないとき : ビデオコントローラーを使用しない
録画する機器側での設定が必要です

### テストの結果

- ビデオデッキの電源が「入」になったとき(正常)
  ⇨手順**8**の②に進みます。
- ビデオデッキの電源が「入」にならなかったとき
  ⇨ビデオデッキの接続、ビデオコントローラーの取付け、メーカーを確認し、手順**6**に進みます。

- ビデオコントローラーの取付け位置が適切でないために、ビデオデッキの電源が「入」にならないことがあります。その場合は、手順**6**･**7**でテストをくり返しながらビデオデッキの電源が「入」になる位置を見つけ、その位置にビデオコントローラーを固定してください。

次ページへつづく

**6** ① でカーソルを機種番号の欄に移動する

② でメーカーの機種番号を選び、決定を押す

・**110**ページ左下にある**「機種番号について」**の表を参考に機種番号を選んでください。機種番号が複数あるメーカーの場合は、お使いのビデオデッキが操作できるようになるまで手順**6**・**7**をくり返してください。

**7** 決定を押し、テストを実行する

・テストの結果、該当する機種番号がない場合は、「ビデオコントローラーを使用しない」を選択して、ビデオ予約を行う際はビデオデッキにもタイマー予約を設定してください。

**8** ① ビデオデッキの電源が「入」になったことを確認する

② 「設定する」で決定を押す

・これでビデオ連動録画の設定は完了です。

**操作終了する場合は**

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

・1つ前に戻る場合は戻る を押してください。

**設定が終了したら、再度ビデオデッキの電源を「切」にします。（ビデオのリモコンで切ります。）**

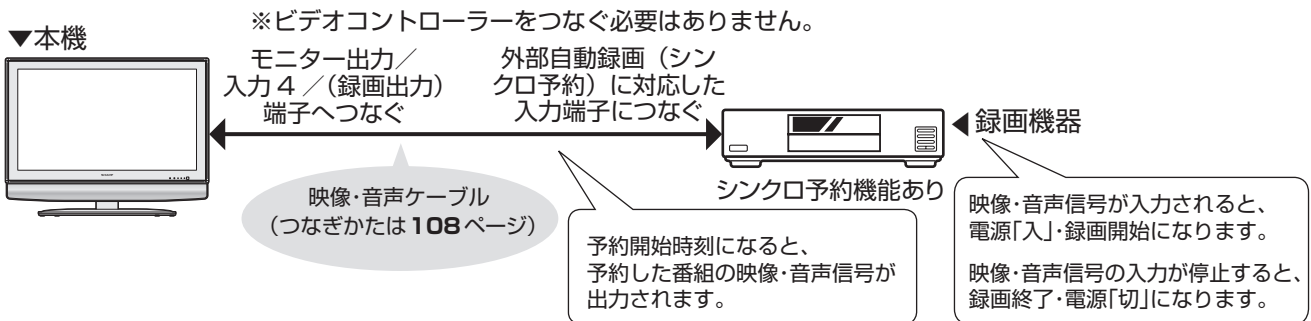
- 予約した時刻になると、ビデオコントローラーからの信号によってビデオデッキの電源が入り、録画が開始されます。
- 録画予約を設定する前に、モニター出力／入力4／（録画出力）端子を「モニター出力（固定）」または「モニター出力（可変）」に設定してください。（**114**ページ）
- 録画予約のしかたについては、**91**ページをご覧ください。

・ビデオコントローラーのテストで、どの機種番号を選んでもビデオデッキの電源が「入」にならない場合は、ビデオコントローラーの発信部がビデオデッキのリモコン受信部に確実に向いているか、再度ご確認ください。

## 外部自動録画（シンクロ予約）機能を使用する場合（予約録画の方法 B）の接続

■ お持ちの録画機器に外部録画機能（シンクロ予約機能）が付いている場合、ビデオコントローラーをつながずに予約録画することができます。

■ シンクロ予約とは、録画機器側で録画出力信号を受信すると、これに連動して電源が入り、録画を開始する機能です。（詳しくは録画機器の取扱説明書をご覧ください。）

### 接続のしかた

接続が終了したら、**111**ページの手順**4**で「ビデオコントローラーを使用しない」に設定してから、本機の録画予約を設定し、本機の電源を「切」にします。（リモコンで切ります。）そして録画機器の外部自動録画（シンクロ予約）を設定し、録画の準備をすませて、録画機器のリモコンで録画機器の電源を「切」にします。

- 予約開始時刻になると、本機のモニター出力／入力4／（録画出力）端子から映像と音声が外部自動録画（シンクロ予約）機能に対応した入力端子へ出力されます。これに連動して録画機器側で録画が始まります。
- 録画予約を設定する前に、モニター出力／入力4／（録画出力）端子を「モニター出力（固定）」または「モニター出力（可変）」に設定してください。（**114**ページ）
- 録画予約のしかたについては、**91**ページをご覧ください。

- 録画機器の外部自動録画（シンクロ予約）を設定しているときに本機の電源を入れると、モニター出力／入力4／（録画出力）端子から信号が出力されるため、録画機器で録画が始まります。不要な録画を避けるためには、録画予約が終了したあとは、録画機器の外部自動録画（シンクロ予約）を「しない」状態にしてください。

## 録画機器がビデオコントローラー・外部自動録画（シンクロ予約）機能に対応していない場合（予約録画の方法 C）の接続

■ お持ちの録画機器がビデオコントローラーおよび外部自動録画（シンクロ予約）機能に対応していないなど、予約録画の方法 A・予約録画の方法 B が使えない場合でも、本機側と合わせて録画機器側でも日時やチャンネルを予約設定しておけば録画が可能になります。

接続が終了したら、**111**ページの手順**4**で「ビデオコントローラーを使用しない」に設定してから、本機の録画予約を設定し、本機の電源を「切」にします。（リモコンで切ります。）そして録画機器のタイマー予約などの予約録画機能で、本機で設定した予約と同じ日付・時刻に設定し、予約するチャンネルは本機と接続した外部入力に設定します。

- 録画機器との接続については**108**ページをご覧ください。
- 録画機器の操作方法については、録画機器の取扱説明書をご覧ください。
- 予約開始時刻になると、本機の電子番組表で予約した番組の映像・音声がモニター出力／入力4／（録画出力）端子から出力されます。同時に、録画機器側で行った設定により、録画機器側の予約録画が始まります。
- 録画予約を設定する前に、モニター出力／入力4／（録画出力）端子を「モニター出力（固定）」または「モニター出力（可変）」に設定してください。（**114**ページ）
- 録画予約のしかたについては、**91**ページをご覧ください。

# 他の機器を使って録画するための設定

## 入力4端子を出力用または入力用に設定する

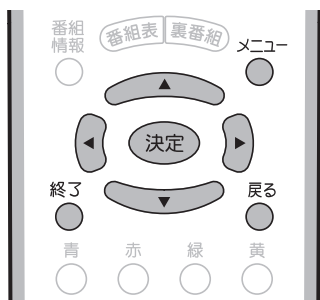
■ 本機背面のモニター出力／入力4／(録画出力)端子は、出力用と入力用に使い分けることができます。
■「モニター出力(固定)」または「モニター出力(可変)」に設定しているとき、予約録画の実行またはデジタル固定をすると、録画出力信号が出力されます。

**操作の前に**

**他の機器を接続して録画するときの設定**

- **モニター出力(固定)**
  音声出力端子から出力される音量レベルは一定で、スピーカーの音量を調整しても端子の出力レベルは変化しません。
- **モニター出力(可変)**
  スピーカーからは音声が出ません。音声出力端子から出力される音量レベルを、音量ボタンで調整することができます。

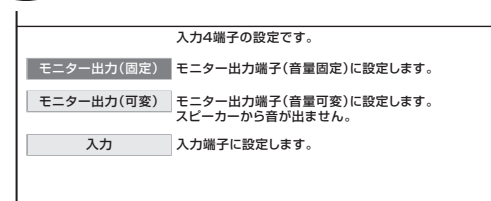
**ビデオやDVDを見るときの設定**

- **入力**
  ビデオ再生機器をつなぐなど、入力端子として使うときに選びます。

### •モニター出力／入力4／(録画出力)端子から出力される映像信号について

| TV視聴状況＼出力 | モニター出力／入力4(録画出力) | |
|---|---|---|
| | S2端子 | 映像端子 |
| 地上アナログ | × | ○ |
| 地上D/BS/CS | ○ | ○ |
| ビデオ映像 | ×※1 | ○※1 |
| D端子映像 | ×※1 | ×※1 |
| HDMI信号 | ×※1 | ×※1 |
| DVI信号 | ×※1 | ×※1 |

※1 デジタル固定中は、固定したデジタル放送を出力します。録画予約実行中は、予約した番組を出力します。

**1** メニュー画面から「機能切換」ー「入力4端子設定」を選び、(決定)を押す

**2** (▲▼)で「モニター出力(固定)」「モニター出力(可変)」「入力」のいずれかを選び、(決定)を押す

- 「モニター出力」に設定すると、音量を調整したとき、次のような音量表示が画面に表示されます。

「モニター出力(固定)」にしたときの音量表示

30

「モニター出力(可変)」にしたときの音量表示

30

- 「モニター出力(可変)」に設定し、モニター音声出力レベルを調整する場合は、スピーカーの音量を変えるときと同じように、音量(大／小)ボタンで調整します。
- 「モニター出力(固定)」「モニター出力(可変)」のいずれを選んだ場合でも、ヘッドホン端子からの音声出力は可能です。
- 「モニター出力(可変)」に設定しているとき、音声調整の設定はできません。

**操作終了する場合は**

**(メニュー)または(終了)を押し、通常画面に戻す**

- 1つ前に戻る場合は(戻る)を押してください。

# デジタル固定の設定

■「デジタル固定」とは、現在受信しているデジタル放送のチャンネルに固定する機能です。

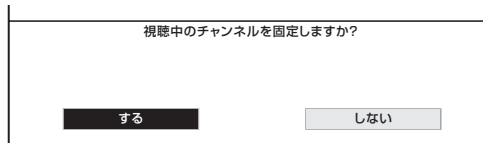
**操作の前に**

**こんなときに便利です**

- デジタル放送の番組を録画しているとき、誤ってチャンネルを変えてしまうのを防ぐことができます。
- デジタル固定を「する」に設定しているときは、リモコンで電源を「切」（電源待機状態）にしても、モニター出力／入力4／（録画出力）端子からデジタル放送の映像・音声が出力されますので、録画を続けることができます。

**1** 固定したいデジタル放送のチャンネルを選局する

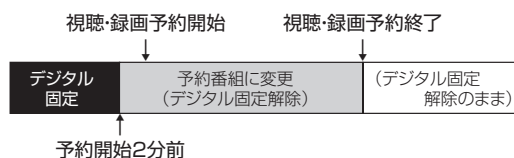
**2** メニュー画面から「機能切換」ー「デジタル固定」を選び、（決定）を押す

**3** （◀▶）で「する」を選び、（決定）を押す

- 視聴中のデジタル放送のチャンネルに固定されます。

**操作終了する場合は**

（メニュー）または（終了）を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は（戻る）を押してください。

- デジタル固定中に視聴・録画予約時間の2分前（ビデオ連動録画設定（**110**〜**112**ページ）をシャープ7、8に設定している場合に限り、5分前）になると、デジタル固定が自動的に解除されます。また、視聴・録画予約が終了してもデジタル固定は解除されたままとなります。

- 予約録画実行中やi.LINK入力時は、デジタル固定にできません。
- デジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「デジタル固定」または 予約録画の方法 A （**91**・**110**ページ）で録画することをおすすめします。
- デジタル固定中は他のチャンネルに切り換えられません。

# 入力選択の設定

■ 入力1～4に外部機器を接続しているとき、複数の映像用端子(例えば、入力1では「D4映像」「映像」の2種類)のどれを使用するかを設定することができます。
■ 工場出荷時の状態では、入力1～4は「自動」に設定されています。通常の使用方法の場合、特に設定を変更する必要はありません。

## 入力選択の項目について

■ 入力1～4のそれぞれにつき、選択できる入力項目はつぎのとおりです。

| 入力1 / 入力2 / 入力3 |
|---|
| 自動 |
| D端子 |
| ビデオ映像 |

| 入力4 |
|---|
| 自動 |
| S端子 |
| ビデオ映像 |

■ 入力7の入力選択については、**106**ページを参照してください。

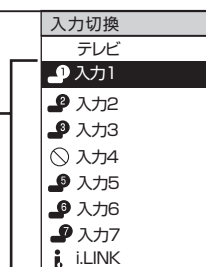
### 映像入力端子選択の優先順位について

・入力1～4の入力選択を「自動」に設定したときは、つぎの優先順位で映像入力端子が選択されます。

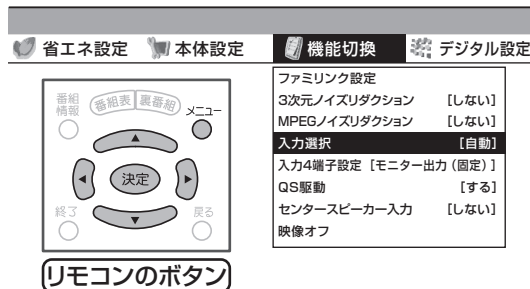
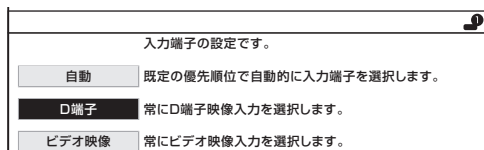
| | |
|---|---|
| 入力1・入力2・入力3 | D端子→ビデオ映像 |
| 入力4 | S端子→ビデオ映像 |

[例] 外部機器を入力1に接続しているとき、D4映像端子からの入力を選択する

**1** 入力切換 で「入力1」を選ぶ

・入力1～入力4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。
・i.LINKは、機器を接続、選択しているときのみ選べます。

※入力4は、入力4端子設定を「入力」にしているときのみ選択できます。(**114**ページ)

**2** メニュー画面から「機能切換」ー「入力選択」を選び、決定を押す

・テレビ、入力5、入力6、i.LINK入力のとき、「入力選択」はメニューに表示されません。

**3** で「D端子」を選び、決定を押す

**操作終了する場合は**

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

・1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

# 外部機器のなまえを表示させる

■ 入力1～7に接続している外部機器に合わせて、入力切換メニューや画面表示（チャンネルサイン）に表示される機器の名称を選択することができます。
■ 機器の名称をおこのみの名称に変更することもできる「ユーザー設定」があります。

### 表示できる名称について

**入力1／入力2／入力3**

| | | |
|---|---|---|
| 入力1 ※ | ビデオ1 ※ | ビデオ |
| コンポーネント1 ※ | コンポーネント | D端子1 ※ |
| D端子 | CATV | CS |
| DVD | ゲーム | ムービー |
| D-VHS | HDD | DVR |
| BD | | |

※「入力2」選択時は、入力2 ビデオ2 などの表示になります。
※「入力3」選択時は、入力3 ビデオ3 などの表示になります。

**入力4**

| | | |
|---|---|---|
| 入力4 | ビデオ4 | ビデオ |
| CATV | CS | DVD |
| ゲーム | ムービー | D-VHS |
| HDD | DVR | BD |

**入力5／入力6**

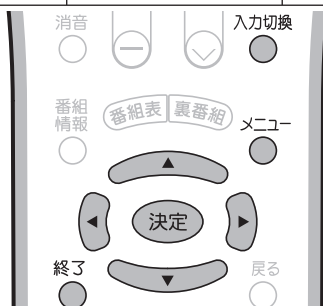
| | | |
|---|---|---|
| (自動)入力5 ※ | 入力5 ※ | ビデオ5 ※ |
| ビデオ | HDMI | HDMI1 ※ |
| DVD | DVR | HDD |
| BD | | |

※「入力6」選択時は、(自動)入力6 入力6 ビデオ6 HDMI2 の表示になります。

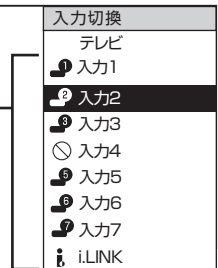
- ファミリンク対応のAQUOSレコーダー接続時、「(自動)入力5」または「(自動)入力6」の表示に設定されている場合は、「AQUOSレコーダー」と表示されます。
- 他メーカーのHDMI機器を接続し、「(自動)入力5」または「(自動)入力6」の表示に設定されている場合、表示の内容が変わることがあります。
- AQUOSサラウンド接続時、「(自動)入力5」または「(自動)入力6」の表示に設定されている場合は、「入力5」または「入力6」と表示されます。
- AQUOSサラウンドにファミリンク対応レコーダーが接続されていて「(自動)入力5」または「(自動)入力6」の表示に設定されている場合は、「AQUOSレコーダー」と表示されます。

**入力7**

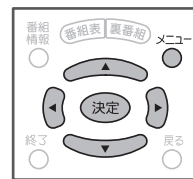
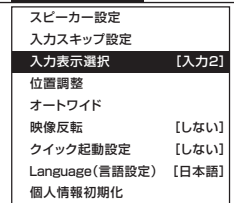
| | | |
|---|---|---|
| 入力7 | ビデオ7 | ビデオ |
| DVI-I | DVD | PC |

消音 入力切換 番組情報 番組表 裏番組 メニュー 決定 終了 戻る

［例］入力2の表示を「ゲーム」に変える

## 1 入力切換 で「入力2」を選ぶ

- 入力1～入力4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。
- i.LINKは、機器を接続、選択しているときのみ選べます。

※入力4は、入力4端子設定を「入力」にしているときのみ選択できます。（**114**ページ）

## 2 メニュー画面から「本体設定」—「入力表示選択」を選び、決定を押す

- テレビ入力およびi.LINK入力のとき、「入力表示選択」はメニューに表示されません。

## 3 で「ゲーム」を選び、決定を押す

**ユーザー設定について**
- おこのみで機器の名称を入力したいときは、「編集」を選んで決定します。文字入力のしかたについては、**178**ページをご覧ください。
- 入力できる文字数は、全角で5文字まで、半角で10文字までです。

## 4 メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 入力切換ボタンを押すと、入力切換メニューに「ゲーム」が表示されます。

おしらせ

**ゲーム機との接続について**
- ゲームの種類の中で、ピストルを使ったシューティングゲームはできません。

# i.LINK機器を使う

## i.LINK(アイリンク)について

■ i.LINKは、i.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのマルチメディア系のデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースで、i.LINKケーブル1本で接続することができます。
i.LINKは、IEEE1394の呼称で、IEEE(米国電子電気技術者協会)によって標準化された国際標準規格です。現在、100Mbps/200Mbps/400Mbpsの転送速度があり、それぞれS100/S200/S400と表示されます。本機では最大400Mbpsの転送が可能です。

### 本機に接続できるi.LINK機器について

■ 本機が対応しているi.LINK機器

- D-VHSビデオデッキ(D-VHS)
- AV-HDDレコーダー(AV-HDD)
- Blu-ray Discレコーダー(BD)
- HDV方式ハイビジョンビデオカメラ(HDV)

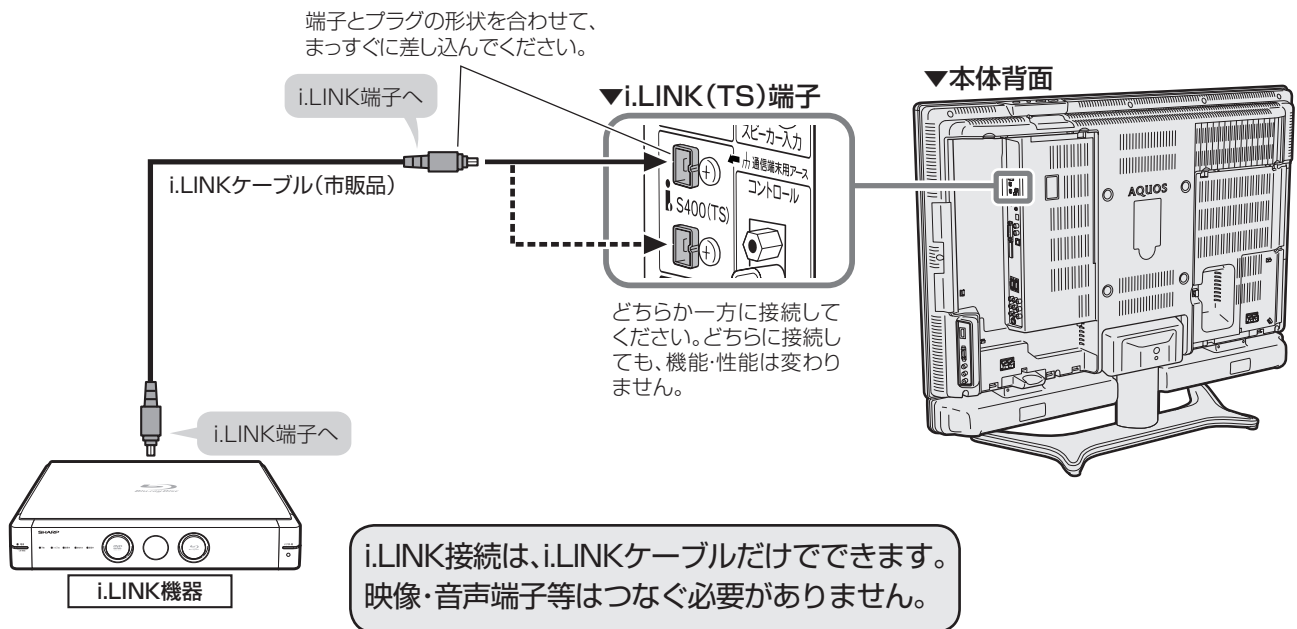
※上記のi.LINK機器でも、機器によっては機器の認識やコントロール、録画や再生ができない場合があります。

※DVDレコーダーやDV機器、PC(パソコン)、PC周辺機器などは、仕様が異なりますので接続できません。

### i.LINKで録画できる内容について

■ 本機とi.LINK機器をi.LINK接続して録画できるのは、**デジタル放送のみ**です。それ以外のテレビ(地上アナログ放送)、外部入力(入力1～7)は、i.LINK録画ができません。また、ハイビジョンビデオカメラでは、本機のデジタル放送をi.LINK録画することができません。

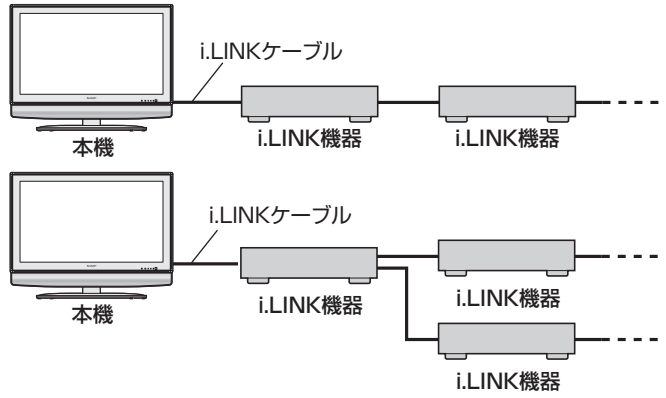
## i.LINK接続のしかた

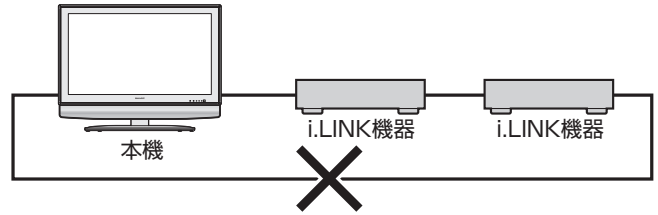
[例] 接続するi.LINK機器が1台の場合

- 接続の際は、「S400」タイプのi.LINKケーブルをご使用ください。

- 1つのレコーダーをi.LINKとHDMIで同時に接続するときは、「i.LINK自動切換」を「しない」にしてください。(**119**ページ)

## i.LINK機器（D-VHS／AV-HDD／BD）が2台以上のとき

■ i.LINKケーブルを使い、デイジー・チェーン（数珠つなぎ）で接続します。この接続では、i.LINK機器を最大16台までつなぐことができます。

■ i.LINK端子が3つ以上ある機器の場合は、分岐をしてつなぐこともできます。分岐接続する場合は、i.LINK機器を最大62台までつなぐことができます。

## 接続に関するご注意

- 一部のi.LINK機器では、その機器の電源が切られているとデータを中継できない場合があります。この場合は、その機器を終端に接続してください。
- 図のようなループ（輪）接続をしないでください。
- i.LINK機能使用中は、使用していないi.LINK機器であっても、ケーブルを抜いたり、電源を切ったりしないでください。映像･音声が乱れることがあります。
- DVDレコーダーやDV機器、PC（パソコン）、PC周辺機器など、本機が対応していない機器を同時に接続していると、誤動作することがあります。
- 接続したi.LINK機器の認識やコントロール、録画･再生が正しくできなくなったときは、i.LINKケーブルの抜き差しを行うことで、復帰する場合があります。
- 複数のi.LINK機器を接続して使用する場合、接続機器の仕様や相互接続性により、動作が安定しない場合があります。この場合、使用していない機器の接続を外したり、接続のしかたを変更すると安定する場合があります。

# i.LINK機器を操作するための準備について

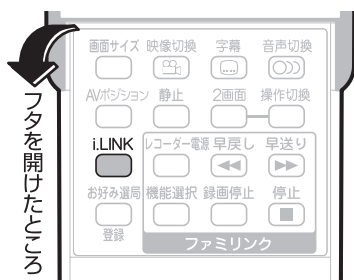
## i.LINK操作パネルを表示させる

■i.LINK操作パネルからi.LINK機器を操作するための準備です。

**1** 本機のi.LINK端子にi.LINK機器を接続し、i.LINK機器の電源を入れる

**2** 本機の電源を入れる

**3** i.LINKを押して、i.LINK操作パネルを表示する

- 詳しくは**121**ページの「i.LINK機器の選択」をご覧ください。

## i.LINK自動切換を設定する

■i.LINKで接続した録画機器を再生状態にしたとき、自動的に入力が「i.LINK」に切り換わるように設定することができます。

**1** メニュー画面から「デジタル設定」ー「i.LINK設定」を選び、決定を押す

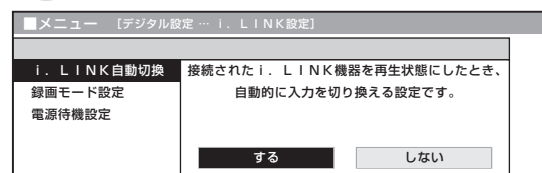
**2** ▲▼で「i.LINK自動切換」を選び、決定を押す

**3** ◀▶で「する」を選び、決定を押す

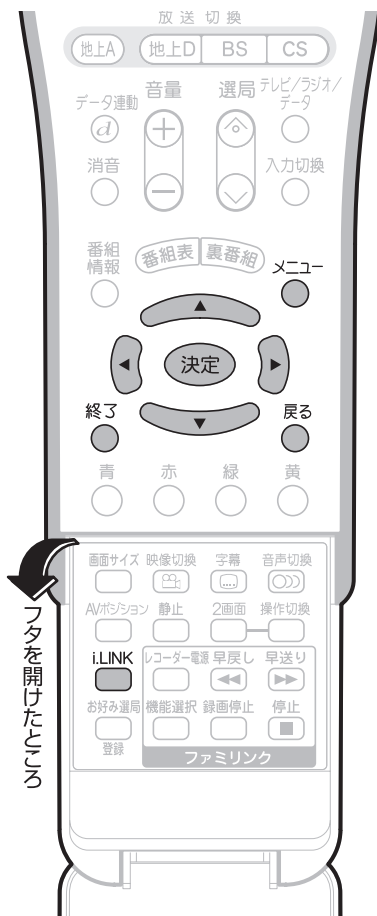
■メニュー　[デジタル設定 … i．LINK設定]

i．LINK自動切換
録画モード設定
電源待機設定

接続されたi．LINK機器を再生状態にしたとき、自動的に入力を切り換える設定です。

する　しない

## i.LINK設定について

- 複数のi.LINK機器をi.LINKケーブルで接続した場合、本機の「電源待機設定」を「しない」に設定して電源を待機状態（電源ランプ赤色点灯）にすると、本機を中継して接続されているi.LINK機器間のデータのやりとりができなくなります。本機をi.LINK機器の中間に接続している場合は、本機の「電源待機設定」を「する」に設定するか、下図のように本機をi.LINK機器の末端に接続してください。

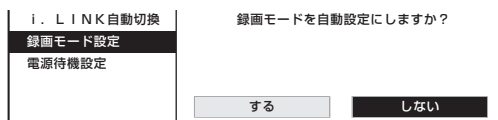
- 現在発売されているi.LINK機器のほとんどは、記録している映像・音声の伝送レートを自動認識し録画モードを制御するため、**本機の「録画モード設定」は通常「しない」に設定してください。**
- i.LINK機器の種類や、i.LINK機器で記録しようとしている放送の内容によっては、本機から録画モードを正常に制御できない場合があります。この場合は、本機の「録画モード設定」を「しない」に設定してください。
- 本機の電源が待機状態（電源ランプ赤色点灯）のときは、外部機器からのi.LINK制御コマンドを受けつけることができません。これは「電源待機設定」を「する」に設定しても同じです。外部機器から本機をi.LINK制御する場合は、本機の電源を「入」（電源ランプ緑色点灯）にしてから行ってください。

**1** メニュー画面から「デジタル設定」ー「i.LINK設定」を選び、決定を押す

### 録画モードの設定

- 本機には、録画時にi.LINK機器の録画モードを自動的に制御する機能があり、その機能を有効に「する」か「しない」かを選ぶことができます。

**2** ① で「録画モード設定」を選び、決定を押す

② で「する」または「しない」を選び、決定を押す

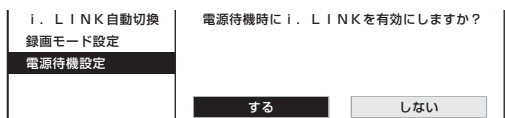
- **通常は「しない」に設定します。**

### i.LINK電源待機の設定

- 本機では、i.LINK電源待機の設定により電源待機時の消費電力を少なくすることができます。
- i.LINK機器を接続していない場合は、消費電力が小さくなる「しない」を選択してください。

**2** ① で「電源待機設定」を選び、決定を押す

② で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」……電源待機時にもi.LINK回路を通電し、データの中継ができるようにします。

「しない」…電源待機時の消費電力を少なくします。ただし、データの中継はできません。

**操作終了する場合は**

**メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す**

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

# i.LINK機器の選択と解除について

■ i.LINK機器を選択したり解除するには、機器選択画面から操作を選びます。

## i.LINK機器の選択

・本機からi.LINK機器を操作するためには、使用するi.LINK機器を選択する必要があります。
・最大16台のi.LINK機器から、使用する1台を選択できます。
・接続されたi.LINK機器は、自動的に機器選択画面のリストに登録されます。

**1** i.LINKを押し、i.LINK操作パネルを表示する

■ 停止中　01D-VHS ●● ●●●●●●
00：00：00　電源　機器選択
予約　D-VHS　停止　入力切換
で操作を選択　決定で実行　i.LINKで表示切

・「操作できるi.LINK機器がありません。」のメッセージが表示されたときは、i.LINK機器が正しく接続されているか確認してください。（**118**ページ）
・i.LINK機器が選択されていないときは、機器選択画面になります。手順**3**に進んでください。

**2** で「機器選択」を選び、決定を押す
・機器選択画面が表示されます。

現在選択されている機器のマーク

使用する機器を選んでください

| | 機器名 | メーカー | 形名 |
|---|---|---|---|
| 01 | D-VHS | ○○ | ○○○○ |
| 02 | D-VHS | ○○ | ○○○○ |
| 03 | D-VHS | ○○ | ○○○○ |
| 04 | BD | ○○ | ○○○○ |

**3** 操作したい機器をで選び、決定を押す

・選んだi.LINK機器の操作パネルが表示されます。

## i.LINK機器の使用解除

・登録されたi.LINK機器の使用を解除できます。
・i.LINK機器の使用を解除することにより、その機器を別のi.LINK機器から使用できるようになります。

**1** 「i.LINK機器の選択」の手順1・2を行う

**2** で、リストの一番下にある「機器使用解除」を選び、決定を押す

・i.LINK機器の使用が解除されます。

・本機で使用しているi.LINK機器を他のi.LINK機器で使用するためには、本機の機器選択画面から「機器使用解除」を行ってください。

## i.LINK機器の登録削除

・機器選択画面に登録されているi.LINK機器を、リストから削除できます。
・接続されているi.LINK機器は、削除できません。

**1** 「i.LINK機器の選択」の手順1・2を行う

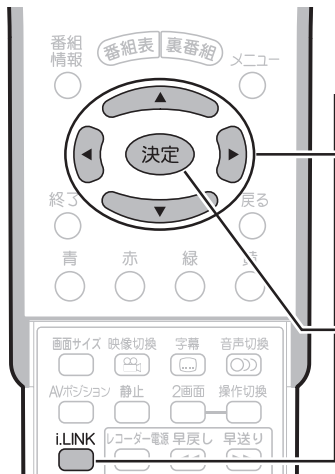
**2** 削除したいi.LINK機器をで選び、決定を押す

**3** で「削除する」を選び、決定を押す

・選んだi.LINK機器がリストから削除されます。
・削除しないときは、「キャンセル」を選んで決定ボタンを押します。

・本機で認識することができない機器は、機器選択画面のリストに表示されません。
・接続したi.LINK機器によっては、メーカー名や機器名が正しく表示されないことがあります。
接続したi.LINK機器のメーカー名や機器名が正しく表示されない場合は、i.LINKケーブルを抜き、「i.LINK機器の登録削除」の手順により、一度登録されているi.LINK機器を削除してからi.LINKケーブルを接続し直してください。
・機器選択画面のリスト項目に⃠マークがついているi.LINK機器は、本機が対応していない機器であり、使用することができません。

## i.LINK機器の操作のしかた

### 基本操作

■ i.LINKに対応した録画機器の操作ができます。画面にi.LINK操作パネルを表示させ、パネル上のボタンで操作します。
■ 操作を始める前に、**120**･**121**ページの設定を済ませておいてください。
■ 本機で操作するi.LINK機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

**1** i.LINK ボタンを押し、i.LINK操作パネルを表示する
- 操作パネルを終了するときも、このボタンを押します。

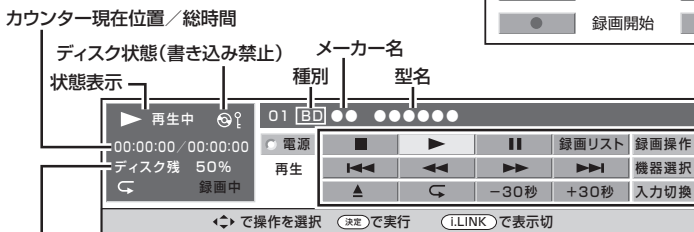
**2** 操作したい機能をカーソルボタンで選ぶ

**3** 決定ボタンを押し、選んだ機能を実行する

### i.LINK操作パネルの見かた

▼操作ボタンの機能（D-VHS）

| ボタン | 機能 | ボタン | 機能 | ボタン | 機能 |
|---|---|---|---|---|---|
| ■ | 停止 | ⏮ | 1つ前に戻って頭出し | 機器選択 | 機器選択画面へ |
| ▶ | 再生 | ◀◀ | 巻戻し | 入力切換 | 入力切換え<br>i.LINK入力とその前の画面（テレビまたは外部入力）との切換えに使用します。 |
| ❚❚ | 一時停止 | ▶▶ | 早送り | | |
| ● | 録画開始 | ⏭ | 1つ先に進んで頭出し | 電源 | 電源の入／切 |

▼操作ボタンの機能（AV-HDD･BD）

| ボタン | 機能 | ボタン | 機能 | ボタン | 機能 | ボタン | 機能 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ■ | 停止 | ⏮ | 1つ前に戻って頭出し | ⏏ | イジェクト（BDの場合のみ、AV-HDDは非表示） | 機器選択 | 機器選択画面へ |
| ▶ | 再生 | ◀◀ | 巻戻し再生（押すごとに早さが変わります） | リピート | リピート設定（リピート状態では再生状態のときに1つの番組を繰り返し再生します） | 入力切換 | 入力切換え<br>i.LINK入力とその前の画面（テレビまたは外部入力）との切換えに使用します。 |
| ❚❚ | 一時停止 | ▶▶ | 早送り再生（押すごとに早さが変わります） | −30秒 | 30秒後戻し | 録画操作 | 録画操作パネルへ |
| 録画リスト | 録画リスト画面へ | ⏭ | 1つ先に進んで頭出し | +30秒 | 30秒先送り | 電源 | 電源の入／切 |

録画中表示:録画中の再生操作パネルで表示されます。

- IEEE1394は、米国電子電気技術者協会（IEEE）によって標準化された国際標準規格です。
- i.LINK（アイリンク）とi.LINKロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー･プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA（The Digital Transmission Licensing Administrator）というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー･プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像、音声、データにおいて、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。また、DTLAのコピー･プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、映像、音声、データのやりとりができない場合があります。

# D-VHSビデオで録画・再生する

## デジタル放送を録画する

■ 以下の操作をする前に、**120**·**121**ページの設定を済ませてください。

■ 本機で操作するi.LINK機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

**1** 録画したいデジタル放送の番組を選局する

**2** (i.LINK)を押し、i.LINK操作パネルを表示する

**3** (決定)で (録画ボタン)を選び、(決定)を押す

・録画が開始します。

・録画を止めるときは、■(停止ボタン)を選んで決定ボタンを押します。

・録画中は、リモコンまたは本体天面の入力切換ボタンで「i.LINK」を選ぶことはできません。

## 録画した番組を再生する

**1** (i.LINK)を押し、i.LINK操作パネルを表示する

**2** 開始地点まで巻き戻し、(決定)で ▶ (再生ボタン)を選び、(決定)を押す

・再生が開始します。

・再生中に特殊再生するときは、▶▶(早送りボタン)、◀◀(巻戻しボタン)、❚❚(一時停止ボタン)を選び、決定ボタンを押します。

・停止するときは、■(停止ボタン)を選んで決定ボタンを押します。

デジタル放送をi.LINKで録画予約したい場合は、**94**·**95**ページをあわせてご覧ください。

**D-VHSビデオデッキの録画、再生について**

・D-VHSビデオデッキによっては、本機のi.LINK操作パネル上の操作ボタンで操作できなかったり、D-VHSビデオデッキが再生している映像·音声を視聴することができない場合があります。

・D-VHSビデオデッキによっては、VHSテープやS-VHSテープ、またはアナログで記録されているD-VHSテープの再生映像·音声を本機のi.LINK入力で視聴することができない場合があります。この場合は、D-VHSビデオデッキのアナログ出力を本機のアナログ外部入力(入力1〜4)に接続し、本機を外部入力に切り換えてから視聴してください。

・D-VHSビデオデッキのタイマー録画予約中に本機のi.LINK操作パネルで操作すると、タイマー録画予約に失敗することがありますので、D-VHSビデオデッキのタイマー録画予約中はi.LINK操作パネルを操作しないでください。

・本機のi.LINK操作パネルの録画ボタンによる録画では、本機が受信しているデジタル放送の映像·音声がD-VHSビデオデッキに記録されます。

・本機で受信しているデジタル放送の映像·音声をD-VHSビデオデッキで記録するときは、D-VHSテープを使用してください。VHSテープやS-VHSテープでは記録することができません。

・番組の内容によっては、D-VHSビデオデッキで録画·録音ができない場合があります。

・使用しているD-VHSビデオデッキによっては、特殊再生時(送り再生や戻し再生など)に、映像·音声が出なかったり、映像の品位が悪くなる場合があります。

# ハイビジョンビデオカメラで撮影・再生する

## ハイビジョンビデオカメラの映像・音声をAQUOSで楽しむ

■ HDV方式のハイビジョンビデオカメラには、「HDVフォーマット」の信号だけでなく、「DVフォーマット」の信号も扱えるものがあります。本機で視聴することができる信号は「HDVフォーマット」で撮影された信号のみです。

### 本機に接続したハイビジョンビデオカメラの操作パネル

ハイビジョンビデオカメラをビデオモードにしたときの操作パネル

ハイビジョンビデオカメラをカメラモードにしたときの操作パネル

・操作できるボタンは接続している機器により異なります。ボタンが表示されていても、操作できない場合があります。
・ビデオモードとカメラモードの切換えは、ハイビジョンビデオカメラ側の操作により行います。

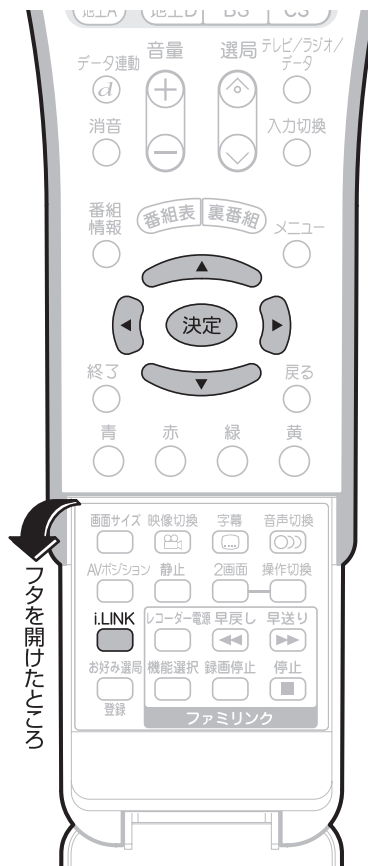
**操作ボタンの機能**

| | | |
|---|---|---|
| ■ 停止 | ► 再生 | II 一時停止 |
| ◄◄ 巻戻し | ►► 早送り | ● 撮影 |

※ 入力切換ボタンについて
・i.LINK操作パネルの入力切換ボタンは、i.LINK入力とその前の画面（テレビまたは外部入力）との切り換えを行います。
i.LINK自動切換を「する」に設定している場合は、
・ハイビジョンビデオカメラを選択した状態で再生を開始すると自動的にi.LINK入力になります。
・ハイビジョンビデオカメラを選択した状態でハイビジョンビデオカメラをカメラモードに切り換えると、自動的にi.LINK入力になります。

※ 撮影ボタンについて
・i.LINK操作パネルの撮影ボタンは、ハイビジョンビデオカメラのカメラで映している映像・音声の撮影（録画）を開始します。
・本機でテレビや外部入力を視聴しているときは、撮影ボタンは無効になります。

• 本機で受信している放送または外部入力をハイビジョンビデオカメラで録画することはできません。
• 電子番組表(EPG)から録画予約するとき、ハイビジョンビデオカメラを録画連動機器として選択することはできません。
• ハイビジョンビデオカメラが「DV互換モード」に設定されていると、i.LINK機器選択の画面（**121**ページ）でハイビジョンビデオカメラを選択することができません。詳しくはハイビジョンビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。
• i.LINK操作パネルでハイビジョンビデオカメラの電源操作はできません。
• ハイビジョンビデオカメラの電源が「切」のときは、本機からハイビジョンビデオカメラの操作はできません。

フタを開けたところ

## 再生する

■ ハイビジョンビデオカメラを本機とi.LINK接続し、本機から操作して再生する手順です。

**1** ① ハイビジョンビデオカメラを本機に接続する
② ハイビジョンビデオカメラを「ビデオモード」にする

・ハイビジョンビデオカメラが「カメラモード」になっていると、ハイビジョンビデオカメラの映像を本機で見ることができません。

**2** リモコンフタ内の(i.LINK)を押し、i.LINK操作パネルを表示する

停止中 00：00：00 01 HDV ●● ●●●●●● 停止 機器選択 入力切換 で操作を選択 (決定)で実行 (i.LINK)で表示切

**3** (▲▼◀▶)でi.LINK操作パネル上の[ ▶ ](再生ボタン)を選び、(決定)を押す

・再生が始まります。
・再生中に特殊再生するときは、[ ▶▶ ](早送りボタン)、[ ◀◀ ](巻戻しボタン)、[ ❚❚ ](一時停止ボタン)を選んで、(決定)を押します。
・停止するときは、[ ■ ](停止ボタン)を選んで(決定)を押します。

・「DVフォーマット」で撮影された信号は、本機で視聴することができません。
・「HDVフォーマット」と「DVフォーマット」が混在したテープを使用した場合などにDVフォーマットの信号が本機に入力されることがあります。この場合、「この信号を本機で再生することはできません。HDV機器の設定を確認してください。」というメッセージが表示されます。
・本機からハイビジョンビデオカメラの頭出し操作はできません。

## 撮影する

■ ハイビジョンビデオカメラを本機とi.LINK接続し、本機から操作して撮影する手順です。

**1** ① ハイビジョンビデオカメラを本機に接続する
② ハイビジョンビデオカメラを「カメラモード」にする

・ハイビジョンビデオカメラを「ビデオモード」から「カメラモード」に切り換えると、自動的にi.LINK入力に切り換わります。

**2** リモコンフタ内の(i.LINK)を押し、i.LINK操作パネルを表示する

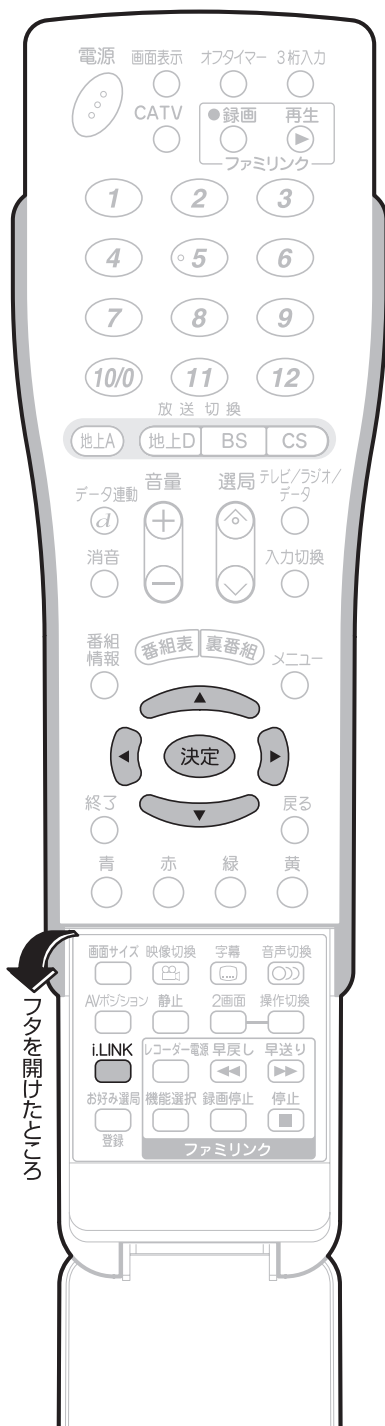
**3** (▲▼◀▶)でi.LINK操作パネル上の[ ● ](撮影ボタン)を選び、(決定)を押す

・撮影が始まります。
・停止するときは、[ ■ ](停止ボタン)を選んで(決定)を押します。

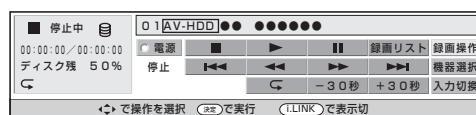
・ハイビジョンビデオカメラによっては、静止画を記録する機能として「フォトモード」を備えたものがあります。ハイビジョンビデオカメラが「フォトモード」になっていると、本機のi.LINK操作パネルでハイビジョンビデオカメラを操作することができません。詳しくはハイビジョンビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。
・ハイビジョンビデオカメラによっては、カメラモードで撮影していない状態のまましばらく放置すると、自動的に待機状態に移行し、i.LINKからの制御を受け付けなくなる機器があります。この場合、本機のi.LINK操作パネルでハイビジョンビデオカメラを操作することはできませんので、ハイビジョンビデオカメラ本体を直接操作してください。
・本機で受信している放送または外部入力をハイビジョンビデオカメラで録画することはできません。

# AV-HDDやBlu-ray Discレコーダーで録画・再生する

## デジタル放送を録画する

■ AV-HDDやBlu-ray Discレコーダーでデジタル放送を録画・再生するための手順です。
■ 以下の操作をする前に、**120**・**121**ページの設定を済ませてください。
■ 本機で操作するi.LINK機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

**1** 録画したいデジタル放送の番組を選局する

**2** i.LINKを押し、i.LINK操作パネルを表示する

**3** ▲▼◀▶で 録画操作（録画操作ボタン）を選び、決定を押す

**4** ▲▼◀▶で ●（録画ボタン）を選び、決定を押す

・録画が開始します。
・録画を止めるときは、録画停止（録画停止ボタン）を選んで決定ボタンを押します。

## 録画した番組を再生する

・ディスク機器の場合、録画が終了すると録画リストが作成されますので、複数の録画番組から再生したい番組を選ぶことができます。（**127**ページ）

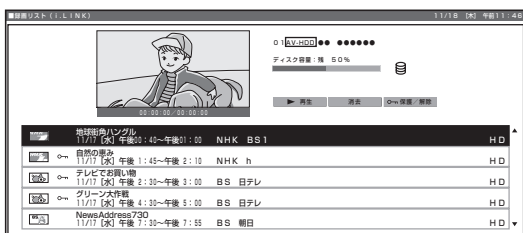
デジタル放送を i.LINK で録画予約したい場合は、**94**・**95** ページをあわせてご覧ください。

## 録画した番組を再生する

■ ディスク機器の場合、録画リストから再生する番組を選ぶことができます。

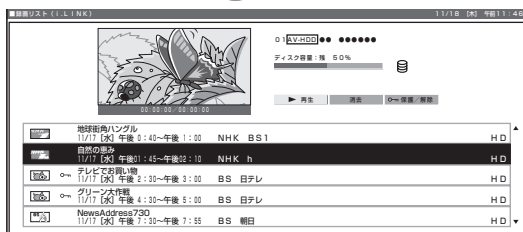
**1** i.LINK を押し、i.LINK操作パネルを表示する

■ 停止中　01 AV-HDD ●● ●●●●●●
00:00:00／00:00:00　ディスク残 50%
電源 ■ ▶ ❚❚ 録画リスト 録画操作
停止 ⏮ ◀◀ ▶▶ ⏭ 機器選択
−30秒 ＋30秒 入力切換
で操作を選択　決定で実行　i.LINKで表示切

**2** ◀▶で 録画リスト（録画リストボタン）を選び、決定を押す

- 録画リストが表示されます。
- 録画中は、i.LINK操作パネルの録画リストボタンを操作できません。録画リストボタンの操作は、録画を停止してから行ってください。

**3** ① ▲▼で再生したいタイトルを選び、決定を押す

② ◀▶で「再生」を選び、決定を押す

③ 「先頭から再生」または「続きから再生」を選び、決定を押す

- 再生中に特殊再生するときは、▶▶（早送りボタン）、◀◀（巻戻しボタン）、❚❚（一時停止ボタン）を選び、決定ボタンを押します。
- 停止するときは、■（停止ボタン）を選んで決定ボタンを押します。

おしらせ

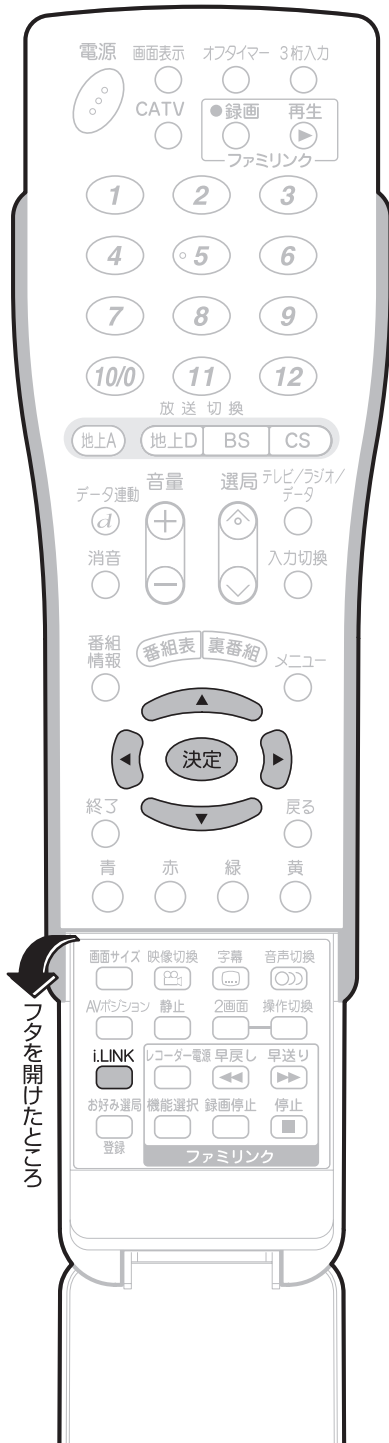
**AV-HDDレコーダー（i.LINK）の録画、再生について**

- AV-HDDレコーダーによっては、本機のi.LINK操作パネル上の操作ボタンで操作できなかったり、AV-HDDレコーダーが再生している映像・音声を視聴できない場合があります。
- 本機のi.LINK操作パネルの録画ボタンによる録画では、本機が受信しているデジタル放送の映像・音声がAV-HDDレコーダーに記録されます。
- 番組の内容によっては、AV-HDDレコーダーで録画・録音ができない場合があります。
- AV-HDDレコーダーによっては、特殊再生時（送り再生や戻し再生）に、映像・音声が出なかったり、映像の品位が悪くなる場合があります。
- AV-HDDレコーダーによっては、録画中の再生、および録画中の録画リスト画面の表示などの機能を操作できない場合があります。
- AV-HDDレコーダーによっては、他のi.LINK機器に切り換えたときに自動的に再生を停止する場合があります。
- AV-HDDレコーダーによっては、機器の動作モードがD-VHSモードのとき、AV-HDDレコーダーはD-VHSビデオデッキとして認識されます。

**Blu-ray Discレコーダー（i.LINK）の録画、再生について**

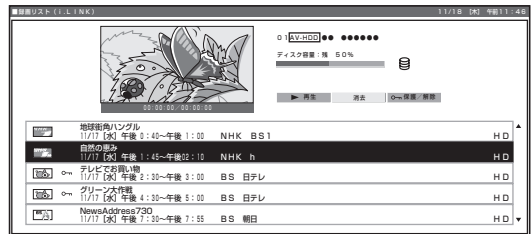
- Blu-ray Discレコーダーによっては本機のi.LINK操作パネル上の操作ボタンで操作できなかったり、Blu-ray Discレコーダーが再生している映像・音声を視聴できない場合があります。
- 本機のi.LINK操作パネルの録画ボタンによる録画では、本機が受信しているデジタル放送の映像・音声がBlu-ray Discレコーダーに記録されます。
- 番組の内容によっては、Blu-ray Discレコーダーに録画・録音ができない場合があります。
- Blu-ray Discレコーダーによっては、特殊再生時（送り再生や戻し再生）に、映像・音声が出なかったり、映像の品位が悪くなる場合があります。
- Blu-ray Discレコーダーによっては、録画中の再生、および録画中の録画リスト画面の表示などの機能を操作できない場合があります。
- Blu-ray Discレコーダーによっては、他のi.LINK機器に切り換えたときに自動的に再生を停止する場合があります。
- Blu-ray Discレコーダーが搭載しているチューナーやアナログ外部入力をBlu-ray Discレコーダー単体で記録した場合、Blu-ray Discレコーダーの設定によっては、音声がAC3フォーマットで記録されることがあります。本機はAC3フォーマットに対応していないため、このようなコンテンツを本機とi.LINK接続して再生した場合、音声が出力されません。

## 録画した番組の消去・保護について

■ 録画リストから録画番組の保護や消去の操作ができます。

## 録画した番組を消去する

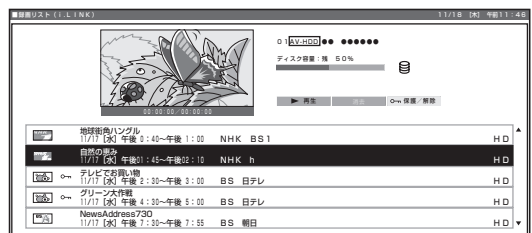
**1** 127ページの手順1・2を行い、録画リストを表示する

**2** ▲▼で消去する番組を選び、（決定）を押す

**3** ◀▶で「消去」を選び、（決定）を押す

## 録画した番組を保護する

**1** 127ページの手順1・2を行い、録画リストを表示する

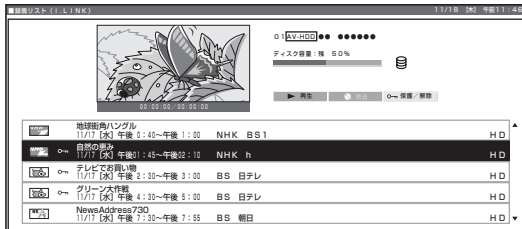
**2** ▲▼で消去禁止（保護）する番組を選び、（決定）を押す

**3** ◀▶で「保護／解除」を選び、（決定）を押す

・ 選んだタイトルに鍵マークが表示され、消去禁止（保護）されたことが分かります。

## 保護を解除する

**1** **127ページの手順1・2を行い、録画リストを表示する**

**2** **鍵マークのあるタイトルを選び、決定を押す**

**3** **◀▶で「保護／解除」を選び、決定を押す**

- 選んだタイトルの鍵マーク表示が消え、保護が解除されたことが分かります。

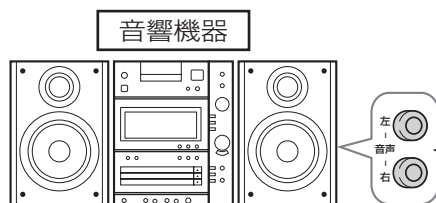
**録画リストについて**

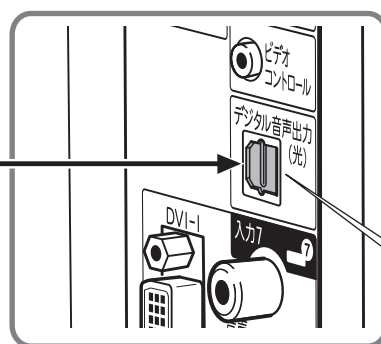
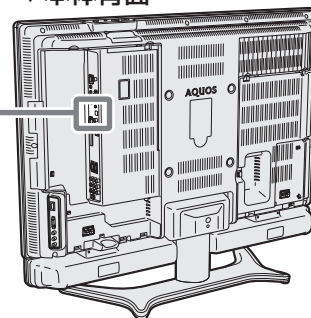
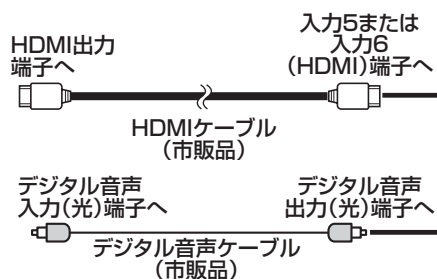
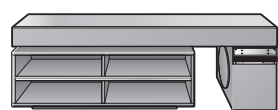
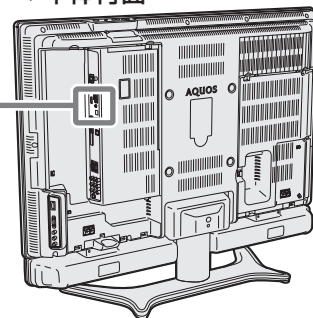
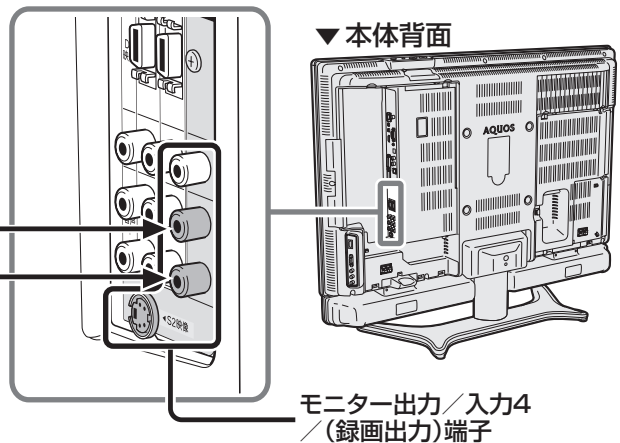
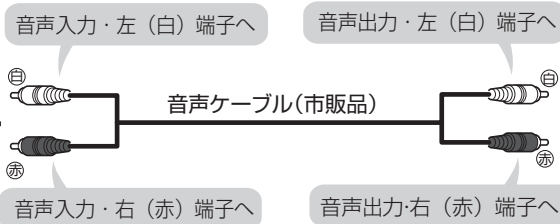
- 接続している機器によっては、再生小画面にカーソルで選択している番組の映像・音声が表示されない場合があります。
- 接続している機器によっては、録画中に録画リストを表示したとき、録画を停止する場合があります。
- タイトルに表示されている番組情報（番組名や日時）は、録画開始した時点の放送の番組情報から取得して記録したものを表示しています。
- 複数の番組を続けて録画した場合には、最初に録画開始した時点の番組情報が表示されます。
- 録画リストに表示される再生小画面では、データ放送の操作、字幕の表示はできません。
- 選局直後に録画開始した場合、タイトルの番組情報が記録されない場合があります。
- 他の機器で録画した番組の場合、タイトルの番組情報が正しく表示されない場合があります。
- 録画中のタイトルには、録画中マーク「●」（赤丸）が表示されます。
- 本機には、録画したタイトルを編集する機能はありません。
- Blu-ray Discレコーダーによっては、録画したタイトルを編集する機能があり、編集されたタイトルには、プレイリストマーク「★」が表示されます。（編集されたタイトルは、「プレイリスト」と呼ばれます。）
- プレイリストの場合、本機による消去と保護／解除ができません。

# 音響機器をつないで音声を楽しむ

## アナログ音声の音響機器を接続する

■ 本体背面のモニター出力／入力4／（録画出力）端子（「モニター出力（固定または可変）」に設定時）は、録画機器をつなぐ使いかた（**108**ページ）以外に、お手持ちの音響機器をつないで音声を楽しむなどの使いかたができます。

- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。
- モニター出力の音声端子（「モニター出力」に設定時）から出力される音声の出力レベルを「固定」にするか「可変」にするか選択することができます。操作のしかたなど、詳しくは**114**ページをご覧ください。

## デジタル音声（光）の音響機器を接続する

■ 本機のデジタル音声出力（光）端子は、MPEG2 AAC音声フォーマットを出力することができます。AAC対応の音響機器を接続すると、サラウンド放送の番組を迫力ある音声で楽しめます。

■ ファミリンク対応のAVアンプ（AQUOSサラウンド）をHDMIケーブルとデジタル音声ケーブルで接続すると、ファミリンク機能で操作できます。（**163**ページ）

## デジタル音声出力(光)端子の設定について

■ 本機背面のデジタル音声出力(光)端子の出力信号形式を、接続する音響機器に合わせて選択できます。

- 接続する機器がAAC／PCMの自動切換えに対応していない場合は、機器側の設定を手動で切り換えてください。
- 「AAC」に設定した場合でも、地上アナログ放送(VHF、UHF)やCATV放送の音声、ビデオ入力の音声は、「PCM」で出力されます。
- 「AAC」に設定した場合、字幕放送や一部のデータ放送の音声が出力されません。

- 詳しくは、接続する音響機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続する前に本機と音響機器の電源を切ってください。
- 本機では通常、デジタル音声出力の内容はスピーカー音声出力の内容と同じです。
- テレビの電源が切れている場合は、デジタル音声出力(光)端子からは出力されません。
- HDDレコーダーのHDMI信号によっては、音声が出力されない場合があります。

### 1 メニュー画面から「デジタル設定」ー「デジタル音声設定」を選び、(決定)を押す

### 2 接続する機器に合わせて「PCM」または「AAC」を(▲▼)で選び、(決定)を押す

「PCM」… **音声AACに対応していない音響機器に接続するとき**
視聴音声と同じもの(主、副、または主／副)が出力されます。

「AAC」… **音声AAC対応のAVアンプなどに接続するとき**
主と副の両方の音声(主／副)が同時に出力されます。

**操作終了する場合は**

**(メニュー)または(終了)を押し、通常画面に戻す**

- 1つ前に戻る場合は(戻る)を押してください。

## 外部スピーカーから音が出るようにする

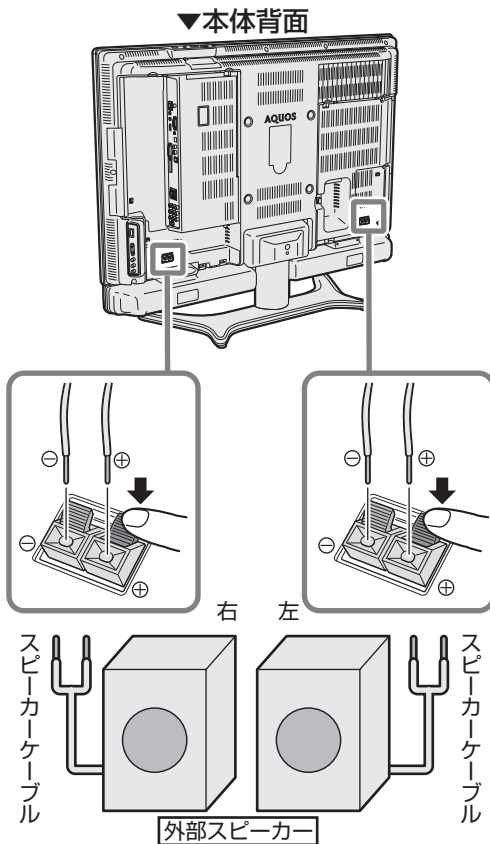
■ ここでは、本機に外部スピーカーを接続し、外部スピーカーから音を出す方法を説明します。

**1** 本体天面の電源スイッチを押し、電源を「切」にする

**2** 外部スピーカーを本機に接続する

▼本体背面

右　左

スピーカーケーブル

外部スピーカー

スピーカーケーブル

**スピーカーケーブルのつなぎかた**

① ツマミを押す

② ツマミを押したまま、ケーブルの先端を穴に差し込む

③ ツマミをもとの位置に戻す

- 外部スピーカーは必ず、スピーカー端子に表示されている仕様のものをお使いください。
- スピーカー接続端子とスピーカーケーブルには⊕（プラス）と⊖（マイナス）があります。接続するときは、それぞれ⊕（プラス）どうし、⊖（マイナス）どうしをつないでください。
- スピーカーリードは接続端子の穴に対してまっすぐに挿入されるようご注意ください。リード線先端の金属部が端子の金属部に確実に接触するよう差し込んでください。

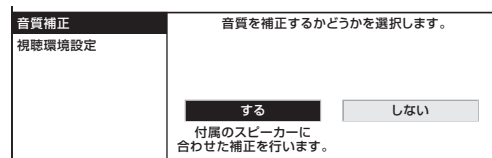
**3** スピーカーの設定をする

① 本体天面の電源スイッチを押し、電源を「入」にする

② メニュー画面から「本体設定」–「スピーカー設定」を選び、（決定）を押す

③ ▲▼で「音質補正」を選び、（決定）を押す

④ ◀▶で「しない」を選び、（決定）を押す

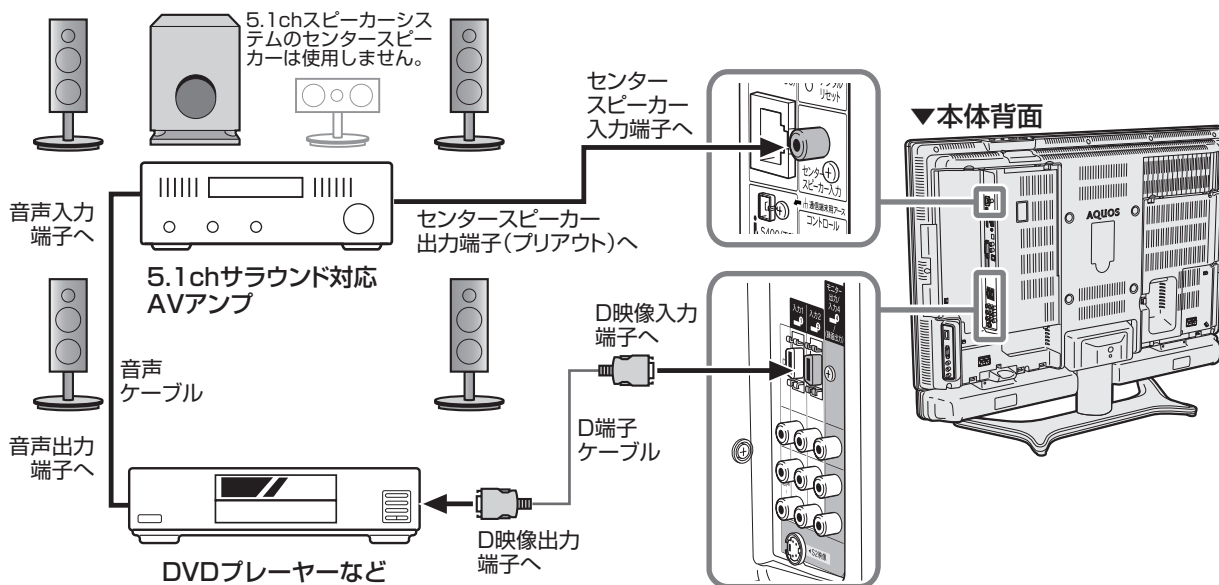
- 音質補正を行わず、フラットな出力を行います。
- 「する」に設定すると、付属のスピーカーに適した音質補正を行います。

- スピーカーを接続したあと、「音声の出力を停止しました。電源コードを抜いてから、接続や設置状態を確認してください。」と表示されたときは、表示にしたがって一度電源を切ってから接続を確認し、再度電源を入れてください。

# 本機を5.1chサラウンド対応AVアンプのセンタースピーカーとして使う

■ 本機に内蔵している音声アンプとスピーカーを5.1chサラウンド対応AVアンプのセンター音声用として使用することができます。5.1chサラウンドスピーカーと合わせて、DVDなどを臨場感あふれる音で再生することができます。

- 接続する前に、必ず接続する機器の電源を切ってください。
- 接続できる5.1chサラウンド対応AVアンプは、センター出力端子(プリアウト)を持っている機器のみです。また、接続について詳しくは、各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

## 1 本体天面の電源スイッチを押し、電源を「切」にする

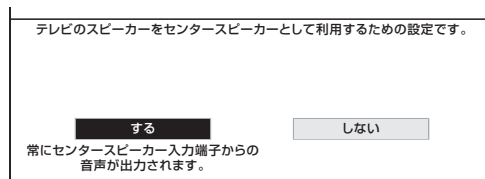
## 2 5.1chサラウンド対応AVアンプを本機に接続する

- 本機で受信したサラウンド放送をAAC対応の音響機器で楽しむ場合には、**「デジタル音声(光)の音響機器を接続する」**(**130**ページ)の接続も必要です。

## 3 センタースピーカー入力の設定をする

① 本体天面の電源スイッチを押し、電源を「入」にする

② メニュー画面から「機能切換」－「センタースピーカー入力」を選び、(決定)を押す

③ ◀▶で「する」を選び、(決定)を押す

おしらせ

**センタースピーカー入力を「する」に設定すると**

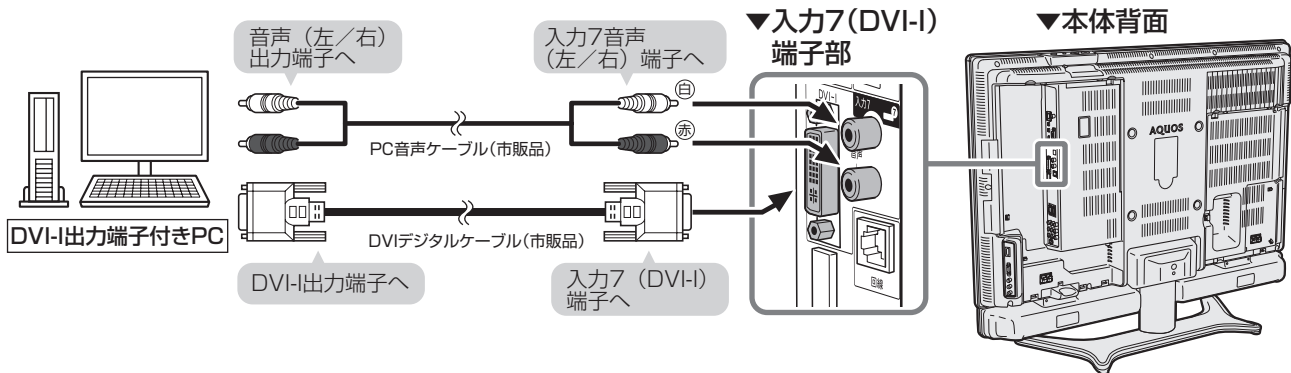
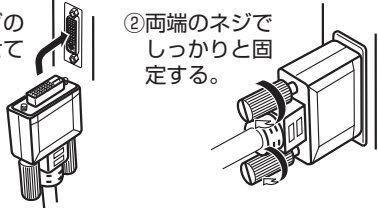
- チャンネルサインの下に「センタースピーカー」と表示されます。

- 音量表示に「センタースピーカー」と表示されます。

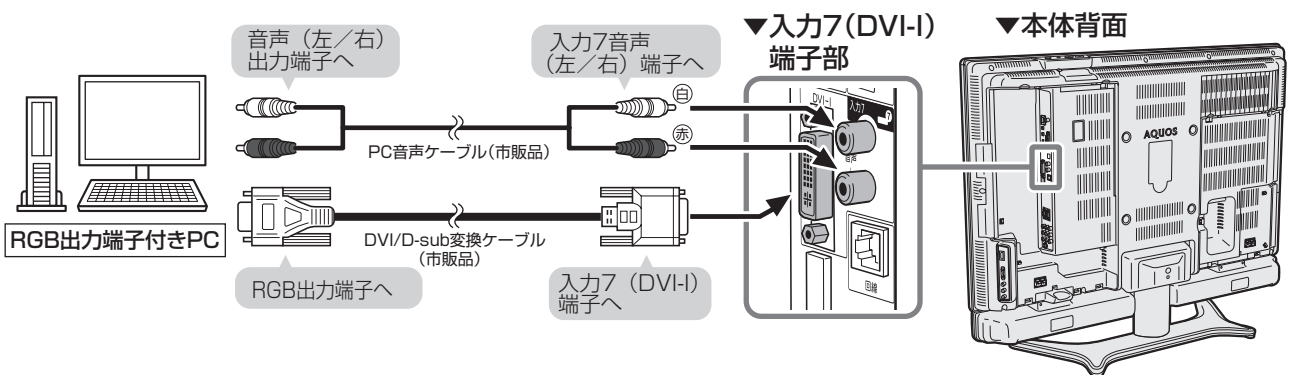
# PC(パソコン)の画面を表示する

## 接続について

### DVI-I出力端子付きPCとの接続(デジタル接続)

■ DVI-I出力端子付きPCの画像と音声を入力します。

#### DVIデジタルケーブルの取扱いについて

・本機のDVI-I端子はHDCP(コピープロテクト機能)に対応しています。

### RGB出力端子付きPCとの接続(アナログ接続)

■ RGB出力端子付きPCの画像と音声を入力します。

**入力7に接続した機器に合わせて端子を設定する**

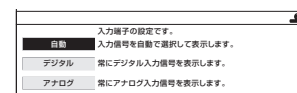
・PC接続時の入力対応信号については、**135**ページの「PC入力対応表」をご覧ください。

・対応された信号で正しく表示されない場合は、右の手順に従い、接続した信号に合わせて、入力7を「アナログ」または「デジタル」に設定してください。通常は「自動」のままでかまいません。

① 入力切換 を押し、「入力7」を選ぶ

②メニュー画面から「機能切換」−「入力選択」を選び、

決定 を押す

③ で「入力7」に接続した機器を選び、決定 を押す

## PC入力対応表

■ 本機が対応しているPC入力です。

| 解像度 | | 水平周波数(kHz) | 垂直周波数(Hz) | VESA規格 |
|---|---|---|---|---|
| VGA | 720×400 | 31.5 | 70 | |
| | 640×480 | 31.5 | 60 | ○ |
| | | 37.9 | 72 | ○ |
| | | 37.5 | 75 | ○ |
| SVGA | 800×600 | 35.1 | 56 | ○ |
| | | 37.9 | 60 | ○ |
| | | 48.1 | 72 | ○ |
| | | 46.9 | 75 | ○ |
| XGA | 1024×768 | 48.4 | 60 | ○ |
| | | 56.5 | 70 | ○ |
| | | 60 | 75 | ○ |
| WXGA | 1360×768 | 47.7 | 60 | ○ |
| SXGA | 1280×1024 | 64 | 60 | ○ |
| ※SXGA+ | 1400×1050 | 65 | 60 | ○ |

※ デジタル入力信号時のみ表示可能

- PC接続時の表示設定は、自動同期調整で最良に近い状態に設定されます。(自動同期調整……**137**ページ)
- PC入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。画面サイズの種類については、**136**ページ「**PC入力の画面サイズの種類と切換えについて**」をご覧ください。

## 入力解像度の選択について

■ PC入力時、入力信号によっては画面が正しく表示されない(縦横比が正しく表示されない、一部が切れるなどの)場合があります。この場合、入力解像度を手動で選択してください。

■ 入力された信号が下記の解像度の場合は自動的に判別ができません。このときは、「入力解像度」の設定で、どの信号(解像度)として表示するかを手動で選択します。一度選択すると、それ以降、同じ信号が入力されたとき、最後に選択した信号(解像度)として表示します。

1024×768　1360×768

※ 垂直ライン数(非表示期間を含む)が特殊な一部の信号の場合は、解像度を正しく判別できないことがあります。

**1** 入力切換をくり返し押し、入力7(PC入力)にする

**2** メニュー画面から「本体設定」ー「入力解像度」を選び、決定を押す

**3** で入力解像度を選び、決定を押す

(画面例)

**操作終了する場合は**

**メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す**

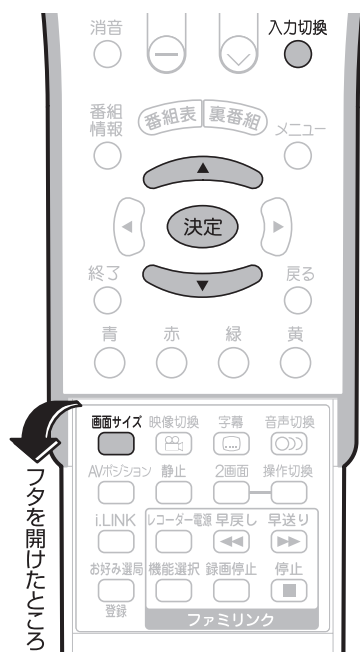
- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

## PC入力の画面サイズの種類と切換えについて

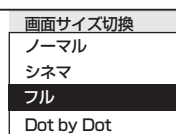
■ PC(パソコン)を接続しているときの画面サイズの種類と切換え方法です。

### Dot by Dot(ドット・バイ・ドット)とは

・接続したPC(パソコン)からの入力信号の解像度どおりのパネル画素数で表示する機能です。(**135**ページ「**PC入力対応表**」参照)

・縦横比16:9の映像が入力されたときの表示サイズについては、**「入力解像度の選択について」**(**135**ページ)をご参照ください。

● 操作を行う前に、本機とPC(パソコン)を接続しておいてください。(**134**ページ)

**1** 入力切換 を押し、入力7(PC入力)を選ぶ

**2** 画面サイズ を押し、画面サイズ切換メニューを表示する

・メニュー表示中につぎの操作を行います。

**3** 画面サイズ または ◀▲▼▶ で、お好みの画面サイズを選び、決定 を押す

■つぎの画面サイズから選択できます。(入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。)

| 入力信号 | ノーマル | シネマ | フル | Dot by Dot |
|---|---|---|---|---|
| 4:3映像<br>640×480、800×600<br>1024×768<br>1280×1024など | 入力信号の縦横比をくずさずに、図のように映します。 | 入力信号の縦横比をくずさずに、画面の左右いっぱいまで拡大して映します。映像の上下が切れます。 | 画面いっぱいに映します。 | 入力信号の解像度どおりのパネル画素数で映します。 |
| 16:9映像<br>1360×768など | 入力信号の縦横比をくずさずに、図のように映します。 | | 画面いっぱいに映します。 | 入力信号の解像度どおりのパネル画素数で映します。 |

・入力信号によっては、画面が正しく表示されない場合があります。

# 自動同期調整で最適な画面にする

■「自動同期調整」は、PC(パソコン)をアナログ接続しているときにメニューで選ぶことができます。

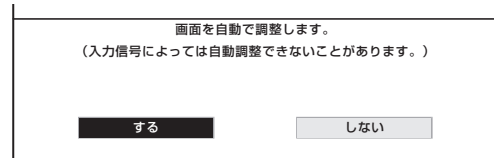
## 「自動同期調整」とは

・最適なコンピューター画面表示を得るための調整機能です。自動的にクロック周波数、クロック位相などが調整されます。

● 操作を行う前に、本機とPC(パソコン)を接続しておいてください。(**134**ページ)

**1** 入力切換 を押し、入力7(PC入力)を選ぶ

**2** メニュー画面から「本体設定」−「自動同期調整」を選び、決定 を押す

**3** ◀▶ で「する」を選び、決定 を押す

・「自動同期調整中」が表示され、自動同期調整が実行されます。
・自動調整が終了すると、「映像を調整しました。」と表示されます。
正常に終了しないと、何も表示されずメニューに戻ります。

**操作終了する場合は**

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

・1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

・つぎのような映像信号では自動調整により最適な画面にならないことがあります。
−動きのある映像
−画面全体が1色になっているなど、起伏の少ない映像
・映像信号、PCによっては自動調整だけでは最適な画面にならないことがあります。その場合は、手動で調整してください。(**138**ページ)
・入力信号によっては、入力解像度を手動で選択する必要がある場合があります。(**135**ページ)

## 手動で最適な画面に調整する

■「画面調整」は、PCを接続しているときにメニューで選ぶことができます。

### 「画面調整」とは

- コンピューター画面の表示位置や映り具合を最適化するための機能で、つぎの調整項目があります。
  「水平位置」…… 画像が右寄り、または左寄りの状態にあるときに調整します。
  「垂直位置」…… 画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎの状態にあるときに調整します。
  「クロック周波数」… 縦じま状のチラツキがあるときに調整します。※
  「クロック位相」… 文字などを表示したときに、映像のチラツキが出たり、コントラストがつかないときに調整します。※

※「クロック周波数」、「クロック位相」は、PCからアナログ信号を入力している場合のみ設定できます。

**工場出荷時の設定に戻したいとき**

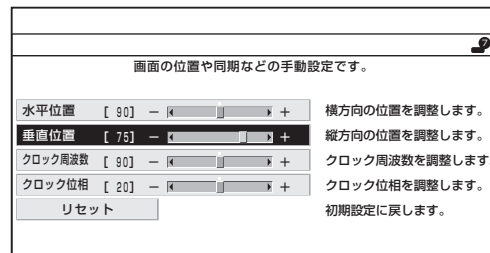
おしらせ

- 手順**3**の①で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。

[例] 画面の垂直位置を調整する

**1**
① 本機とPC(パソコン)の接続を確認する(134ページ)
② 入力切換を押し、入力7(PC入力)を選ぶ

**2** メニュー画面から「本体設定」ー「画面調整」を選び、決定を押す

**3**
① ▲▼で「垂直位置」を選ぶ
② ◀▶で適切な位置に調整する

### 各項目の調整範囲

| 項目 | 範囲 |
|---|---|
| 水平位置 | 0 ～ 180 |
| 垂直位置 | 0 ～ 100 |
| クロック周波数 | 0 ～ 180 |
| クロック位相 | 0 ～ 40 |

**操作終了する場合は**

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は戻るを押してください。

# 省エネ機能を設定する

■ PC入力のとき、映像信号がなくなってからしばらくすると自動的に電源が切れるように設定することができます。(パワーマネージメント)

※「パワーマネージメント」は、入力7を選択しているときに選ぶことができます。

しない

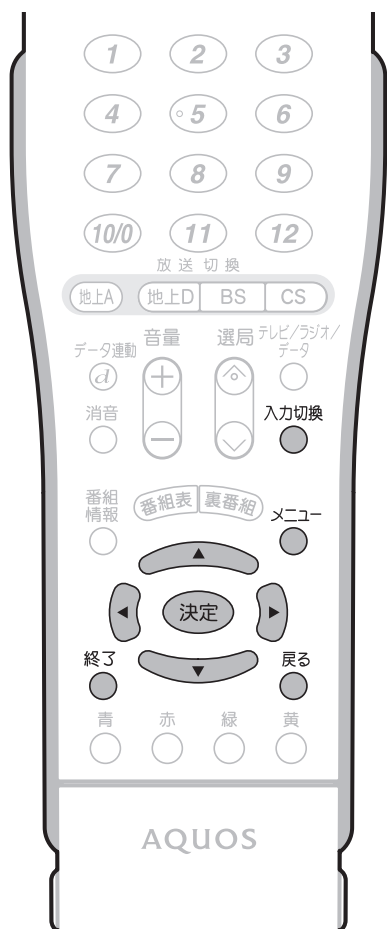
パワーマネージメントを行いません。

モード1

無信号になったとき、約8分後に自動的に電源が切れる機能です。
電源が切れる5分前から、画面左下に残り時間が表示されます。

パワーマネージメント　残り　5分

モード2

無信号の状態が8秒続くと、自動的に電源が切れる機能です。
この機能で電源が切れたときは、PCの映像信号が入力されると電源が入ります。

[例] パワーマネージメントを「モード1」に設定する

**1** ① 本機とPC(パソコン)の接続を確認する(134ページ)

② 入力切換を押し、入力7(PC入力)を選ぶ

**2** メニュー画面から「省エネ設定」ー「パワーマネージメント」を選び、決定を押す

**3** (▲▼)で「モード1」を選び、決定を押す

**操作終了する場合は**

**メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す**

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

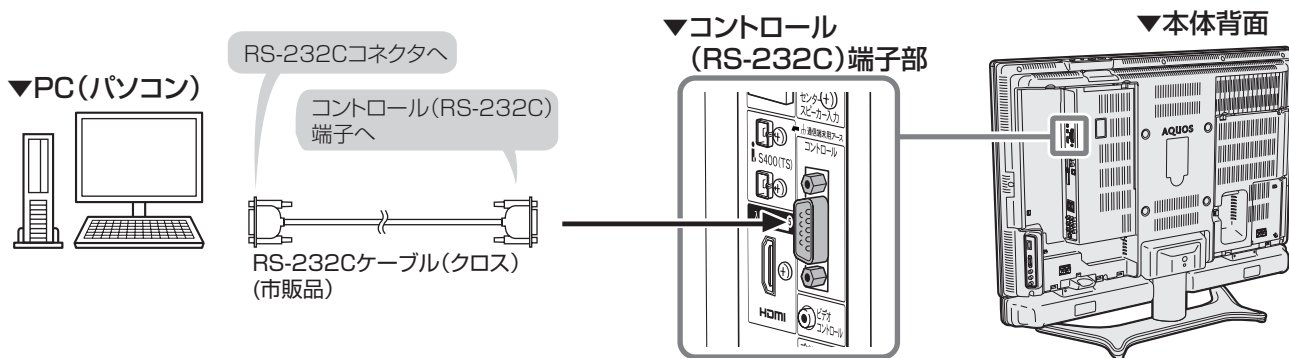
- パワーマネージメントを「モード2」に設定しているとき、コンセントを抜くなどして電源をしゃ断すると、再度電源を復帰させても正常に機能しない場合があります。このときは、リモコンの電源ボタンを押してください。
- デジタルPC入力時、パワーマネージメントを「モード2」に設定した場合、スタンバイ状態に入った後に映像信号が入力されても自動復帰しないことがあります。

# PC(パソコン)で本機を制御する

## PC(パソコン)による本機の制御について

**この操作システムはPC(パソコン)を使い慣れたかたのご利用をお願いいたします。**

■ターミナルソフトなどを利用して、RS-232Cコネクタでつないだ PC(パソコン)から本機を制御することができます。チャンネル切換え、入力切換え、音量調整などの操作を行うことができます。
■接続には、市販のRS-232Cケーブル(クロス)をご用意ください。

### 接続のしかた

### 通信仕様

■PC側のRS-232C通信仕様を、本機の通信仕様に合わせてください。
■本機の仕様は、以下のとおりです。

| ボーレート | 9600bps |
|---|---|
| データ長 | 8ビット |
| パリティ | なし |

| ストップビット | 1ビット |
|---|---|
| フロー制御 | なし |

### 通信手順

■PCからRS-232Cコネクタを通じて、制御コマンドを送信します。本機は、送られたコマンドに応じて動作し、レスポンスメッセージをPC側に送ります。
■複数のコマンドを同時に送信しないでください。正常時のレスポンス(OK)を受けとってから、つぎのコマンドを送信するようにしてください。

**コマンド(PCから本機へ)**

**レスポンス(本機からPCへ)**

・正常時

・異常発生時(通信エラーまたはコマンドに誤りがあったとき)

# RS-232Cコマンド一覧

■下の表に掲載されている以外のコマンドについては動作保証範囲外です。

| 機　能 | | “A”part | “B”part | Part動作説明 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 電源 | | POWR | 0 | | スタンバイへ移行 |
| 入力切換 | トグル | ITGD | −※1※2 | （トグル） | トグルで入力切換(入力切換ボタンと同じ) |
| | テレビ | ITVD | − | | テレビに入力切換(チャンネルはそのまま[ラストメモリー]) |
| | 入力1～7 | IAVD | 1～7※2 | （入力端子番号） | 入力1～入力7に入力切換 |
| | i.LINK | LINK | − | | i.LINKに入力切換 |
| | 放送切換（デジタル） | IDEG | − | （トグル） | デジタル放送のネットワーク切換 |
| チャンネル切換 | 地上アナログ | CAIR | 1～20 | テレビのチャンネル番号 | UV表示でなかったら入力切換含む(リモコン番号選択) |
| | CATV | CATV | 13～63 | CATVのチャンネル番号 | CATV表示でなかったら入力切換含む |
| | BSデジタル3桁入力 | CBSD | 0～999 | BSデジタルチャンネル番号 | デジタル放送表示でなかったら入力切換含む |
| | CS1デジタル3桁入力 | CCSD | 0～999 | CS1デジタルチャンネル番号 | デジタル放送表示でなかったら入力切換含む |
| | CS2デジタル3桁入力 | CCSD | 0～999 | CS2デジタルチャンネル番号 | デジタル放送表示でなかったら入力切換含む |
| | 地上デジタル | CTBD | 0～999 | 地上デジタルチャンネル番号 | 枝番入力が必要な場合にはラスト枝番、同一チャンネル選択時は順に枝番を選択 |
| | 選局順 | CHUP | − | テレビのチャンネル番号＋1 | リモコン選局順と同じ動作(入力切換含む) |
| | 選局逆 | CHDW | − | テレビのチャンネル番号－1 | リモコン選局逆と同じ動作(入力切換含む) |
| 入力選択 | 入力1 | INP1 | 0 | 自動 | 入力切換含む。入力5、入力6以外で有効 |
| | 入力2 | INP2 | 1 | D端子 | 入力1、入力2、入力3のみ有効 |
| | 入力3 | INP3 | 3 | S端子 | 入力4のみ有効 |
| | 入力4 | INP4※3 | 5 | デジタル | 入力7のみ有効 |
| | 入力7 | INP7 | 6 | アナログ | 入力7のみ有効 |
| AVポジション | | AVMD | 0 | （トグル） | 現在選択できるものの中でトグル動作 |
| | | | 1 | 標準 | |
| | | | 2 | 映画 | |
| | | | 3 | ゲーム | |
| | | | 4 | AVメモリー | |
| | | | 5 | ダイナミック固定 | |
| | | | 6 | ダイナミック | |
| | | | 7 | PC | |
| 音量 | | VOLM | 0～60 | 音量値 | |
| 位置調整・画面調整 | 水平位置 | HPOS | −10～+10 | 移動値 | テレビ／AV入力時 |
| | | | 0～180 | 移動値 | PC入力時 |
| | 垂直位置 | VPOS | −20～+20 | 移動値 | テレビ／AV入力時 |
| | | | 0～100 | 移動値 | PC入力時 |
| | クロック周波数 | CLCK | 0～180 | 移動値 | PC入力時のみ有効 |
| | クロック位相 | PHSE | 0～40 | 移動値 | PC入力時のみ有効 |
| 画面サイズ | | WIDE | 0 | （トグル） | |
| | | | 1 | ノーマル | （AV系／PC系） |
| | | | 2 | スマートズーム | （AV系） |
| | | | 3 | ワイド | （AV系） |
| | | | 4 | シネマ | （AV系／PC系） |
| | | | 5 | フル | （AV系／PC系） |
| | | | 6 | フル1 | （AV系1125i） |
| | | | 7 | フル2 | （AV系1125i） |
| | | | 8 | アンダースキャン | （AV系1125i以上） |
| | | | 9 | Dot by Dot | （PC系） |
| 消音 | | MUTE | 0 | （トグル） | 消音オン、オフのトグル |
| | | | 1 | 消音 | |
| | | | 2 | 消音解除 | |
| サラウンド | | ACSU | 0 | （トグル） | トグル動作 |
| | | | 1 | 入 | |
| | | | 2 | 切 | |
| 音声切換 | | ACHA | − | （トグル） | |
| オフタイマー | | OFTM | 0 | 解除 | |
| | | | 1 | オフタイマー30分 | |
| | | | 2 | オフタイマー1時間 | |
| | | | 3 | オフタイマー1時間30分 | |
| | | | 4 | オフタイマー2時間 | |
| | | | 5 | オフタイマー2時間30分 | |

※1 “B”part欄の「−」はスペースを意味します。
※2 入力4は、入力4端子設定が「入力」に設定されているときのみ有効。
※3 入力4端子設定が「入力」に設定されているときのみ有効。

## 通信内容

### ■ 通信設定

| ボーレート | 9600bps |
|---|---|
| データ長 | 8ビット |
| パリティ | なし |

| ストップビット | 1 ビット |
|---|---|
| フロー制御 | なし |

### ■コマンド形式

アスキー8文字+CR

“A” part......コマンド(テキスト4文字)
“B” part......引数(0〜9、ー、空白、?)

### ■ 引数

“B”partには左詰めで入力し、残りはスペースで埋めます。(必ず4文字になるようにしてください。)
設定可能範囲外の場合、「ERR」が返ります。(「返り値」参照)
表中で引数が「ー」になっているものは、数値であれば何を書いてもかまいません。

| 0 | | | |
|---|---|---|---|

| 0 | 0 | 0 | 9 |
|---|---|---|---|

| ー | 3 | 0 | |
|---|---|---|---|

| 1 | 0 | 0 | |
|---|---|---|---|

| 0 | 0 | 5 | 5 |
|---|---|---|---|

いくつかのコマンドは、引数に「?」を与えることにより、現在の設定値を返します。

| ? | ? | ? | ? |
|---|---|---|---|

### ■ 返り値

コマンドの実行が終了したら、下記戻り値を返します。

| O | K | (CR) |
|---|---|---|

コマンドが実行できなかったり、コマンド表になかったりした場合は、下記戻り値を返します。

| E | R | R | (CR) |
|---|---|---|---|

# 画面や映像・音声の調整

ページ

# 画面サイズを設定する前に

## 画面サイズについて

■ 手動でお好みの画面サイズを選べるだけでなく、放送やソフトの内容によって画面サイズが自動的に切り換わるように設定することができます。

■ つぎの6つの画面サイズから選択できます。

| ノーマル | スマートズーム |
|---|---|
| 通常のテレビ(4:3サイズ)の映像をそのまま映します。 | 通常の4:3映像をより自然に拡大して映します。 |
| **ワイド** | **シネマ** |
| 通常の4:3映像を画面いっぱいに映します。 | シネスコまたは16:9サイズの映画ソフトを画面いっぱいに映します。 |
| **フル** | **Dot by Dot/アンダースキャン** |
| 16:9から4:3に圧縮された映像をもとの16:9に戻して画面いっぱいに映します。 | 入力信号どおりの映像で映します。<br>16:9 → 16:9 |

■ 選択できる画面サイズは、映像の種類によって異なります。

| 映像の種類 | 選択できる画面サイズ |
|---|---|
| 525i<br>地上アナログ放送<br>ビデオ映像など<br>525p | →ノーマル →スマートズーム →ワイド →シネマ →フル → |
| 1125i<br>ハイビジョン | →フル1(1080i)※ →フル2(1035i)※ →Dot by Dot →スマートズーム →ワイド →シネマ → |
| 750p<br>ハイビジョン | →フル →アンダースキャン →スマートズーム →ワイド →シネマ → |

画面表示▶

映像の種類

※ 1080iと1035iは、本機の画面表示(チャンネルサイン)ではどちらも「1125i」と表示されます。

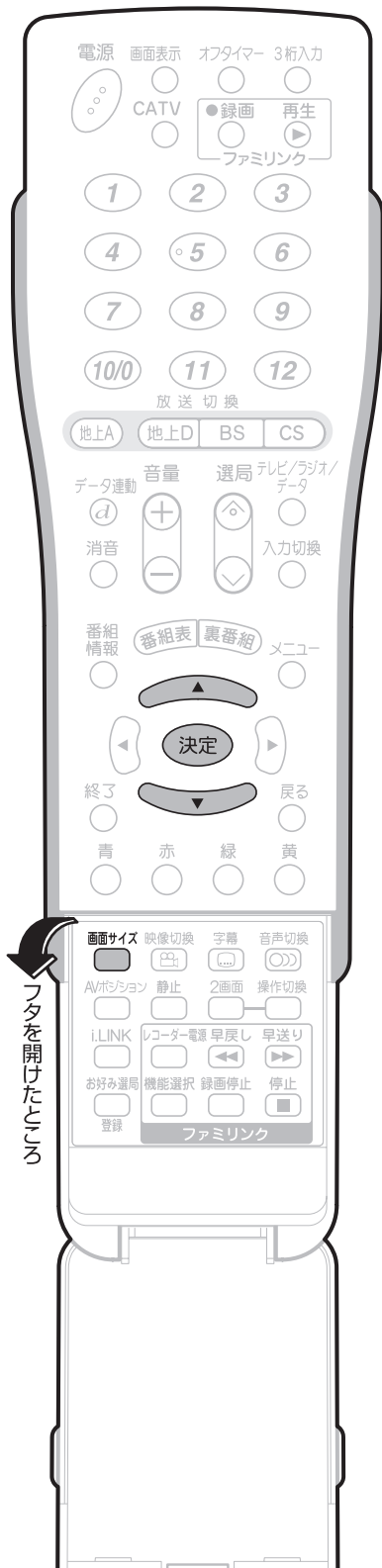
### オートワイド機能について

• 画面サイズ制御信号を識別して、ディスプレイに表示される画面サイズを自動で設定する機能です。
(☞**146**ページ)

• 本機の画面サイズ切換え機能を使うとき、テレビ番組やビデオソフトなど、オリジナル映像の画面比率と異なる画面サイズを選択すると、本来の映像とは見えかたが変わります。この点にご留意の上、画面サイズをお選びください。
• ワイド映像でない通常(4:3)の映像を、画面サイズ切換え機能を利用して画面いっぱいに表示してご覧になると、画像周辺部分が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像をご覧になるときは、画面サイズを「ノーマル」にしてください。
• 画面サイズ変更前の映像信号の縦横比によっては、「シネマ」に切り換わっても画面の上下に黒い帯が残る場合があります。
• 市販ソフトによっては、字幕など画像の一部が欠けることがあります。このようなときは、画面サイズ切換え機能で最適なサイズに切り換え、位置調整(**148**ページ)で垂直位置を調整してください。このとき、ソフトによっては画面の端や上部にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。
• テレビを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等にて、画面サイズ切換機能(オートワイド機能を含む)を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

# 画面サイズを設定する

## 画面サイズを手動で設定する（テレビ／ビデオ入力時）

■ 本機は手動でお好みの画面サイズを選ぶことができます。

**1** リモコンフタ内の［画面サイズ］を押し、画面サイズ切換メニューを表示する

・表示中につぎの操作を行います。

**2** ［画面サイズ］または［▲▼］で、お好みの画面サイズを選ぶ

・映像の種類により、表示される画面サイズの種類は異なります。

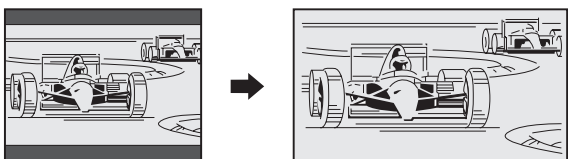
**3** ［決定］を押す

## 自動的に最適な画面サイズに設定する(オートワイド機能)

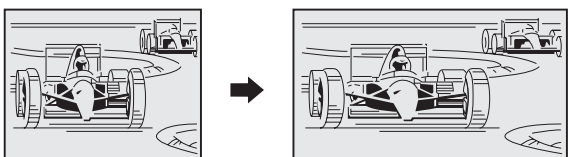
■ オートワイドとは、受信している放送や外部入力されたソフトの映像を自動的に最適な画面サイズに切り換える機能です。
■ オートワイド機能には4つの項目があります。詳しくは次のページをご覧ください。各項目はメニューの操作で設定します。
※ オートワイド機能は、デジタル放送視聴時には選択できません。

### オートワイド機能を働かせたときの画面表示例

**上下に黒い帯の入った映像**

・映像判別　・D端子識別
・S2対応　・HDMI識別

**横方向に圧縮された映像(スクイーズ映像)**

・S2対応　・D端子識別　・HDMI識別

**1**

**•「S2対応」を設定する場合は**
入力切換を押し、S端子ケーブルを接続している入力4を選びます。

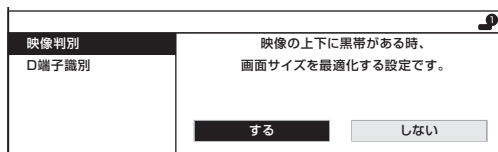
**•「D端子識別」を設定する場合は**
入力切換を押し、D端子ケーブルまたはD-コンポーネント変換ケーブルを接続している入力(1または2または3)を選びます。

**•「HDMI識別」を設定する場合は**
入力切換を押し、入力5または入力6を選びます。

**2** **メニュー画面から「本体設定」ー「オートワイド」を選び、決定を押す**

**3** ① ▲▼で設定したい項目を選び、決定を押す

② ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

(映像判別の画面例)

**操作終了する場合は**

**メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す**

• 1つ前に戻る場合は戻るを押してください。

## 映像判別

■ 受信している放送や外部入力されたソフトの映像の上下に黒い帯があるとき、画面サイズを自動的に「シネマ」にする機能です。

- 映像判別機能は、テレビを受信しているときおよび入力1～6のときに働きます。
- 入力が1125i、750pの信号に対しては働きません。
- デジタル放送の映像に対しては働きません。

## S2対応

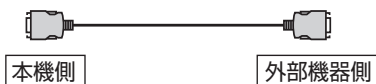
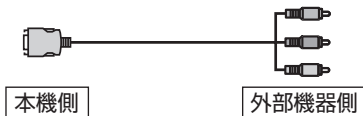
■ S2映像端子から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズで表示する機能です。

- S2対応機能は、入力4のとき(入力選択が「S端子」または「自動」でS2映像が表示されているとき)に働きます。
- S2対応を「する」に設定しても、S2映像端子から入力された映像によっては、最適な画面サイズにならない場合があります。

## D端子識別

■ D4 映像端子と外部機器との接続に使う映像ケーブルの種類により、画面サイズの判定方法を変えることができます。

- D端子識別機能は、入力1･2･3のとき(入力選択が「D端子」または「自動」でD映像が表示されているとき)に働きます。

「する」： 外部機器との接続に使うケーブルがD端子ケーブルのときは、「する」に設定します。

「しない」： 外部機器との接続に使うケーブルがD-コンポーネント変換ケーブルのときは、「しない」に設定します。

## HDMI識別

■ HDMI 端子から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズで表示する機能です。

- HDMI 識別機能は、入力5･6のときに働きます。

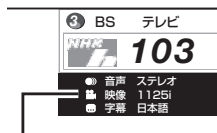
### オートワイド機能が働かないようにするには

・オートワイド機能が働いているとき画面が大きくなったり小さくなったりすることがあります。
これは表示している映像に最適な画面サイズを探そうとしているために起こる現象で、故障ではありません。
気になる場合は、つぎの手順を行い、オートワイド機能が働かないようにしてください。

① メニューボタンを押し、メニュー画面を表示する。
② 左右カーソルボタンで「本体設定」を選ぶ。
③ 上下カーソルボタンで「オートワイド」を選び、決定ボタンを押す。
④ 画面に表示されているすべての項目(「映像判別」「S2対応」「D端子識別」「HDMI識別」のうち表示されているもの)を「しない」に設定する。
・詳しい操作方法については、**146**ページをご覧ください。
⑤ メニューボタンまたは終了ボタンを押し、通常画面に戻す。

・ビデオ機器やゲーム機などをS2映像端子やD映像端子で接続した場合でも、機器やソフトなどによってオートワイド機能が働かない場合があります。

▼画面表示

③ BS テレビ
103
音声 ステレオ
映像 1125i
字幕 日本語

| 映像の種類 | 呼び方 | 画質 |
|---|---|---|
| 1125p※ | 1125プログレッシブ | 高精細 |
| 750p | 750プログレッシブ | 高精細 |
| 1125i | 1125インターレース | 高精細 |
| 525p | 525プログレッシブ | 高画質 |
| 525i | 525インターレース | 標準 |

※ 1125pはHDMI/DVI入力の場合

# 画面の位置を調整する

## 画面位置の調整のしかた

■ 画面の位置を調整することができます。

**「水平位置」**……画像が右寄り、または左寄りの状態にあるときに調整します。

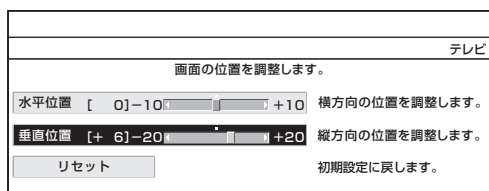
**「垂直位置」**……画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎの状態にあるときに調整します。

［例］ 画面の垂直位置を調整する

**1** メニュー画面から「本体設定」ー「位置調整」を選び、決定を押す

**2** ① で「垂直位置」を選ぶ

② で適切な位置に調整する

- 水平位置は、－10～0～＋10の範囲で調整できます。
- 垂直位置は、－20～0～＋20の範囲で調整できます。

**操作終了する場合は**

**メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す**

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

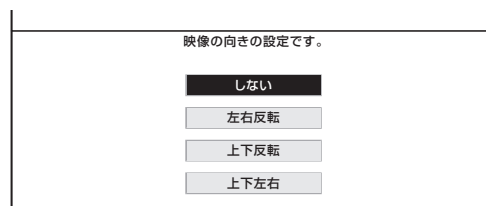
**工場出荷時の設定に戻したいとき**

- 手順**2**の①で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。

## 映像の向きを変える(映像反転)

■ 設置のしかたに応じて、映像の左右、上下、上下左右を反転して映すことができます。
映像を鏡に映してご覧になるときなどに便利な機能です。

**1** メニュー画面から「本体設定」ー「映像反転」を選び、決定を押す

**2** で「しない」「左右反転」「上下反転」「上下左右」のいずれかを選ぶ

- 「しない」を選んだときは、反転しません。
- 「しない」以外を選んだときは、メニューも反転表示されます。
- 「左右反転」「上下左右」を選んだとき、音声は左右反転しません。

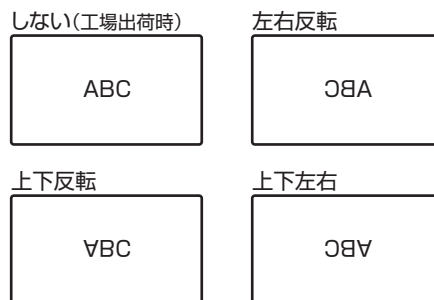
**操作終了する場合は**

**メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す**

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

**映像反転の表示のされかた**

| しない（工場出荷時） | 左右反転 |
| --- | --- |
| ABC | ABC（左右反転） |

| 上下反転 | 上下左右 |
| --- | --- |
| ABC（上下反転） | ABC（上下左右反転） |

# お好みの映像・音声で楽しむ

■ お好みの映像・音声を設定する方法には、次の2つがあります。
- AVポジションを選ぶ
- 映像・音声を個別の設定項目ごとに設定する

## 記憶されたお好みの映像・音声設定を選ぶ(AVポジション)

### AVポジションとは

■ 部屋の明るさや再生ソフトの内容に合わせて、記憶されたお好みの映像・音声レベルに設定する機能です。

「ダイナミック」
くっきりと色鮮やかな映像で、スポーツ番組などを迫力あふれたものにします。(工場出荷時の設定です。)

「標準」
画質・音質の設定がすべて標準値になります。

「映画」
コントラスト感を抑えることにより、暗い映像を見やすくします。

「ゲーム」
テレビゲームなどの映像を、明るさを抑えて目にやさしい映像にします。

「PC」
PC用の画面モードです。(このポジションは入力5〜7選択時のみ表示されます。)

「AVメモリー」
各入力ごとにお好みの調整内容を記憶させることができます。

「ダイナミック(固定)」
くっきりと色鮮やかな映像で、スポーツ番組などを迫力あふれたものにします。(このポジションを選んだときは、映像・音声調整ができません。)

**1** リモコンフタ内の AVポジション を押す

- 画面左下に現在のAVポジションが表示されます。

AVポジション:ダイナミック

AVポジション表示

**2** 表示が出ている間に再び AVポジション を押し、お好みの設定を選ぶ

- ボタンを押すたびに、AVポジションがつぎのように切り換わります。

→ ダイナミック → 標準 → 映画 → ゲーム
ダイナミック(固定) ← AVメモリー ← PC ←

- AVポジションは各入力ごとに別のものを選ぶことができます(例えば、テレビは「標準」、入力1は「ダイナミック」....など)が、「i.LINK」は「テレビ」と同じ設定になります。また、「AVメモリー」の設定も「テレビ」と同じになります。

## 手動で映像を調整する

■「映像調整」とは、映像の濃淡や明るさ、色のぐあいなどを、お好みの状態に調整する機能です。
現在視聴している入力により、別の調整項目になっています。

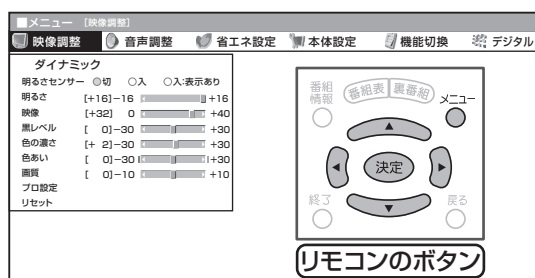
■ AVポジションごとに、お好みの映像に調整し、調整内容を記憶させることができます。映像調整は、さきにAVポジションを選んでから行ってください。(**149**ページ)

■ AVポジション「ダイナミック(固定)」では、映像調整ができません。

■「プロ設定」では映像の状態をお好みに応じてさらにきめ細かく調整できます。

### 1 メニュー画面から「映像調整」を選ぶ

リモコンのボタン

### 2

①  で調整したい項目を選ぶ

②  でお好みの設定にする

・①で「プロ設定」を選んだ場合は でプロ設定の項目を選び、決定を押します。

**工場出荷時の設定に戻したいとき**

① 手順**2**の**①**で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。

② 左右カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。
「初期設定に戻しました。」と表示されます。
この場合、プロ設定もすべて工場出荷時の設定に戻ります。

## 映像調整の項目

### 明るさセンサー

・室内の照明状況など周囲の明るさに応じて画面の明るさが自動的に調整されるよう設定することができます。(明るさセンサー機能)
明るさセンサーの動作する明るさの範囲を手動で設定することもできます。(プロ設定項目の「明るさセンサー設定」**151**ページ)

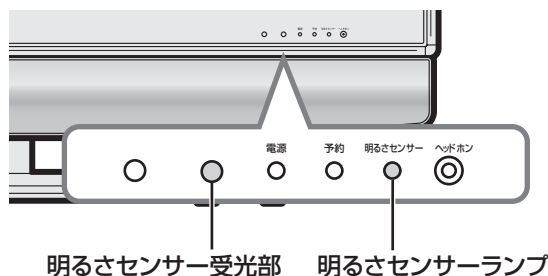
・放送や再生ソフトの映像内容に合わせ、画面をお好みの明るさに手動調整することができます。(映像調整の項目「明るさ」参照)

明るさセンサー ●切 ●入 ●入:表示あり

| 設定項目 | 設定内容 |
|---|---|
| 切 | 明るさセンサー機能が働かなくなります。 |
| 入 | 周囲の明るさが変化すると明るさセンサー機能が働いて、画面の明るさを自動調整します。 |
| 入:表示あり | 自動調整中、明るさセンサー機能の効果が画面に表示されます。<br>明るさセンサー:<br>※メニュー表示中は表示されません。 |

おしらせ

・明るさセンサー受光部の前にものを置いたりすると、明るさを感知できなくなります。

・明るさセンサーを「入」または「入:表示あり」に設定すると、明るさセンサーランプが点灯します。

## 明るさ

・放送番組や再生ソフトなど映像内容に合わせて、画面をお好みの明るさに手動調整することができます。

・調整を行うと、明るさセンサー機能は「切」になります。

## 映像

・映像の強弱を手動調整することができます。

## 黒レベル

・画面を見やすい明るさに調整することができます。

## 色の濃さ

・映像の色の濃さを手動調整することができます。

## 色あい

・肌色を手動調整することができます。

## 画質

・画面をお好みの画質に手動調整することができます。

## プロ設定の項目

| 項目 | 内容 | 設定 |
|---|---|---|
| カラーマネージメント※1 | 色の構成要素となる6つの系統色のそれぞれを調整し、色相・彩度・明度を変化させます。 | −30〜0〜+30 |
| 色温度 | 青みがかった白（高）にするか、赤みがかった白（低）にするかの調整です。 | 高/高-中/中/中-低/低 |
| ディテール強調 | 微小信号レベルを検出し、細部を強調します。 | 0〜+15 |
| アクティブコントラスト | シーンに応じて映像のコントラストを自動的に調整します。 | する/しない |
| I／P設定※2 | 動画より（通常のテレビ放送やビデオ等をきめ細かい映像で楽しむモード）と静止画より（静止画やグラフィック等の画像を、チラツキのないなめらかな映像で楽しむモード）を切り換えます。 | 動画より/静止画より |
| フィルムモード※3 | フィルム収録のDVDなど、元信号が24コマ/秒の映像を高画質に再生します。 | する/しない |
| 3次元設定※4 | 映像素材に応じた設定にすると、画質が改善されます。 | 標準/動画より/静止画より |
| モノクロ | 白黒映像にします。 | する/しない |
| 明るさセンサー設定※5 | 明るさセンサー「入」時の、稼働範囲の上限と下限をおこのみの値に設定できます。 | 最大値設定※6 −16〜0〜+16 最小値設定※7 −16〜0〜+16 |

※1 **カラーマネージメントの調整項目について**
例: 色相の調整の場合

| 系統色 | 調整 −30……0……+30 |
|---|---|
| R(赤) | マゼンタに近づく ⟷ 黄に近づく |
| Y(黄) | 赤に近づく ⟷ 緑に近づく |
| G(緑) | 黄に近づく ⟷ シアンに近づく |
| C(シアン) | 緑に近づく ⟷ 青に近づく |
| B(青) | シアンに近づく ⟷ マゼンタに近づく |
| M(マゼンタ) | 青に近づく ⟷ 赤に近づく |

※2 元がプログレッシブの映像(525p、750p、1125p)およびPC入力では、プロ設定の「I／P設定」は選択できません。
※3 AVポジションが「ゲーム」のとき、元がプログレッシブの映像(525p、750p、1125p)およびPC入力では、プロ設定の「フィルムモード」は選択できません。
※4 地上アナログ放送、ビデオ映像以外を視聴しているときは、プロ設定の「3次元設定」は選択できません。
※5 周囲の明るさにもよりますが、設定範囲が少ない場合は、明るさセンサーが働きません。
※6 最大値は最小値より小さい値にできません。
※7 最小値は最大値より大きい値にできません。

## その他の映像関連の設定

■ メニューの「機能切換」から、その他の映像関連の設定ができます。

共通操作

省エネ設定　本体設定　機能切換　デジタル設定

| 項目 | 設定 |
| --- | --- |
| ファミリンク設定 | |
| 3次元ノイズリダクション | [しない] |
| MPEGノイズリダクション | [しない] |
| 入力4端子設定 | [モニター出力(固定)] |
| QS駆動 | [する] |
| センタースピーカー入力 | [しない] |
| デジタル固定 | [しない] |
| 字幕表示設定 | [しない] |
| 番組名表示設定 | [しない] |
| 映像オフ | |

番組情報　番組表　裏番組　メニュー　決定　終了　戻る

リモコンのボタン

**1** メニュー画面から◀決定▶で「機能切換」を選ぶ

**2** ▲決定▼で設定したいメニュー項目を選び、決定を押す

| メニュー項目 | 設定画面 |
| --- | --- |

### 映像をすっきりさせる(3次元ノイズリダクション)

■ ビデオなどの再生映像を、すっきりさせる機能です。設定は「しない」「強」「弱」の3種類があります。
■ テレビ、ビデオ各入力ごとに個別に設定できます。

### MPEGノイズを低減する(MPEGノイズリダクション)

■ デジタル圧縮で発生したブロックノイズや文字のエッジ部分に発生しやすいモスキートノイズを低減します。設定は「しない」「強」「弱」の3種類があります。
■ テレビ、ビデオ各入力ごとに個別に設定できます。

[例] 3次元ノイズリダクションを「強」に設定する

**3** ▲決定▼で「強」を選び、決定を押す

・操作終了する場合は メニュー または 終了 を押してください。

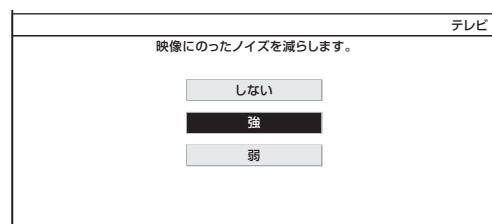
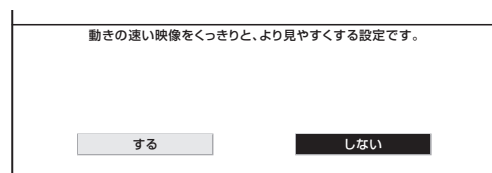
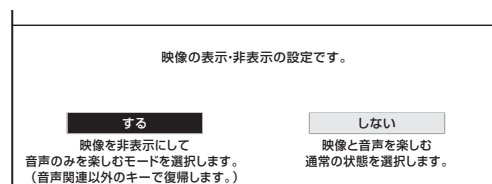
### 動きの速い映像を見やすくする(QS駆動)

■ QS駆動とは、動きの速い映像をくっきりと、より見やすくする機能です。
(QS…クイックシュート)
■ 通常は「する」にしてご覧ください。

**3** ◀決定▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

・操作終了する場合は メニュー または 終了 を押してください。

### 音声だけを楽しむ(映像オフ)

■ 映像を消して、音声だけを楽しむことができます。
- 映像オフを「する」にしているとき、オフタイマー残り時間などのメッセージが表示されると、映像が復帰します。
- 操作により映像が復帰したり、一度電源「切」の状態にすると、自動的に設定が「しない」になります。
- 映像を復帰させたいときは、音量調整、消音、音声切換え以外の操作を行ってください。

**3** ◀決定▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

・操作終了する場合は メニュー または 終了 を押してください。

# お好みの音声に調整する（音声調整）

■「高音」「低音」「バランス」の3つの項目を、AVポジションごとに、お好みに合わせて調整することができます。
調整したいAVポジションを選んでから、音声調整の操作を行います。（**149**ページ）

※ AVポジション「ダイナミック（固定）」では、音声調整ができません。

## 音声調整の基本操作

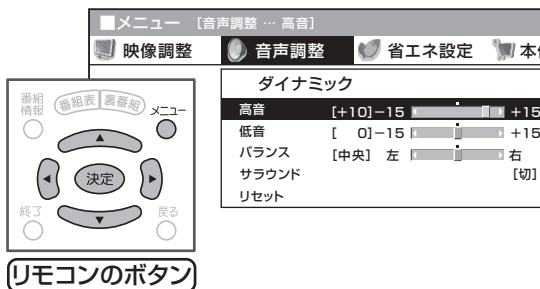
［例］ AVポジション「ダイナミック」の「高音」を調整する

**1** AVポジションを何回か押し、AVポジションを「ダイナミック」に設定する

**2** メニュー画面から「音声調整」を選ぶ

**3** ① で「高音」を選ぶ

② で、お好みの位置に調整する

リモコンのボタン

・続けて他の項目を調整したいときは、手順**3**をくり返します。

**操作終了する場合は**

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

・1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

・ヘッドホンを接続しているときや入力4端子設定を「モニター出力（可変）」に設定しているときは、音声調整ができません。

**工場出荷時の設定に戻したいとき**

① 手順**3**の①で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。

② 左右カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。
「初期設定に戻しました。」と表示されます。

## 音声調整の項目

・お客様が実際にお使いの音量で調整してください。

### 高音

・お好みに合わせて、高音を調整することができます。

高音 ［+10］−15 +15

### 低音

・お好みに合わせて、低音を調整することができます。

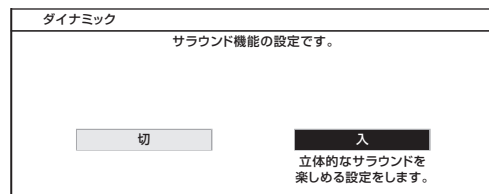
低音 ［ 0］−15 +15

### バランス

・お好みに合わせて、左右のスピーカー音声のバランスを調整することができます。

バランス ［中央］ 左 右

### サラウンド

・2本のスピーカーで臨場感あふれるマルチチャンネルサラウンド空間を実現します。

・ヘッドホンで音声を聴いているときは、サラウンドの効果が得られません。
・モニター出力／入力4／（録画出力）端子からの音声出力、デジタル音声出力（光）端子からの出力では、サラウンドの効果が得られません。
・放送やDVDなどのコンテンツによっては、サラウンドの効果が得られないことがあります。その際はサラウンドを「切」にしてお楽しみください。

## 二重音声放送やステレオ放送を楽しむ

■ 二重音声放送やステレオ放送のとき、音声切換ボタンで音声モードを切り換えることができます。

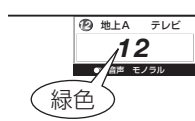
### チャンネル表示の色について

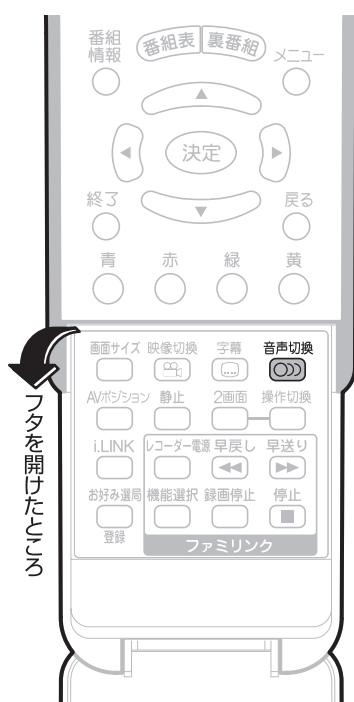
・二重音声放送やステレオ放送、モノラル放送は、チャンネル表示の色で区別することができます。(地上アナログ放送のみ)

▼画面表示

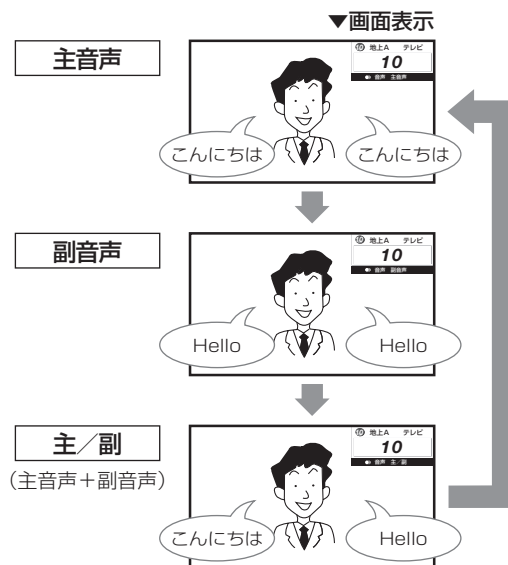
二重音声放送のとき

ステレオ放送のとき

モノラル放送のとき

### 主音声と副音声について

・ニュースや洋画などの二ヵ国語放送で、吹き替えの日本語(主音声)と英語などの外国語(副音声)の2種類の音声が楽しめます。

## 二重音声放送の音声切換

**リモコンフタ内の 音声切換 を押し、お好みの音声を選ぶ**

・ボタンを押すたびに、つぎのように切り換わります。

## ステレオ放送の音声切換

・ステレオ放送のときは、自動的に「ステレオ」になります。

**雑音が多いときは、 音声切換 で「モノラル」にする**

・画面右上のチャンネル表示内に「モノラル」と表示されます。
・「モノラル」にすると雑音が減って聞きやすくなることがあります。

・音声切換ボタンを押して「モノラル」にすると、ステレオ放送を受信してもモノラル音声になります。
ステレオ音声で聞くときは、再度音声切換ボタンを押して「ステレオ」に切り換えてください。
・デジタル放送は「モノラル」への切換えができません。
・デジタル放送視聴時の音声切換えについては、**79**ページをご覧ください。

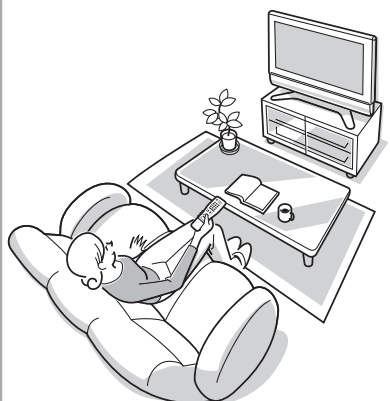
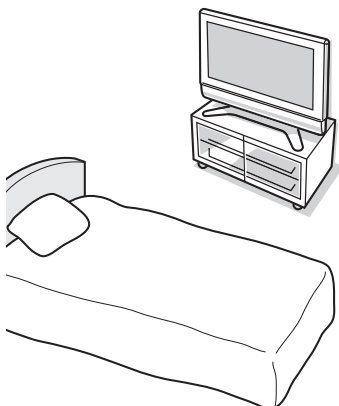
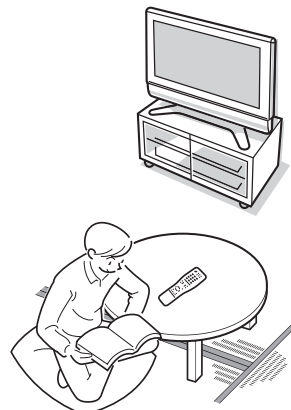
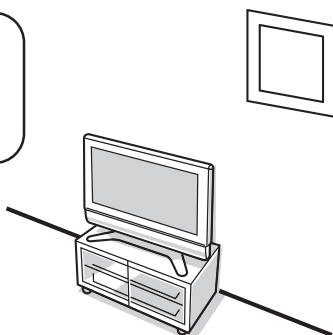
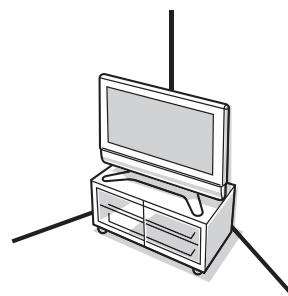
# 視聴環境に適した音質にする

## 視聴環境設定機能とは

■ 本機のスピーカーから出力される音声を、本機を視聴する環境に適した音質に設定する機能です。

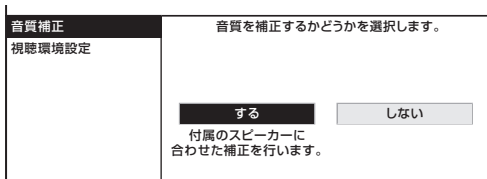
- 視聴環境設定を使うには、「本体設定」－「スピーカー設定」－「音質補正」を「する」に設定してください。
- 視聴環境設定機能はAudyssey Laboratoriesにより開発された“Audyssey EQ”を採用しています。

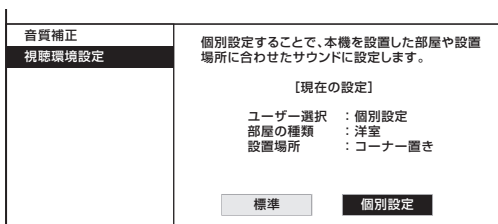
## 視聴環境設定機能を使うには

■「本体設定」－「スピーカー設定」－「視聴環境設定」－「個別設定」を選び、本機を視聴する部屋の種類と設置場所を選びます。

**1** メニュー画面から「本体設定」ー「スピーカー設定」を選び、決定を押す

**2** ① ▲▼で「音質補正」を選び、決定を押す

② ◀▶で「する」を選び、決定を押す

音質補正
視聴環境設定
音質を補正するかどうかを選択します。
する　しない
付属のスピーカーに合わせた補正を行います。

**3** ① ▲▼で「視聴環境設定」を選び、決定を押す

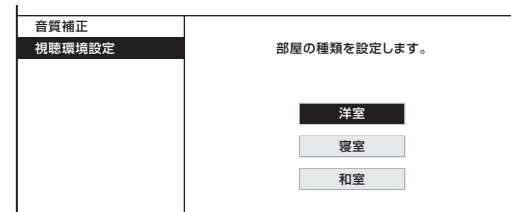
② ◀▶で「個別設定」を選び、決定を押す

- 「標準」とは、“Audyssey EQ”オフの設定です。
- 視聴環境設定は、一般的な洋室、寝室、和室を目安に音を設定していますが、部屋によっては効果が分かりにくい場合があります。その場合は、音声調整にて調整してください。

## 部屋の種類を選ぶ

**4** ▲▼で視聴している部屋の種類を選び、決定を押す

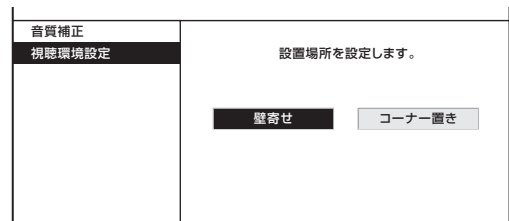
「洋室」........... フローリングの床のように反響の大きい部屋の場合

「寝室」...........ベッドなどの音声を吸収するものがある部屋の場合

「和室」...........畳部屋で音声を吸収する大きな家具がない部屋の場合

## 部屋の中の設置場所を選ぶ

**5** ◀▶で本機の設置場所を選び、決定を押す

「壁寄せ」.................部屋の壁面に平行に本機を設置している場合

「コーナー置き」.....部屋の角に本機を設置している場合

**6** メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 視聴環境設定を使わないときは、手順**3**の②で「標準」を選びます。

この製品は、Audyssey Laboratoriesによるライセンスの基で製造されています。
Audyssey EQは、Audyssey Laboratoriesの登録商標です。

**音響のプロフェッショナルたちによるサウンド**

南カリフォルニア大学Integrated Media System Centerにはオーディオ界のトップエキスパートや研究者が所属しています。彼らがNational Science Foundation（国家科学財団）の資金提供を受け、サウンドの音質を下げる室内音響のネガティブ要素を全てのオーディオシステムから取り除くための新しいテクノロジー開発を立ち上げ、5年にわたる研究の末、従来の家庭や車でのサウンドの楽しみ方を変えるソリューションが生み出されました。それがAudyssey EQです。

# 便利な機能

ページ



# ファミリンク機能

ページ

# 2画面で見る

■ 本機は2つの異なる映像を同時に表示して見ることができます。

■ 2画面のとき、「♪」マークのある画面(操作画面)のチャンネルや入力を切り換えたり、音量を調整することができます。

- 2画面機能を入／切すると、まれに画面や録画出力の映像が一瞬途切れた状態になることがありますが、異常ではありません。
- 2画面表示中は、画面サイズボタンによる画面サイズの切換えができません。
- 2画面のとき、メニュー操作はできません。
- 2画面になった映像がハイビジョン信号(1125i、750p、1125p)のときは、16:9表示になります。

- 2画面のとき、電子番組表、i.LINK操作パネルは表示できません。

## 2画面で見られる映像の組合せ

| 右画面 / 左画面 | 地上アナログ放送 | デジタル放送 | 外部入力※1･2･3 |
|---|---|---|---|
| 地上アナログ放送 | × | × | ○ ※4 |
| デジタル放送 | × | × | ○ ※4 |
| 外部入力※2･3 | × | ○ ※4 | ○ ※5 |

※1　右画面には525i信号(地上アナログ放送と同じ画質)のみ表示できます。外部入力で高解像度信号(525p/1125i/750p)が入力されている場合は、表示できません。

※2　入力5,6は左画面にのみ表示されます。

※3　入力7は2画面表示できません。

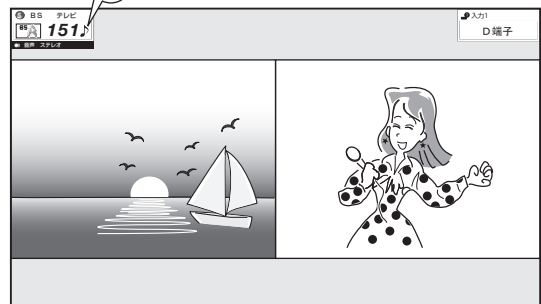
※4　地上アナログ放送およびデジタル放送とi.LINK入力の2画面表示はできません。

※5　同じ外部入力どうしの2画面表示はできません。

## 2画面で見るには

[例]　BS放送と外部入力(入力1)を2画面で見る

### リモコンフタ内の 2画面 を押す

操作できる画面の上に、「♪」マークが表示されます。この下の画面の音声が聞けます。

- 2画面表示中に視聴予約が開始されたときは、1画面(操作画面)に戻ります。
- 操作画面を切り換えるには、リモコンフタ内の 操作切換 を押し、操作したい画面に「♪」を移動します。
- 1画面に戻すには 2画面 をもう一度押すか、終了 を押します。

### 2画面時の音声と音量調整について

- 音量(＋／－)ボタンで、操作画面の音量を調整できます。
- ヘッドホン接続時は「♪」マークのある操作画面の音声を聞くことができます。

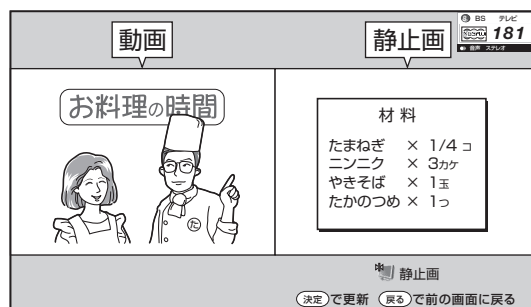
# 操作画面のチャンネルや入力を切り換えるには

- 地上A 地上D BS CS のいずれかを押して放送を選びます。
- 選局（∧順／∨逆）ボタンを押すたびに、操作画面のチャンネルが選局されます。
- 入力切換 を押すたびに、操作画面の入力が切り換わります。

# 画面を静止させてメモをとる

- いま見ている放送や映像を静止することができます。料理番組などのメモをとったりするときに便利です。

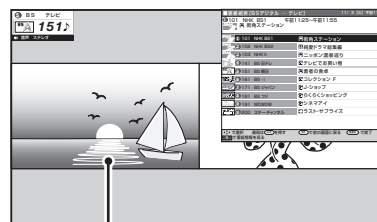
## 映像を静止させたいところで、静止を押す

- 2画面表示となり、左側が動画、右側が静止画になります。

- 静止画表示中にを押すと、静止画が更新されます。
- 1画面に戻すには 戻る を押すか、終了 または 静止 を押します。

おしらせ

- 静止画表示中に選局や入力切換えをすると、1画面に戻ります。
- 静止画表示中の画面サイズ切換えはできません。
- 静止画表示中にメニューボタンを押すと、1画面に戻ります。
- 静止画表示中にi.LINKボタンを押すと、静止画が解除されます。
- 静止画表示後、30分経過すると自動的に1画面に戻ります。

- 2画面表示中に裏番組ボタンを押すと、裏番組表が非操作画面側に表示されます。操作画面を見ながら裏番組を確認することができます。裏番組表で見たい番組を選択して決定ボタンを押すと、操作画面に選択した番組を表示します。

2画面状態での裏番組表の表示例

操作画面

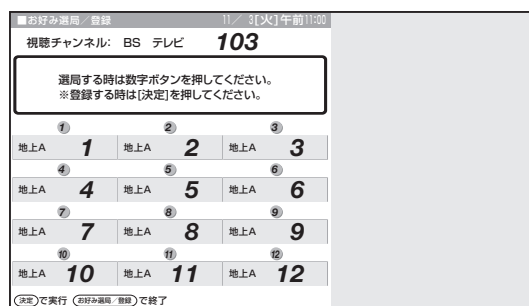
# お好みのチャンネルを登録する

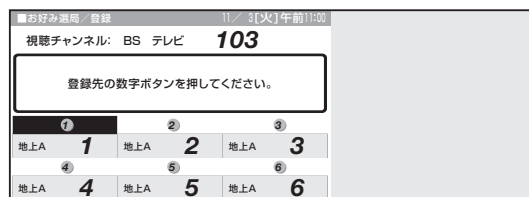
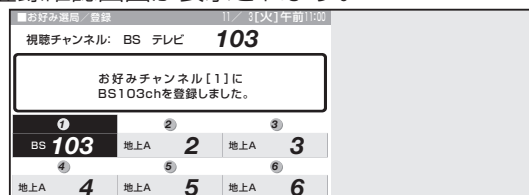
## お好み選局／登録画面にチャンネルを登録する(お好み登録)

■ よく見るチャンネルをお好み選局／登録画面に登録できます。
■ ネットワーク(地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)やメディア(テレビ、ラジオ、データ)を混在させた登録ができます。
※ お好み選局／登録画面は、工場出荷時の状態では、地上アナログ放送に設定されています。

[例] BSデジタルのテレビ放送の103チャンネルをお好み選局／登録画面の「1」(チャンネルボタン 1 )に登録する

**1** ① BS を押し、BSデジタル放送(テレビ)を選ぶ
② 103チャンネルを選局する

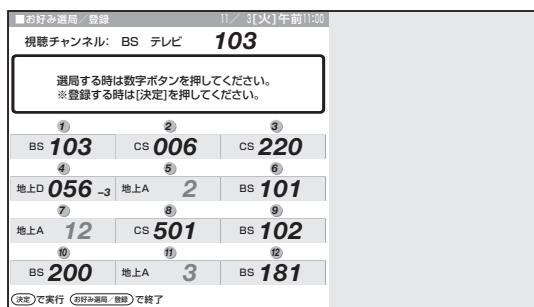
**2** ① お好み選局/登録 を押す
• お好み選局／登録画面が表示されます。

② 決定 を押す

**3** 登録したいチャンネルボタン 1 (登録先のボタン)を押す

• 登録確認画面が表示されます。

**4** お好み選局/登録 または 終了 を押し、画面表示を消す
• お好み選局／登録ボタンまたは終了ボタンを押さなくても、しばらくすると画面表示は消えます。

## お好み登録したチャンネルを確認する

■ お好み選局／登録画面(「1」～「12」)に登録されているチャンネルの内容を画面で確認することができます。

**1** 放送を視聴中にリモコンフタ内の お好み選局/登録 を押す

・登録されているチャンネル内容の一覧が表示されます。

・内容を確認します。

**2** お好み選局/登録 または 終了 を押し、画面表示を消す

**お好み登録を変更する**

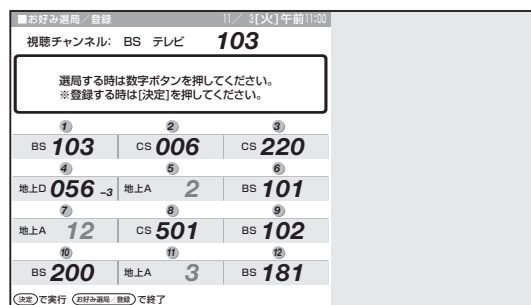
・お好み選局／登録画面に登録したチャンネルを変更するには、**160**ページの手順**1**～**4**の操作を行い、お好み登録されているお好み選局／登録画面に新たなチャンネルを登録しなおします。

## お好み選局／登録画面からチャンネルを選局する(お好み選局)

■ お好み選局／登録画面に登録したチャンネルを選局します。

■ ネットワーク(地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)やメディア(テレビ、ラジオ、データ)を切り換えることなく、チャンネルを選べます。

**1** リモコンフタ内の お好み選局/登録 を押す

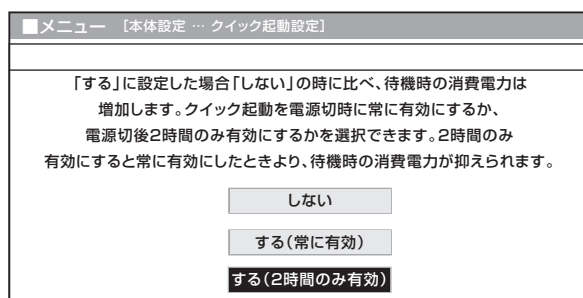
・お好み選局／登録画面が表示されます。

**2** 見たいチャンネルボタン(1～12)を押す

・選んだチャンネルの画面になります。

# クイック起動機能を設定する

■ リモコンで電源を「入」にしたとき、起動時間を短縮してすぐに操作できる状態にする機能です。なお、この機能を使うと待機時の消費電力がアップしますので、あらかじめ同意の上、ご使用ください。

**1** メニュー画面から「本体設定」ー「クイック起動設定」を選び、決定 を押す

**2** ▲▼ で設定したい項目を選び、決定 を押す

# 省エネ機能を使う

## 指定した時間後に電源を切る(オフタイマー)

- 「オフタイマー」を使うと、指定した時間後に電源を切ることができます。テレビを見ながらおやすみになるときなどに便利です。

**1** オフタイマー を押す

- オフタイマーがすでに設定されている場合は、オフタイマーの残り時間が表示されます。設定されていないときは「切」と表示されます。

オフタイマー:　切

**2** オフタイマー表示が出ている間に再び オフタイマー を押し、電源が切れるまでの時間を選ぶ

- オフタイマー を押すたびに、設定時間がつぎのように切り換わります。

→ 切(解除) → 0時間30分 → 1時間00分
2時間30分 ← 2時間00分 ← 1時間30分 ←

### オフタイマーの残り時間を見るには

オフタイマー を押す

- 残り時間が表示されます。

オフタイマー:残り　0時間15分

- しばらくすると表示が消えます。
- 表示が出ている間に再び オフタイマー を押すと、残り時間が変わってしまいます。
- オフタイマーの残り時間が5分になると、残り時間が画面に表示されます。

- 「オフタイマー」は、メニュー画面から「省エネ設定」−「オフタイマー」を選んでも設定できます。

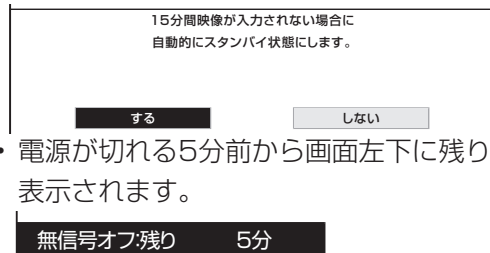
**無信号オフ機能について**

- 放送が終了しても、他局の放送やその他の電波が混入するときや、ブルーバックなどのビデオ信号が入力されているときは、正しく動作しない場合があります。
- 放送電波の状態などにより、放送を見ているときに無信号オフ機能が働いて電源が切れる場合は、設定を「しない」にしてください。
- 入力7のときは、「パワーマネージメント」の設定となります。(**139**ページ)

## 放送終了後に電源を切る(無信号オフ)

- 放送が終了するなど無信号状態になると、約15分後に電源が切れるようにします。
- 工場出荷時は、「しない」に設定されています。

**1** メニュー画面から「省エネ設定」−「無信号オフ」を選び、決定 を押す

**2** ◀▶ で「する」を選び、決定 を押す

- 電源が切れる5分前から画面左下に残り時間が表示されます。

無信号オフ:残り　5分

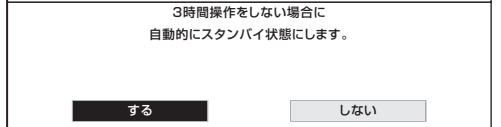
## 操作しない状態のときに電源を切る(無操作オフ)

- 操作しない状態が3時間以上経過すると、自動的に電源が切れるように設定できます。
- 工場出荷時は、「しない」に設定されています。

**1** メニュー画面から「省エネ設定」−「無操作オフ」を選び、決定 を押す

**2** ◀▶ で「する」を選び、決定 を押す

3時間操作をしない場合に
自動的にスタンバイ状態にします。

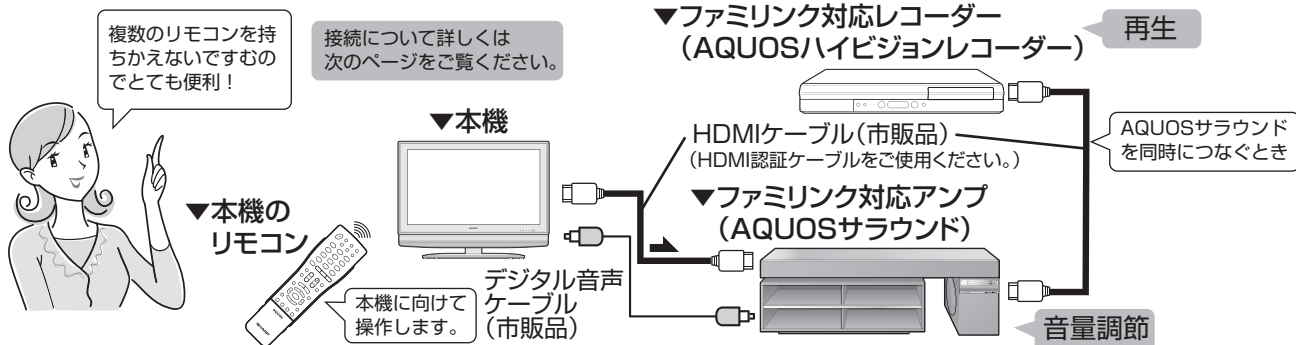
する　しない

### 操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

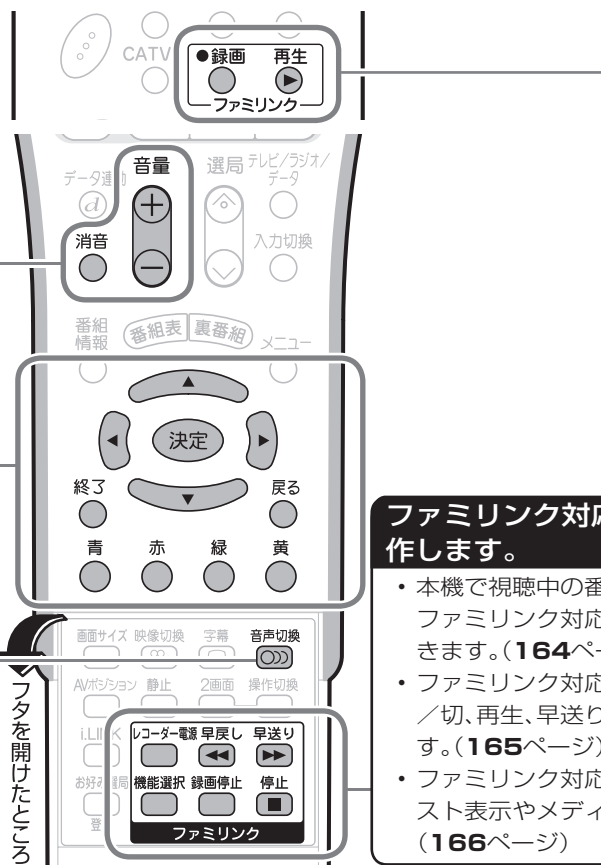
- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

# HDMI接続した外部機器を本機のリモコンで制御する(ファミリンク)

## ファミリンクとは

■ ファミリンクとは、HDMI CEC(Consumer Electronics Control)を使用し、HDMIで規格化されているAVアンプやDVDレコーダーを相互に制御するためのコントロール機能です。

・ファミリンク機能を使うときも、本機のリモコンを本機に向けて操作してください。ファミリンク対応レコーダーやAQUOSサラウンドは直接リモコン信号を受信しません。

### ファミリンクでできること

■ リモコンフタ内の「ファミリンク」ボタンなどで、ファミリンク対応レコーダーやAQUOSサラウンドを操作します。

**ファミリンク対応レコーダーを操作します。**

・本機で視聴中の番組をワンタッチでファミリンク対応レコーダーに録画できます。(**164**ページ)

・ファミリンク対応レコーダーの電源入/切、再生、早送り、早戻しなどができます。(**165**ページ)

・ファミリンク対応レコーダーの録画リスト表示やメディア切換ができます。(**166**ページ)

・ファミリンク機能を使うには、本機と、ファミリンク対応のレコーダーやAVアンプをHDMIケーブルで接続する必要があります。HDMIケーブル以外で接続しているときは、ファミリンク機能を使うことはできません。

・ファミリンク機能で操作できるファミリンク対応レコーダーは3台まで、AVアンプは1台までです。

・1つのファミリンク対応レコーダーをi.LINKとHDMIで同時に接続するときは、「i.LINK自動切換」を「しない」にしてください。(**119**ページ)

・HDMIケーブルはHDMI規格認証ケーブルをご使用ください。

・ファミリンク対応の当社製レコーダー:(DV-AC32、DV-AC34、DV-ACW38)(2006年12月)

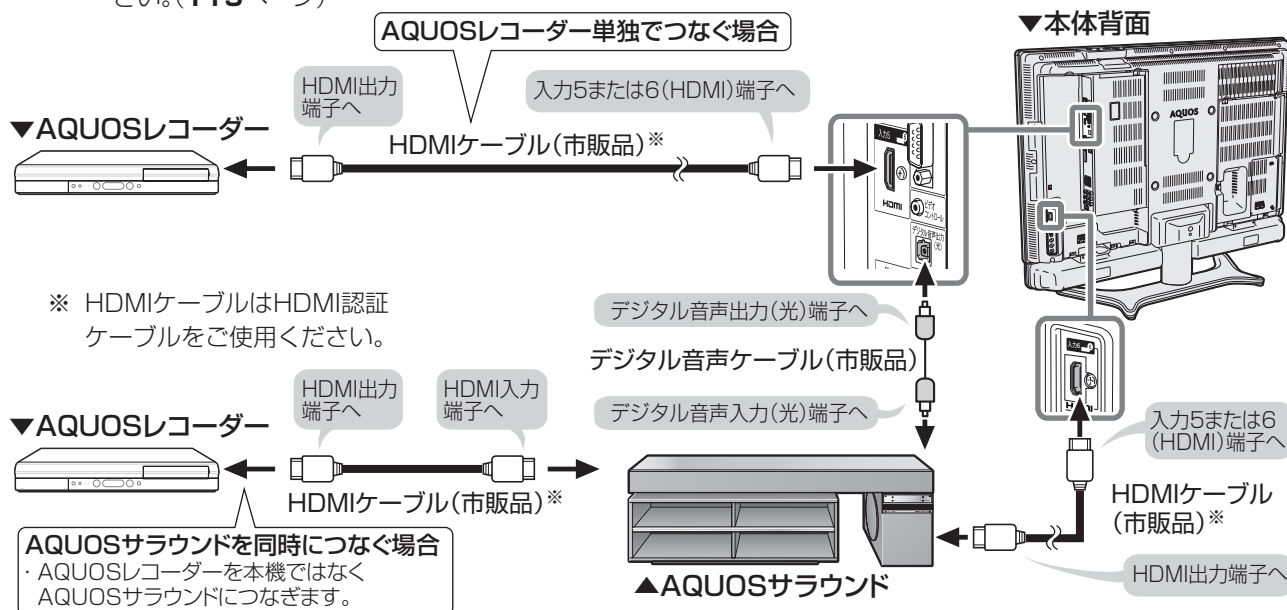
・ファミリンク対応の当社製サラウンドアンプ:(AN-ACX1、AN-ACY1)(2006年12月)

# HDMI接続した外部機器を本機のリモコンで制御する(ファミリンク)(つづき)

## 本機とHDMI機器の接続

■ 本機とHDMI機器の接続方法です。

・ この章以降は、AQUOSサラウンド、AQUOSレコーダーとの接続について説明しています。

おしらせ
- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。
- ファミリンク機能で操作できるAQUOSレコーダーは3台までです。
- 1つのAQUOSレコーダーをi.LINKとHDMIで同時に接続するときは、「i.LINK自動切換」を「しない」にしてください。(**119**ページ)

・ ケーブルの抜き差しや接続方法を変更した場合は、すべての機器の電源を入れた状態で本機の電源を入れ直し、入力5または入力6に切り換えて映像と音声が正しいことを確認してください。

## 本機で視聴中の番組をAQUOSレコーダーに録画する(ワンタッチ録画機能)

### ワンタッチ録画を行う前に

■ AQUOSレコーダー側の録画準備をしてください。「B-CASカードが挿入されているか」、「アンテナが接続されているか」、「録画メディア(HDD、DVDなど)に容量があるか」などを確認します。

■ 録画機器を本機に接続したときは、あらかじめ、「ファミリンク設定」の「録画機器選択」で録画機器を設定します。(**168**ページ)

※初期設定では入力5に接続する設定になっています。

おしらせ
- 「録画機器選択」(**168**ページ)で選択したAQUOSレコーダーで受信した放送を視聴しているときは、視聴しているAQUOSレコーダーに録画を開始します。
- 「録画機器選択」(**168**ページ)で選択したAQUOSレコーダー以外で受信した放送を視聴しているときや、他の外部入力を視聴しているときは、録画ボタンを押しても録画できません。

**1**  **を押す**

・「録画機器選択」(**168**ページ)で選択したAQUOSレコーダーのチャンネルが、本機で視聴中のチャンネルに切り換わり、AQUOSレコーダーに録画を開始します。

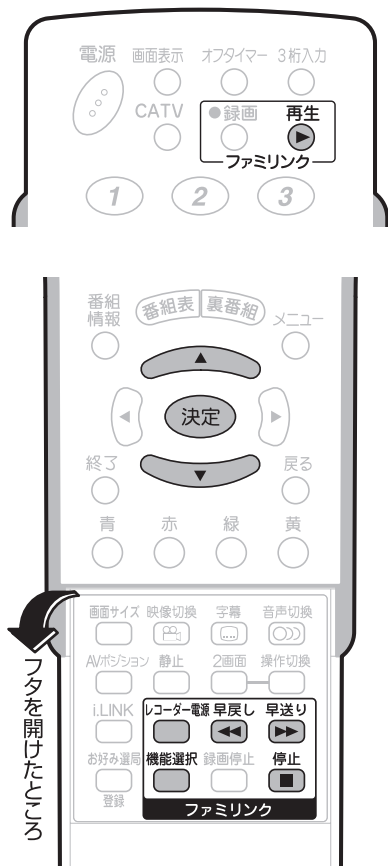
**2** **録画を停止するときは、録画停止を押す**

## 本機のリモコンでAQUOSレコーダーを操作する(ワンタッチプレー機能)

■ 本機のリモコンでHDMI接続したAQUOSレコーダーを操作できます。

**1** **録画した番組を再生したいときは、再生を押す**

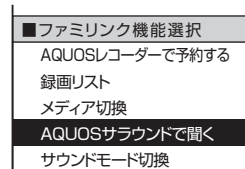
- 最後に再生または録画した番組が再生されます。
- 録画した番組(録画リスト)の中から見たい番組を選んで再生したいときは、**166**ページをご覧ください。

**2** **早送りしたいときは、早送りを押す**
**早戻ししたいときは、早戻しを押す**
**停止したいときは、停止を押す**
**AQUOSレコーダーの電源を入／切したいときは、レコーダー電源を押す**

## AQUOSサラウンドで聞く

■ AQUOSサラウンドからのみ音声を出力することができます。

**1** **リモコンフタ内の機能選択を押す**

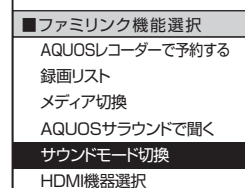
**2** **（▲▼）で「AQUOSサラウンドで聞く」を選ぶ**

■ファミリンク機能選択
AQUOSレコーダーで予約する
録画リスト
メディア切換
AQUOSサラウンドで聞く
サウンドモード切換

- 本機の音声が停止し、AQUOSサラウンドからのみ音声が出力されます。
- 本機のリモコンでAQUOSサラウンドの音量調整、消音、音声切換の操作ができます。
- 本機からの音声出力に戻したいときは、機能選択を押し、「AQUOSで聞く」を選びます。

## AQUOSサラウンドのサウンドモードを手動で切り換える

■ AQUOSサラウンドのサウンドモードを手動で切り換えることができます。

**1** **リモコンフタ内の機能選択を押す**

**2** **（▲▼）で「サウンドモード切換」を選び、決定を押す**

**3** **お好みのサウンドモードを選ぶ**

- サウンドモードは押すたびに切り換わります。詳しくは、AQUOSサラウンドの取扱説明書をご覧ください。

**「AQUOSサラウンドで聞く」に設定中のご注意**

- 本機のスピーカー、ヘッドホンの音声が停止します。
- 入力4端子設定(**114**ページ)を「モニター出力(可変)」に設定しているときは、モニター出力の音声が停止します。
- 本機のメニューの「音声調整」「スピーカー設定」「センタースピーカー入力」設定はできません。

# HDMI接続した外部機器を本機のリモコンで制御する(ファミリンク)(つづき)

## AQUOSレコーダーの録画リストから見たい番組を再生する

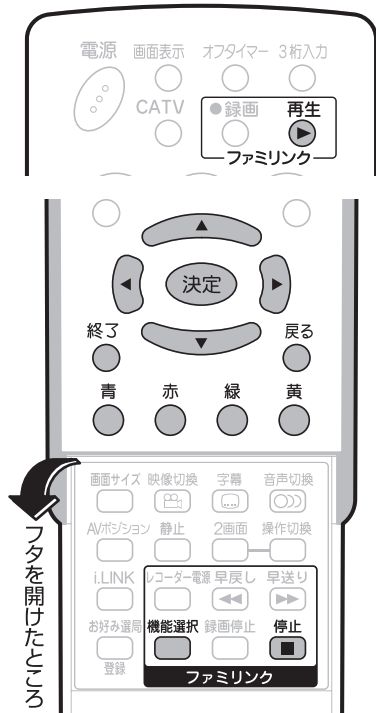
■ 本機のリモコンを使って、本機とHDMI接続したAQUOSレコーダーの録画リストから見たい番組を再生します。

**1** リモコンフタ内の 機能選択 を押す

**2** ▲▼ で「録画リスト」を選び、決定 を押す

- AQUOSレコーダーの電源が入り、本機の入力が切り換わります。
- AQUOSレコーダーの録画リストが表示されます。

**3** 再生したい番組(タイトル)を選び、再生 を押す

- 録画リストは本機のリモコンの ▲▼◀▶ 決定 戻る 終了 青 赤 緑 黄 で選択などの操作ができます。
- 選んだ番組が再生されます。
- 停止したいときは、停止 を押します。
- 停止したときは、切り換わった入力のままです。

## AQUOSレコーダーの再生や録画するメディアを切り換える

■ AQUOSレコーダーのメディア(HDD、DVDなど)を切り換えることができます。

**1** リモコンフタ内の 機能選択 を押す

**2** ▲▼ で「メディア切換」を選び、決定 を押す

■ファミリンク機能選択
AQUOSレコーダーで予約する
録画リスト
メディア切換
AQUOSサラウンドで聞く

**3** レコーダーのメディアの種類(「HDD」や「DVD」など)を選ぶ

- AQUOSレコーダー側の操作したい録画メディアを選びます。
- 「メディア切換」で 決定 を押すごとに、メディアが順次切り換わります。

## 視聴するHDMI機器を切り換える

■ 複数のHDMI機器を接続している場合、視聴したいHDMI機器を選ぶことができます。

**1** リモコンフタ内の 機能選択 を押す

**2** ▲▼ で「HDMI機器選択」を選び、決定 を押す

- 「HDMI機器選択」で 決定 を押すたびに、次のように入力が切り換わります。

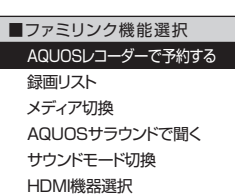
機器A:AQUOSサラウンドにつないだ機器
機器B:本機に直接つないだ機器

# ファミリンク対応のAQUOSレコーダーで予約する

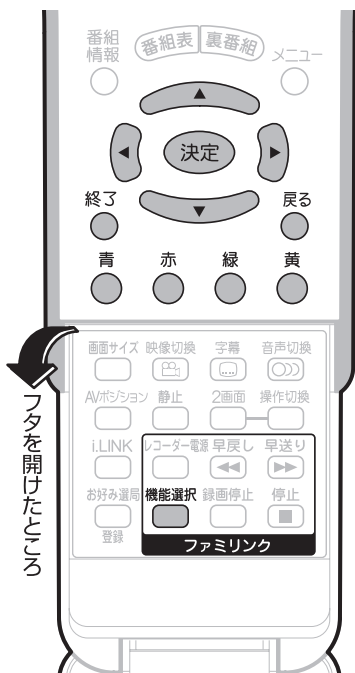
■ 本機に接続したファミリンク対応AQUOSレコーダーの番組表を表示し、本機のリモコンで録画予約できます。

**1** リモコンフタ内の 機能選択 を押す

**2** ▲▼◀▶ で「AQUOSレコーダーで予約する」を選び、決定 を押す

■ファミリンク機能選択
- AQUOSレコーダーで予約する
- 録画リスト
- メディア切換
- AQUOSサラウンドで聞く
- サウンドモード切換
- HDMI機器選択

- 入力が切り換わり、レコーダー側の番組表が表示されます。

**3** 予約したい番組を選び、録画予約の操作をする

- レコーダー側の番組表は本機のリモコンの ▲▼◀▶ 決定 戻る 終了 青 赤 緑 黄 で操作します。
- 詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

**録画予約についてのご注意**
- AQUOSレコーダーと予約番組が重複している場合は、予約できません。

# ファミリンクで録画予約する

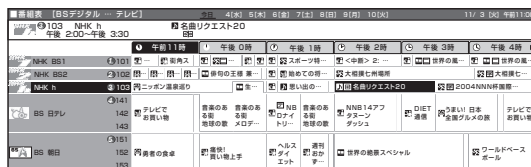
■ 本機の電子番組表(EPG)から本機に接続したAQUOSレコーダーに録画予約できます。

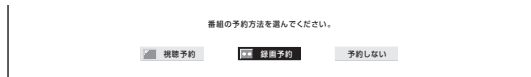
**1** AQUOSレコーダー側の準備をする

- 本機とAQUOSレコーダーを接続します。
- HDDに録画する場合は、HDDの残量を確認します。
- DVDに録画する場合は、録画用のDVDディスクをレコーダーに挿入します。

**2** ① 番組表 を押す

- 本機の電子番組表が表示されます。

② 予約したい番組を選び、決定 を押す

- 翌日以降の番組を予約したいときは、日時指定(**85**ページ)で番組表を表示させると便利です。

**3** 「録画予約」を選び、決定 を押す

**4** 「ファミリンク予約」を選び、決定 を押す

**5** 「予約する」を選び、決定 を押す

**6** 「戻る」で 決定 を押す

- 電子番組表(EPG)画面に戻ります。
- ファミリンク予約が設定され、本体前面右下の予約ランプが点灯します。

**録画予約についてのご注意**
- テレビはデジタル固定の状態となります。
- デジタル固定を解除すると、録画が正常にできません。
- 録画中は、録画中の番組または外部入力しか視聴できません。

# HDMI接続した外部機器を本機のリモコンで制御する(ファミリンク)(つづき)

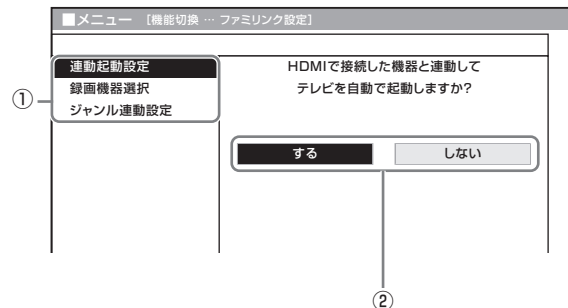
## ファミリンク設定をする

■ ここではファミリンクに関する設定について説明します。

**1** **メニュー画面から「機能切換」−「ファミリンク設定」を選び、決定を押す**

**2** **① 設定したい項目を選び、決定を押す**

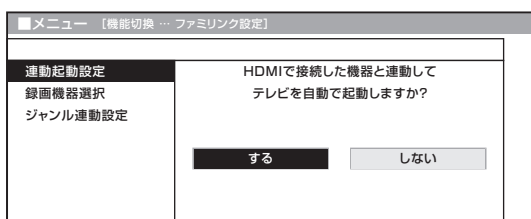
**② 設定内容を選び、決定を押す**

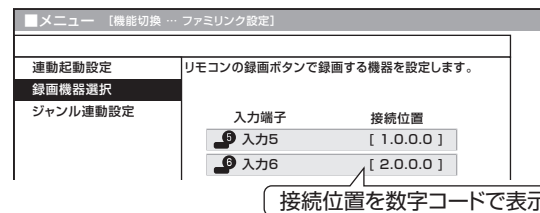
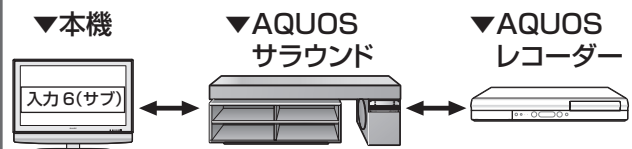
(例:「連動起動設定」を選んでいる画面)

**操作終了する場合は**

**メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す**

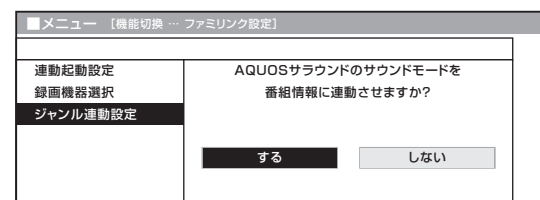
• 1つ前に戻る場合は戻る を押してください。

### ファミリンク対応機器から本機を自動で起動する

■「連動起動設定」を「する」に設定すると、ファミリンク対応機器を再生したときに、電源待機状態にある本機を自動的に電源「入」にできます。

### 複数のレコーダーを接続時に、録画を行う機器を選ぶ

■ 複数のAQUOSレコーダーを本機に接続している場合は、「録画機器選択」で、●録画を押したときに録画を行うファミリンク対応レコーダーを選択します。

■ 本機とレコーダーの間にAQUOSサラウンドなどを次のように接続した場合は、入力端子のあとに「サブ」と表示されます。

### AQUOSサラウンドを番組のジャンルに適したサウンドモードに自動切換する

■「ジャンル連動設定」を「する」に設定しておくと、デジタル放送の番組のジャンル情報に従って、AQUOSサラウンドが適切なサウンドモードに切り換わります。

■ 地上アナログ放送やDVD映像はジャンル情報がないので、「サウンドモード切換」(**165**ページ)で手動で切り換えます。

• 詳しくはAQUOSサラウンドの取扱説明書をご覧ください。

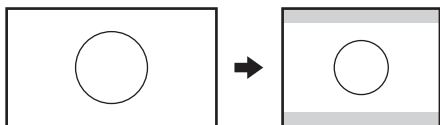
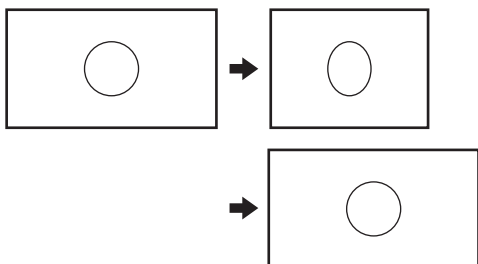
# デジタル放送を快適に見るための設定

ページ

# 画面サイズや画面表示の設定

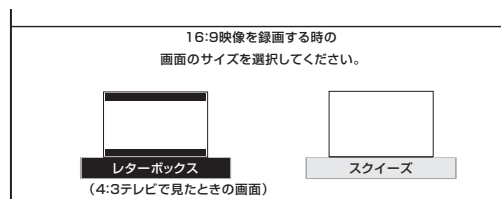
## 録画画面サイズ設定

■ 本機に接続した録画用機器にデジタル放送の16：9映像を録画するときの画面サイズを選びます。

「レターボックス」…4：3のテレビで見たとき、画面の上下に黒い帯が入った横長の映像で表示し、オリジナルの16：9映像のまま見ることができます。

「スクイーズ」………4：3のテレビで見たとき、横方向に圧縮された縦長の映像になります。16：9のテレビで見たときは、オリジナル映像そのままのワイド映像になります。

**1** メニュー画面から「デジタル設定」ー「録画画面サイズ設定」を選び、（決定）を押す

**2** （◀決定▶）で「レターボックス」または「スクイーズ」を選び、（決定）を押す

**操作終了する場合は**

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

・ 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

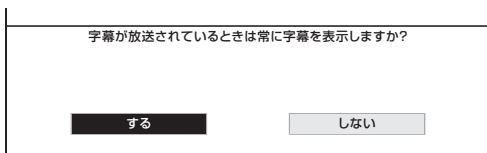
## 字幕を表示させるための設定

■ 字幕のある番組で、字幕を表示するかしないかを選択できます。
■ 工場出荷時の状態では、「しない」に設定されています。

**1** メニュー画面から「機能切換」—「字幕表示設定」を選び、(決定)を押す

**2** ◀▶で「する」または「しない」を選び、(決定)を押す

「する」…… 字幕のある番組では、つねに字幕を表示します。(リモコンの字幕ボタンを押しても、字幕表示を消せません。)

「しない」… リモコンの字幕ボタンで、字幕表示を入／切することができます。

**操作終了する場合は**

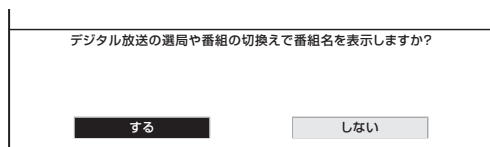
**(メニュー)または(終了)を押し、通常画面に戻す**

・1つ前に戻る場合は(戻る)を押してください。

## 番組名を表示させるための設定

■ 番組を選んで画面を切り換えたときなどに番組タイトルなどの表示をするかどうかを設定します。

**1** メニュー画面から「機能切換」—「番組名表示設定」を選び、(決定)を押す

**2** ◀▶で「する」または「しない」を選び、(決定)を押す

(表示例)

「する」…… 番組タイトルや放送時間などを表示します。

NHK h
おはよう世界のトップスポーツ
午前09:00～午前09:50

「しない」… 何も表示しません。

**操作終了する場合は**

**(メニュー)または(終了)を押し、通常画面に戻す**

・1つ前に戻る場合は(戻る)を押してください。

**字幕ボタンについて**

・字幕表示設定を「する」にしたとき
複数の字幕がある番組では、リモコン(フタ内)の字幕ボタンを押すと、字幕を切り換えられます。
・字幕表示設定を「しない」にしたとき
字幕のある番組では、リモコン(フタ内)の字幕ボタンを押すと、字幕表示の入／切、および複数の字幕の切換えができます。

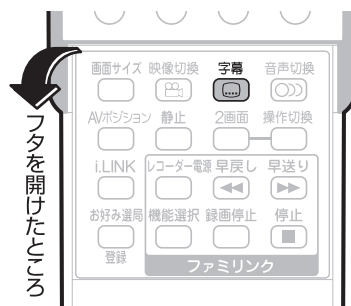
# 安心して使うための設定

共通操作

定　本体設定　機能切換　デジタル設定　お知らせ

録画画面サイズ設定 [レターボックス]
デジタル音声設定 [PCM]
ダウンロード設定 [する]
番組表設定
通信設定
ビデオ連動録画設定
i.LINK設定
暗証番号設定
視聴年齢制限設定
PPV設定
双方向サービス設定
システム動作テスト

番組情報　番組表　裏番組　メニュー　決定　終了　戻る

リモコンのボタン

**1** メニュー画面から（◀▶）で「デジタル設定」を選ぶ

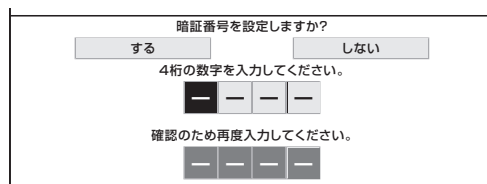
**2** （▲▼）で設定したいメニュー項目を選び、（決定）を押す

| メニュー項目 | |
|---|---|

## 暗証番号設定

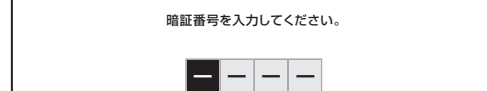
■ 本機は、視聴する人の年齢制限や視聴料金の制限など、各種の制限を設けることができます。
これらの制限を通過するときやPPV番組などを購入するときに暗証番号を使います。

- 暗証番号は必ずメモしてください。

**3** ① （◀▶）で「する」を選び、（決定）を押す
② 数字ボタン（1〜10/0）で、暗証番号を入力する

## 視聴年齢制限設定

■ 年齢制限のある番組の視聴を制限することができます。なお、年齢制限は4〜20歳の範囲で設定できます。この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定（上記）をしておくことが必要です。

**3** 数字ボタン（1〜10/0）で、暗証番号を入力する

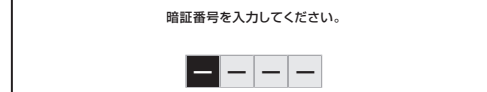
暗証番号を入力してください。

- 視聴年齢制限設定画面が表示されます。

## PPV設定

### 有料の番組の購入を制限する

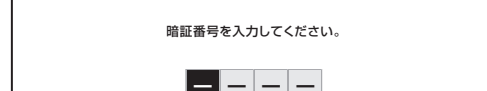
■ 暗証番号を入力しないとPPV番組（有料番組）を購入できないように設定できます。この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定（上記）をしておくことが必要です。

**3** 数字ボタン（1〜10/0）で、暗証番号を入力する

暗証番号を入力してください。

- PPV設定画面が表示されます。

### 有料の番組の購入金額を制限する

■ PPV番組（有料番組）の購入金額を制限します。設定した以上の金額の番組を購入するときは、暗証番号の入力が必要になります。この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定（上記）をしておくことが必要です。

**3** 数字ボタン（1〜10/0）で、暗証番号を入力する

暗証番号を入力してください。

- PPV設定画面が表示されます。

**暗証番号を変更するとき**

① メニュー画面から「デジタル設定」ー「暗証番号設定」を選ぶ

・ 暗証番号入力画面が表示されます。

② 数字ボタン（1〜10/0）で、暗証番号を入力する

・ 暗証番号を入力すると、**172**ページ「**暗証番号設定**」の手順**3**の画面になります。暗証番号を設定するときと同じ要領で設定しなおしてください。

**暗証番号を忘れたときは**

・ 受信契約されている、有料放送の放送局（WOWOWやスターチャンネルなど）までご連絡ください。放送局で前の暗証番号を消去します。
暗証番号の消去には手数料がかかります。（2007年2月現在）

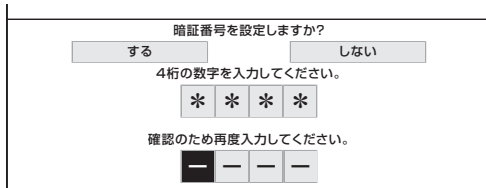
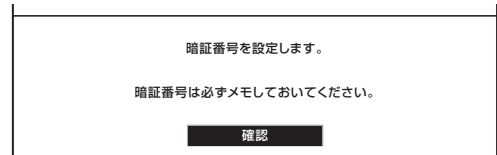
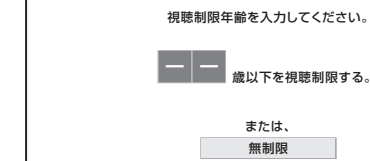
**操作終了する場合は**

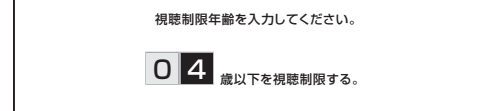
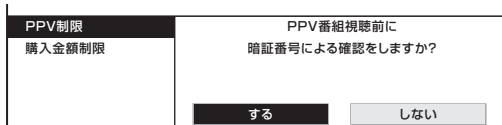
**メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す**

・ 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

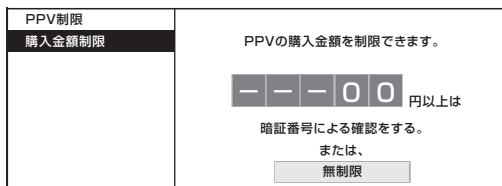
## 設定画面

**4** **確認のため、再度同じ番号を数字ボタン（1〜10/0）で入力する**

・ 間違った番号を入力した場合は、手順**3**の②からやりなおしになります。

**5** **① 暗証番号をメモする**
**② 「確認」で 決定 を押す**

**4** **で年齢の入力欄を選ぶ**

**5** **制限する年齢を数字ボタン（1〜10/0）で入力し、決定 を押す**

・ 年齢制限を設けない場合は、「無制限」を選んで決定ボタンを押します。

**4** **で「PPV制限」を選び、決定 を押す**

**5** **で「する」または「しない」を選び、決定 を押す**

「する」…… PPV番組の購入前に、暗証番号の入力が必要になります。
「しない」… PPV番組の購入前に、暗証番号の入力は必要ありません。

**4** **で「購入金額制限」を選び、決定 を押す**

**5** **① で購入金額の入力欄を選ぶ**
**② 購入金額の上限を数字ボタン（1〜10/0）で入力し、決定 を押す**

・ 購入金額の制限を設けない場合は、「無制限」を選んで決定ボタンを押します。

# お知らせを見る

■ 受信契約した放送局から視聴者に向けて発信されるメッセージを見たり、有料放送に関するレポートやB-CASカード番号などを確認することができます。

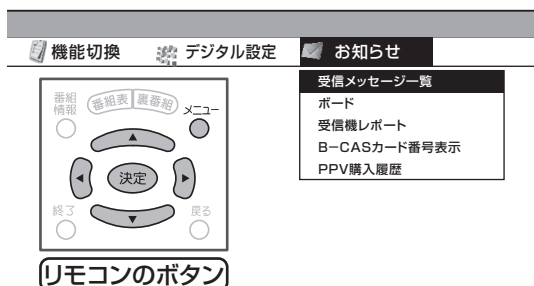
## お知らせを見るための基本操作

**1** メニュー を押し、メニュー画面を表示する

**2** ① でお知らせを選ぶ

機能切換　デジタル設定　お知らせ

受信メッセージ一覧
ボード
受信機レポート
B−CASカード番号表示
PPV購入履歴

リモコンのボタン

② で見たい項目を選び、決定 を押す

- 項目によっては、この後ネットワークを選ぶ手順になります。
- 地上アナログ放送の視聴中、録画予約実行中およびデジタル固定を「する」にしているとき、「ボード」は選べません。

**3** 見たい情報を で選び、決定 を押す

［例］「ダウンロード成功のお知らせ」を見る

| | 受信日時 | |
|---|---|---|
| 未読 | | ダウンロード成功のお知らせ |
| 未読 | 2/26［月］ | ●●●●●●● |
| 未読 | 2/26［月］ | ●●●●●●● |
| 未読 | 2/26［月］ | ●●●●●●● |
| 未読 | 2/26［月］ | ●●●●●●● |
| 未読 | 2/26［月］ | ●●●●●●● |
| 未読 | 2/26［月］ | ●●●●●●● |
| 未読 | 2/26［月］ | ●●●●●●● |

**4** ① 情報の内容を確認する
② ページを切り換えるときは「一覧へ」「前へ」「次へ」などを で選び、決定 を押す

- 画面表示に従って操作してください。

## お知らせの項目

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 受信メッセージ一覧 | 受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。<br>受信メッセージがある場合は、画面右上のチャンネルサインに「お知らせ」と表示されます。 |
| ボード | 送られている、CS各ネットワークの掲示板（ボード情報）のタイトル一覧を表示して、ご覧になりたいタイトルを選び、メッセージを表示することができます。<br>ボード情報は、そのとき放送で送られているものを表示しますので、消去はできません。 |
| 受信機レポート | 予約の失敗や変更に関するレポートやB-CASカードに関する情報、課金情報のアップロード（視聴履歴の送信）に失敗したときなど、受信機に関係したレポートを表示します。<br>アップロードに失敗したときは、「再発信」を選んで決定ボタンを押すと、アップロードしなおすことができます。 |
| B-CASカード番号表示 | 受信機レポートで報告された不具合に関して、放送事業者のカスタマーセンターに連絡されるときに、お客さまの契約確認のためB-CASカードの番号を表示するものです。<br>**カード識別…** メーカー識別用のアルファベット1文字と3桁の数字からなります。<br>**カードID……** カード固有の番号です。 |
| PPV購入履歴 | 購入した最新24個のPPV番組の購入日時、チャンネル、番組名、購入金額を画面に表示して確認することができます。 |

- 受信メッセージがある場合は、画面右上のチャンネルサインに「お知らせ」と表示されます。
- 「お知らせ」の表示がある状態で、未読の受信メッセージをすべて表示すると、「お知らせ」の表示が消えます。

**「B-CASカードの初期化に失敗しました」との表示が出た場合は**

- デジタル放送が正常に受信できているときには、対応の必要はありません。
- 正常に受信できていないときには、B-CASカードを挿入しなおしてください。

# 双方向通信を利用する

■ 双方向通信とは、デジタル放送の双方向サービスで利用される通信方式です。視聴者が番組上でショッピングしたり、クイズ番組に参加して楽しむことができます。

## 双方向通信を利用するには

**1** 次のいずれかの方法で、下の図を参考に本機を接続する

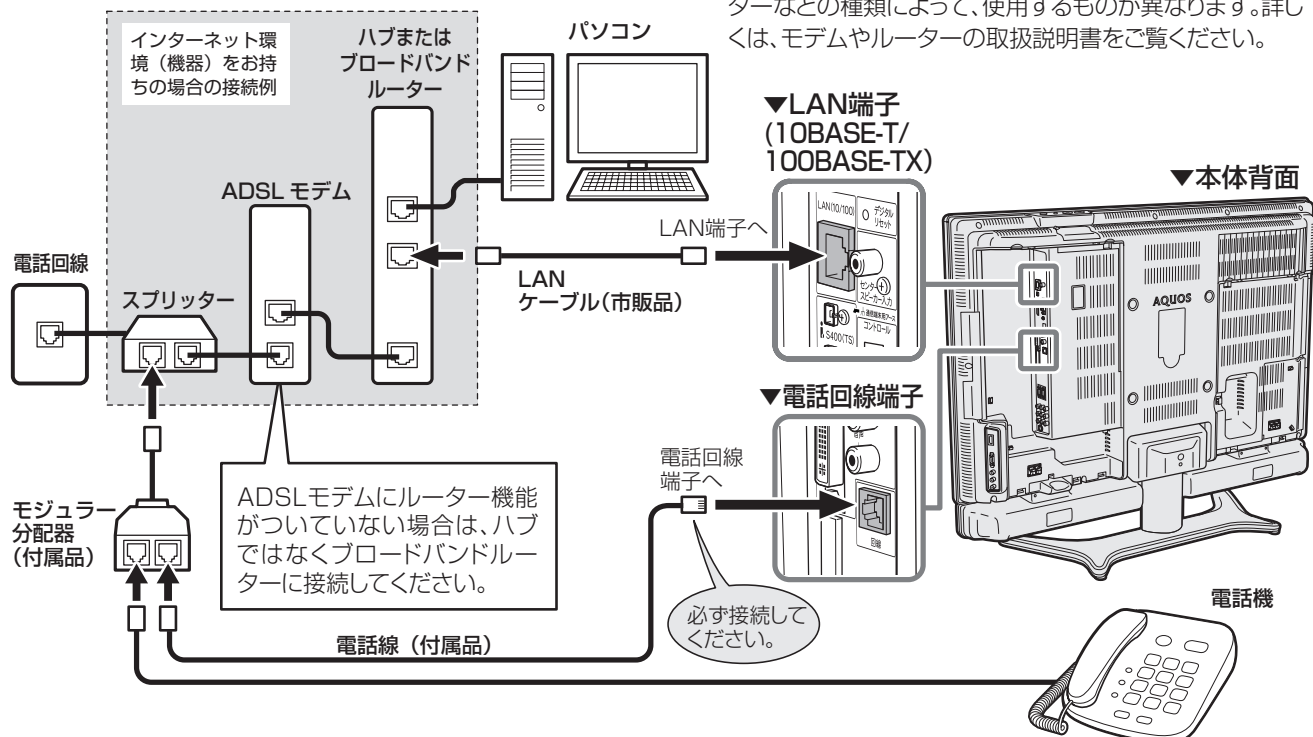
- **LAN回線に接続する**：快適な通信速度で楽しむことができます。この場合でも電話回線のみで通信されることがあるので、必ず電話回線端子にも接続してください。
- **電話回線に接続する**：本機を電話回線に接続することで、電話回線を利用した双方向サービスが利用可能です。ただし、LAN経由の双方向サービスを利用するにはLAN端子の接続が必要です。

**2** 必要に応じて「LAN設定」や「電話回線設定」を行う

- 電話回線経由の双方向サービスで正しく接続できない場合は**66**ページの「電話回線に接続する」にしたがって「電話回線設定」(**68**ページ)の内容を確認してください。
- LAN経由の双方向サービスで正しく接続できない場合は、**177**ページの「LAN設定」にしたがって「LAN設定」の内容を確認してください。

- 光回線やADSLを使用する、インターネットを介したIP電話などの電話回線では、ご加入の通信会社によっては、デジタル放送の双方向サービスが受けられない場合があります。詳しくは、ご加入の通信会社へご確認ください。
- ADSL専用の契約（IP電話回線網の使用に限定した契約）の場合、双方向サービスへの接続ができない場合があります。
- 回線業者やプロバイダにより、必要な機器や接続方法が異なります。
- 電話回線接続時には電話料金がかかります。（クイズ番組の答えを送信するときなど）

- **ADSLの接続は、専門知識が必要なため、ADSL事業者にお問い合わせください。**
- **LAN接続した場合でも、電話回線のみで通信が行われることがありますので、必ず電話回線端子にも接続してください。**

（接続の一例です）

**LANケーブルについて**

- LAN ケーブルは、10BASE-T/100BASE-TX タイプのものをご使用ください。LAN ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの 2 種類があり、モデムやルーターなどの種類によって、使用するものが異なります。詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。

インターネット環境（機器）をお持ちの場合の接続例

ハブまたはブロードバンドルーター

パソコン

ADSL モデム

電話回線

スプリッター

LAN端子へ

LAN ケーブル（市販品）

▼LAN端子 (10BASE-T/ 100BASE-TX)

▼本体背面

▼電話回線端子

電話回線端子へ

モジュラー分配器（付属品）

ADSLモデムにルーター機能がついていない場合は、ハブではなくブロードバンドルーターに接続してください。

必ず接続してください。

電話線（付属品）

電話機

## 双方向サービスの利用を制限する

- 双方向サービスのデータ送受信には、回線の利用料金がかかる場合があります。使用を制限するために、電話回線やLANへの接続をするかしないかの設定ができます。設定には暗証番号の入力が必要です。この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定（**172**ページ）をしておくことが必要です。

**1** メニュー画面から「デジタル設定」－「双方向サービス設定」を選び、（決定）を押す

**2** 数字ボタン（1～10/0）で暗証番号を入力する

**3** 以下の設定項目を選び、（決定）を押す

| 電話回線を禁止する |
|---|
| 電話回線とLAN接続を禁止する |
| 禁止しない<br>禁止しない場合はデータ送信時に以下のアイコンを表示。 |

**操作終了する場合は**

（メニュー）または（終了）を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は（戻る）を押してください。

# LAN設定

■ LAN接続（**175**ページ）によってデータ放送との双方向通信を行う場合、プロバイダが指定したLANの設定が必要となります。

・LAN設定は専門知識が必要ですので、お買い上げの販売店やADSL事業者などにご相談ください。

■ メニュー画面から「デジタル設定」ー「通信設定」ー「LAN設定」を選び、設定します。

## IPアドレスを設定する

• IPアドレスの自動取得設定
ブロードバンドルーターやルーター機能付きADSLモデムをお使いの場合は、通常DHCPでのIP自動取得が使えます。ご不明のときは、設置された方に確認するか、それぞれの機器の説明書をご覧ください。

**「する」**…… IPアドレスを自動で取得します。（DHCPサーバーを利用します。）

**「しない」**… 指定のIPアドレスを手動で入力します。

・「しない」を選んだときは、ブロードバンドルーターの仕様を確認し、IPアドレスを画面の指示にしたがって入力してください。

## DNSのIPアドレスを設定する

**「する」**…… DNSのIPアドレスを自動で取得します。（DHCPサーバーを利用します。）

**「しない」**… 指定のIPアドレスを手動で入力します。

・「しない」を選んだときは、ブロードバンドルーターのIPアドレス（ブロードバンドルーターがDNSの機能を持つ場合）またはプロバイダから指示されたDNSのIPアドレスを入力してください。

## プロキシサーバーの設定

・プロバイダからの指定があるときのみ、設定が必要です。

**「する」**…… 「する」を選んだときは、プロキシサーバーのアドレス、ポート番号を入力してください。

**「しない」**… プロキシサーバーを利用しません。

## より詳細な設定

・LAN接続スピードの設定や、LANに接続するためのテストを行います。
通常は「しない」を選びます。

## LAN接続スピードを設定する

・通常は設定の必要はありません。通信がうまくいかないなどのときに、設定を変更して確認します。

## LANに接続するためのテストを実行する

・テスト実行は、IPアドレスを自動で取得する設定のときのみです。IPアドレスを自動で取得しない場合は、「テスト実行」を選べません。

**設定項目について**

●DHCP：
IPネットワークにおいて、IPアドレスの割当てと各種の設定を自動で行うためのプロトコルです。

●IPアドレス：
TCP/IPネットワークに接続されたネットワーク機器に個別に割り振られた識別番号です。

●ネットマスク：
TCP/IPネットワークを複数の小さなネットワークに分割して識別管理する識別番号です。

●ゲートウェイ：
ネットワーク上で、異なる方式のデータを相互に変換して通信を可能にする機器の識別番号です。

# LAN設定の内容を変更・消去する

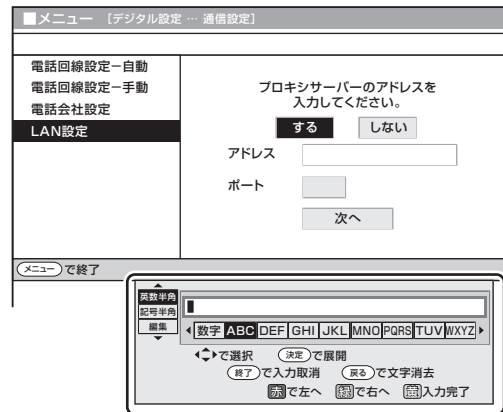
■ LAN設定を行ったあとで、メニュー画面から「デジタル設定」ー「通信設定」ー「LAN設定」を選び、設定の内容を変更・消去できます。

■ 変更するときは、「変更する」を選んだあと設定をやり直します。

■ 消去するときは、「初期化する」ー「する」を選びます。

# 文字を入力する（ソフトウェアキーボード）

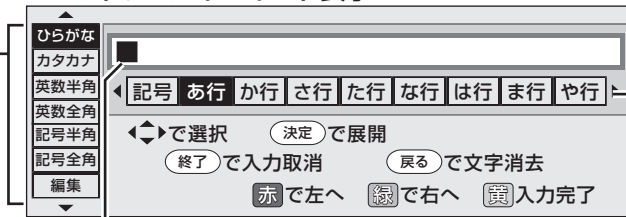
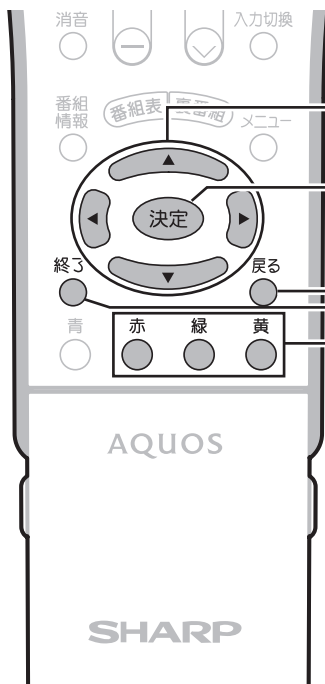
■ LAN設定（**177**ページ）を行うときに文字入力の必要な欄で決定ボタンを押すと、画面にソフトウェアキーボード（文字入力画面）が表示されます。このソフトウェアキーボードを使って、各入力欄に必要な文字・数字・記号を入力します。

（画面例）

ソフトウェアキーボード

ソフトウェアキーボードは、入力表示を編集するとき（**117**ページ）にも使用します。

## ソフトウェアキーボード（文字入力画面）の使いかた

■ ソフトウェアキーボードは、カーソルボタン、決定ボタン、戻るボタン、カラーボタン（赤・緑・黄）、終了ボタンを使って操作します。

▼ソフトウェアキーボード表示

▼リモコン

**ソフトウェアキーボード（文字入力画面）操作に使うリモコンボタン**

**カーソルボタン**：入力文字（文字モード・文字グループ）の選択をします。

**決定ボタン**：選択した文字グループの展開、または選択した文字の入力を確定します。

**戻るボタン**：キーボード内入力欄の入力位置（カーソル）の文字を1文字消します。（文末のときはカーソルの左の文字を、文中のときはカーソルの右の文字を消します。）

**終了ボタン**：入力を取り消します。現在の入力をすべて取り消し、キーボードが消えます。

**カラーボタン赤**：キーボード内入力欄のカーソルを左へ移動します。

**カラーボタン緑**：キーボード内入力欄のカーソルを右へ移動します。

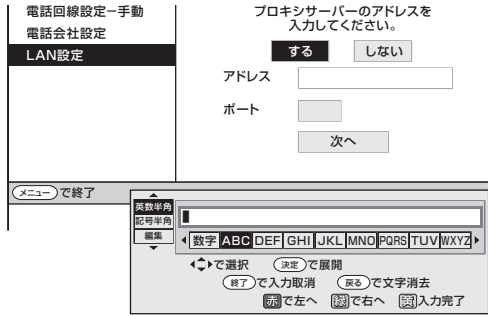
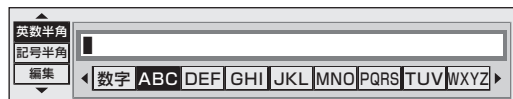
**カラーボタン黄**：キーボード内入力欄の入力を完了します。キーボードが消えます。

おしらせ

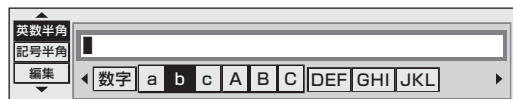
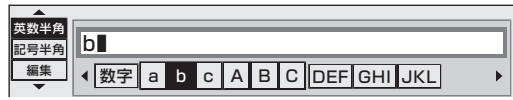
・文字モードの「編集」内の各キーは、カラーボタン、戻るボタン、終了ボタンの機能と同じです。

# 文字を入力する

［例］ LAN設定画面で文字入力をする

**1** LAN設定（177ページ）の入力欄で 決定 を押し、ソフトウェアキーボードを表示する

**2** ① で、文字モードを選ぶ

② で文字グループを選び、決定 を押す

- 選んだ文字グループが展開されます。

**3** で入力する文字を選び、決定 を押す

- キーボード内入力欄に決定した文字が表示されます。

- 続けて手順**2**〜**3**を行い、文字を入力します。

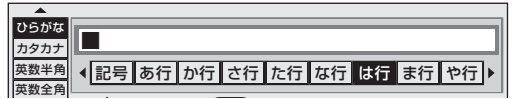
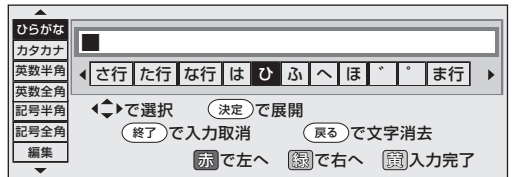
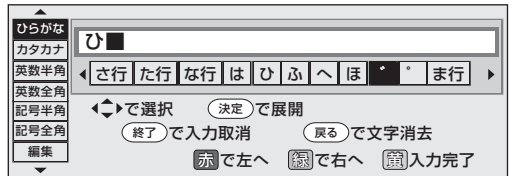
**4** 黄 を押し、入力を完了する

- LAN設定画面の入力欄に、完了した文字列が表示され、ソフトウェアキーボードが消えます。

# だく点「゛」や半だく点「゜」を付ける

［例］「び」を入力する

**1** ① で文字モード「ひらがな」を選ぶ

② で「は行」を選び、決定 を押す

**2** で「ひ」を選び、決定 を押す

**3** で「゛」を選び、決定 を押す

- 「゜」を選んで決定ボタンを押すと、「ぴ」になります。

# スペースを入力する

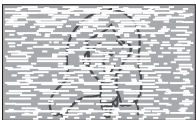
で文字グループから「空白」を選び、決定 を押す

- 文字モードにより、半角スペースと全角スペースがあります。

- 入力中に文字を消去する場合は、カラーボタン赤（左へ）または緑（右へ）でカーソルを移動し、戻るボタンを押します。
- 入力をやめる場合は、終了ボタンを押します。入力をすべて取り消し、ソフトウェアキーボードが消えます。

# 文字を入力する（ソフトウェアキーボード）（つづき）

## 入力文字の種類

### 入力文字一覧表

| 文字モード | 文字グループ（展開表示） |
|---|---|

**ひらがな**

記号 ｜ あ行 ｜ か行 ｜ さ行 ｜ た行 ｜ な行 ｜ は行 ｜ ま行 ｜ や行 ｜ ら行 ｜ わ行 ｜ 空白

| 記号 | ー、。・「」ー(全角ハイフン) | あ行 | あいうえおぁぃぅぇぉ | か行 | かきくけこ ゛ |
|---|---|---|---|---|---|
| さ行 | さしすせそ ゛ | た行 | たちつてとっ ゛ | な行 | なにぬねの |
| は行 | はひふへほ ゛゜ | ま行 | まみむめも | や行 | やゆよゃゅょ |
| ら行 | らりるれろ | わ行 | わをんゎ | 空白 | （全角スペース） |

**カタカナ**

記号 ｜ ア行 ｜ カ行 ｜ サ行 ｜ タ行 ｜ ナ行 ｜ ハ行 ｜ マ行 ｜ ヤ行 ｜ ラ行 ｜ ワ行 ｜ 空白

| 記号 | ー、。・「」ー(全角ハイフン) | ア行 | アイウエオァィゥェォ | カ行 | カキクケコ ゛ |
|---|---|---|---|---|---|
| サ行 | サシスセソ ゛ | タ行 | タチツテトッ ゛ | ナ行 | ナニヌネノ |
| ハ行 | ハヒフヘホ ゛゜ | マ行 | マミムメモ | ヤ行 | ヤユヨャュョ |
| ラ行 | ラリルレロ | ワ行 | ワヲンヮ | 空白 | （全角スペース） |

**英数半角**

数字 ｜ ABC ｜ DEF ｜ GHI ｜ JKL ｜ MNO ｜ PQRS ｜ TUV ｜ WXYZ ｜ 空白

| 数字 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 | ABC | a b c A B C | DEF | d e f D E F |
|---|---|---|---|---|---|
| GHI | g h i G H I | JKL | j k l J K L | MNO | m n o M N O |
| PQRS | p q r s P Q R S | TUV | t u v T U V | WXYZ | w x y z W X Y Z |
| 空白 | （半角スペース） | | | | |

**英数全角**

「英数半角」と同じ文字を全角で入力できます。

**記号半角**

@ . , : ｜ ; _ − ¥ ｜ $%!? ｜ &#+* ｜ =/ ¦ ~ ｜ "' ^ ` ｜ ( ) <> ｜ [ ] { } ｜ 空白

<table>
<tr><td>@ . , :</td><td>@ . , :</td><td>; _ − ¥</td><td>; _ − ¥</td><td>$ % ! ?</td><td>$ % ! ?</td></tr>
<tr><td>&#+*</td><td>& # + *</td><td>=/|~</td><td>= / | ~</td><td>"' ^ `</td><td>" ' ^ `</td></tr>
<tr><td>( )<></td><td>( ) < ></td><td>[ ]{ }</td><td>[ ] { }</td><td>空白</td><td>（半角スペース）</td></tr>
</table>

**記号全角**

「記号半角」と同じ文字を全角で入力できます。（※半角時の ˜ は、全角時 ￣ となります。）

**編集**

入力取消 ｜ 左へ ｜ 右へ ｜ 入力完了 ｜ 文字消去

※入力文字ではありません。各キーを選び決定ボタンを押すと、カラーボタン、戻るボタン、終了ボタンの操作と同じ働きをします。

# 情報ページ

ページ

# 故障かな？と思ったら

■ つぎのような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。
なお、アフターサービスについては**193**ページをご覧ください。

| | こんなときに | ここをお確かめください | ページ |
|---|---|---|---|
| 全般 | 映像も音声も出ない | ・電源プラグがコンセントから抜けていませんか。<br>・電源が「切」の状態になっていませんか。<br>・テレビ（地上アナログ放送、CATV）やデジタル放送を見たいのに、ビデオ入力などに切り換えられていませんか。 | 35<br>36<br>103 |
| | リモコンが動作しない | ・乾電池の極性（⊕、⊖）が逆になっていませんか。<br>・リモコンの乾電池が消耗していませんか。<br>・リモコンはリモコン受光部に向けてお使いください。 | 23 |
| | 映像は出るが音声が出ない | ・音量調整が最小になっていませんか。<br>・「消音」状態になっていませんか。<br>・ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグが差し込まれたままになっていませんか。<br>・入力4端子設定が「モニター出力（可変）」に設定されていませんか。「モニター出力（固定）」にしてください。<br>・D映像・S映像端子は映像用です。これらを使用するときは、音声端子も接続してください。 | 22<br>22<br>20<br>114<br>102 |
| | 音声は出るが映像が出ない | ・映像オフが「する」になっていませんか。 | 152 |
| | 色がうすい<br>色あいが悪い | ・色の濃さ、色あいは正しく調整されていますか。 | 151 |
| | 特定のチャンネルだけ映らない | ・チャンネルの受信微調整がズレていませんか。 | 54･55 |
| | 画面が大きくなったり、小さくなったりする | ・オートワイド機能が「する」になっていませんか。設定を「しない」に変更してください。 | 146 |
| アンテナ | 映像が出ず雑音のみ出る | ・アンテナ線が外れたり、ショートしたりしていませんか。<br>・アンテナ線は正しく接続されていますか。 | 32〜34 |
| | 画像にはん点が出る | ・自動車、電車、ネオンなどからの雑音電波を受けていませんか。アンテナをできるだけ道路やネオンなどから離れた場所に立ててください。 | 17 |
| | 映像が二重になる（ゴースト） | ・近くに山や大きな建物・樹木がある場合、それらの反射電波の影響も考えられます。<br>アンテナの向きや高さを変えてみてください。<br>・GR設定を行ってみてください。 | –<br>76 |
| | 色じま模様が出る | ・近所のテレビからの妨害電波を受けていませんか。アンテナの向きや高さを調整すれば、妨害をある程度少なくすることができます。<br>・付属のアンテナケーブルを使用していますか。古いケーブルは使わないでください。 | –<br>10･32 |
| | 雪が降っているような画面になる | ・アンテナ線は正しく接続されていますか。<br>・屋外アンテナ線が切れたり、外れたりしていませんか。<br>・アンテナの向きが変わったり、アンテナがこわれたりしていませんか。<br>・平行フィーダー線の場合、本機から線をできるだけ離してみてください。 | 32〜34<br>–<br>–<br>32 |

| | こんなときに | ここをお確かめください | ページ |
|---|---|---|---|
| デジタル放送関係 | 映像も音声も出ない | •アンテナ電源が「切」になっていませんか。<br>•映像、音声のない放送ではありませんか。<br>•ビデオ入力などに切り換えられていませんか。<br>•B-CASカードは正しく挿入されていますか。 | 64<br>–<br>103<br>57 |
| | 画面に四角のノイズ（モザイク）が出る | •アンテナの向きがズレていませんか。<br>•アンテナレベル（信号強度）を確認してください。<br>•アンテナの前方に障害物はありませんか。<br>•アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。 | –<br>65<br>–<br>32〜34 |
| | WOWOWやスターチャンネルなどの有料放送が視聴できない | •B-CASカードは正しく挿入されていますか。<br>•有料放送を視聴するための契約はしていますか。<br>•電話回線の接続や設定は正しくされていますか。 | 57<br>40<br>66·68 |
| | 110度CSデジタル放送が受信できない | •アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。<br>•ブースターや分配器等をご使用になっている場合は、110度CS帯域（2150MHz）まで対応した機器に交換する必要があります。 | 34 |
| | 地上デジタル放送が受信できない | •お住まいの地域で地上デジタル放送は開始されていますか。<br>•地上デジタル放送の受信に必要なUHFアンテナが正しく設置されていますか。<br>•アンテナ線は正しく接続されていますか。<br>•お住まいの都道府県を地域選択で正しく設定していますか。<br>•チャンネル設定は正しくされていますか。 | –<br>41<br>32·33<br>58<br>60 |
| | 画面にノイズが出る | •VHF/UHFのアンテナケーブルがBS·110度CSアンテナケーブルと接近していませんか。 | – |
| | 特定のチャンネルだけ映らない | •契約していない有料放送ではありませんか。<br>•アンテナレベル（信号強度）を確認してください。 | 40<br>65 |
| | 電子番組表（EPG）が表示されない<br>電子番組表（EPG）に表示されない番組がある | •地上デジタル放送の場合、視聴していないチャンネルは、電子番組表に情報が表示されません。番組表取得設定を「する」に設定すると、リモコンで電源「切」（待機状態）にしたときに各放送チャンネルの番組表情報を取得します。<br>•電源を「入」にした後、最初に番組表を表示するときは、番組表データの受信に時間がかかります。しばらくお待ちください。 | 84<br>– |
| | ビデオコントローラーでの録画予約ができない | •ビデオコントローラーは正しく接続されていますか。<br>•ビデオ連動録画設定は正しく設定されていますか。 | 110<br>111 |
| | 番組の予約をしても受信できない | •契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組などを予約していませんか。 | – |
| その他 | i.LINK接続されない | •接続先の機器の電源は入っていますか。<br>•i.LINKケーブルが外れていませんか。<br>•接続先はD-VHSビデオデッキ·AV-HDDレコーダー·Blu-ray Discレコーダー·HDV方式ハイビジョンビデオカメラですか。本機はD-VHSビデオデッキ·AV-HDDレコーダー·Blu-ray Discレコーダー·HDV方式ハイビジョンビデオカメラのみ接続が可能です。 | –<br>118<br>118 |

## ■ 停電時に設定保持している項目と設定解除される項目

•テレビにおける設定内容（メニュー内設定項目、音量など）は保持されます。
•番組予約（視聴予約／録画予約）が、予約動作開始時刻を経過しているときは消去されます。
•停電前が下記の状態のものは解除されます。
·静止　·オフタイマー　·消音（消音ボタンによる）　·デジタル固定　·映像オフ　·2画面

次ページへつづく

### 温度上昇時のお知らせ表示について

表示内容：

・画面の右下に「モニター温度」の文字が点滅表示されます。さらに温度が上昇すると、自動的に電源待機状態になります。

処置のしかた：

・温度が上昇して電源待機状態になったときは、ふだんどおりリモコンなどで電源を入れなおすことができますが、温度が上昇した原因を取り除かないと、またすぐに電源待機状態になります。
・本機の設置状態や場所が、温度が上がりやすい状態にないかご確認ください。本機背面に空いている通風孔がふさがれていると、温度が上がりやすくなります。
・本機の内部や通風孔にホコリがたまっていると、内部の温度が上がりやすくなります。外部から取り除けるホコリはこまめに取り除いてください。内部のホコリの除去については、お買い上げの販売店にご相談ください。

---

### デジタル放送の受信ができなくなったり、リモコンや本体ボタンの操作ができなくなるなど、正常に動作しないときは

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。こんなときは本体天面の電源スイッチで電源を「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いて1分間ほど放置した後、再度差し込み、動作を確認してください。

---

### このようなときも故障ではありません

**ときどき「ピシッ」と音がする**

- 温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。
  性能その他に影響はありません。

**BS・110度CS共用アンテナへの積雪や豪雨などによる一時的な映像障害**

- 衛星放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合にはまったく受信できなくなることがあります。これは気象条件によるもので、アンテナや本機の故障ではありません。
- 春分や秋分の前後20日程度は人工衛星が地球の陰（食）になるため、深夜一時的に電波が止まる場合があります。

**リモコンで電源を切った後に、ときどき「カチッ」と音がする**

本機の電源が待機状態のときでも、つぎの場合は動作している音が数回鳴ることがあります。

- デジタル放送の録画予約を実行している場合
- ダウンロードをしている場合
- 有料放送の契約情報を取得している場合
- 有料放送の課金情報を送信している場合
- 地上デジタル放送の電子番組表（EPG）の情報を取得している場合

# デジタル放送の注意文など

■B-CASカードや放送の受信・視聴に関するエラーメッセージ

| 画面に表示されるエラーメッセージ例 | エラーコード | 対処のしかた | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| B-CASカードを正しく装着してください。 | | B-CASカードを正しく挿入してください。装着してある場合は、挿入しなおしてください。 | 57 |
| このB-CASカードは使用できません。<br>ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。 | ＊＊＊＊ | B-CASカードを抜き差ししてみてください。それでもエラーが表示される場合は、B-CASカスタマーセンターおよびご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。 | 57 |
| このカードは使用できません。<br>正しいB-CASカードを装着してください。 | ＊＊＊＊ | 専用のB-CASカードを挿入してください。 | 57 |
| このチャンネルは契約されていません。<br>ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。 | ＊＊＊＊ | ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。 | – |
| このB-CASカードには必要な情報が有りません。<br>ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。 | ＊＊＊＊ | ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。 | – |
| 放送チャンネルではないため、視聴できません。 | **E200** | このチャンネル(番組)は視聴できません。 | – |
| 天候の影響やアンテナの接続状況などにより、受信状態が悪くなっています。 | **E201** | 天気の回復をお待ちください。 | – |
| アンテナ信号レベルが強すぎて、受信状態が悪くなっています。信号レベルを調整してください。 | **E201** | アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の挿入が必要です。販売店などにご相談ください。 | – |
| アンテナ信号レベルが強すぎて放送が受信できません。信号レベルを調整してください。 | **E202** | アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の挿入が必要です。販売店などにご相談ください。 | – |
| 放送が受信できません。アンテナの接続状況や調整をご確認ください。 | **E202** | アンテナ線を確認してください。<br>アンテナの設定が合っているか確かめてください。 | 32・34<br>64 |
| 現在放送されていません。番組表などで放送時間を確認してください。 | **E203** | 番組表などで放送時間を確かめてください。 | – |
| ○○○チャンネルが見つかりません。<br>番組表などでチャンネルを確認してください。 | **E204** | 番組表などでチャンネルを確かめてください。 | – |
| アンテナ線がショートしているか、接続状況や設定に不具合があります。本体の電源を切ってから、アンテナとの接続を確認してください。 | **E209** | 本体の電源を切り、アンテナとの接続を確認してから電源を入れなおしてください。 | 32・34 |
| ○○○チャンネルのサービスは、この受信機では受信できません。 | **E210** | 選局されたチャンネルとは別のチャンネルを選局してください。 | – |
| 契約期限が切れています。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。 | ＊＊＊＊ | ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。 | – |
| このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。 | ＊＊＊＊ | ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。 | – |
| 受け付け時間を過ぎていますので購入できません。 | ＊＊＊＊ | 番組の冒頭の限られた時間しか購入できない番組もあります。 | – |
| 電話回線を接続の上、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。 | ＊＊＊＊ | 電話回線の接続を確認のうえ、B-CASカードを抜き差ししてください。<br>ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。 | 57・66 |
| データの通信に失敗しました。 | **E301** | 電話回線の接続を確認して、メニューの「通信設定」を正しく行ってください。 | 66・68 |
| データが受信できません。 | **E400** | 現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。 | – |
| 対象地域外のため、データを表示できません。 | **E401** | 現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。 | – |
| この受信機では、データを表示できません。 | **E401** | 現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。 | – |
| データの表示に失敗しました。 | **E402** | 現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。 | – |



次ページへつづく

## ■i.LINKに関する注意文

| 注意文 | 内容・対処のしかた |
|---|---|
| 現在選択している機器では正常に録画／再生できない可能性があります。 | 本機が対応していない機器、あるいはDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載していない機器を選択したときに表示されます。 |
| i.LINK機器の接続が不正か、接続異常が発生しています。取扱説明書をお読みのうえ、接続しなおしてください。 | i.LINKケーブルによる接続が異常なときに表示されます。**119**ページの「接続に関するご注意」をお読みのうえ、接続しなおしてください。 |
| 現在選択している機器は“録画／再生”できない状態です。他の機器から使用中でないか確認してください。 | 選択している機器が、すでに他の機器から使用されているときに表示されます。本機から使用するためには、他の機器を操作する必要があります。 |

## ■ファミリンク録画時のエラーメッセージ

| 画面に表示されるエラーメッセージ | 対処のしかた |
|---|---|
| 録画に失敗しました（S05） | 録画ができないコンテンツ（放送や番組）、または録画ができない録画メディア（HDD/DVDなどの録画媒体）です。コンテンツまたは録画メディアを確認してください。 |
| 録画に失敗しました（S16） | 録画メディアを確認してください。 |
| 録画に失敗しました（S17） | 現在再生中です。再生を停止した後、再度録画を設定してください。 |
| 録画に失敗しました（S18） | 現在録画中のため、あらたに録画できません。 |
| 録画に失敗しました（S19） | 録画メディアが書き込み禁止です。録画メディアを確かめてください。 |
| 録画に失敗しました（S20） | 放送が受信できません。設定が正しく行われているか、確認してください。 |
| 録画に失敗しました（S21） | 録画メディアに録画できません。録画メディアを確かめてください。 |
| 録画に失敗しました（S31） | 録画機器が録画できない状態です。録画機器を確認してください。 |

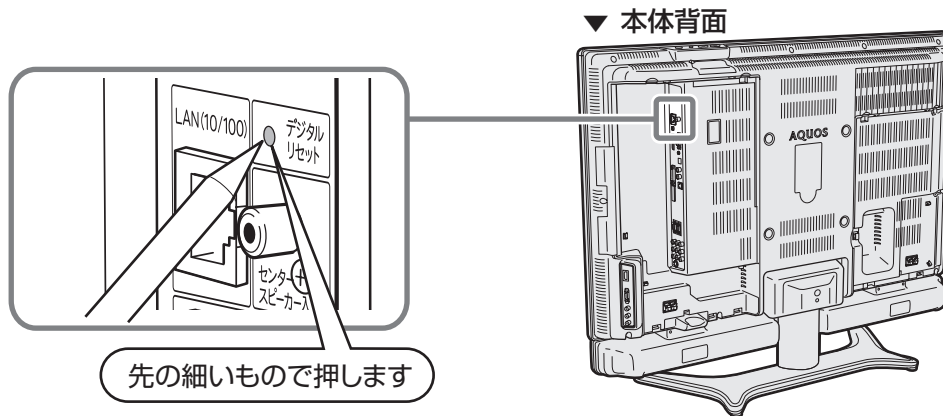
## ■双方向通信に関するエラーメッセージ

| 画面に表示されるエラーメッセージ例 | エラーコード | 対処のしかた | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 番組で指定されたプロバイダへの接続に失敗しました。[C104] | **C104** | 電話回線の接続を確認の上、「電話回線設定」の内容をご確認ください。 | 66·68 |
| 番組で指定されたプロバイダへの接続に失敗しました。[C105] | **C105** | 電話回線の接続を確認の上、「電話回線設定」の内容をご確認ください。 | 66·68 |
| 番組で指定された情報センター※1への接続に失敗しました。[C006] | **C006** | 電話回線の接続を確認の上、「電話回線設定」の内容をご確認ください。 | 66·68 |
| アクセスできませんでした。[C204] | **C204** | ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。 | – |
| サーバー証明書※2が不正のため、アクセスを中断します。[C208] | **C208** | ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。 | – |
| サーバー証明書※2に問題があり、アクセスを中断します。[C209] | **C209** | ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。 | – |
| 双方向サービスを利用するには、双方向サービス設定で電話回線への接続を「禁止しない」を設定してください。 | **** | 双方向サービス設定の電話回線への接続で「禁止しない」を選択してください。 | 176 |
| 登録してあるプロバイダへの接続に失敗しました。電話回線設定を確認してください。 | **** | 電話回線設定を確認してください。 | 68·175 |
| まだルート証明書※3を受信していません。セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？ | **** | アクセスしないことをお勧めします。 | – |
| サーバー証明書※2の信頼性が確認できません。セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？ | **** | アクセスしないことをお勧めします。 | – |
| まだ新しいルート証明書※3を受信していません。セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？ | **** | アクセスしないことをお勧めします。 | – |

※1 情報センター……双方向通信において、お客さまからのデータを受けとるセンター。
※2 サーバー証明書…暗号化通信に使われる暗号鍵。Webサーバーに保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。
※3 ルート証明書……暗号化通信に使われる復号鍵。放送波で伝送され、受信機に保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。

# リセットボタンについて

## デジタルリセットボタン

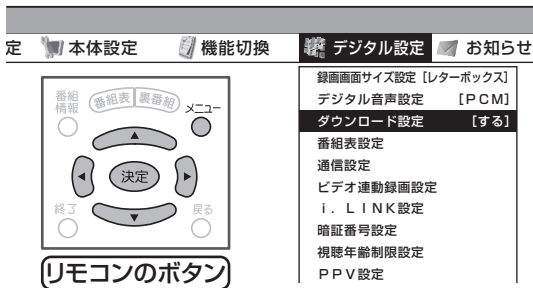
■ 本機を使用中に、強い外来ノイズ（過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けた場合や誤った操作をした場合など、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。このようなときは、本体背面のデジタルリセットボタンを押してから操作をやりなおしてください。

- リセット直後はデータ取込みのため、画面表示には多少時間がかかります。
- 壁かけ設置などで、デジタルリセットボタンが押せない場合は、電源コードの抜き差しをしてください。

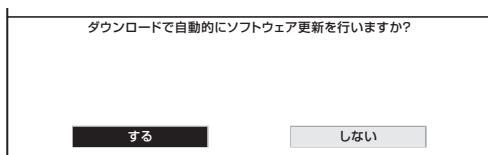
# ダウンロードを行う

■ ダウンロード機能とは、本機内のソフトウェアを書き換えて、機能アップや機能改善等を行うためのもので、その方法には2種類あります。
1つは自動的にダウンロードを行う方法で、もう1つはお客様が必要に応じ、手動でダウンロードを行う方法です。
なお、お買い上げ時は利便性を考えてダウンロードの選択は「自動」に設定されています。

## ダウンロードの可能な環境について

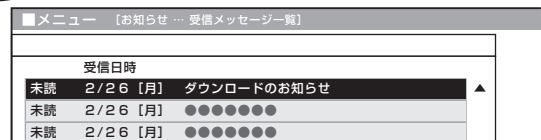
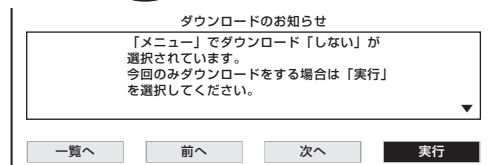
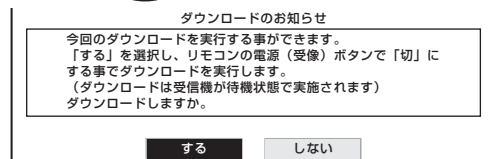
- ダウンロードはBSデジタル放送および地上デジタル放送で実施されます。デジタル放送を直接受信できない環境ではダウンロードできません。
ケーブルテレビのセットトップボックスを利用してデジタル放送を受信している場合もダウンロードできません。

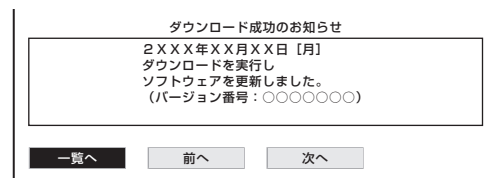
**1** **メニュー画面から「デジタル設定」ー「ダウンロード設定」を選び、決定を押す**

**2** **で「する」または「しない」を選び、決定を押す**

「する」…… 自動ダウンロードでソフトウェアの更新を行います。(工場出荷時の設定)
「しない」… ソフトウェアの自動ダウンロードを行いません。

## 手動でダウンロードを行うとき

- 自動ダウンロードを「しない」に設定した場合、手動でダウンロードを行うことができます。

① メニュー画面から「お知らせ」ー「受信メッセージ一覧」を選び、決定を押す

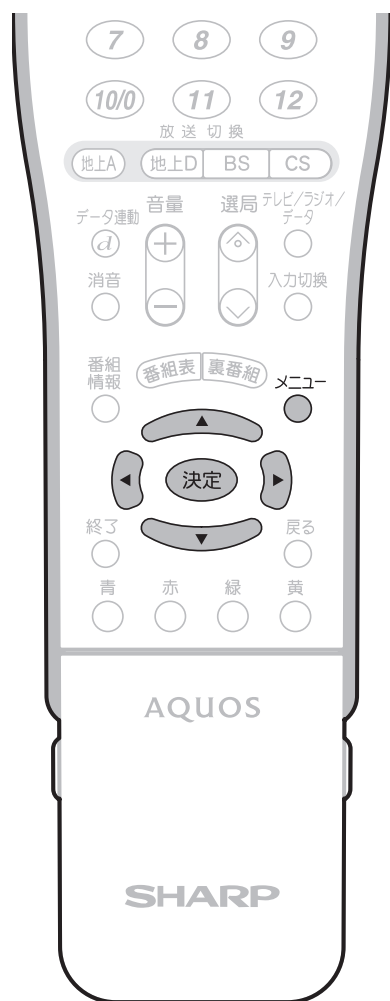
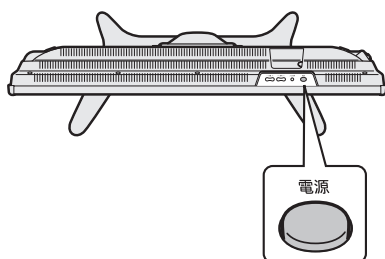
② で「ダウンロードのお知らせ」を選び、決定を押す

③ 画面の表示内容を確認してから、で「実行」を選び、決定を押す

④ 画面の表示内容を確認してから、で「する」を選び、決定を押す



- ダウンロードが成功すると、「お知らせ」の「受信メッセージ一覧」の中に、ダウンロードが成功した旨のメッセージが書き込まれます。
- お知らせを見る場合は、**174**ページ**「お知らせを見る」**の操作を行ってください。

- ソフトウェアの受信(ダウンロード)には、数分程度の時間がかかります。その間は、デジタルリセットボタンの操作、電源プラグの抜き差しを行わないでください。ダウンロードが失敗する場合があります。
- ダウンロードによって、設定内容が工場出荷時の状態に戻ることがあります。その場合は、設定しなおしてください。
- ダウンロードによって、予約の情報がなくなる場合があります。そのときは、再度、予約設定を行ってください。
- **ダウンロードは、本機の電源が待機状態(電源ランプが赤色点灯)のときに実行されます。リモコンの電源ボタン等で、電源待機状態にしてください。**

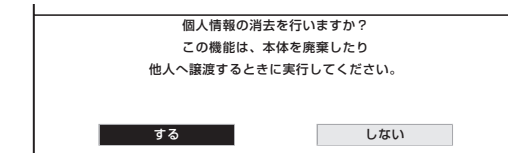
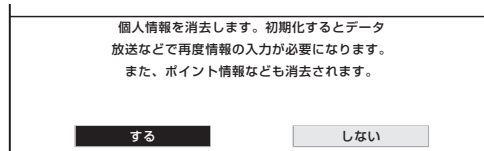
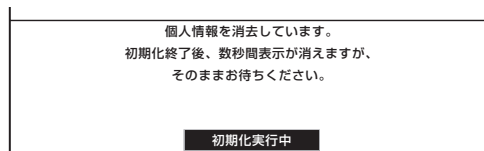
# 本機を譲渡・廃棄するときは

## 個人情報の初期化について

■ 本機には、放送局とデータの送受信を行うために入力した、お客さまの個人情報があります。
本機を他人に譲渡したり、廃棄したりする際には、個人情報の初期化を行い情報を消去してください。

● お客さまが設定した情報内容(チャンネル設定、予約、各調整値、LAN設定、暗証番号など)がすべて初期化されます。

▼本体天面

データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客さまの登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

**1** メニュー画面から「本体設定」ー「個人情報初期化」を選び、決定を押す

**2** ◀▶で「する」を選び、決定を押す

**3** ◀▶で「する」を選び、決定を押す

- 表示が「初期化実行中」(点滅)に変わります。
初期化には、しばらく時間がかかります。

- 初期化が終了すると、画面が数秒間消え、メニューが解除されます。

**4** 本体天面操作部の電源を押し、電源を切る

# メニュー項目一覧

映像調整※1 ※2
明るさセンサー
切、入、入:表示あり
明るさ
−16〜標準〜+16
映像
0〜+40
黒レベル
−30〜0〜+30
色の濃さ
−30〜0〜+30
色あい ※3
−30〜0〜+30
画質
−10〜0〜+10
プロ設定
リセット
する、しない
カラーマネージメント−色相
カラーマネージメント−彩度
カラーマネージメント−明度
色温度
高、高−中、中、中−低、低
ディテール強調
0〜+15
アクティブコントラスト
する、しない
I／P設定
動画より、静止画より
フィルムモード※4※19
する、しない
3次元設定
標準、動画より、静止画より
モノクロ
する、しない
明るさセンサー設定
最大値設定:−16〜0〜+16、最小値設定:−16〜0〜+16
R
−30〜0〜+30
Y
−30〜0〜+30
G
−30〜0〜+30
C
−30〜0〜+30
B
−30〜0〜+30
M
−30〜0〜+30
リセット
音声調整※1 ※2 ※6 ※7
高音
−15〜0〜+15
低音
−15〜0〜+15
バランス
左30〜中央〜右30
サラウンド※8
切、入
リセット
する、しない
省エネ設定
無信号オフ
する、しない
無操作オフ
する、しない
オフタイマー
残り××時間××分、0時間30分、1時間00分、1時間30分、2時間00分、2時間30分、しない
本体設定
地域設定※5
チャンネル設定 ※5※18
アンテナ設定 ※9
スピーカー設定※6※7
入力スキップ設定
入力表示選択 ※11※12
位置調整
オートワイド※13
映像反転
クイック起動設定
Language（言語設定）
個人情報初期化
地域選択
郵便番号設定
地域／都道府県選択画面
郵便番号設定画面
地上アナログ
地上デジタル※9
BSデジタル※9
CSデジタル※9
デジタル登録※9
する、しない
自動
する、しない
追加
する、しない
地域番号
する、しない
個別
する、しない
自動
する、しない
追加
する、しない
個別
電源・受信強度表示
電源連動、入、切
周波数設定
周波数設定画面
信号テスト−地上D
地上D信号テスト画面
信号テスト−BS
BS衛星信号テスト画面
信号テスト−CS
CS衛星信号テスト画面
音質補正
する、しない
視聴環境設定※10
ユーザー選択
標準、個別設定
部屋の種類
洋室、寝室、和室
設置場所
壁寄せ、コーナー置き
入力5（HDMI1）
する、しない
入力6（HDMI2）
する、しない
入力7（DVI）
する、しない
入力1、入力2、入力3、入力4、ビデオ1、ビデオ2、ビデオ3、ビデオ4、
ビデオ、コンポーネント1、コンポーネント2、コンポーネント3、コンポーネント、D端子1、D端子2、D端子3、D端子、
CATV、CS、DVD、ゲーム、ムービー、D-VHS、HDD、DVR、BD、ユーザー設定
水平位置
−10〜0〜+10
垂直位置
−20〜0〜+20
リセット
映像判別
する、しない
S2対応 ※14
する、しない
D端子識別 ※15
する、しない
しない、左右反転、上下反転、上下左右
しない、する（常に有効）、する（2時間のみ有効）
日本語、English
する、しない
機能切換
ファミリンク設定
3次元ノイズリダクション ※17
しない、強、弱
MPEGノイズリダクション ※17
しない、強、弱
入力選択 ※11※12
自動、D端子、S端子、ビデオ映像
入力4端子設定
モニター出力（固定）、モニター出力（可変）※8、入力
QS駆動
する、しない
センタースピーカー入力 ※7
する、しない
デジタル固定 ※5※9
する、しない
字幕表示設定 ※5※18
する、しない
番組名表示設定 ※5
する、しない
映像オフ
する、しない
連動起動設定
する、しない
録画機器選択
入力5、入力6
ジャンル連動設定 ※16
する、しない

## デジタル設定

- 録画画面サイズ設定 ※5※18：レターボックス、スクイーズ
- デジタル音声設定 ※5※18：PCM、AAC
- ダウンロード設定 ※5：する、しない
- 番組表設定 ※5
  - 番組表取得設定：する、しない
  - 表示範囲設定：拡大、広角
  - ジャンルアイコン設定：標準、薄く、注目
- 通信設定 ※5
  - 電話回線設定ー自動
  - 電話回線設定ー手動
    - 電話回線種別：20pps、10pps、トーン
    - 外線発信番号：なし、あり
    - ダイヤルトーン検出：する、しない
  - 電話会社設定
    - 発信者番号通知：設定しない、186、184
    - 事業者番号
    - 解除番号設定：する、しない
  - LAN設定
    - IPアドレス設定
    - DNSアドレス設定
    - プロキシサーバー設定
    - 詳細設定
- ビデオ連動録画設定 ※5※18 → ビデオ連動録画設定画面
- i.LINK設定
  - i.LINK自動切換：する、しない
  - 録画モード設定：する、しない
  - 電源待機設定：する、しない
- 暗証番号設定 ※5 → 暗証番号設定画面
- 視聴年齢制限設定 ※5 → 無制限、XX歳以下
- PPV設定 ※5
  - PPV 制限：する、しない
  - 購入金額制限：無制限、XXX00円以上
- 双方向サービス設定 ※5 → 電話回線を禁止する、電話回線とLAN接続を禁止する、禁止しない
- システム動作テスト ※5 → システム動作テスト画面

## お知らせ

- 受信メッセージ一覧 → 受信メッセージ一覧画面
- ボード ※9※18 → ボード画面
- 受信機レポート → 受信機レポート画面
- B-CASカード番号表示 → B-CASカード番号表示画面
- PPV購入履歴 → PPV購入履歴表示画面

※1　AVポジションごとに設定できます。また、AVポジションごとに工場出荷時の設定が異なります。
※2　AVポジションが「ダイナミック（固定）」になっているときは設定できません。
※3　「プロ設定」の「モノクロ」が「する」に設定されているときは選択できません。
※4　プログレッシブ信号入力時には選択できません。
※5　テレビ視聴時のみ表示されます。
※6　ヘッドホンが挿入されているときは選択できません。
※7　「入力4端子設定」が「モニター出力（可変）」に設定されているとき、または「AQUOSサラウンドで聞く」に設定されているときは選択できません。
※8　センタースピーカー入力が「する」に設定されているときは選択できません。
※9　アナログ放送視聴時は選択できません。
※10「スピーカー設定」の「音質補正」が「しない」に設定されているときは設定できません。
※11 入力1～7選択時のみ表示され、それぞれで設定できます。
※12 現在選択されている入力により、表示項目が異なります。
※13 デジタル放送視聴時には選択できません。
※14 入力4選択時のみ表示されます。
※15 入力1・2・3選択時のみ表示されます。
※16 ファミリンク対応のAQUOSサラウンドが接続されていないときは選択できません。
※17 各入力系統で設定できます。
※18 録画予約実行中およびデジタル固定中は選択できません。
※19 AVポジションが「ゲーム」のときは選択できません。

- 条件によりメニュー項目に⃠マークがつき、灰色で表示される場合がありますが、その項目は選択することができません。



次ページへつづく

# メニュー項目一覧(つづき)

## 入力5、入力6または入力7選択時のメニュー項目一覧

### 映像調整※1 ※2

| 項目 | 設定 |
|---|---|
| 明るさセンサー | 切、入、入:表示あり |
| 明るさ | −16~標準~+16 |
| 映像 | 0~+40 |
| 黒レベル | −30~0~+30 |
| 色の濃さ | −30~0~+30 |
| 色あい ※3 | −30~0~+30 |
| 画質 | −10~0~+10 |
| プロ設定 | → 下記 |
| リセット | する、しない |

プロ設定

| 項目 | 設定 |
|---|---|
| カラーマネージメント−色相 | → 下記 |
| カラーマネージメント−彩度 | → 下記 |
| カラーマネージメント−明度 | → 下記 |
| 色温度 | 高、高−中、中、中−低、低 |
| ディテール強調 | 0~+15 |
| アクティブコントラスト | する、しない |
| I/P設定 | 動画より、静止画より |
| フィルムモード ※4※22 | する、しない |
| モノクロ | する、しない |
| 明るさセンサー設定 | 最大値設定:−16~0~+16、最小値設定:−16~0~+16 |

カラーマネージメント−色相/彩度/明度

| 項目 | 設定 |
|---|---|
| R | −30~0~+30 |
| Y | −30~0~+30 |
| G | −30~0~+30 |
| C | −30~0~+30 |
| B | −30~0~+30 |
| M | −30~0~+30 |
| リセット | |

### 音声調整※1 ※2 ※6 ※7

| 項目 | 設定 |
|---|---|
| 高音 | −15~0~+15 |
| 低音 | −15~0~+15 |
| バランス | 左30~中央~右30 |
| サラウンド ※8 | 切、入 |
| リセット | する、しない |

### 省エネ設定

| 項目 | 設定 |
|---|---|
| 無信号オフ ※19 | する、しない |
| パワーマネージメント ※20 | しない、モード1、モード2 |
| 無操作オフ | する、しない |
| オフタイマー | 残り××時間××分、0時間30分、1時間00分、1時間30分、2時間00分、2時間30分、しない |

### 本体設定

| 項目 | 設定 |
|---|---|
| スピーカー設定 ※6※7 | 音質補正:する、しない<br>視聴環境設定※10 → ユーザー選択:標準、個別設定/部屋の種類:洋室、寝室、和室/設置場所:壁寄せ、コーナー置き |
| 入力スキップ設定 | 入力5(HDMI1):する、しない<br>入力6(HDMI2):する、しない<br>入力7(DVI):する、しない |
| 入力解像度 ※20 | 1024×768、1360×768 |
| 自動同期調整 ※20 | する、しない |
| 入力表示選択 ※11※12 | (自動)入力5、(自動)入力6、入力5、入力6、入力7、ビデオ5、ビデオ6、ビデオ7、ビデオ、HDMI、HDMI1、HDMI2、DVI-I、DVD、DVR、HDD、BD、PC、ユーザー設定 |
| 位置調整 ※19 | 水平位置:−10~0~+10<br>垂直位置:−20~0~+20<br>リセット |
| 画面調整 ※20 | 水平位置:0~180<br>垂直位置:0~100<br>クロック周波数 ※21:0~180<br>クロック位相 ※21:0~40<br>リセット |
| オートワイド ※19 | 映像判別:する、しない<br>HDMI識別:する、しない |
| 映像反転 | しない、左右反転、上下反転、上下左右 |
| クイック起動設定 | しない、する(常に有効)、する(2時間のみ有効) |
| Language(言語設定) | 日本語、English |
| 個人情報初期化 | する、しない |

### 機能切換

| 項目 | 設定 |
|---|---|
| ファミリンク設定 | 連動起動設定:する、しない<br>録画機器選択:入力5、入力6<br>ジャンル連動設定 ※16:する、しない |
| 3次元ノイズリダクション※17 | しない、強、弱 |
| MPEGノイズリダクション※17 | しない、強、弱 |
| 入力選択 ※20 | 自動、デジタル、アナログ |
| 入力4端子設定 | モニター出力(固定)、モニター出力(可変)、入力 |
| QS駆動 | する、しない |
| センタースピーカー入力※7 | する、しない |
| 映像オフ | する、しない |

### デジタル設定

| 項目 | 設定 |
|---|---|
| i.LINK設定 | i.LINK自動切換:する、しない |

### お知らせ

| 項目 | 設定 |
|---|---|
| 受信メッセージ一覧 | 受信メッセージ一覧画面 |
| ボード※18 | ボード画面 |
| 受信機レポート | 受信機レポート画面 |
| B-CASカード番号表示 | B-CASカード番号表示画面 |
| PPV購入履歴 | PPV購入履歴表示画面 |

※1~18 **191**ページをご覧ください。
※19 入力5または入力6選択時のみ表示されます。
※20 入力7選択時のみ表示されます。
※21 PCをアナログ接続しているときのみ表示されます。
※22 AVポジションが「ゲーム」のときは選択できません。
• 条件によりメニュー項目に⃠マークがつき、灰色で表示される場合がありますが、その項目は選択することができません。

# 保証とアフターサービス よくお読みください

## 保証書(別添)

■ 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

■ **保証期間**
お買いあげの日から1年間です。
保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
※本機を分解すると、保証が無効になります。

## 使い方や修理のご相談など

■ 修理・使い方・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、及び万一、製品による事故が発生した場合は、お買い上げの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。

**【お客様相談センター】**

携帯・PHS OK **0120 - 001 - 251**
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

※詳細は、取扱説明書の裏表紙をご確認ください。

## 補修用性能部品の保有期間

■ 当社は、液晶カラーテレビの補修用性能部品を、製品の製造打切後、8年保有しています。
■ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理を依頼されるときは 出張修理

■「故障かな?と思ったら」(**182**ページ)を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

### ご連絡していただきたい内容

- 品　　名:液晶カラーテレビ
- 形　　名:LC-37GS10/LC-37GS20
- お買いあげ日(年月日)
- 故障の状況(できるだけくわしく)
- ご　住　所(付近の目印も合わせてお知らせください)
- お　名　前
- 電話番号
- ご訪問希望日

### 便利メモ

お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

| お買いあげ日 | 販売店名 |
|---|---|
| 年　月　日 | 電話(　　)　　― |

### 保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

### 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

### 修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

| 技術料 | 故障した製品を正常に修復するための料金です。 |
|---|---|
| 部品代 | 修理に使用した部品代金です。 |
| 出張料 | 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。 |

### 愛情点検

●長年ご使用のテレビの点検をぜひ!（熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。）

**このような症状はありませんか**

●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
●上下、または左右の映像が欠けて映る。
●映像が時々、消えることがある。
●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
●内部に水や異物が入った。

**ご使用中止**

**故障や事故防止のため、スイッチを切りコンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。**

**ちょっとした心づかいでテレビの安全**

# おもな仕様

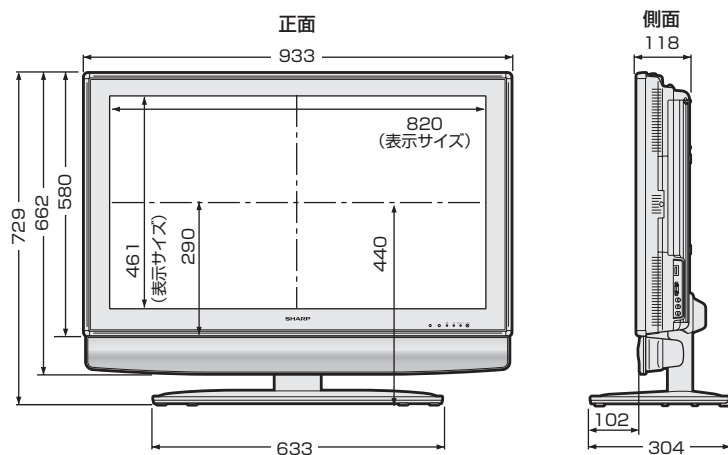
| 品名 | | 液晶カラーテレビ | |
|---|---|---|---|
| 形名 | | LC-37GS10 | LC-37GS20 |
| 液晶パネル | 画面サイズ | 37V型<br>(横820mm×縦461mm／対角940mm) | |
| | 駆動方式 | TFT(薄膜トランジスタ)アクティブマトリクス駆動方式 | |
| | 画素数 | 1,920(水平)×1,080(垂直)画素 | |
| アンテナ入力 | | VHF/UHF 75Ω不平衡型、BS-IF 75Ω不平衡型 | |
| スピーカー | | 6.5cm 丸形 4個、2.0cm 丸形 2個 | |
| 音声実用最大出力(JEITA) | | 総合20W (10W+10W)、インピーダンス4Ω | |
| 使用電源 | | AC100V・50/60Hz | |
| 消費電力 | | 223W (待機時電力:0.08W、クイック起動「する」時電力:38W) | |
| 年間消費電力 | | ・区分名:BII ・受信機型サイズ:37V<br>・年間消費電力量:198kWh／年[標準時※1] | |
| 接続端子 | | ビデオ入力4系統4端子(入力4はモニター出力／録画出力兼用)、<br>S2映像入力1系統1端子、D4映像入力3系統3端子、HDMI入力2系統2端子、<br>モニター出力1系統1端子(入力4／録画出力兼用・S2映像付き)、DVI-I端子(音声入力端子付き)、<br>デジタル音声出力(光)1系統1端子、センタースピーカー入力端子、<br>ヘッドホン接続端子、AC入力端子、コントロール(RS-232C)端子<br>i.LINK(TS)2端子、録画出力1系統1端子(入力4／モニター出力兼用・S2映像付き)、<br>電話回線端子、LAN端子(10BASE-T/100BASE-TX)、ビデオコントロール端子、<br>アンテナ入力(BS・110度CS)端子、アンテナ入力(VHF・UHF)端子、<br>スピーカー接続端子 | |
| 受信チャンネル | | 地上アナログVHF1〜12ch・UHF13〜62ch、CATV13〜63ch、<br>BSデジタル000〜999ch、110度CSデジタル000〜999ch、<br>地上デジタル(ワンセグを除く)000〜999ch (CATVパススルー対応) | |
| BS・110度CS チャンネル受信仕様 | 変調 | 時分割多重mPSK | |
| | トランスポート | MPEG2 システム | |
| | 映像 | MPEG2 (MP@HL) | |
| | 音声 | MPEG2 AAC | |
| | 限定受信システム | ARIB CASシステム | |
| | 受信周波数帯域 | 11.71GHz〜12.75GHz | |
| | IRD受信周波数帯域 | 1032MHz〜2071MHz | |
| 地上デジタル チャンネル受信仕様 | 変調 | 直交周波数分割多重(OFDM) | |
| | トランスポート | MPEG2 システム | |
| | 映像 | MPEG2 (MP@HL) | |
| | 音声 | MPEG2 AAC | |
| | 限定受信システム | ARIB CASシステム | |
| | 受信周波数帯域 | 93MHz〜767MHz | |
| | CATVパススルー対応 | UHF帯、ミッドバンド(MID)帯、スーパーハイバンド(SHB)帯、VHF帯 | |
| キャビネット | | プラスチック | |
| 外形寸法 | ディスプレイ部のみ | 幅933×奥行118×高さ580(mm) | 幅933×奥行118×高さ580(mm) |
| | スピーカー装着時 | 幅933×奥行118×高さ662(mm) | 幅1109×奥行118×高さ580(mm) |
| | スピーカー、スタンド装着時 | 幅933×奥行304×高さ729(mm) | 幅1109×奥行304×高さ655(mm) |
| 本体質量 | ディスプレイ部のみ | 約20.5kg | 約20.5kg |
| | スピーカー装着時 | 約23.5kg | 約24.0kg |
| | スピーカー、スタンド装着時 | 約27.0kg | 約27.5kg |
| 使用温度 | | 0℃〜40℃ | |

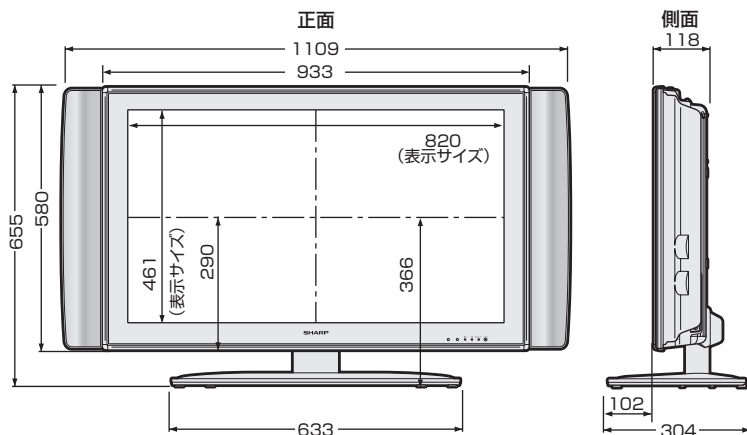
■ 製品改良のため仕様の一部を予告なく変更することがあります。
■ 液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素があります。0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが故障ではありません。
■ JIS C 61000-3-2適合品
JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部:限度値－高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した部品です。
■ 年間消費電力量とは:省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間(4.5時間)を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
■ 年間消費電力量の区分名とは、「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」では、テレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態及び付加機能の有無等に基づいた区分を行なっている。その区分名称を言う。
※1:一般的にご家庭で使用する際のメーカー推奨の映像モード。(本機では、AVポジション「標準」の場合です。)

# 寸法図

## LC-37GS10

（単位：mm）

本体質量約27.0kg

## LC-37GS20

本体質量約27.5kg

# 別売品について

■ 液晶カラーテレビ専用の別売品をとりそろえております。お近くの販売店でお買い求めください。

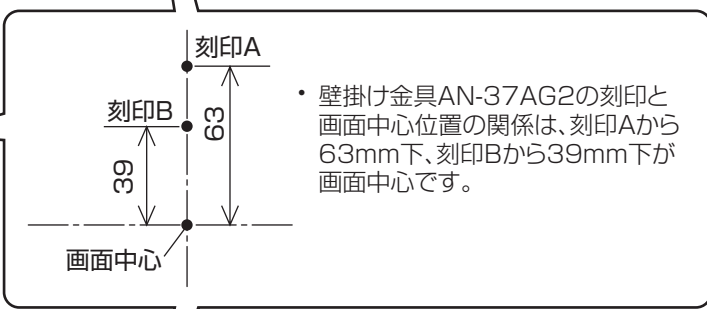
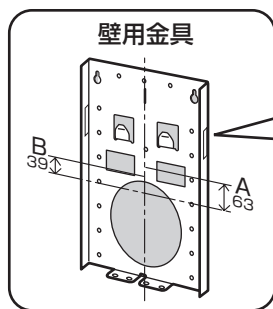
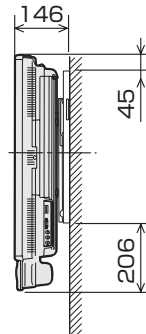
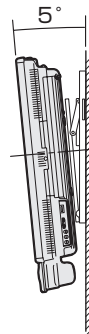
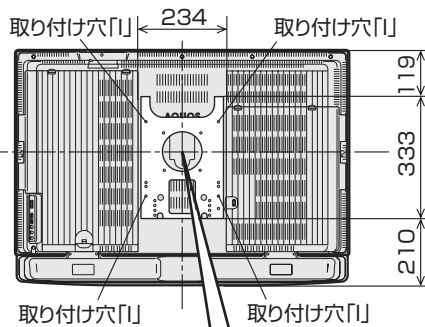
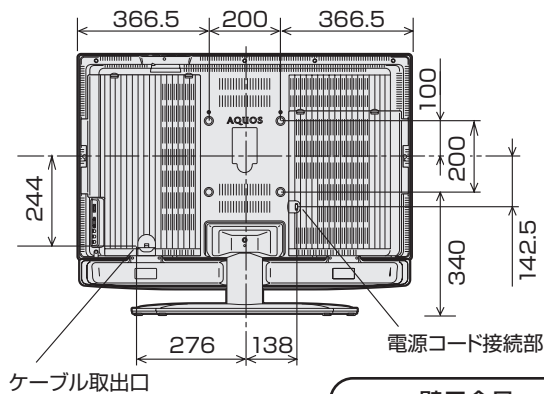
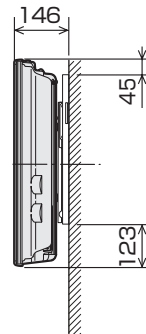
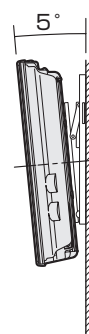
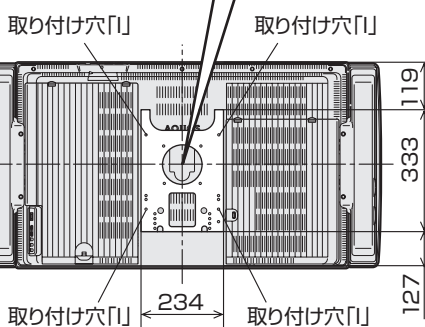
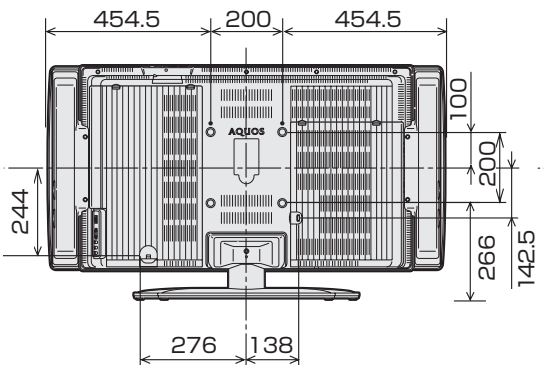
（2007年2月現在）

| No. | 品　名 | 機種名 |
|---|---|---|
| 1 | 壁掛け金具 | AN-37AG2 |
| 2 | アンテナ整合器 | AN-300RF |
| 3 | アンテナ延長ケーブル | AN-C10RF |

| No. | 品　名 | 機種名 |
|---|---|---|
| 4 | AVワイヤレス伝送システム | AN-AV400 |
| 5 | フロアーラック | AN-45FR1 |
| 6 | 壁寄せスタンド | AN-52WS1 |

・本機に適合する別売品が、新しく追加発売になることがありますので、ご購入の際には、最新のカタログで適合性や在庫の有無をご確認ください。

## 壁掛け金具取り付け時の寸法

(単位：mm)

LC-37GS10

■ 本機を別売の壁掛け金具（AN-37AG2）を使って壁掛け設置して使用することができます。その場合は、必ず付属のスタンドを外してください。スタンドの外しかたは**28**ページをご覧ください。
■ 取付け方法など詳しくは、別売品に付属の取扱説明書をご覧ください。

- 液晶カラーテレビの設置には、特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付け工事業者にご依頼ください。お客さまご自身による工事は一切行わないでください。配線工事についても、壁の厚さや強度を事前に確認ください。取付け不備、取扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。

[例] LC-37GS20（サイドスピーカータイプ）を壁掛け設置する

## 1 液晶テレビを設置する壁面のテレビの四隅の位置にテープなどを貼り、テレビの外形寸法の目印をつける

- 水平･垂直の角度は正確にし、寸法は正確に測ってください。
- テープ類は跡が残らないものをご使用ください。

## 2 4ヵ所の目印から対角線を引き、その交点（テレビ画面の中心となる位置）に目印を付ける

（糸を対角線に張り、交点に目印を付けるなど跡が残らないようにします。）

## 3 この目印を参考に壁用金具を壁に取り付ける

- 下記の寸法の数値は目安です。作業状態などにより、異なってきます。

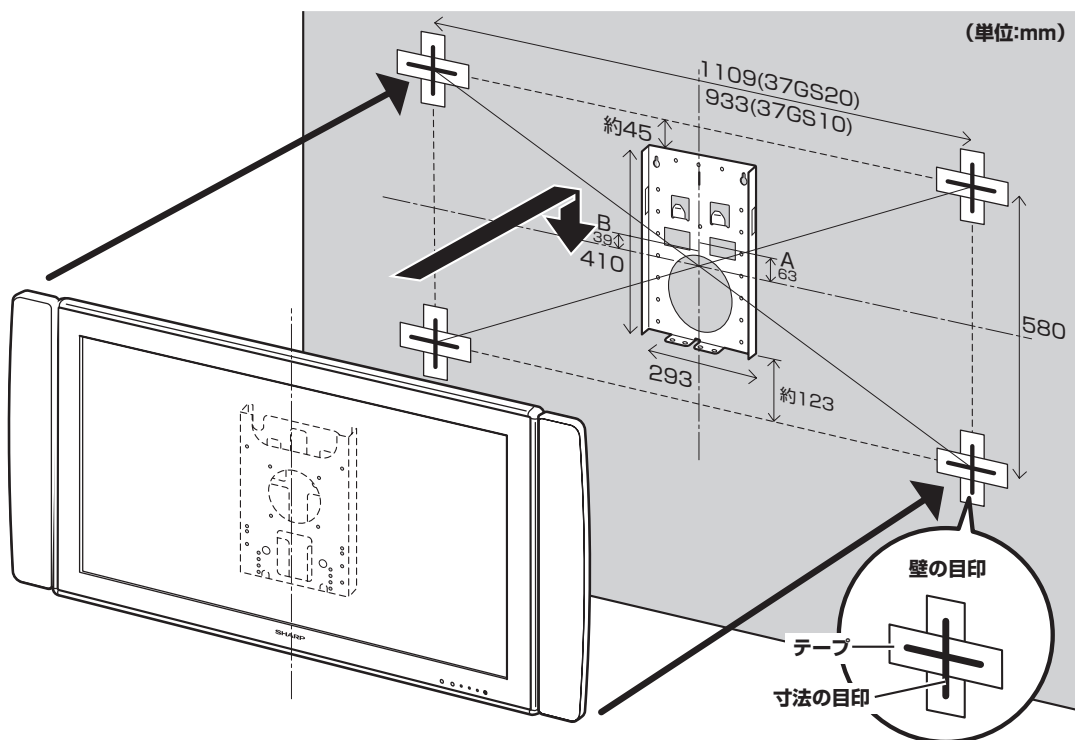
## 4 壁掛け金具ユニットを液晶テレビに取り付けた後、壁面の寸法の目印（テレビの四隅）を目安にして、テレビを壁掛け金具に取り付ける

**本機に取り付ける壁掛け金具（AN-37AG2）について**

- 金具の刻印「A」の位置を本機背面下側の取付け穴に合わせてください。
- 取付けビスは、必ず壁掛け金具（AN-37AG2）に同梱のテレビ取付用ビスⒷ（M6、長さ12mm）をご使用ください。

**取り付け時の角度について**

- 壁に掛けて使う場合の取付け角度は、5度までです。それ以上は傾けないでください。
- 取付け角度を調整するときは、本体をゆっくりと傾けてください。

## 5 目印のテープ類を取り除く

※ 上記の方法はあくまでも参考です。設置環境に合った方法で取付け設置を行ってください。

# 用語の解説（よく使われるテレビ用語です）

■ 1ビットデジタルアンプ

シャープ独自開発の1ビットデジタルアンプ技術は、アナログ信号を内部で１ビットのデジタル信号に変換し、そのまま伝達/増幅を行う技術です。

１秒間に560万回（5.6MHｚ）というCDの約128倍に相当する超高速サンプリングによって、音の分解能を向上させています。

従来のマルチビット信号処理のように、情報の間引きや補完といった音質処理がないため、より原音に近い音で、「音の立ち上がり」の速さや滑らかさを高品位に再現します。より高品位な「11.2MHz」のものもあります。

■ 110度CSデジタル放送

BSデジタル放送の放送衛星（BS）と同じ東経110度に打ち上げられた通信衛星（CS）を利用した新しいデジタル放送です。細かいジャンルに特化した多数の専門チャンネルの中から見たいチャンネルを購入して視聴する仕組みになっています。一部、無料放送もあります。

■ 1125i

走査線1125本、インターレース方式。デジタルハイビジョンの高画質です。

■ 16:9

デジタルハイビジョン放送の画面縦横比です。従来の4：3映像に比べ、視界の広い臨場感のある映像が楽しめます。

■ 525i

走査線525本、インターレース方式。地上アナログ放送（VHF/UHF）やBSアナログ放送と同等の画質です。

■ 525p

走査線525本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンに近い画質です。

■ 750p

走査線750本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンの高画質です。

■ AAC（Advanced Audio Coding）

デジタル放送の信号は大容量のため、圧縮技術が必要ですが、AACは、デジタル音声圧縮方式の1つです。少し未来のデータを予測し圧縮効率を上げる技術を採用しており、高音質であるのにかかわらず、高圧縮、マルチチャンネル化が可能です。

■ B-CASカード（ビーキャスカード）

各ユーザー独自の番号などが記載されている、BS／110度CS／地上デジタル放送視聴用ICカードのことです。ユーザー登録し、B-CASカードを受信機に挿入すると、双方向サービスの利用が可能となり、放送局からのメッセージを受信できるようになります。また、有料放送の視聴を希望される場合やNHKとの受信確認、そして、今後予定されている各種双方向サービスを希望される場合などにも登録済みカードが必要になります。（B-CASカードを挿入しないと、すべてのデジタル放送が映りません。）

■ BSデジタル放送

2000年12月から本格サービスが開始された新しい衛星放送で、従来のBS（アナログ）放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。さらに、BSデジタル放送では、高品位のデジタル音声放送（BSラジオ）、ニュース・スポーツ・番組案内などの情報提供、オンラインショッピングやクイズ番組への参加が可能なデータ放送など、多彩なサービスを行います。

■ CATV（ケーブルテレビ）

ケーブル（有線）テレビ放送のことです。放送サービスが実施されている地域で、ケーブルテレビ局と契約することによって、放送を受信できます。それぞれの地域に密着した情報を発信しているのが特徴です。最近では多数のチャンネルや自主放送を行う都市型のケーブルテレビ局も増えています。

■ D端子

高画質映像信号用コネクタの通称です。従来、輝度信号（Y）と色差信号（$C_B$/$P_B$、$C_R$/$P_R$）を3本のケーブルで接続（コンポーネント接続）していたのを1本のケーブルで接続できるようにしたのがD端子ケーブルです。輝度・色差信号のほかにも、映像フォーマットを識別する制御信号を送ることができます。走査線数と走査方式によってD1～D5の規格があり（本機はD4に対応）、数字が大きいほど、より高画質な映像に対応できます。

■ EPG（Electronic Program Guide）

デジタル放送で送られてくる番組情報のデータを使って画面で見られるようにした電子番組表のことです。

■ HDMI（High Definition Multimedia Interface）

ハイビジョン映像信号、マルチチャンネルオーディオ信号、双方向伝送対応のコントロール信号を1本のケーブルで接続できるAVインターフェースです。

■ i.LINK(アイリンク)
i.LINK端子を持つ機器間でデジタル映像やデジタル音声などマルチメディア系のデータの双方向通信を行ったり、接続した機器を操作したりできるシリアル転送方式のインターフェースです。接続はi.LINKケーブル1本で行うことができます。i.LINKはIEEE1394の呼称で、IEEE(米国電子電気技術者協会)によって標準化された国際規格です。現在、100Mbps、200Mbps、400Mbpsの転送速度があり、それぞれS100、S200、S400と表示されます。

■ MPEG(Moving Picture Experts Group)
デジタル放送の信号は大容量のため、圧縮技術が必要ですが、MPEGは、デジタル動画圧縮技術の符号化方式の1つです。一般に「エムペグ」と読みます。MPEG2は、「動き補償」「予測符号化」などの技術を使って画像データを圧縮するもので、圧縮レートは画像の内容により可変ですが、だいたい40分の1に圧縮することができます。

■ NTSC(National Television System Committee)
日本でも採用している現行のカラーテレビ放送方式の標準規格のことです。現在、日本、アメリカのほか、韓国、カナダ、メキシコなどで採用しています。この規格は、毎秒30フレーム(フィールド周波数60Hz)、走査線数525本のインターレース方式です。

■ PCM(Pulse Code Modulation)
アナログの音声信号をデジタル信号に変換する方式の1つ。音楽CDは、この方式を利用しています。

■ PPV(Pay Per View)
「ペイパービュー」と読みます。番組単位で購入契約が必要な有料番組のことです。

■ S1/S2映像
セパレート(S)映像信号に、画面比率4:3で上下に黒帯のあるワイド映像(レターボックス)や、もと16:9の映像を横方向に圧縮して4:3にした映像(スクイーズ)を自動判別する信号を加えた映像信号のことです。映画サイズの番組やビデオソフトを見るときは、自動的にレターボックスは「シネマ」に、スクイーズは「フル」になります。

■ インターレース(飛び越し走査)
NTSC方式のテレビやビデオの画像表示では、525本の走査線のうち、まず奇数番めの走査線(262.5本)を1/60秒で描きます(この1画面を1フィールドといいます)。つぎに偶数番めの走査線(262.5本)を1/60秒で描きます。これで、合わせて走査線525本の1枚の完全な画像(フレーム)をつくっていく方式です。「525i」「1125i」の「i」はインターレース(interlaced)を表します。

■ 液晶パネル
液晶を封入したパネルの電極間に電気を流すと、映像として見えるように開発された表示素子です。環境に配慮した低消費電力で動作する利点があります。

■ お知らせ
BS/110度CS/地上デジタル放送局から視聴者へメッセージを送るサービスです。

■ コンポーネント接続
映像信号を輝度信号(Y)と色差信号(CB/PB、CR/PR)の3つのコンポーネント(構成部分)に分離して伝送する接続方法です。コンポーネント映像端子は3つの端子に分かれているので、接続には3つのプラグに分かれた専用コード(コンポーネントケーブル)を用います。通常の映像端子による接続に比べ、色のキレが良く、チラツキのない画質が得られます。

■ コンポジット接続
通常の映像端子(ビデオ端子)を使って映像信号を伝送する接続方法です。映像端子は1つのみで、ふつう黄色で表示されており、形状は音声端子と同じです。コンポジット接続による映像・音声端子の接続では、黄・白・赤の3色に分かれたAVケーブルを使うのが一般的です。

■ 地上デジタル放送
2003年12月から東京・大阪・名古屋の3大都市圏の一部地域で開始され、その他の地域では2006年末までに開始が予定されている新しい放送です。ゴーストのない高品質映像、デジタルハイビジョン放送、データ放送や双方向サービス、多チャンネルといった、これまでの地上アナログ放送にはなかった特長をもっています。

■ ハイビジョン放送
デジタルハイビジョンの高画質放送のことです。従来の地上アナログテレビ放送が525本の走査線で表示しているのに対し、デジタルハイビジョン放送は750本や1125本の走査線を使用しているため、より緻密で高画質な映像を楽しめます。BSデジタル放送では、番組によって「デジタルハイビジョン映像」と「デジタル標準映像」という異なる画質で放送されています。

■ プログレッシブ(順次走査)
飛び越し走査(「インターレース」の項を参照)をしないで、すべての走査線を順番どおりに描く方法です。525pの場合、525本の走査線を順番どおりに描きます。インターレース方式に比べ、チラツキのないことが特徴で、文字や静止画を表示するときなどに適しています。「525p」「750p」の「p」はプログレッシブ(progressive)を表します。

■ プロバイダー
一般にはインターネットサービスプロバイダー(ISP)のことをいいます。インターネットのBMLコンテンツ(デジタル放送で使用されるデータ放送言語)を使った双方向サービスが楽しめます。

# 索引

## ●英数字・記号



## ●あ行



## ●か行



## ●さ行

●た行



●な行



●は行



●ま行



●や行



●ら行



●わ行

# 本機で使用している特許など

## 本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

**ソフトウェア構成**
本機に組み込まれているソフトウェアは、それぞれ当社または第三者の著作権が存在する、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成されています。

**当社開発ソフトウェアとフリーソフトウェア**
本機のソフトウェアコンポーネントのうち、当社が開発または作成したソフトウェアおよび付帯するドキュメント類には当社の著作権が存在し、著作権法、国際条約およびその他の関連する法律によって保護されています。
また本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアコンポーネントを使用しています。それらの一部には、GNU General Public License（以下、GPL）、GNU Lesser General Public License（以下、LGPL）またはその他のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアコンポーネントが含まれています。

**ソースコードの入手方法**
フリーソフトウェアには、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、そのコンポーネントのソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。GPLおよびLGPLも、同様の条件を定めています。こうしたフリーソフトウェアのソースコードの入手方法ならびにGPL、LGPLおよびその他のライセンス契約の確認方法については、以下のWEBサイトをご覧ください。
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/source/download/index.html（シャープGPL情報公開サイト）
なお、フリーソフトウェアのソースコードの内容に関するお問合わせはご遠慮ください。
また当社が所有権を持つソフトウェアコンポーネントについては、ソースコードの提供対象ではありません。

**謝辞**
本機には以下のフリーソフトウェアコンポーネントが組み込まれています。
- linux kernel
- modutils
- glibc
- zlib

## 本機で使用しているソフトウェアのライセンス表示

**ライセンス表示の義務**
本機に組み込まれているソフトウェアコンポーネントには、その著作権者がライセンス表示を義務付けているものがあります。そうしたソフトウェアコンポーネントのライセンス表示を、以下に掲示します。

BSD License

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
この製品にはカリフォルニア大学バークレイ校と、その寄与者によって開発されたソフトウェアが含まれています。

本機は、MPEG2 AACに関する下記番号の特許を使用しています。

**特許番号**

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 5,848,391 | 5,291,557 | 5,451,954 | 5,400,433 | 5,222,189 |
| 5,357,594 | 5,752,225 | 5,394,473 | 5,583,962 | 5,274,740 |
| 5,633,981 | 5,297,236 | 4,914,701 | 5,235,671 | 07/640,550 |
| 5,579,430 | 08/678,666 | 98/03037 | 97/02875 | 97/02874 |
| 98/03036 | 5,227,788 | 5,285,498 | 5,481,614 | 5,592,584 |
| 5,781,888 | 08/039,478 | 08/211,547 | 5,703,999 | 08/557,046 |
| 08/894,844 | 5,299,238 | 5,299,239 | 5,299,240 | 5,197,087 |
| 5,490,170 | 5,264,846 | 5,268,685 | 5,375,189 | 5,581,654 |
| 5,548,574 | 5,717,821 | | | |

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロヴィジョン社の許可が必要です。また、その使用は、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。

エコロジークラスでいきましょう。シャープ。

**液晶カラーテレビ** LC-37GS10 LC-37GS20

**この製品は、こんなところがエコロジークラス。**

**省エネ 「明るさセンサー」を活用**

周囲の明るさに応じて液晶画面の明るさを自動的に調整する「明るさセンサー」機能がついています。この機能を「入」にすると周囲が暗いときには、自動的に画面を暗くするので、省エネになります。

**上手に使って、もっともっとエコロジークラス。**

**◎外出やおやすみのときは本体の電源を切って**

リモコンで液晶テレビの電源を切っても、少量の電力を消費しています。こまめに本体の電源を切ることにより、更に効果的な省エネになります。

※ただし、録画予約、衛星ダウンロードを行う場合は、リモコンで電源を切って下さい。

## 使い方や修理のご相談など


**【お客様相談センター】**

**0120 - 001 - 251**

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

| 電話：043 - 331 - 1626 | FAX：043 - 297 - 2696 |
|---|---|
| 〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2 | |

受付時間 ●月曜～土曜：9:00～20:00 ●日曜・祝日：9:00～17:00 （年末年始を除く）


●電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
●電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。（2006.12）

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。

シャープサポートページ
**http://www.sharp.co.jp/support/**


# シャープ株式会社

本　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番地

★この印刷物は環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。
★この取扱説明書は再生紙を使用しています。（古紙配合率 100%）

TINS-C945WJZZ
07P02-JA-KK